

枚方の教育



令和元年度（2019年度）
枚方市教育委員会

市 勢

人口 401,397 人

面積 65.12 平方キロメートル

平成 31 年 3 月末現在



「輝きプラザ きらら」

“きらりと輝く出会い・学び・発見”をテーマに市民の新たな活動拠点として、生涯学習プラザ・地域活性化支援センター・地域防災センター・教育委員会事務局の4つの機能が集結した複合施設です。

所在地 大阪府枚方市車塚1丁目1-1



「中央図書館」



充実した蔵書に加え、子どものフロアや障害者・高齢者サービスフロアを設け、だれもが利用しやすいようバリアフリー化した図書館です。

所在地 大阪府枚方市車塚2丁目1-1



はじめに

枚方市教育委員会
教育長 奈良 渉

平成 30 年度においては、6 月の大阪府北部地震及び 9 月の台風 21 号の影響により、保護者及び地域住民の方々には、本市教育行政において、多大なるご理解とご協力をいただきました。おかげさまで、学校園施設等において様々な被害を受けたことによる修理・修繕事業を迅速に対応・改善に取り組むことができましたことにお礼を申し上げます。

枚方市教育委員会では、枚方市教育大綱で定められている、本市教育行政の目標や施策の根本となる 3 つの方針を踏まえた枚方市教育振興基本計画を策定し、教育目標として「学びあい、つながりあい、一人ひとりの未来をひらく～自立、協働、創造に向けた主体的な学びを支え、可能性を最大限に伸ばす～」を掲げ、本市がめざすべき教育を実現するため、「確かな学びと自立を育む教育の充実」をはじめとした 10 の基本方策を推進しています。

令和元年度（2019 年度）は、少子化の進行、核家族化や男女共同参画社会の進展、ひとり親家庭の増加など、子育て支援が多様化する中で、幼児教育の充実において、幼保連携のもと「3 歳児保育事業」を新たに組み組みとして進めてまいります。

学校園においては、確かな学びと自立を育む教育の充実に向けた「学力向上」において、授業改善や家庭学習の充実に継続して取り組むとともに、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実に基づく「体力向上」の取り組みを推進していきます。また、平成 30 年度から実施しました、学校運営に保護者や地域住民が参画する「コミュニティ・スクール」の拡充を進め、「地域とともにある学校づくり」を推進してまいります。

この冊子は、本市教育委員会の概要及び令和元年度（2019 年度）事業の取り組みや、平成 30 年度事業の取り組み実績等をまとめたもので、本市の教育行政をご理解いただくための資料として、ご活用いただければ幸いです。

令和元年（2019 年）9 月

目 次

第 1 章 教育委員会の概要

1. 教育行政の方針と教育目標	1
2. 教育委員会制度の概要	3
3. 教育長と教育委員	4
4. 教育委員会の会議	4
5. 教育委員会の機構	5
6. 教育委員会の事務分掌	6
7. 教育委員会の財政状況	10
8. 教育に関する事務の点検及び評価	12

(資料編)

1. 教育委員会事務局・教育機関・教育関連施設	13
2. 市立学校園の園児・児童・生徒数と学級数及び教職員の構成	21
3. 教育施設（学校園）の現況	25
4. 教育施設（教育機関）の現況	30

第 2 章 教育委員会の取り組み

1. 総合教育部の主な取り組み	
(1) 学校園の安全対策	34
(2) 小・中学校教育用 I C T 機器等の整備	34
(3) 公立幼稚園における 3 歳児保育と子育て支援策の充実	34
(4) 枚方市学校施設整備計画の実施・計画の策定	34
(5) 学校トイレ改善事業	35
(6) 学校規模等適正化事業	35
(7) 学校運営に係る事業の再構築	35
(8) 学校給食の充実	35
2. 学校教育部の主な取り組み	
(1) 学力の向上の取り組みの推進	36
(2) 英語教育の推進	36
(3) 読書活動の推進	37
(4) 体力向上の取り組みの推進	37
(5) 生徒指導の充実	38
(6) 支援教育の充実	38
(7) 少人数学級充実事業の推進	38
(8) 教職員研修の充実	38
(9) コミュニティ・スクールの推進	38
(10) 幼児教育の充実	38

3. 社会教育部の主な取り組み

(1) 「児童の放課後を豊かにする基本計画」の策定	39
(2) 社会教育の推進	39
(3) 留守家庭児童会室のあり方の検討	39
(4) 歴史文化遺産の保存・活用（特別史跡百済寺跡再整備事業）	39
(5) スポーツ施策の推進	40
(6) 香里ヶ丘図書館・中央公園の一体的整備	40
(7) 学校図書館支援事業	40
(8) 市駅周辺の図書館機能の充実	40

(資料編)

1. 学校におけるICT環境と主な教育用ICT機器の整備状況	41
2. 学校給食	42
3. 生徒指導の充実	47
4. 支援教育の充実	51
5. 枚方市立中学校卒業生進路先一覧	51
6. 就学援助制度	52
7. 学力の向上	53
8. 指導体制の充実（小中一貫教育推進事業）	57
9. 自学自習力の向上（学力向上推進事業（放課後自習教室事業））	60
10. 英語教育の推進	61
11. 読書活動の推進	63
12. 体力の向上	64
13. 部活動の充実	64
14. 道徳教育	66
15. 福祉・ボランティア活動	66
16. 環境教育の推進	67
17. 学校園の活性化（教育委員会主催事業）	68
18. 学校園の活性化（学校園の取り組み）	70
19. 学校評価	76
20. 学校評議員制度	76
21. コミュニティ・スクール	78
22. 幼児教育の充実	77
23. 研究指定校	80
24. 地域人材等の活用	82
25. 教職員研修	83
26. 社会教育	85
27. 留守家庭児童会室運営実施状況	90
28. 文化財の保護	91
29. スポーツ振興	98
30. 市立図書館	104
31. 図書館の貸出・利用状況等	106
32. 図書館行事	111

33. 教育施設（使用料等）	
(1) 教育文化センター	122
(2) 旧田中家鋳物民俗資料館	124
(3) 枚方宿鍵屋資料館	126
(4) 野外活動センター	128
(5) 総合スポーツセンター	130
(6) 渚市民体育館	135
(7) 伊加賀スポーツセンター	138
(8) サプリ村野スポーツセンター	141
(9) 東部公園野球場	143
(10) その他の体育施設	145

第3章 教育委員会のあゆみ

1. 枚方の教育のあゆみ	146
2. 歴代教育委員・教育長	149

（巻末資料）

教育に関する事務の点検及び評価報告書（平成30年度事業分）

第1章 教育委員会の概要

本

編

1. 教育行政の方針と教育目標

(1) 枚方市教育大綱

平成 27 年 4 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、地方公共団体の長は、教育の総合的な施策について、その目標や根本となる方針を定める「大綱」を策定することとされました。

枚方市では、同法第 1 条の 3 第 1 項の規定に基づき、市長が教育委員と総合教育会議において協議し「枚方市教育大綱」を策定しています。

枚方市教育大綱では、本市教育行政の目標や施策の根本となる 3 つの方針を定めています。

◇教育行政の方針

方針Ⅰ

知・徳・体の調和のとれた生きる力を育み、子どもたちの未来への可能性を最大限に伸ばす学校教育を充実させます。

方針Ⅱ

子どもたちが学ぶ楽しさを感じながら、安全に安心して生き生きと学校での生活を送れるよう学びのセーフティーネットを構築するとともに、教育環境を充実させます。

方針Ⅲ

学びの機会の提供や、知の源泉となる図書館の充実、文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりなど、人とまちを支える社会教育を推進します。

(2) 枚方市教育振興基本計画

市教育委員会では、第 5 次枚方市総合計画、枚方市教育大綱を踏まえ、枚方市教育振興基本計画を策定しています。計画では、本市教育のめざすべき教育、教育目標を設定し、取り組みの基本的な方向性を示す 10 の基本方策を定めています。

◇教育目標

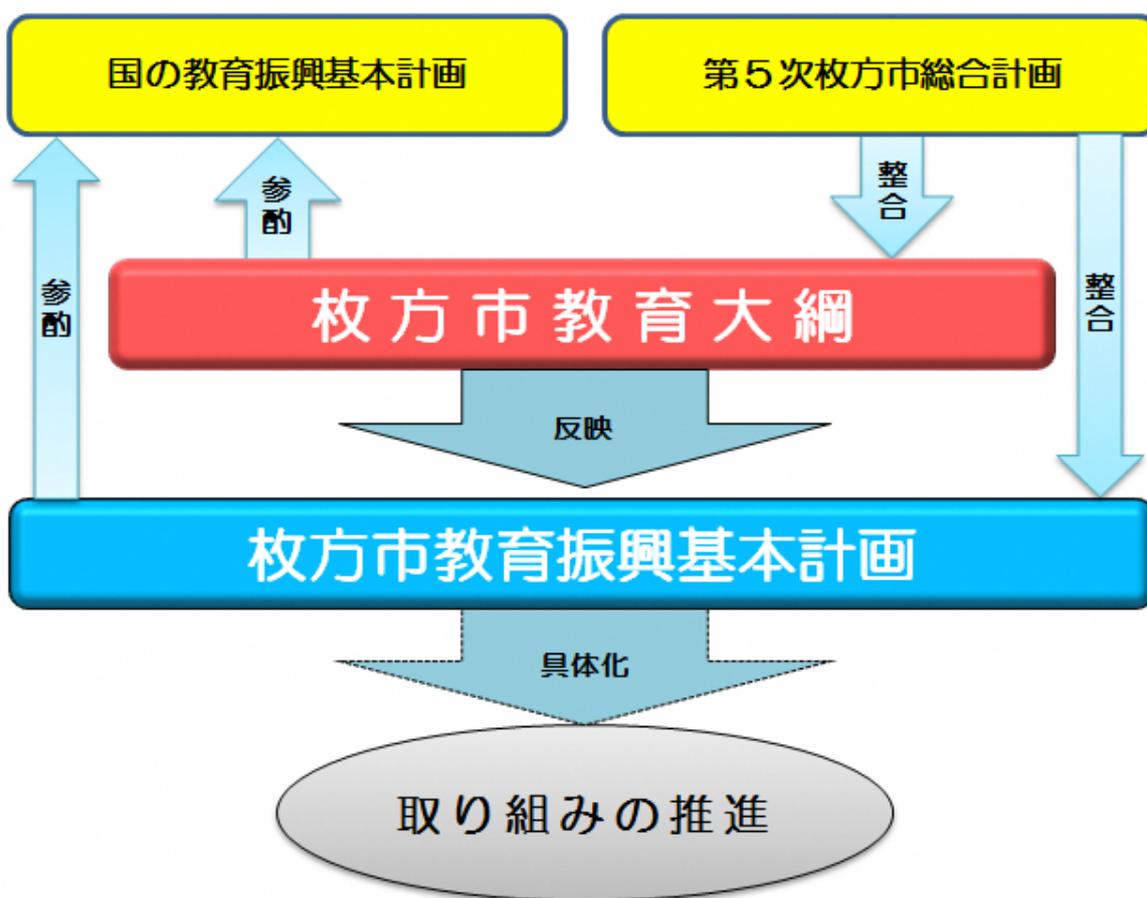
学びあい、つながりあい、一人ひとりの未来をひらく

～自立、協働、創造に向けた主体的な学びを支え、可能性を最大限に伸ばす～

◇基本方策

- 基本方策1 確かな学びと自立を育む教育の充実
- 基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実
- 基本方策3 教職員の資質と指導力の向上
- 基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実
- 基本方策5 幼児教育の充実
- 基本方策6 地域とともにある学校づくりの推進
- 基本方策7 学びのセーフティネットの構築
- 基本方策8 学びを支える教育環境の充実
- 基本方策9 基礎的な知識・技術の学習機会の提供と図書館の充実
- 基本方策10 文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりの推進

■枚方市教育大綱等と枚方市教育振興基本計画の体系図



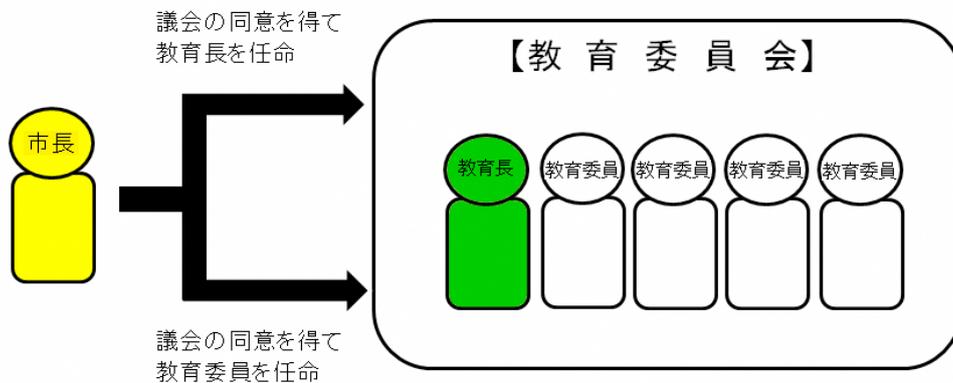
2. 教育委員会制度の概要

(1) 教育委員会制度

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会の代表者である教育長と4人の非常勤の教育委員をもって組織される合議制の執行機関です。

教育委員会制度は、見識を有する一般人（レイマン）である教育委員と教育長の合議により、教育行政に関する基本方針等を決定し、これを受け、教育長が教育委員会事務局を統括して、執行するしくみとなっています。

■教育委員会の組織（イメージ）

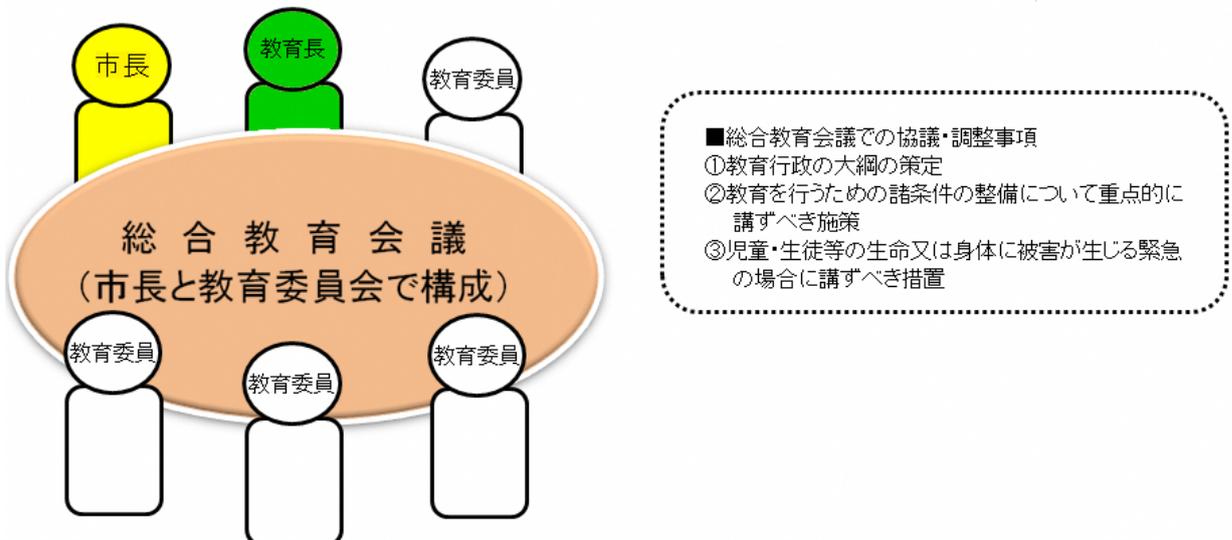


(2) 総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、市長と教育委員会で構成する「総合教育会議」を設置しています。

総合教育会議では、(1) 教育に関する「大綱」の策定、(2) 教育の諸条件の整備その他の教育の振興を図るため重点的に講ずべき施策、(3) 児童、生徒等の生命または身体に被害が生ずるなどの緊急の場合に講ずべき措置について、市長と教育委員会が協議・調整を行います。

■総合教育会議（イメージ）



3. 教育長と教育委員

教育長は、市長の被選挙権を有し、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するものうちから、市長が議会の同意を得て任命します。教育長は教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。教育長は常勤で、任期は3年です。

教育委員は、市長の被選挙権を有し、人格が高潔で、教育、学術、文化に関し識見を有するものうちから、市長が議会の同意を得て任命します。委員は非常勤で、任期は4年です。

■教育長と教育委員名簿

(令和元年(2019年)5月1日現在)

職名	氏名	任期
教育長	奈良 渉	平成31年4月1日～令和4年(2022年)3月31日
教育委員	神田 裕史	平成29年4月1日～令和3年(2021年)3月31日
教育委員	橋野 陽子	平成28年4月1日～令和2年(2020年)3月31日
教育委員	谷元 紀之	平成31年4月1日～令和5年(2023年)3月31日
教育委員	近藤 孝	平成30年4月1日～令和4年(2022年)3月31日

■教育委員会の活動状況

巻末の「教育に関する事務の点検及び評価報告書(平成30年度事業分)」の53ページをご覧ください。

4. 教育委員会の会議

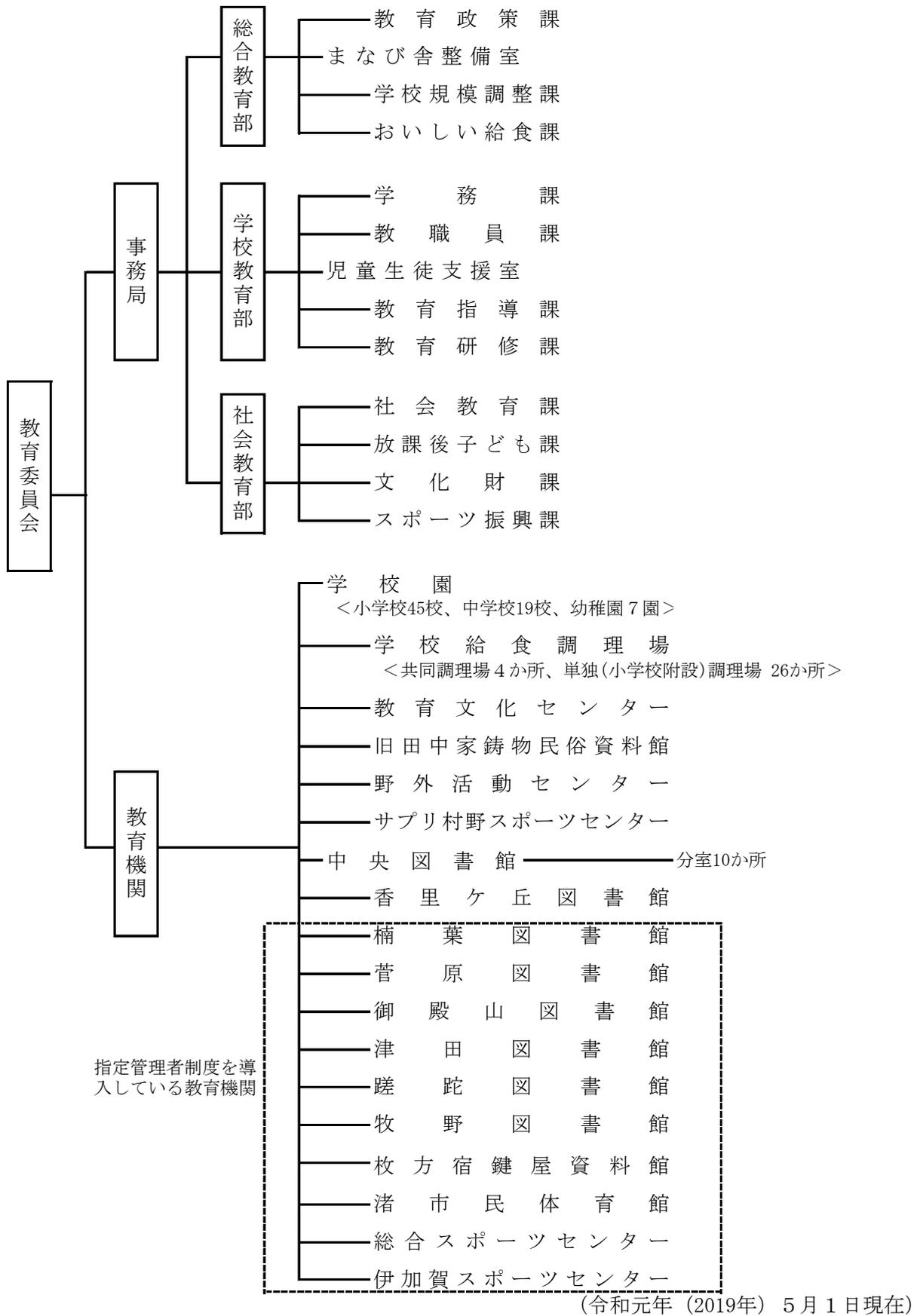
教育委員会は、教育委員会の会議において、教育行政に関する基本方針をはじめ、重要事項を決定しています。教育委員会の会議は、毎月1回開催する定例会と必要に応じて開催する臨時会などがあります。

■平成30年度教育委員会の会議の開催状況

会議の種別	実施回数
教育委員会定例会	12回
教育委員会協議会	13回

※開催状況の詳細については、巻末の「教育に関する事務の点検及び評価報告書(平成30年度事業分)」の52ページから53ページをご覧ください。

5. 教育委員会の機構



6. 教育委員会の事務分掌

(1) 事務局

部・室・課		主な事務分掌
総合教育部	教育政策課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会及び部の施策の調整、事務事業の進行管理及び事務改善に関すること。 2. 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。 3. 教育行政に係る調査研究、企画及び総合調整に関すること。 4. 委員会の予算の調整、執行管理及び決算に関すること。 5. 委員会の広報に関すること。 6. 委員会の会議に関すること。 7. 委員会の公告式に関すること。 8. 総合教育会議に関すること。 9. 職員の人事、給与等に関すること。 10. 学校園の情報化に関すること。 11. 教育委員会の意見聴取に関すること。
	まなび舎整備室	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校園用地及び学校園関連用地の管理に関すること。 2. 学校園施設及び学校給食調理場に係る施設（以下「学校園等施設」という。）の新設並びに改良工事の計画及び調整に関すること。 3. 学校園等施設の新設、改良、災害復旧及び補修工事の設計並びに執行に関すること。 4. 学校園等施設の定期点検の調整に関すること。 5. 学校園等施設的环境整備及び整備に係るPFI事業に関すること。 6. 学校園の整備計画に関すること。
	学校規模調整課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通学区域の指定に関すること。 2. 学校園の設置及び廃止に関すること。 3. 学校規模等適正化審議会に関すること。 4. 学校園の契約事務の調整に関すること。 5. 学校園に係る寄付收受に関すること。
	おいしい給食課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校給食に関すること。 2. 共同調理場及び単独調理場に関すること。 3. 学校給食会に関すること。

部・室・課		主な事務分掌
学校教育部	学 務 課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校及び中学校への就学に関すること。 2. 教科書の給付に関すること。 3. 奨学金及び就学援助に関すること。 4. 児童、生徒及び園児の保健に関すること。 5. 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
	教 職 員 課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職員の人事、給与等に関すること。 2. 教職員の服務及び福利厚生等に関すること。 3. 学級編制に関すること。 4. 教育に係る調査、統計に関すること。
	児童生徒支援室	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育相談に関すること。 2. 学校教育における人権教育に関すること。 3. 支援教育に関すること。 4. 生徒指導及び安全指導に関すること。 5. 学校いじめ対策審議会に関すること。
	教 育 指 導 課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校園の教育課程に関すること。 2. 教職員の研修（学校園内研修、中央研修、民間派遣研修に限る。）に関する こと。 3. 教科書、教材等に関すること。
	教 育 研 修 課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職員の研修に関すること。 2. 教育に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。 3. 教育関係資料の収集、整備及び保管に関すること。 4. 理科教育振興法による教材に関すること。
社会教育部	社会教育課	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会教育に係る調査研究、企画、立案及び総合調整並びに振興に関すること。 2. 家庭教育に関すること。 3. 成人教育に関すること。ただし、市長の事務部局の職員に補助執行させるものを除く。 4. 子ども・青少年に対する社会教育に関すること。ただし、他の課の所管するものを除く。 5. 社会教育における人権教育に関すること。ただし、市長の事務部局の職員に補助執行させるものを除く。 6. はたちのつどいに関すること。 7. 社会教育委員に関すること。 8. 児童の放課後対策審議会に関すること。 9. 枚方市PTA協議会との連絡調整に関すること。

部・室・課		主な事務分掌
社会 教育 部	放課後子ども課	1. 留守家庭児童会室に関する事。
	文化財課	1. 文化財に係る調査研究、保存及び活用に関する事。 2. 文化財に係る普及啓発に関する事。 3. 埋蔵文化財の発掘調査に関する事。 4. 市史の編さんに関する事。 5. 旧田中家鋳物民俗資料館及び枚方宿鍵屋資料館に関する事。 6. 文化財保護審議会に関する事。
	スポーツ振興課	1. 社会体育及びスポーツ・レクリエーションに関する事。 2. 学校体育施設の開放に関する事。 3. スポーツ推進委員に関する事。 4. 野外活動センター、総合スポーツセンター、市民体育館、伊加賀スポーツセンター及びサプリ村野スポーツセンターに関する事。 5. 東部公園野球場に関する事。 6. 枚方体育協会に関する事。

(2) 教育機関

機関名	主な事務分掌
共同調理場	1. 学校給食の調理に関する事。 2. 学校給食の輸送に関する事。 3. 施設及び備品の衛生管理及び維持管理に関する事。
教育文化センター	1. 教育に関する専門的、技術的及び実践的な調査研究に関する事。 2. 教育関係職員の研修に関する事。 3. 施設及び附属設備の使用許可に関する事。 4. 教育相談に関する事。 5. 適応指導教室に関する事。 6. 言語障害及び難聴の幼児、児童及び生徒のための機能回復訓練室の提供に関する事。
旧田中家 鋳物民俗資料館	1. 施設及び附属設備の使用許可に関する事。 2. 鋳物その他の民俗文化財に関する資料（以下「鋳物民俗資料」という。）の収集及び保存並びに鋳物民俗資料に関する調査研究に関する事。 3. 鋳物民俗資料及び鋳物民俗資料に関する調査研究の成果の展示及び閲覧に関する事。 4. 民俗工芸品の制作に係る体験講座の開催その他民俗工芸に係る活動の支援に関する事。 5. 資料館の施設及び附属設備を民俗工芸品の制作活動の用に供すること。

機 関 名	主な事務分掌
野 外 活 動 セ ン タ ー	1. 施設及び附属設備の使用許可に関すること。 2. 野外学習、天体学習及びスポーツ・レクリエーション活動に係る事業の実施に関すること。
サ プ リ 村 野 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	1. 施設及び附属設備の使用許可に関すること。 2. スポーツ教室の開催その他スポーツの普及に係る事業の実施に関すること。

機 関 名	主な事務分掌
図 書 館	1. 図書館サービスに係る企画及び統計に関すること。 2. 教育と文化の発展に係る図書館事業の実施に関すること。 3. 読書案内及びレファレンスに関すること。 4. 図書館資料の選択、貸出し、受入れ、整理、修理、保存及び除籍に関すること。 5. 地域の読書活動の援助に関すること。 6. 図書館及び類縁機関との相互協力及び連絡調整に関すること。 7. 自動車文庫の運営に関すること。
	1. 教育と文化の発展に係る図書館事業の実施に関すること。 2. 読書案内及びレファレンスに関すること。 3. 図書館資料の選択、貸出し、受入れ、整理、修理、保存及び除籍に関すること。

7. 教育委員会の財政状況

(1) 平成31年度教育費の当初予算

① 目的別歳出内訳

保健体育費 (3,228,018千円 20.0%)

保健体育総務費	178,100
学校開放事業費	2,952
スポーツ施設費	446,587
学校給食費	2,600,379

社会教育費 (2,054,995千円 12.7%)

社会教育総務費	99,272
文化財保護費	367,115
図書館費	1,588,608

幼稚園費 (503,779千円 3.1%)

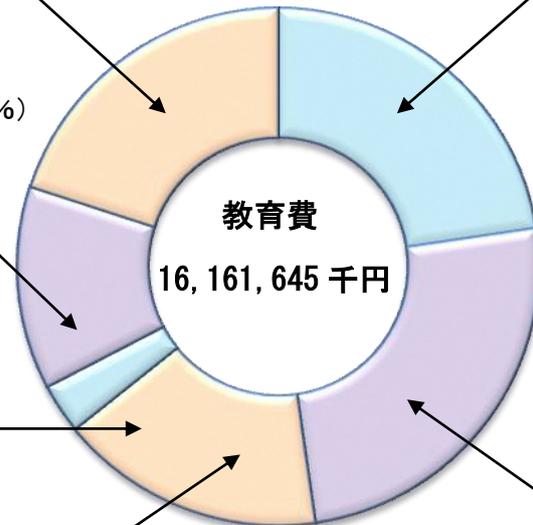
幼稚園費	503,779
------	---------

中学校費 (2,658,808千円 16.5%)

中学校管理費	2,374,780
中学校教育振興費	225,246
中学校保健衛生費	58,782

教育総務費 (3,659,230千円 22.6%)

教育委員会費	8,929
事務局費	2,671,000
教育研究費	912,097
教育文化センター費	67,204



※教育費以外の予算 民生費

(1,229,725千円)

児童福祉費

(1,229,725千円)

児童福祉総務費	93,578
留守家庭児童対策費	1,136,147

小学校費 (4,056,815千円 25.1%)

小学校管理費	3,577,155
小学校教育振興費	348,523
小学校保健衛生費	131,137

② 一般会計に占める教育費の状況

(単位：千円)

款	H31	H30	比較		構成比	
			増減額	増減率	H31	H30
総務費	12,908,538	12,525,135	383,403	3.1%	9.2%	9.1%
民生費	68,292,276	68,104,516	187,760	0.3%	48.6%	49.4%
衛生費	11,393,860	11,971,911	▲ 578,051	▲ 4.8%	8.1%	8.7%
土木費	14,077,209	15,242,940	▲ 1,165,731	▲ 7.6%	10.0%	11.1%
消防費	4,773,448	4,722,650	50,798	1.1%	3.4%	3.4%
教育費	16,161,645	13,267,892	2,893,753	21.8%	11.5%	9.6%
公債費	10,413,191	10,404,552	8,639	0.1%	7.4%	7.6%
その他	2,379,833	1,560,404	819,429	52.5%	1.8%	1.1%
議会費	663,685	649,421	14,264	2.2%	0.5%	0.5%
農林水産費	231,405	192,326	39,079	20.3%	0.2%	0.1%
商工費	1,248,000	431,805	816,195	189.0%	0.9%	0.3%
諸支出金	86,743	136,852	▲ 50,109	▲ 36.6%	0.1%	0.1%
予備費	150,000	150,000	-	-	0.1%	0.1%
歳出合計	140,400,000	137,800,000	2,600,000	1.9%	100.0%	100.0%

(2) 平成30年度教育費の決算状況

① 目的別歳出内訳

保健体育費 (2,238,272千円 18.4%)

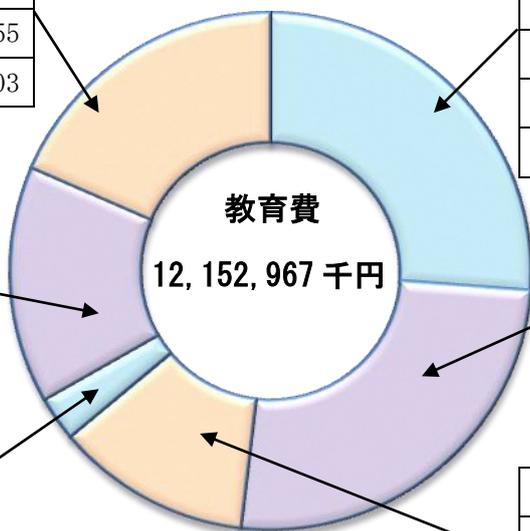
保健体育総務費	178,519
学校開放事業費	1,995
スポーツ施設費	388,655
学校給食費	1,669,103

社会教育費 (1,803,086千円 14.8%)

社会教育総務費	106,818
文化財保護費	341,882
図書館費	1,354,386

幼稚園費 (340,302千円 2.8%)

幼稚園費	340,302
------	---------



※教育費以外の決算

民生費(1,048,625千円)

児童福祉費(1,048,625千円)

児童福祉総務費	93,149
留守家庭児童対策費	955,476

教育総務費 (3,183,882千円 26.2%)

教育委員会費	8,287
事務局費	2,282,210
教育研究費	846,480
教育文化センター費	46,905

小学校費 (3,119,456千円 25.7%)

小学校管理費	2,677,584
小学校教育振興費	323,322
小学校保健衛生費	118,550

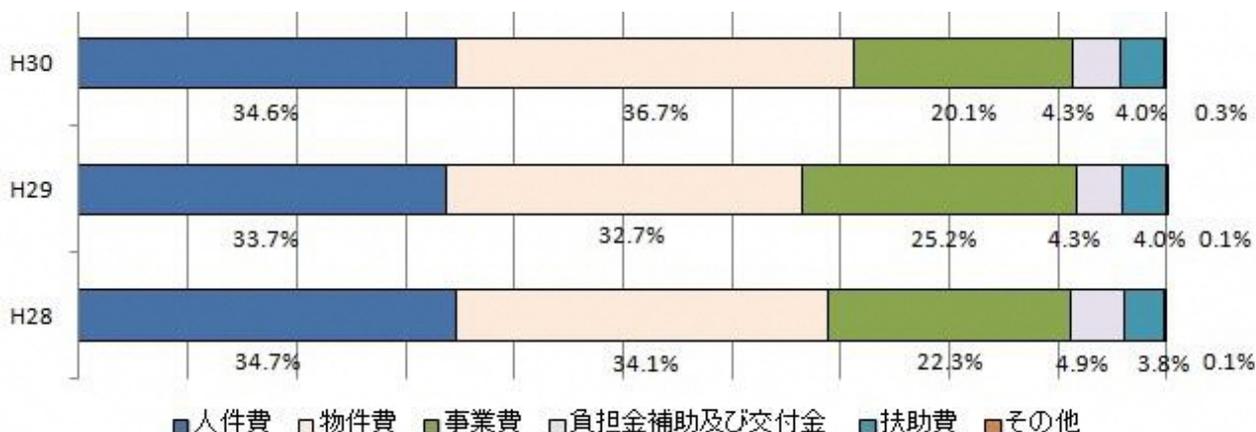
中学校費 (1,467,969千円 12.1%)

中学校管理費	1,230,641
中学校教育振興費	186,503
中学校保健衛生費	50,825

② 性質別内訳推移

(単位：千円、%)

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	対前年度 増減率
人件費	4,128,134	4,355,374	4,212,281	▲ 3.3
物件費	4,055,059	4,233,950	4,456,075	5.2
事業費	2,657,496	3,254,632	2,448,368	▲ 24.8
負担金補助 及び交付金	587,714	554,838	520,337	▲ 6.2
扶助費	457,470	524,532	481,923	▲ 8.1
その他	7,615	8,180	33,983	315.4
合計	11,893,488	12,931,506	12,152,967	▲ 6.0



8. 教育に関する事務の点検及び評価

「教育に関する事務の点検及び評価」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすため、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用し点検及び評価を行い議会へ報告するとともに、市民へ公表を行っています。

(1) 点検及び評価の対象

教育委員会の会議等の開催や活動状況等の確認を行うとともに、市長公約事業を中心に設定した平成30年度教育委員会主要事業および基本方策について点検及び評価を行いました。

(2) 点検及び評価の手順

点検及び評価は、①前年度の学識経験者による指摘や意見に基づく改善、②教育委員会による自己点検評価の実施、③学識経験者の知見の活用、④報告書の作成・議会への提出、公表という手順で実施しました。

(3) 点検及び評価の結果

点検及び評価の結果は、巻末の「教育に関する事務の点検及び評価報告書（平成30年度事業分）」をご覧ください。

第1章 教育委員会の概要

資料編

1. 教育委員会事務局・教育機関・教育関連施設

(令和元年(2019年)5月1日現在)

(1) 教育委員会事務局

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
教育政策課	車塚1-1-1	050-7105-8018	輝きプラザきらら 3階 月～金 9時00分～17時30分
まなび舎整備室		050-7105-8210	
学校規模調整課		050-7105-8020	
おいしい給食課		050-7105-8030	
学 務 課		050-7105-8043	輝きプラザきらら 4階 月～金 9時00分～17時30分
		050-7105-8046	
教 職 員 課		050-7105-8040	
児童生徒支援室		050-7105-8047 050-7105-8048	
教育指導課		050-7105-8052	
教育研修課	磯島北町37-1	050-7102-3153	教育文化センター 2階 月～金 9時00分～17時30分
社会教育課	車塚1-1-1	050-7105-8065	輝きプラザきらら 4階 月～金 9時00分～17時30分
放課後子ども課		050-7105-8201	
文化財課		050-7105-8058	
スポーツ振興課		050-7105-8061	

(2) 教育機関及びその他の所管施設(留守家庭児童会室)

[小学校]

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
枚 方 小学校	枚方上之町9-21	050-7102-9000	
枚方第二小学校	田宮本町11-1	050-7102-9004	
蹉 跎 小学校	北中振2-11-21	050-7102-9008	
香 里 小学校	香里ヶ丘10-5-2	050-7102-9012	
開 成 小学校	香里ヶ丘2-5	050-7102-9016	
五 常 小学校	香里ヶ丘6-9	050-7102-9020	
春 日 小学校	高田2-15-10	050-7102-9024	
桜 丘 小学校	村野本町30-1	050-7102-9028	
山 田 小学校	甲斐田町1-27	050-7102-9032	
明 倫 小学校	中宮西之町10-6	050-7102-9036	
殿山第一小学校	上野1-6-5	050-7102-9040	
殿山第二小学校	養父ヶ丘2-7-53	050-7102-9044	
樟 葉 小学校	南楠葉2-40-6	050-7102-9048	
津 田 小学校	津田西町1-33-1	050-7102-9052	

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
菅原小学校	藤阪中町13-1	050-7102-9056	
氷室小学校	尊延寺3-1-38	050-7102-9060	
高陵小学校	御殿山南町2-2	050-7102-9064	
山之上小学校	山之上1-32-1	050-7102-9068	
牧野小学校	上島東町4-18	050-7102-9072	
交北小学校	交北2-30-5	050-7102-9076	
香陽小学校	香里ヶ丘11-36-1	050-7102-9080	
招提小学校	招提東町2-2-8	050-7102-9084	
中宮小学校	中宮山戸町22-3	050-7102-9088	
小倉小学校	小倉町29-1	050-7102-9092	
樟葉南小学校	楠葉美咲1-25-1	050-7102-9096	
磯島小学校	磯島北町3-1	050-7102-9100	
蹉跎西小学校	出口6-20-1	050-7102-9104	
樟葉西小学校	楠葉並木1-11-1	050-7102-9108	
田口山小学校	田口山3-10-1	050-7102-9112	
西牧野小学校	西牧野2-1-1	050-7102-9116	
川越小学校	釈尊寺町30-1	050-7102-9120	
蹉跎東小学校	翠香園町30-1	050-7102-9124	
桜丘北小学校	星丘4-31-1	050-7102-9128	
津田南小学校	津田西町3-10-1	050-7102-9132	
樟葉北小学校	楠葉野田3-13-1	050-7102-9136	
船橋小学校	東山1-68	050-7102-9140	
菅原東小学校	藤阪東町3-10-1	050-7102-9144	
中宮北小学校	中宮北町4-1	050-7102-9148	
山田東小学校	田口3-16-1	050-7102-9152	
藤阪小学校	藤阪南町1-40-1	050-7102-9156	
平野小学校	招提中町1-53-1	050-7102-9160	
長尾小学校	長尾北町3-3-2	050-7102-9164	
東香里小学校	東香里南町44-1	050-7102-9168	
伊加賀小学校	伊加賀西町53-1	050-7102-9172	
西長尾小学校	長尾西町2-45-1	050-7102-9176	

[中学校]

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
第一中学校	渚東町2-1	050-7102-9180	
第二中学校	香里園東之町20-26	050-7102-9185	
第三中学校	養父東町1-5	050-7102-9190	

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
第 四 中 学 校	香里ヶ丘 5-3-2	050-7102-9195	
津 田 中 学 校	津田北町 1-32-1	050-7102-9200	
枚 方 中 学 校	西田宮町 19-1	050-7102-9205	
中 宮 中 学 校	堂山 1-2-6	050-7102-9210	
招 提 中 学 校	招提東町 2-1-12	050-7102-9215	
楠 葉 中 学 校	楠葉丘 2-12-1	050-7102-9220	
楠葉西 中 学 校	西船橋 2-43-1	050-7102-9225	
東香里 中 学 校	東香里 3-37-1	050-7102-9230	
長 尾 中 学 校	長尾北町 3-3-1	050-7102-9235	
杉 中 学 校	杉 4-1-1	050-7102-9240	
山 田 中 学 校	交北 2-28-1	050-7102-9245	
渚 西 中 学 校	渚西 3-25-1	050-7102-9250	
桜 丘 中 学 校	桜丘町 65-1	050-7102-9255	
蹉 跎 中 学 校	出口 5-40-1	050-7102-9260	
招提北 中 学 校	招提北町 2-35-1	050-7102-9265	
長尾西 中 学 校	長尾谷町 1-73-1	050-7102-9270	

[幼稚園]

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
枚 方 幼 稚 園	枚方上之町 11-16	072-841-2180	
香 里 幼 稚 園	香里ヶ丘 10-5-2	072-854-0874	
樟 葉 幼 稚 園	南楠葉 2-40-38	072-856-0848	
高 陵 幼 稚 園	御殿山南町 2-5	072-840-5910	
蹉 跎 幼 稚 園	東中振 2-1783-1	072-832-3868	
蹉跎西 幼 稚 園	出口 6-20-5	072-833-5552	
田口山 幼 稚 園	田口山 3-10-2	072-856-3844	

[留守家庭児童会室]

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
開成留守家庭児童会室	香里ヶ丘 2-5	072-854-7010	
山田留守家庭児童会室	甲斐田町 1-27	072-847-2001	
香里留守家庭児童会室	香里ヶ丘 10-5-2	072-854-7263	
明倫留守家庭児童会室	中宮西之町 10-6	072-847-5370	
津田留守家庭児童会室	津田西町 1-34-1	072-858-2841	
牧野留守家庭児童会室	上島東町 4-18	072-857-1070	
香陽留守家庭児童会室	香里ヶ丘 11-36-1	072-853-4198	
高陵留守家庭児童会室	御殿山南町 2-2	072-848-5320	

名 称	所 在 地	電 話 番 号	備 考
小倉留守家庭児童会室	小倉町 29-1	072-855-2686	
樟葉留守家庭児童会室	南楠葉 2-40-6	072-855-2685	
殿山第二留守家庭児童会室	養父丘 2-7-52	072-855-6949	
蹉跎留守家庭児童会室	北中振 2-11-21	072-833-7200	
五常留守家庭児童会室	香里ヶ丘 6-9	072-853-2845	
交北留守家庭児童会室	交北 2-30-5	072-851-7275	
菅原留守家庭児童会室	藤阪中町 13-1	072-856-3739	
招提留守家庭児童会室	招提東町 2-2-8	072-850-3773	
枚方第二留守家庭児童会室	田宮本町 11-1	072-846-6966	
田口山留守家庭児童会室	田口山 3-10-1	072-850-7601	
中宮留守家庭児童会室	中宮山戸町 22-3	072-840-2446	
枚方留守家庭児童会室	枚方上之町 9-21	072-846-8475	
山之上留守家庭児童会室	山之上 1-32-1	072-846-8476	
津田南留守家庭児童会室	津田西町 3-10-1	072-858-2140	
樟葉西留守家庭児童会室	楠葉並木 1-11-1	072-850-0581	
樟葉南留守家庭児童会室	楠葉美咲 1-25-1	072-850-0578	
菅原東留守家庭児童会室	藤阪東町 3-10-1	072-858-7310	
中宮北留守家庭児童会室	中宮北町 4-1	072-849-8200	
蹉跎東留守家庭児童会室	翠香園町 30-1	072-846-3430	
磯島留守家庭児童会室	磯島北町 3-1	072-848-6710	
氷室留守家庭児童会室	尊延寺 3-1-38	072-859-3620	
藤阪留守家庭児童会室	藤阪南町 1-40-1	072-856-4100	
平野留守家庭児童会室	招提中町 1-53-1	072-856-4401	
桜丘留守家庭児童会室	村野本町 30-1	072-847-4590	
殿山第一留守家庭児童会室	上野 1-6-5	072-848-4581	
春日留守家庭児童会室	高田 2-15-10	072-853-7130	
西牧野留守家庭児童会室	西牧野 2-1-1	072-855-5020	
山田東留守家庭児童会室	田口 3-16-1	072-848-4580	
蹉跎西留守家庭児童会室	出口 6-20-1	072-833-8999	
長尾留守家庭児童会室	長尾北町 3-3-2	072-868-1747	
川越留守家庭児童会室	釈尊寺町 30-1	072-854-8850	
桜丘北留守家庭児童会室	星丘 4-31-1	072-848-5463	
樟葉北留守家庭児童会室	楠葉野田 3-13-1	072-856-7284	
船橋留守家庭児童会室	東山 1-68	072-856-7449	
東香里留守家庭児童会室	東香里南町 44-1	072-854-8839	
伊加賀留守家庭児童会室	伊加賀西町 53-1	072-846-6032	
西長尾留守家庭児童会室	長尾西町 2-45-1	072-857-1994	

[図書館]

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
中 央 図 書 館	車塚 2-1-1	050-7105-8141	月～木 9時30分～19時00分 土日祝 9時30分～17時00分 ※軽読書コーナーは全日17時まで (金曜、第4火曜休館)
香里ヶ丘図書館	香里ヶ丘 4-2-1	050-7102-3111	建替えのため休館中
香里ヶ丘図書館 代替サービス スポット	香里ヶ丘 1-1-2 (南部生涯学習市民センター 1階)	050-7102-3111	月～土 9時00分～19時00分 日 祝 9時00分～17時00分 (第4火曜休館)
楠 葉 図 書 館	楠葉並木 2-29-5	050-7102-3114	月～土 9時00分～21時00分 日 祝 9時00分～17時00分 (第4月曜休館)
菅 原 図 書 館	長尾元町 1-35-1	050-7102-3115	
津 田 図 書 館	津田北町 2-25-3	050-7102-3123	
蹉 跎 図 書 館	北中振 3-27-10	050-7102-3117	
牧 野 図 書 館	宇山町 4-5	050-7102-3121	
御殿山 図 書 館	御殿山町 10-16	050-7102-3119	

[注]上記以外に年末年始、図書整理期間等の休館日があります。

[図書館分室]

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
枚方公園分室	伊加賀東町 6-8 (公設市場(サンパーク)2階)	072-844-7773	水～日 10時30分～17時00分 (祝日は休室)
村 野 分 室	村野西町 5-1 (枚方市役所村野分館内)	072-849-2416	月水金土日 10時30分～17時00分 (祝日は休室)
藤 阪 分 室	藤阪西町 6-4 (藤阪ハイツC4棟東隣)	072-868-1987	月水金土 13時00分～17時00分 (祝日は休室)
香里園 分室	香里園町 12-97 (香里会館2階)	072-831-6080	
宮之阪 分室	宮之阪 1-9-49 (京阪宮之阪駅高架下)	072-848-2421	月水木 13時00分～18時30分 土 10時30分～17時00分 (祝日は休室)
東香里 分室	東香里元町 30-19 (東香里元町会館2階)	072-853-4110	月水木土 13時00分～17時00分 (祝日は休室)
氷 室 分 室	尊延寺 3-1-47 (氷室小学校隣)	072-859-2562	
茄子作 分室	茄子作 4-3-10 (茄子作公民館横)	072-853-2372	
釈尊寺 分室	釈尊寺町 25-29 (釈尊寺団地内)	072-852-2900	水木金土 13時00分～17時00分 (祝日は休室)
市駅前サービス スポット	新町 2-1-35 (ラポールひらかた1階)	050-7102-3100	月～金 9時00分～19時00分 土日祝 10時00分～18時00分 (第2日曜日は休室)

[注]上記以外に年末年始、図書整理期間等の休館日があります。

[その他の教育機関]

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
教育文化センター	磯島北町 37-1	050-7102-3150	
野外活動センター	大字穂谷 4550	072-858-0300	
旧田中家鋳物民俗資料館	藤阪天神町 5-1	050-7105-8097	
枚方宿鍵屋資料館	堤町 10-27	072-843-5128	
渚市民体育館	渚西 3-26-10	072-898-8181	
総合スポーツセンター	中宮大池 4-10-1	072-848-4800	
伊加賀スポーツセンター	伊加賀西町 53-2	072-841-8118	
サブリ村野スポーツセンター	村野西町 5-1	072-805-0105	

(3) 教育関連施設

[公立高等学校]

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
府立枚方高等学校	大垣内町 3-16-1	072-843-3081	
府立牧野高等学校	南船橋 1-11-1	072-851-1050	
府立長尾高等学校	長尾家具町 5-1-1	072-855-1700	
府立香里丘高等学校	東中振 2-18-1	072-832-3421	
府立枚方津田高等学校	津田北町 2-50-1	072-858-7003	
府立枚方なぎさ高等学校	磯島元町 20-1	072-847-1001	
大阪府立高等学校	北中振 2-8-1	072-833-0101	

[公立特別支援学校]

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
府立枚方支援学校	村野西町 60-1	072-805-2731	府立むらの高等支援学校併設

[私立幼稚園]

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
牧野幼稚園	牧野阪 2-19-21	072-857-7227	
浄幼稚園	中宮東之町 4-22	072-840-1814	
明善幼稚園	藤阪元町 2-8-3	072-851-2551	
くずはローズ幼稚園	南楠葉 1-4-1	072-856-5058	
敬応学園幼稚園	田口 2-16-5	072-847-9291	
春日東野幼稚園	春日北町 4-20-1	072-858-2006	
第2ローズ幼稚園	招提北町 3-1518	072-855-7722	
東香里丘幼稚園	釈尊寺町 25-27	072-853-5665	
長尾幼稚園	長尾東町 1-48-23	072-858-5882	
楠京阪幼稚園	宮之阪 4-50-1	072-847-1350	
くずは青葉幼稚園	北楠葉町 38-1	072-857-8221	

[私立認定こども園] (社会福祉法人)

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
認 定 こ ど も 園 明 善 め ぐ み 園	藤阪南町 2-26-1	072-851-0022	幼保連携型
認 定 こ ど も 園 明 善 第 貳 め ぐ み 園	藤阪南町 2-26-1	072-851-0022	幼保連携型

[私立認定こども園] (学校法人)

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
認 定 こ ど も 園 う む の ほ し 幼 稚 園	岡南町 3-46	072-845-0550	幼保連携型
認 定 こ ど も 園 春 日 丘 幼 稚 園	田口山 2-5-1	072-868-1828	幼保連携型
認 定 こ ど も 園 勝 山 愛 和 香 里 ケ 丘 幼 稚 園	香里ヶ丘 4-17-3	072-854-0081	幼保連携型
認 定 こ ど も 園 鴻 池 学 園 第 二 幼 稚 園	禁野本町 1-13-22	072-848-5858	幼保連携型
認 定 こ ど も 園 清 香 学 園 幼 稚 園	東牧野町 24-6	072-857-6953	幼稚園型
認 定 こ ど も 園 鴻 池 学 園 第 三 幼 稚 園	長尾播磨谷 1-4051	072-855-3777	幼稚園型
認 定 こ ど も 園 報 徳 幼 稚 園	招提南町 3-10-10	072-855-7700	幼稚園型
認 定 こ ど も 園 う ら ら 幼 稚 園	牧野北町 6-8	072-857-6402	幼稚園型

[私立小学校]

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
関 西 創 価 小 学 校	東中振 2-10-2	072-834-0611	

[私立中学校]

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
常 翔 啓 光 学 園 中 学 校	禁野本町 1-13-21	072-848-0521	
東 海 大 学 付 属 大 阪 仰 星 高 等 学 校 中 等 部	桜丘町 60-1	072-849-7211	

[私立高等学校]

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
常 翔 啓 光 学 園 高 等 学 校	禁野本町 1-13-21	072-848-0521	
東 海 大 学 付 属 大 阪 仰 星 高 等 学 校	桜丘町 60-1	072-849-7211	
長 尾 谷 高 等 学 校	長尾元町 2-29-27	072-850-9111	

[私立大学]

名 称	所 在 地	電話番号	備 考
大 阪 歯 科 大 学	楠葉花園町 8 - 1	072-864-3111	
関 西 医 科 大 学	新町 2 - 5 - 1	072-804-0101	
関西外国語大学・短期大学	中宮東之町 16 - 1 御殿山南町 6 - 1	072-805-2801 072-805-2701	
摂 南 大 学	長尾峠町 45 - 1	072-866-3100	
大 阪 工 業 大 学	北山 1 - 79 - 1	072-866-5301	

2. 市立学校園の園児・児童・生徒数と学級数及び教職員の構成

(令和元年(2019年)5月1日現在)

[小学校]

(単位:人、学級)

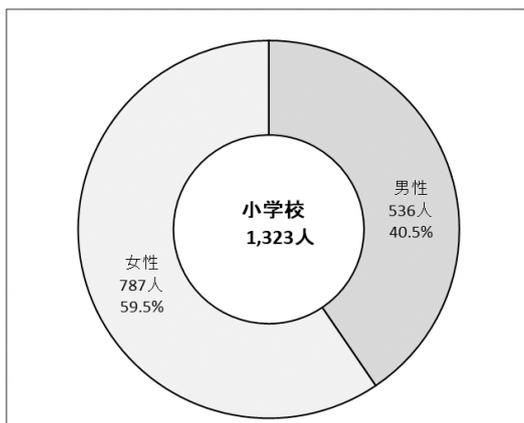
小学校名	校長名	教職員数	児童数							学級数
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	合計	
枚方小学校	北脇 宣至	44	131	130	141	136	137	136	811	32(7)
枚方第二小学校	矢野 玲子	32	79	96	69	86	81	91	502	22(5)
蹉跎小学校	位田 真由子	29	75	74	75	85	80	86	475	22(5)
香里小学校	大國 佐智代	36	125	114	131	121	118	118	727	27(5)
開成小学校	桐山 智巳	35	79	79	72	89	95	100	514	25(7)
五常小学校	林元 隆司	31	84	75	85	76	82	95	497	23(5)
春日小学校	坂本 雅人	35	86	90	91	93	95	106	561	25(7)
桜丘小学校	中村 尚	27	82	85	83	68	83	91	492	21(4)
山田小学校	福井 信治	17	27	35	27	32	40	39	200	11(5)
明倫小学校	麻生 恭子	22	42	38	41	33	43	50	247	16(5)
殿山第一小学校	野村 勝	22	66	69	58	59	72	60	384	15(3)
殿山第二小学校	高谷 信郎	26	76	60	63	79	80	58	416	19(5)
樟葉小学校	初瀬 憲	37	120	125	113	133	117	108	716	26(4)
津田小学校	小林 久夫	34	79	95	95	101	118	96	584	23(5)
菅原小学校	山本 容子	29	78	97	79	69	97	86	506	21(4)
氷室小学校	若園 博輔	22	48	46	48	50	56	59	307	16(4)
高陵小学校	松浦 作仁	15	37	32	23	30	25	19	166	9(2)
山之上小学校	北口 ひとみ	35	82	82	87	97	91	87	526	25(7)
牧野小学校	西尾 隆裕	44	108	103	119	125	103	139	697	31(9)
交北小学校	定井 則久	31	70	85	66	74	75	86	456	22(7)
香陽小学校	小橋 久美	27	75	53	65	73	79	71	416	19(5)
招提小学校	喜多 一友	28	58	61	63	70	69	76	397	17(5)
中宮小学校	原田 文彦	30	80	83	74	66	90	78	471	23(7)
小倉小学校	渡邊 聡	29	77	59	78	62	89	87	452	21(5)
樟葉南小学校	西本 浩樹	27	68	54	75	66	83	64	410	19(5)
磯島小学校	原田 穂積	32	84	63	73	83	84	62	449	22(6)
蹉跎西小学校	藤本 秀樹	31	76	82	89	89	99	114	549	23(5)
樟葉西小学校	能瀬 喜代美	28	62	55	77	94	73	107	468	19(4)
田口山小学校	石田 義明	34	78	86	90	91	101	90	536	23(5)
西牧野小学校	押野 太郎	22	42	55	47	46	41	40	271	15(4)
川越小学校	墨川 恵子	20	23	30	28	45	42	37	205	13(5)

小学校名	校長名	教職員数	児童数							学級数
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	合計	
蹉跎東 小学校	東村 和樹	24	56	63	70	71	73	71	404	17(4)
桜丘北 小学校	木場 寛典	29	58	60	78	65	73	75	409	19(6)
津田南 小学校	栴山 佐由里	52	132	142	180	155	146	172	927	37(8)
樟葉北 小学校	大船 純之	21	45	35	47	52	45	41	265	14(3)
船 橋 小学校	渋谷 眞宏	30	95	77	100	91	105	96	564	22(4)
菅原東 小学校	関 靖俊	44	140	153	135	149	124	118	819	30(5)
中宮北 小学校	中田 祐之	21	24	41	27	43	54	26	215	13(4)
山田東 小学校	仲谷 悦子	21	40	37	32	43	41	49	242	15(4)
藤 阪 小学校	小林 一夫	30	70	80	108	85	122	97	562	22(3)
平 野 小学校	俣野 浩一	33	84	93	86	97	77	86	523	24(7)
長 尾 小学校	山中 昌生	26	62	58	71	77	63	70	401	17(3)
東香里 小学校	竹林 清	22	60	45	50	44	53	54	306	15(3)
伊加賀 小学校	横田 浩典	32	75	97	80	108	110	110	580	23(4)
西長尾 小学校	今堀 志津	27	55	78	72	102	79	94	480	21(5)
枚方市立小学校全体の合計		1,323	3,293	3,350	3,461	3,603	3,703	3,695	21,105	934(224)

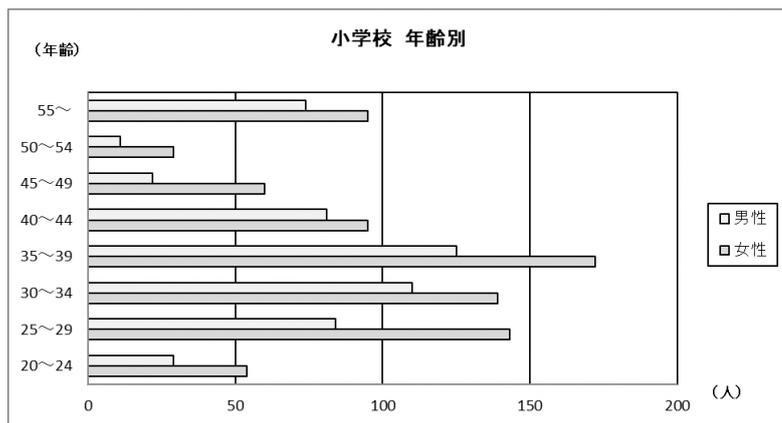
(注) 教職員数には校長・教頭・教諭・定数内講師・市費講師・養護教員・栄養職員・事務職員を含む。

学級数の()は支援学級数を内数で示す。

■小学校教職員 性別構成



■小学校教職員 年齢構成



(注) 教職員数には校長・教頭・教諭・定数内講師・市費講師・養護教員・栄養職員・事務職員を含む。

[中学校]

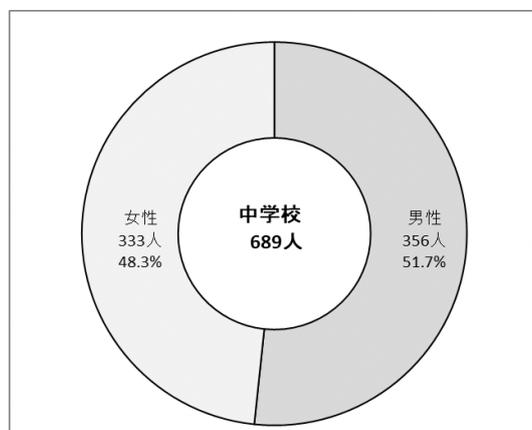
(単位：人、学級)

中学校名	校長名	教職員数	生徒数				学級数
			第1学年	第2学年	第3学年	合計	
第一中学校	若田 透	38	205	187	199	591	19(4)
第二中学校	足立 一彦	30	154	141	147	442	15(3)
第三中学校	田中 博	38	207	196	201	604	19(4)
第四中学校	大西 勝徳	51	271	275	292	838	26(4)
津田中学校	山寄 剛史	41	222	244	212	678	21(3)
枚方中学校	森 隆裕	37	176	182	179	537	20(5)
中宮中学校	鶴島 茂樹	32	136	129	135	400	15(3)
招提中学校	町田 弘明	29	103	98	97	298	13(4)
楠葉中学校	田辺 久信	32	162	143	150	455	15(3)
楠葉西中学校	田辺 元美	31	161	150	141	452	15(3)
東香里中学校	花崎 知行	43	226	214	231	671	21(3)
長尾中学校	栗山 貴志	37	199	198	194	591	19(4)
杉中学校	岩木 宏樹	51	282	279	289	850	27(6)
山田中学校	交久瀬 善浩	27	97	103	107	307	11(2)
渚西中学校	谷川 久夫	24	76	85	84	245	10(2)
桜丘中学校	北垣 学	32	140	145	158	443	16(4)
蹉跎中学校	若田 淳子	55	312	294	332	938	28(3)
招提北中学校	山本 俊夫	25	105	82	110	297	11(3)
長尾西中学校	石川 裕子	36	177	181	159	517	18(4)
枚方市立中学校の合計		689	3,411	3,326	3,417	10,154	339(67)

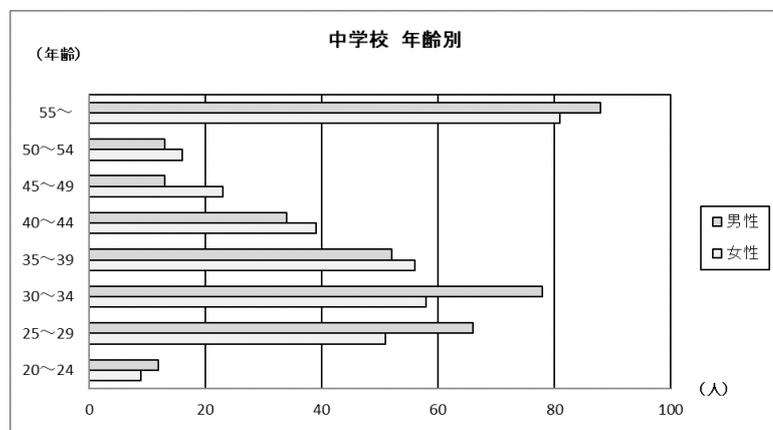
(注) 教職員数には校長・教頭・教諭・定数内講師・市費講師・養護教員・栄養職員・事務職員を含む。

学級数の()は支援学級数を内数で示す。

■中学校教職員 性別構成



■中学校教職員 年齢構成



(注) 教職員数には校長・教頭・教諭・定数内講師・市費講師・養護教員・栄養職員・事務職員を含む。

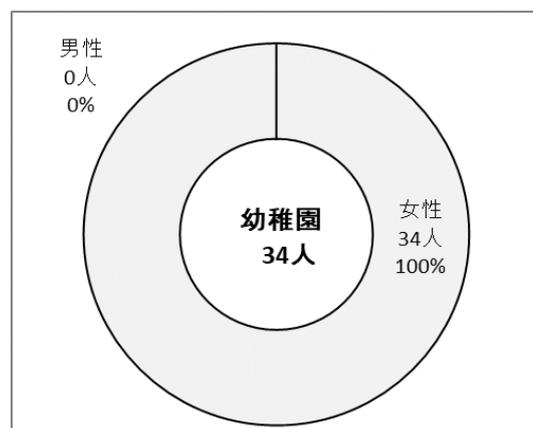
【幼稚園】

(単位：人、学級)

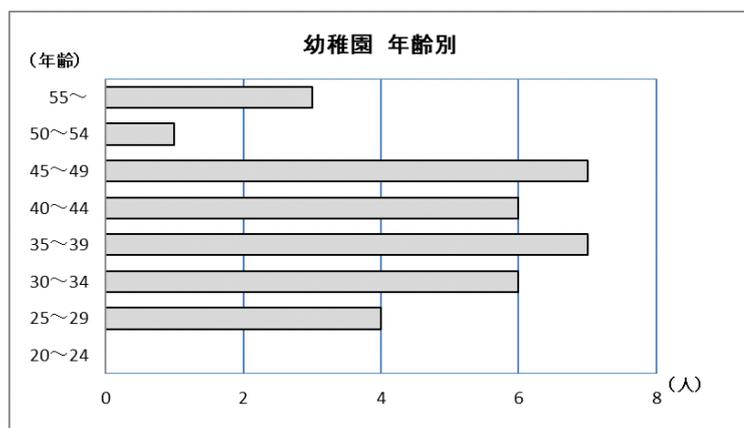
幼稚園名	園長名	教職員数	園児数				学級数
			3歳児	4歳児	5歳児	合計	
枚方幼稚園	植田 暁美	6	28	21	22	71	3
香里幼稚園	清水 麻紀	5	28	34	34	96	3
樟葉幼稚園	遠藤 幸子	5	26	35	29	90	3
高陵幼稚園	松本 志麻	5	20	16	17	53	3
蹉跎幼稚園	北尾 由希子	5	18	26	18	62	3
蹉跎西幼稚園	中井 愛実	4		14	16	30	2
田口山幼稚園	岡村 紗規子	4	17	23	25	65	3
枚方市立幼稚園全体の合計		34	137	169	161	467	20

(注) 教職員数には園長・教諭・定数内講師を含む。

■ 幼稚園教員 性別構成



■ 幼稚園教員 年齢構成



(注) 教員数には園長・教諭・定数内講師を含む。

教員 平均年齢

(単位：歳)

	男性平均	女性平均	全体平均
幼稚園		39.9	39.9
小学校	38.1	38.0	38.1
中学校	41.0	41.0	41.0

3. 教育施設（学校園）の現況

（令和元年（2019年）5月1日現在）

[小学校]

区分 施設名	所在地	開設年月	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	学級数 (支援学級内数)	保有普通 教室数
枚方小学校	枚方上之町9-21	明治6年2月	15,795	6,372	32(7)	34
枚方第二小学校	田宮本町11-1	昭和31年11月	14,612	6,303	22(5)	31
蹉跎小学校	北中振2丁目11-21	明治5年6月	16,240	6,003	22(5)	27
香里小学校	香里ヶ丘10丁目5-2	昭和21年10月	28,172	5,200	27(5)	32
開成小学校	香里ヶ丘2丁目5	昭和34年4月	18,998	5,381	25(7)	30
五常小学校	香里ヶ丘6丁目9	昭和37年4月	18,907	4,991	23(5)	28
春日小学校	高田2丁目15-10	昭和41年4月	15,179	6,171	25(7)	30
桜丘小学校	村野本町30-1	昭和39年4月	19,835	5,483	21(4)	27
山田小学校	甲斐田町1-27	明治12年11月	15,476	4,850	11(5)	18
明倫小学校	中宮西之町10-6	昭和32年6月	17,963	5,616	16(5)	13
殿山第一小学校	上野1丁目6-5	明治8年5月	11,019	4,907	15(3)	25
殿山第二小学校	養父ヶ丘2丁目7-53	明治5年9月	21,364	4,901	19(5)	25
樟葉小学校	南楠葉2丁目40-6	明治6年6月	14,269	5,848	26(4)	28
津田小学校	津田西町1丁目33-1	明治5年6月	14,053	5,929	23(5)	28
菅原小学校	藤阪中町13-1	明治40年3月	17,396	5,507	21(4)	26
氷室小学校	尊延寺3丁目1-38	明治35年4月	23,052	5,193	16(4)	25
高陵小学校	御殿山南町2-2	昭和43年4月	23,815	5,484	9(2)	26
山之上小学校	山之上1丁目32-1	昭和44年4月	19,712	5,888	25(7)	28
牧野小学校	上島東町4-18	昭和44年4月	20,389	6,522	31(9)	28
交北小学校	交北2丁目30-5	昭和45年4月	21,287	6,479	22(7)	36
香陽小学校	香里ヶ丘11丁目36-1	昭和46年4月	18,371	4,969	19(5)	21
招提小学校	招提東町2丁目2-8	昭和47年4月	19,621	6,257	17(5)	36
中宮小学校	中宮山戸町22-3	昭和47年4月	18,640	6,384	23(7)	36
小倉小学校	小倉町29-1	昭和47年4月	16,978	5,269	21(5)	25
樟葉南小学校	楠葉美咲1丁目25-1	昭和47年4月	19,161	6,007	19(5)	33
磯島小学校	磯島北町3-1	昭和48年4月	17,282	5,712	22(6)	28

区分 施設名	所在地	開設年月	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	学級数 (支援学級内数)	保有普通 教室数
蹉跎西小学校	出口6丁目20-1	昭和49年4月	18,175	5,233	23(5)	25
樟葉西小学校	楠葉並木1丁目11-1	昭和49年4月	19,876	5,572	19(4)	29
田口山小学校	田口山3丁目10-1	昭和50年4月	21,478	6,126	23(5)	35
西牧野小学校	西牧野2丁目1-1	昭和50年4月	20,516	4,936	15(4)	21
川越小学校	釈尊寺町30-1	昭和52年4月	23,971	4,906	13(5)	20
蹉跎東小学校	翠香園町30-1	昭和53年4月	29,064	5,713	17(4)	27
桜丘北小学校	星丘4丁目31-1	昭和53年4月	21,344	5,095	19(6)	23
津田南小学校	津田西町3丁目10-1	昭和54年4月	16,492	5,799	37(8)	32
樟葉北小学校	楠葉野田3丁目13-1	昭和54年4月	20,674	5,118	14(3)	25
船橋小学校	東山1丁目68	昭和54年4月	20,316	6,502	22(4)	37
菅原東小学校	藤阪東町3丁目10-1	昭和55年1月	19,154	6,490	30(5)	37
中宮北小学校	中宮北町4-1	昭和55年4月	16,925	4,870	13(4)	19
山田東小学校	田口3丁目16-1	昭和55年4月	20,026	5,302	15(4)	26
藤阪小学校	藤阪南町1丁目40-1	昭和56年4月	18,873	5,630	22(3)	27
平野小学校	招提中町1丁目53-1	昭和56年4月	19,904	5,675	24(7)	28
長尾小学校	長尾北町3丁目3-2	昭和57年4月	18,604	5,733	17(3)	27
東香里小学校	東香里南町44-1	昭和57年4月	19,056	5,021	15(3)	20
伊加賀小学校	伊加賀西町53-1	昭和58年4月	19,993	6,079	23(4)	30
西長尾小学校	長尾西町2丁目45-1	昭和59年4月	24,981	5,843	21(5)	23

[中学校]

区分 施設名	所在地	開設年月	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	学級数 (支援学級内数)	保有普通 教室数
第一中学校	渚東町2-1	昭和22年4月	30,638	7,946	18(3)	34
第二中学校	香里園東之町20-26	昭和26年5月	33,702	6,868	15(3)	17
第三中学校	養父東町1-5	昭和35年4月	24,902	9,651	19(4)	23
第四中学校	香里ヶ丘5丁目3-2	昭和36年4月	27,873	8,762	26(4)	34
津田中学校	津田北町1丁目32-1	昭和22年4月	22,314	8,024	21(3)	26
枚方中学校	西田宮町19-1	昭和45年4月	25,685	6,729	20(5)	20

区分 施設名	所在地	開設年月	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	学級数 (支援学級内数)	保有普通 教室数
中宮中学校	堂山1丁目2-6	昭和46年4月	21,517	7,378	15(3)	25
招提中学校	招提東町2丁目1-12	昭和48年4月	23,767	7,549	13(4)	29
楠葉中学校	楠葉丘2丁目12-1	昭和49年4月	22,150	8,045	15(3)	32
楠葉西中学校	西船橋2丁目43-1	昭和53年4月	20,559	7,931	15(3)	28
東香里中学校	東香里3丁目37-1	昭和53年4月	28,594	7,697	21(3)	26
長尾中学校	長尾北町3丁目3-1	昭和54年4月	21,083	7,912	19(4)	29
杉中学校	杉4丁目1-1	昭和57年4月	22,646	8,478	27(6)	36
山田中学校	交北2丁目28-1	昭和58年4月	21,019	8,098	11(2)	28
渚西中学校	渚西3丁目25-1	昭和58年4月	23,796	7,747	10(2)	24
桜丘中学校	桜丘町65-1	昭和58年4月	21,511	7,746	16(4)	24
蹉跎中学校	出口5丁目40-1	昭和58年4月	23,129	8,584	28(3)	32
招提北中学校	招提北町2丁目35-1	昭和60年4月	24,729	6,565	11(3)	17
長尾西中学校	長尾谷町1丁目73-1	昭和61年4月	22,776	8,829	18(4)	28

[幼稚園]

区分 施設名	所在地	開設年月	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	学級数 (支援学級内数)	保有普通 教室数
枚方幼稚園	枚方上之町11-16	昭和12年4月	2,959	1,013	4歳児 1 5歳児 1	6
香里幼稚園	香里ヶ丘10丁目5-2	昭和42年4月	5,486	545	4歳児 1 5歳児 1	4
樟葉幼稚園	南楠葉2丁目40-38	昭和42年4月	1,586	509	4歳児 1 5歳児 1	4
高陵幼稚園	御殿山南町2-5	昭和43年5月	2,561	732	4歳児 1 5歳児 1	4
蹉跎幼稚園	東中振2丁目1783-1	昭和45年4月	2,573	575	4歳児 1 5歳児 1	4
蹉跎西幼稚園	出口6丁目20-5	昭和50年4月	1,940	380	4歳児 1 5歳児 1	2
田口山幼稚園	田口山3丁目10-2	昭和51年4月	3,285	525	4歳児 1 5歳児 1	4

[調理場]

施設名		区分	所在地	開設年月	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	建物構造
小 学 校 給 食 調 理 場	第一学校給食 共同調理場		出屋敷西町2丁目6-6	平成27年12月	7,493	4,568	鉄骨造平屋建 (一部2階)
	第三学校給食 共同調理場		大峰元町2丁目2-10	昭和46年4月	4,011	2,003	重量鉄骨造 一部鉄筋コンクリート平屋建 (一部2階)
	招提学校給食 共同調理場		招提東町2丁目2-8	昭和53年5月 (平成30年8月コン テナ保管庫増築)	-	344	鉄骨造平屋建
	長尾学校給食 共同調理場		長尾北町3丁目3-2	昭和57年4月 (平成31年1月コン テナ保管庫増築)	-	387	鉄骨造平屋建
	桜丘小 単独調理場		村野本町30-1	昭和57年4月 (改築)	-	325	鉄骨造平屋建
	香里小 単独調理場		香里ヶ丘10丁目5-2	昭和49年9月	-	286	鉄骨造平屋建
	菅原小 単独調理場		藤阪中町13-1	昭和50年9月	-	185	鉄筋コンクリート造 平屋建
	樟葉西小 単独調理場		楠葉並木1丁目11-1	昭和50年9月	-	286	鉄骨造平屋建
	田口山小 単独調理場		田口山3丁目10-1	昭和51年5月	-	286	鉄骨造平屋建
	川越小 単独調理場		釈尊寺町30-1	昭和52年5月	-	313	鉄骨造平屋建
	樟葉南小 単独調理場		楠葉美咲1丁目25-1	昭和53年5月	-	299	鉄骨造平屋建
	津田南小 単独調理場		津田西町3丁目10-1	昭和54年5月	-	300	鉄骨造平屋建
	桜丘北小 単独調理場		星丘4丁目31-1	昭和54年5月	-	303	鉄骨造平屋建
	船橋小 単独調理場		東山1丁目68	昭和55年1月	-	303	鉄骨造平屋建
山之上小 単独調理場		山之上1丁目32-1	昭和55年4月	-	316	鉄骨造平屋建	
菅原東小 単独調理場		藤阪東町3丁目10-1	昭和55年9月	-	303	鉄骨造平屋建	

施設名		区分	所在地	開設年月	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	建物構造
小学校給食調理場	藤 阪 小 単 独 調 理 場		藤阪南町1丁目40-1	昭和56年4月	-	303	鉄骨造平屋建
	蹉 跎 西 小 単 独 調 理 場		出口6丁目20-1	昭和56年9月	-	317	鉄骨造平屋建
	平 野 小 単 独 調 理 場		招提中町1丁目53-1	昭和57年4月	-	315	鉄骨造平屋建
	東 香 里 小 単 独 調 理 場		東香里南町44-1	昭和58年4月	-	315	鉄骨造平屋建
	樟 葉 北 小 単 独 調 理 場		楠葉野田3丁目13-1	昭和58年4月	-	292	鉄骨造平屋建
	春 日 小 単 独 調 理 場		高田2丁目15-14	平成13年11月	-	476	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造平屋建
	小 倉 小 単 独 調 理 場		小倉町29-1	平成17年3月	-	420	鉄骨造平屋建
	山 田 東 小 単 独 調 理 場		田口3丁目16-1	平成17年3月	-	426	鉄骨造平屋建
	中 宮 小 単 独 調 理 場		中宮山戸町22-3	平成18年3月	-	405	鉄骨造平屋建
	西 長 尾 小 単 独 調 理 場		長尾西町2丁目45-1	平成18年3月	-	405	鉄骨造平屋建
	蹉 跎 東 小 単 独 調 理 場		翠香園町30-1	平成19年3月	-	325	鉄骨造平屋建
	伊 加 賀 小 単 独 調 理 場		伊加賀西町53-1	平成19年3月	-	325	鉄骨造平屋建
	牧 野 小 単 独 調 理 場		上島東町4-18	平成20年3月	-	348	鉄骨造平屋建
中学校給食調理場 第一学校給食 共同調理場		出屋敷西町2丁目6-7	平成27年12月	7,493	4,568	鉄骨造平屋建 (一部2階)	

[注]・第一学校給食共同調理場敷地面積及び建物面積は小学校及び中学校給食共同調理場合計の数値。

・単独調理場の敷地面積は、各小学校の敷地面積に含む。

・招提及び長尾学校給食共同調理場の敷地面積は、各小学校の敷地面積に含む。

4. 教育施設（教育機関）の現況

（令和元年（2019年）5月1日現在）

[教育機関]

区分 施設名		所在地	開設年月	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	建物構造
教育文化 センター		磯島北町37-1	昭和62年8月	4,043.73	4,253.77	鉄筋コンクリート造3階建
旧田中家 鑄物民俗 資料館	工場	藤阪天神町5-1	昭和59年10月	8,114.67	245.19	木造平屋建
	主屋				126.07	木造平屋建
	管理棟		昭和58年4月		802.75	鉄骨造2階建
枚方宿 鍵屋資料館	主屋	堤町10-27	平成13年7月	810.49	253.2	木造平屋建
	別棟				556.63	木造2階建
	蔵				31.03	土蔵造
文化財課 山田分室		都丘町6-9	平成30年4月	591.68	専有面積 556.32	鉄筋コンクリート造2階建
蹉跎東プレハブ 文化財収蔵庫		翠香園町30-1	平成3年7月	1,992.11	129.6	鉄骨造平屋建
元山田幼稚園 施設文化財 収蔵庫	倉庫	甲斐田町1-27	平成15年10月	1,787.34	314.31	軽量鉄骨造平屋建
	集会室				85.75	軽量鉄骨造平屋建
野 外 活 動 セ ン タ ー	メインホール	大字穂谷4550	昭和45年8月	183,400 (一部借地)	3,657	鉄筋コンクリート造 地下1階地上2階建
	フレッシュ エアーテント				20張(各24)	鉄筋コンクリート造平屋建 テント張り
	ロジ棟				5棟(各115)	鉄筋コンクリート造2階建
	ステラホール				306	鉄筋コンクリート造2階建
	スタッフ棟				2棟(各96)	鉄筋コンクリート造2階建
	野外便所				2棟(各59)	鉄筋コンクリート造平屋建
	炊飯棟				2棟(各215)	鉄筋コンクリート造平屋建
	グリーンスポーツ				15基	木製遊具

区分 施設名	所在地	開設年月	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	建物構造
総合体育館	中宮大池4丁目 10-1	昭和58年7月	13,744	8,552	鉄筋コンクリート造 地上4階建 地下1階
陸上競技場	中宮大池4丁目 10-1	平成2年5月	25,462	(競技場) 19,618 (建物) 2,355	全天候型トラック天然芝フィールド 鉄筋コンクリート造2階建スタンド (3種公認)
藤阪テニスコート	藤阪南町1-334 -4	平成11年7月	1,242.59	更衣室、倉庫、 仮設トイレ	砂入り人工芝コート2面
藤阪東町中央公園 テニスコート	藤阪東町1丁目 5011-8	平成27年4月	2,028.90	倉庫 仮設トイレ	砂入り人工芝コート2面
春日テニスコート	春日西町2-6 -2	平成27年10月	12,625.40	管理事務所	砂入り人工芝コート3面 グリーンサンドコート4面 練習板1面
渚市民体育館	渚西3丁目26-10	平成10年3月	8,385	5,776	鉄筋コンクリート造 地上3階建 地下1階
枚方相撲場	王仁公園1-1	平成7年2月	400	400	屋根付相撲場鉄骨造 平屋建 四方形屋形
伊加賀 スポーツセンター	伊加賀西町53- 2	平成23年4月 (体育館) 平成25年4月	32,983	(体育館) 3,144	鉄筋コンクリート造3階建
				(テニスコート) 2,750	砂入り人工芝コート5面
				(運動広場) 9,900	—
サプリ村野 スポーツセンター	村野西町5-1	平成25年4月	サプリ村野内	(体育館) 432	鉄筋コンクリート造平屋建
				(多目的体育室) 4室(各65)	鉄筋コンクリート造3階建
				(運動広場) 7,500	—
東部公園野球場	大字尊延寺2987 -1	平成27年4月	11,220.10	—	両翼92m センター115m

区分 施設名	所在地	開設年月	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	建物構造
中央図書館	車塚2丁目1-1	平成17年4月	建設面積 1,479.66	9,301.77	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上7階建
香里ヶ丘図書館 代替サービス スポット	香里ヶ丘1丁目 1-2	平成15年12月	南部生涯学習 市民センター 内	専有面積 38.4	鉄筋コンクリート造3階建 (1階部分)
楠葉図書館	楠葉並木2丁目 29-5	昭和57年5月	楠葉生涯学習 市民センターと合築	専有面積 716.63	鉄筋コンクリート造3階建 (1階部分)
菅原図書館	長尾元町1丁目 35-1	昭和58年8月 (新築移転) 平成9年1月	菅原生涯 学習市民 センターと合築	専有面積 969.61	鉄筋コンクリート造3階建 (1階部分)
蹉跎図書館	北中振3丁目27 -10	昭和61年5月	蹉跎生涯学習 市民センターと合築	専有面積 936.22	鉄筋コンクリート造3階建 (1階部分)
御殿山図書館	御殿山町10-16	昭和62年5月	御殿山生涯 学習美術 センターと合築	専有面積 815.71	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階建 (地階部分)
牧野図書館	宇山町4-5	昭和63年5月	牧野生涯学 習市民センター と合築	専有面積 936.02	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階建 (1階部分)
津田図書館	津田北町2丁目 25-3	平成2年5月	津田生涯学習 市民センターと合築	専有面積 1,043.57	鉄筋コンクリート造 4階建(2階部分)
中央図書館 市駅前サービス スポット	新町2丁目1- 35	平成29年4月	総合福祉会館 ラポール ひらかた内	専有面積 38.13	鉄筋コンクリート一部鉄骨 鉄筋一部鉄骨造 地上4階、地下1階、 PH1階(1階部分一 部)
枚方公園分室	伊加賀東町6- 8	昭和49年4月 (新築移転) 平成2年1月	公設市場 (サンパーク) 2階	専有面積 121.2	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上3階、 一部4階建 (2階部分一部)
村野分室	村野西町5-1	昭和49年4月 (移転) 平成13年9月	サブリ村野内	専有面積 131.20	鉄筋コンクリート造3階建 2階建(1階部分一部)

区分 施設名	所在地	開設年月	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	建物構造
東香里分室	東香里元町30-19	昭和50年9月	東香里元町 会館内	専有面積 84.15	鉄筋コンクリート造 2階建（2階部分）
藤阪分室	藤阪西町6-4	昭和50年9月	466.08	148	鉄筋コンクリート造平屋建
釈尊寺分室	釈尊寺町25-29	昭和54年7月	釈尊寺団地内	専有面積 69	鉄筋コンクリート造 2階建（2階部分一部）
茄子作分室	茄子作4丁目3 -10	昭和56年1月	茄子作公民館横	77.76	木造平屋建
宮之阪分室	宮之阪1丁目9 -49	昭和58年4月	京阪宮之阪 駅高架下	108.79	鉄骨造、高架下建物
香里園分室	香里園町12-97	昭和62年5月	香里会館内	専有面積 140.25	鉄筋コンクリート造 2階建（2階部分）
氷室分室	尊延寺3丁目1 -47	平成6年12月	1,161.48	200.77	鉄骨造平屋建

[注] 香里ヶ丘図書館は、平成30年4月～令和2年（2020年）夏頃まで建替えによる休館のため、南部生涯学習市民センターにて代替サービスを実施。

第2章 教育委員会の取り組み

本 編

1. 総合教育部の主な取り組み

(1) 学校園の安全対策

カメラ及び校門のオートロック装置に連動したワイヤレス子機付きインターホン等の活用や、保護者・地域住民の協力による立哨により校門での安全監視を行っていますが、今後は効果的・効率的な手法を検討しながら児童の安全確保を図ります。



安全監視ボランティアの活動

(2) 小・中学校教育用ICT機器等の整備

小・中学校におけるICT整備については、第四中学校で実施する「未来学習研究事業」等で検証しながら、本年度中に「(仮称) 枚方市学校教育情報化推進計画」を策定します。既に整備済みのICTも活用して中学校から段階的に国基準(3学級に1学級分)以上の整備促進を図ります。



(3) 公立幼稚園における3歳児保育と子育て支援策の充実

少子化が進む一方で、依然として保育需要が増加傾向にある中で、公立幼稚園では、3歳児保育、長時間の預かり保育と1・2歳児の小規模保育を組み合わせた「枚方版子ども園」など子育て支援に取り組むとともに、令和元年(2019年)10月から実施予定の幼児教育無償化への対応を行います。また、蹉跎西幼稚園については、令和2年度(2020年度)末に閉園とし、生み出された財源については、保育需要等の動向を踏まえながら子育て施策の充実に活用していきます。

(4) 枚方市学校施設整備計画の実施・計画の策定

「枚方市学校施設整備計画(第1期実施計画(前期)平成27~平成32年度)」に基づき、「枚方市市有建築物保全計画」や「学校トイレ改善事業」等と整合を図りながら、財政負担の平準化とコスト縮減を図りつつ、計画的により良い教育環境の整備に努めます。

令和3年度(2021年度)から実施予定の「枚方市学校施設整備計画(第1期実施計画(後期))

■枚方市学校施設整備計画

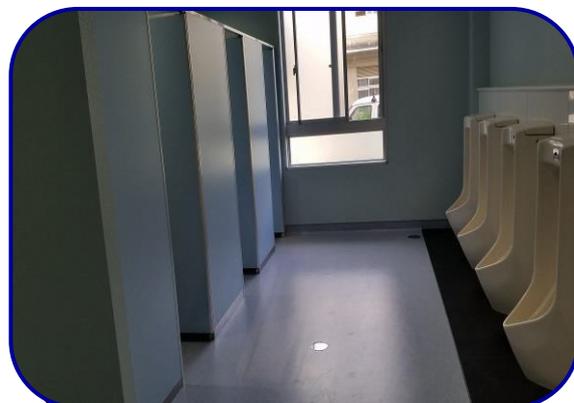
学校施設老朽化対策ビジョンにおける計画的な整備・学校施設の長寿命化・重点化の考えなどを踏まえ、中長期的な視点から財政負担の軽減を考慮し、時代のニーズに適した教育環境の質的向上等の観点をあわせた効果的・効率的な学校施設の整備を図るため、平成27年3月に策定したものです。

令和3（2021）～令和8（2026）年度）」については、市有建築物保全計画及びトイレ改善事業をより効率的に実施するために、一元化した計画を策定します。

（5）学校トイレ改善事業

児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう、「明るさ、清潔さ、使いやすさ、省エネ対策、コスト対策」を考慮し、ドライ方式による洋式トイレへの全面改造や多目的トイレの設置等、「枚方市学校施設整備計画」や「枚方市市有建築物保全計画」との整合性を図りながら、トイレの改造工事を行い、老朽化したトイレの機能の充実を図ります。

また、改修工事等の「ハード面」において、快適になったトイレを継続して維持する為に、「ソフト面」での管理・運営方法の周知に努めます。



改修工事にてドライ化
になったトイレ

（6）学校規模等適正化事業

教育環境向上のため、将来の児童・生徒数を見据え、「枚方市学校規模等適正化基本方針」に基づき、学校規模の適正化に向けて具体的な取り組みを進めます。

■枚方市学校規模等適正化基本方針（改定版）について
今後、小規模校が増加し、著しい児童・生徒数の減少により、学校運営に支障を及ぼすことが懸念されることから、小規模校の解消を最優先課題と位置づけ、小・中学校における良好な教育環境の確保を図るため、「枚方市学校規模等適正化基本方針〔改定版〕」を平成29年6月に策定いたしました。

（7）学校運営に係る事業の再構築

学校運営に係るすべての業務を総合的に捉え、より円滑で効果的な取り組みとなるよう民間活力の活用も含め、その方向性について検討を進め、学びの環境の充実を図ります。

（8）学校給食の充実

「おいしさ・品質日本一」を目標に掲げ、子どもたちが「枚方の給食を食べたい」と思うおいしい給食の提供をめざします。

中学校給食について、全員喫食の実現に向けて実施手法の検討を進めます。また、小学校給食について、老朽化が進む小学校給食調理場について、効率的・効果的な整備を図ります。



2. 学校教育部の主な取り組み

(1) 学力向上の取り組みの推進

「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくりと個に応じた家庭学習を推進し、子どもたちの確かな学びと自立の力を育みます。

○ 学力の向上

児童・生徒一人ひとりの知識や技能の習得及び思考力・判断力・表現力の育成に向けて、全中学校区へコーディネーターを配置し学力向上委員会、教科会、学年会等の充実を図り、組織的な取り組みを推進するとともに、学力向上・授業づくりに高い見識を有する学識経験者の招聘による教員の授業力向上を図ります。また、ICT機器を効果的に活用し、より高い学習効果につながる授業改革を進めるとともに、少人数学級編制や習熟度別少人数指導等により、きめ細かな指導の充実を図ります。



さらに、授業・課業時間外・家庭学習において、パソコンやタブレットによる学習コンテンツを効果的に活用することで、新学習指導要領で求められている言語能力や情報活用能力の育成を図ります。

○ 学力状況を把握・分析し指導方法等を明確化・公表

全国学力・学習状況調査実施後すぐに、教員が問題分析・自校採点及び分析を行い、学校全体として課題や個々の課題にも正対した取り組みを行うとともに、教科会・学年会における授業研究の推進を図ります。

また、児童・生徒一人ひとりの課題を踏まえ、宿題や自主学習ノート等、家庭における学習習慣の充実に努めます。

(2) 英語教育の推進

新学習指導要領の全面実施を見据え、児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成を図ります。

○ 英語教育指導助手の配置

全中学校に外国人英語教育指導助手（NET）、全小学校に英語が堪能な日本人英語教育指導助手（JTE）を配置し、英会話や英語を使った体験的な学習の充実を図ります。



英語を使った体験的な学習を実施

○ 指導体制の強化

新たに、小学校外国語活動の特別免許を所有する教員を配置し、小学校英語専科教員及び日本人英語教育指導助手（JTE）を拡充するなど、小学校外国語活動の指導体制の強化を図ります。

○ 外部検定試験の活用

英語の4技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）をバランスよく育成するため、全市立中学校第2学年の全生徒を対象に4技能に対応した外部検定試験を実施し、その結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導及び生徒の学習意欲の向上に活かしています。

○ 大学との連携

関西外国語大学と連携し、「枚方英語村」を実施するなど、児童・生徒が留学生と交流し、英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育みます。

（3）読書活動の推進

児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に配置した学校司書と司書教諭が連携して、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図ります。

（4）体力向上の取り組みの推進

児童・生徒の体力向上に向けた取り組みを計画的に推進します。

また、中学校部活動について生徒の心身のバランスが取れた成長を促す観点から活性化と充実を図ります。

○ 体力の向上

各学校で、全児童・生徒を対象に体力テストを実施し、その結果に基づいて体力向上推進計画を作成・実践するとともに、大阪体育大学と連携して、授業改善をはじめ児童・生徒の体力向上に向けた取り組みを推進します。

また、小学生対象の陸上競技大会、駅伝競走大会、水泳教室等を通じて児童の体力向上を図ります。



○ 中学校部活動の充実

専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣し、指導の充実を図ります。また、「国のガイドライン」を踏まえて、策定した「枚方市中学校部活動方針」に即して、適切な練習時間や休養日を設定するなど、生徒にとって望ましい環境を構築し、地域、学校、競技種目等に応じた多様な形で最適に部活動を実施します。

(5) 生徒指導の充実

学校・家庭・地域・関係機関が連携し、一人ひとりの児童・生徒に応じた指導の充実に努め、いじめ・暴力行為・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応を行います。



(6) 支援教育の充実

すべての幼児・児童・生徒、教職員及び保護者並びに地域に対して、支援教育の理解と啓発を推進し、インクルーシブ教育システム(※)の理念を踏まえ、すべての子どもが「ともに学び、ともに育つ」という観点からの学校づくり・集団づくりの充実に図り、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた支援を行います。

また、全小・中学校に非常勤講師を配置し、支援教育コーディネーターの受け持つ授業時間を軽減することにより、支援教育コーディネーターが、配慮を要する児童・生徒の状況把握や支援、関係諸機関との連携等を行う時間を確保し、支援教育の充実に努めます。



■インクルーシブ教育システム

障害のある者と障害のない者が、同じ場で、可能な限りともに学ぶ仕組みのこと。

(7) 少人数学級充実事業の推進

小学校第1学年から第4学年までを支援学級在籍児童を含む35人学級編制、第5・第6学年については、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を実施します。

(8) 教職員研修の充実

「キャリアステージに応じて学び続ける教職員の育成」「主体的・対話的で深い学びの実現に向け、『Hirakata 授業スタンダード』に基づいた授業改善(第2ステージ)」「子ども理解を基盤とした学校経営や学級経営、授業研究・研修への支援の充実」を図ります。

(9) コミュニティ・スクールの推進

各学校で特色ある教育活動を展開していくため、枚方市におけるコミュニティ・スクールを平成30年度から小学校に順次設置し、保護者や地域住民とともに学校運営を進める「地域とともにある学校づくり」を推進します。

(10) 幼児教育の充実

3歳児保育の実施と預かり保育の拡充をします。

3. 社会教育部の主な取り組み

(1) 「児童の放課後を豊かにする基本計画」の策定

昨年度に続き小学校内で実施する放課後子ども教室モデル事業の実施結果及び児童の放課後対策審議会における調査・審議も踏まえ、子どもにとって望ましい「放課後」の実現に向け、既存事業との関係性についても検証し、本市の実情に応じた「児童の放課後を豊かにする基本計画」を策定します。

(2) 社会教育の推進

生涯学習の一助となる、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術等を学ぶ機会を提供し、学習する主体の形成を図ります。市民が主体性を持って、地域の人々とともに生きられるよう、子育てや親への支援を行う家庭教育支援事業、暮らしに役立つ社会制度等についての情報や知識を学ぶ社会教育基礎講座、人権を擁護し、尊重することの大切さについて、市民の気づきを促す社会教育（人権）講座等の開催のほか、枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」を実施します。各事業の実施に当たっては、必要な人に必要な情報が届くよう、適切な周知に努めます。



枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」
北河内識字・日本語交流会

(3) 留守家庭児童会室のあり方の検討

放課後子ども教室の本格実施を見据え、民間活力の活用や適切な施設整備など、事業の再構築に向けた検討を行います。

(4) 歴史文化遺産の保存・活用（特別史跡百済寺跡再整備事業）

市内の貴重な歴史文化遺産を活用し、まちへの愛着を育むため、整備後50年以上が経過している「特別史跡百済寺跡」について、抜本的な遺構保存工事と合わせ、憩いの場となる史跡公園としての再整備を進めます。

■特別史跡百済寺跡

東大寺大仏造立の際、百済の王族の末裔、百済王敬福は天平21年（749）陸奥国で産出した金を献上した功により、翌天平勝宝2年（750）宮内卿に任ぜられ、その後河内守を加えられました。以後、百済王氏は中宮の地に住み、奈良時代後半に氏寺として百済寺を建立したと考えられています。



百済寺跡公園入口

(5) スポーツ施策の推進

平成29年3月に策定した「枚方市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツと関わる各関係部署・団体等と連携・協力し、各種スポーツ活動の推進と施設の利用環境の整備に向けた取り組みを行います。

また、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けての施策を進めます。



トップアスリートとのふれあい事業
ノーマライゼーション陸上競技チャレンジ

(6) 香里ヶ丘図書館・中央公園の一体的整備

隣接する香里ヶ丘中央公園との一体的整備を進め、また機能連携を図りながら、香里ヶ丘地域のまち全体の魅力を高めるとともに定住促進につなげていきます。



建替えを進める香里ヶ丘図書館

(7) 学校図書館支援事業

読書好きの子どもを育み、児童・生徒の学力向上につながるよう、小中学校図書館の機能充実に向けた支援を強化します。

学校図書館と市立図書館との蔵書データベースの有効活用を進めるとともに、児童・生徒の読書活動および学習活動の充実を支援します。



小学校でのオリエンテーション

先生と一緒に書架移動と本の並べ替え



(8) 市駅周辺の図書館機能の充実

市の中心拠点・駅近のメリットを生かして、市の魅力をアピールし、定住促進に寄与できるよう、行政機能の一つである「図書館機能」の充実に向けた検討を進めます。

第2章 教育委員会の取り組み

資料編

1. 学校におけるICT環境と主な教育用ICT機器の整備状況

(令和元年(2019年)5月1日現在)

(1) 学校におけるICT環境の整備状況

指 標	国目標	全国平均	大阪府平均	枚方市
教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数	3.6人/台	5.6人/台	5.0人/台	6.6人/台
普通教室における校内LAN整備率	100.0%	90.2%	96.7%	100.0%
超高速(30Mbps以上)インターネット接続率	100.0%	91.8%	99.8%	100.0%
教員の校務用コンピュータ整備率(非常勤講師は含まず)	100.0%	119.9%	110.3%	121.7%
統合型校務支援システムの整備状況	100.0%	52.5%	60.0%	100.0%

全国・大阪府の数値については平成29年度「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」(平成30年10月結果公表)から引用

(2) 主な教育用ICT機器の整備状況

(単位:台)

項 目	小学校	中学校	計
校務用PC	1,482	784	2,266
教育用PC(うちタブレット)	2,599(2,136)	2,210(1,142)	4,809(3,278)
指導用PC(うちタブレット)	368(246)	257(122)	625(368)
児童・生徒用PC(うちタブレット)	2,231(1,890)	1,953(1,020)	4,184(2,910)
デジタルテレビ(50インチ)	894	50	944
プロジェクタ	121	295	416
実物投影機(書画カメラ)	845	148	993
テレビ型電子黒板	45	20	65
ユニット型電子黒板	45	19	64

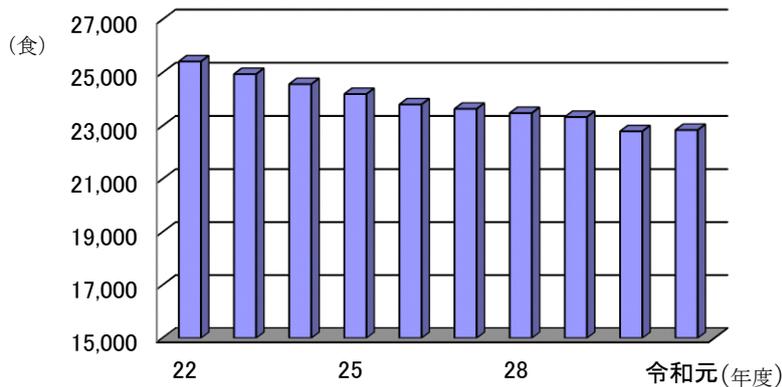
2. 学校給食

(令和元年(2019年)5月1日現在)

(1) 学校給食の実施状況

実施対象	市立全小学校	市立全中学校
学校給食費	基本月額 3,800 円/人 (全学年同額)	基本 330 円/食 (全学年同額)
給食実施日	1 学期 66 回、2 学期 79 回、3 学期 49 回 各学期、始業式の翌日から終業式の前日	1 学期 66 回、2 学期 79 回、3 学期 49 回 各学期、始業式の翌日から終業式の前日

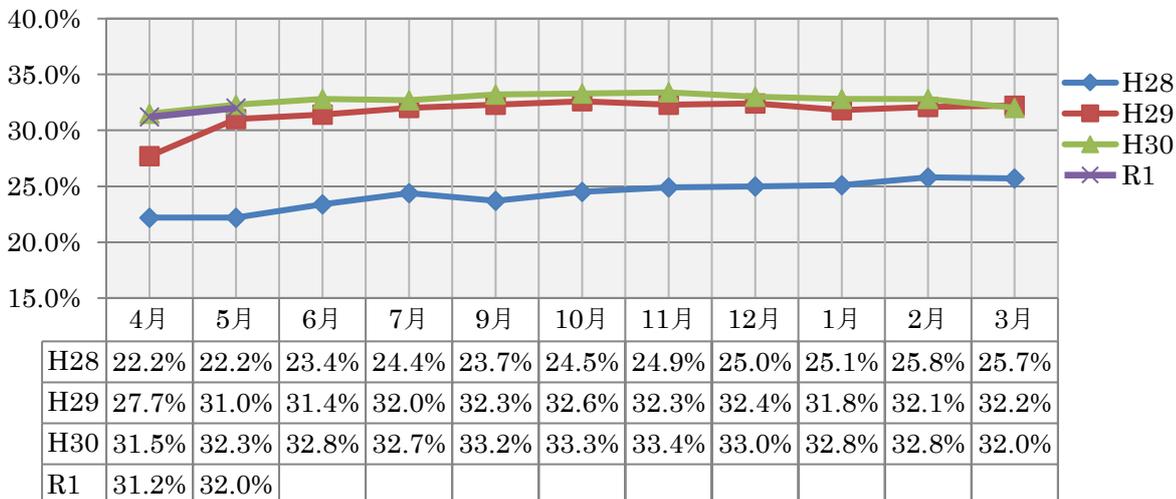
(2) 小学校給食の食数推移 (児童・教職員・調理員含む)



年度	食数
平成 22 年度	25,423
平成 23 年度	24,947
平成 24 年度	24,570
平成 25 年度	24,197
平成 26 年度	23,806
平成 27 年度	23,641
平成 28 年度	23,482
平成 29 年度	23,334
平成 30 年度	22,796
令和元年度 (2019 年度)	22,846

(各年度 5 月 1 日現在)

(3) 中学校給食の喫食率推移 (生徒)



(4) 学校給食会

枚方市では安全で美味しい学校給食を確実に子どもたちに届けるため、枚方市学校給食会(給食会)と枚方市教育委員会が連携した取り組みを行っています。

給食会は、各小中学校のPTA委員や校長、栄養教諭等の学校関係者と調理場職員で構成され、保護者等から徴収した給食費の管理・運営、献立の作成、給食食材の購入、食材を購入する業者の選定などを行っています。また、これらの取り組みのため、給食会には学校給食物資納入業者選定委員会、学校給食物資選定委員会、学校給食献立作成委員会・学校給食指導委員会・中学校給食委員会の5つの委員会を設置しています。

(5) 学校給食の内容

《小学校給食 献立の一例》

枚方市の郷土料理

内 容：すしご飯・焼きのり・ごんぼ汁・
焼き鯖手巻き・じゃこ豆・牛乳



《中学校給食 献立の一例》

季節の献立

内 容：黒糖パン・冷麺・冷麺の具・肉だんごの
甘酢あんかけ・もやしのピリカラ炒め・牛乳



パン	<p>小学校は1週間に2回、中学校は2週間に1回パンを提供しています。</p> <p>パンは、低・中・高学年・中学生それぞれにあった大きさのものを提供しており、コッペパン・食パンを中心に、様々な種類のパンがあります。(うずまきパン、レーズンパン、黒糖パン、ごまパン、紫芋パン、クロワッサン、アップルパン、黒豆パン等)</p>
ごはん	<p>小学校の精米は4月～12月と3月は大阪産米(ヒノヒカリ)、1月と2月は大阪産れんげ栽培米(ヒノヒカリ)を使用しています。中学校の精米は公益財団法人大阪府学校給食会取扱いの北海道産おぼろづきを使用しています。</p> <p>白飯を中心に、献立にあわせて様々なごはんを提供しています。(ひじきごはん、ごぼうごはん、かやくごはん、玄米ごはん、わかめごはん、すしごはん、黒米ごはん等)</p>
牛乳	<p>牛乳は、毎朝、工場から各小・中学校に配送されます。乳牛からしぼった生乳を原料として、不純物を取り除き、質を均一にし、殺菌などの処理を行ったものを提供しています。</p>
おかず	<p>煮物や汁物・揚げ物・蒸し物・焼き物などいろいろなおかずを作ります。また、季節の行事食や郷土料理、世界の料理も取り入れています。これらの献立は、子どもたちに必要な栄養素の量とバランス、食品の構成、更には子どもたちの嗜好なども参考に、栄養教諭・栄養士が案を作成し、給食担当の教諭等が参加する献立作成委員会で決定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事食 <ul style="list-style-type: none"> 【正月】雑煮、田作り、黒豆 【節分】年越しのいわし、粕汁、炒り大豆 【ひなまつりや卒業祝い】ちらし寿司、鯛の塩焼き、ひなあられ 等 ・枚方市や大阪府北河内地区に伝わる料理・季節の料理 <ul style="list-style-type: none"> じゃこ豆、くるみ餅、ごんぼ汁、焼き鯖手巻き 等 ・日本各地の郷土料理：しっぽくうどん、ほうとう、いも煮、しょつつる汁 等 ・世界の料理：ポトフ、ボルシチ、カレー・ガー、タッカルビ、プルコギ 等

(6) 学校給食の充実

① 小学校給食への地元農産物の利用について

野菜類については、枚方産・大阪産合わせて24品目で30.4トン、うち枚方産は19品目、19.3トンを使用しました。また、米については、大阪産「ヒノヒカリ」を157.7トン、大阪産れんげ栽培米を38.6トン、合わせて196.3トンを使用しました。

なお、地元農産物（大阪府内産）の割合は重量ベースで32.3%でした。

(単位：kg)

品目	枚方産農産物 購入量	大阪産農産物 購入量	枚方産・大阪産 農産物購入量
1 えんどう豆	89.1		89.1
2 玉葱	5,530.3		5,530.3
3 さつまいも	1,094.3		1,094.3
4 大根	2,991.5		2,991.5
5 キャベツ	49.0		49.0
6 白菜	1,045.4		1,045.4
7 ジャガイモ	922.2		922.2
8 ほうれん草	1,181.6		1,181.6
9 チンゲンサイ	1,250.8		1,250.8
10 九条ねぎ	803.1		803.1
11 なす	244.9		244.9
12 小松菜	1,118.8		1,118.8
13 冬瓜	1,730.7		1,730.7
14 人参	196.8		196.8
15 金時人参	107.6		107.6
16 れんこん	288.7		288.7
17 かぼちゃ	494.8		494.8
18 里芋	50.1		50.1
19 黒米	148.0		148.0
20 青葱		3,792.0	3,792.0
21 たけのこ		4,790.0	4,790.0
22 おおさかしろな		891.8	891.8
23 豆苗		1,366.6	1,366.6
24 水菜		252.1	252.1
合計	18,792.8	8,582.0	27,374.8

(単位：トン)

品目	大阪産米 購入量	大阪産れんげ栽培米 購入量	合計
米	157.7	38.6	196.3

② 中学校給食（選択制）の充実について

「第一学校給食共同調理場」において平成 28 年 4 月より中学校給食を調理し、生徒への提供を開始しました。平成 30 年度の平均喫食率は 32.7%です。

③ 食物アレルギー対応について

「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、除去食の調理や学校での対応などについて全校統一の運用を行いました。

④ 小学校給食調理場におけるドライ運用について

平成 29 年度から全単独調理場においてドライ運用を実施。その他、衛生的な調理場運営を図るため、調理方法の工夫検討を行い、全調理場で実施しました。

(7) 学校給食調理場老朽化対策事業について

第三学校給食共同調理場老朽化対策事業の対象 6 か所の単独調理場の改築・長寿命化改修及び香里小学校単独調理場の長寿命化改修について、いずれも基本実施設計を進めました。

平成 30 年度については、2 か所（長尾・招提）の単独調理場を親子方式調理場（共同調理場）として、運用を開始しました。

(8) 第 1 回枚方市学校給食コンテストの実施について

小・中学生から「給食で食べたい！魚を使ったメニューを考えよう！」というテーマでメニューを募集しました。入賞作品（小・中学生各 10 作品）から小学校 2 作品、中学校 3 作品を 3 学期の学校給食で提供しました。

● 第 1 回枚方市学校給食コンテスト応募数 （ ）内は応募者数

小学生：989 作品（989 人） 中学生：369 作品（372 人※） ※グループでの応募あり

● 提供したメニュー

小学校：「さばの竜田揚げきのこあんかけ」

「野菜たっぷり魚あんかけ」

中学校：「鮭とじゃがいものレモンバターしょうゆ」、「たらのカレー揚げ」

「たらの磯辺揚げ～四万十あおさ風味～」



・さばの竜田揚げきのこあんかけ
・豆乳みそ鍋 ・昆布の佃煮 ・ご飯 ・牛乳



・たらの磯辺揚げ～四万十あおさ風味～
・うの花の炒り煮 ・きんぴらごぼう
・スープ煮 ・ご飯 ・牛乳

(9) 防災教育の取組みについて

防災対策を考える機会や万一の事態への心構えをもつこと等を目的として、枚方市立学校園「防災教育の日」に災害用非常食を取り入れた給食を提供しました。

- 実施日 平成30年9月5日、6日
- 対象 小学校
- 給食内容 うずまきパン、牛乳、災害用非常食「救給コーンポタージュ」、厚揚げのチリソース、ふかし芋

3. 生徒指導の充実

(1) 生徒指導充実事業の実施

市立小・中学校に市費負担任期付教員又は非常勤講師を配置し、生徒指導主担者、生徒指導主事等が本来の生徒指導業務に専念できる体制を整え、児童・生徒にとって安全・安心な教育環境の充実を図っています。

(2) スクールカウンセラーの配置

全中学校に年間 35 回、臨床心理士の資格をもつスクールカウンセラーを配置し、保護者、生徒、教職員などからの相談に応じています。また、中学校の相談だけではなく、校区の小学校からの相談にも応じています。

(3) 心の教室相談員の配置

全小学校に年間 36 回、心の教室相談員を配置し、保護者、児童、教職員などからの相談に応じています。スクールカウンセラーとも連携を図っています。

(4) 不登校支援協力員の配置

教職経験者等による不登校支援協力員を全中学校及び 7 小学校に配置し、不登校児童・生徒に対し、教育相談や学習支援などを行っています。

(5) ひらかた学校支援チームの設置

警察官OBや心理・福祉の専門家、校長経験者、指導主事で構成される支援チームが、学校を定期的に訪問し、いじめや問題行動、不登校、児童虐待などの未然防止、早期発見・早期対応のための支援を行っています。また、緊急事案が発生した場合には、心理・福祉の専門家等の緊急派遣を行い、事案の早期解決を図ります。

さらに、法律に関わる事案については法律相談員（弁護士）が助言を行っています。

(6) スクールソーシャルワーカーの配置・派遣

いじめや問題行動などの生徒指導上の問題、児童虐待や不登校などの課題に適切に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識を用いて、児童・生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を行うスクールソーシャルワーカーを 7 中学校区に配置するとともに、緊急対応等の支援が必要な学校に派遣し、課題解決を図っています。

(7) いじめ・体罰防止に関するマニュアルの作成と研修の実施

いじめの未然防止、早期発見・早期対応、体罰根絶の観点から「枚方市生徒指導マニュアル（いじめ防止編・体罰防止編）」を作成し、全小・中学校でマニュアル等を活用した教職員研修を実施しています。

(8) 小・中学校生徒指導体制推進事業の実施

中学校における生徒指導のノウハウを校区小学校で共有するなど、校区の小・中学校が連携し、暴力行為発生件数を減少させることを目標にして、小学校における生徒指導体制の充実を図っています。

(9) 枚方市いじめ防止基本方針に基づき設置した組織

枚方市では、「いじめ防止対策推進法」の趣旨を踏まえ、「枚方市いじめ防止基本方針」を策定し、いじめの未然防止、早期発見に向けた取り組み等を推進するため、「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」及び「枚方市学校いじめ対策審議会」を設置しています。

枚方市いじめ防止基本方針の概要

■ いじめ防止等のための基本的な考え方

- ① いじめはどの子どもにも、どの集団でもおこりうる重大な人権侵害で、決して許されるものではありません。
- ② 学校は、家庭・地域・関係機関と連携し、いじめのない学校づくりに取り組まなければなりません。
- ③ 保護者は、子どもがいじめを行うことがないように指導に努めなければなりません。
- ④ 子どもは自分が大切な存在であることを自覚し、決していじめをしてはならないことを認識しなければなりません。
- ⑤ いじめのない社会を実現するために、市・学校・家庭・地域はそれぞれの立場から、主体的に連携して取り組みを進めていかななくてはなりません。

■ いじめの未然防止のために —それぞれの役割—

教育委員会・必要な施策の推進

- いじめの未然防止や早期発見のため、定期的な調査や啓発を行います。
- 学校や関係機関と連携して子どもの支援・指導を推進します。
- 相談体制や教職員研修を充実し、学校への支援を行います。

学 校・安心して学び、生活できる学校づくり

- いじめのない人間関係が形成できるよう、子どもを指導・支援します。
- いじめアンケート等、いじめの早期発見、早期解決に向けた取り組みを行います。
- 教職員一人ひとりが人権意識を高め、いじめや体罰の未然防止に向けた研修や体制を整備します。

子ども・みんなで協力していじめをなくす

- 「いじめかな」と思ったら、その当事者に声をかけたり、周りの大人に相談したりします。

保護者・日頃からコミュニケーションを

- 子どもの話をよく聞き、小さな変化を見逃しません。
- 学校や地域の人々など、子どもを見守っている人々とのコミュニケーションを大切に、情報交換をします。
- 「いじめかな」と思ったら、速やかに学校や関係機関に相談、通報します。

地域・関係機関・学校・保護者と連携した子どもの見守り

- 地域は、学校・保護者・関係機関と連携して情報提供し、いじめの未然防止に努めます。
- 子どもにかかわる諸機関は、相互に連携して、子どもの健全育成に努めます。

■ いじめ防止や対策のための組織

学校に設置する組織

「いじめ防止対策委員会」

学校内のいじめ防止等の取り組みやいじめへの措置の検討などを行います。

＜構成員＞ 学校の複数の教職員（管理職、学年主任、生徒指導担当者、養護教諭等）、スクールカウンセラーや心の教室相談員など心理・福祉等に関する専門的な知識を有する者、その他関係者

教育委員会が設置する組織

「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」

いじめ防止等に関する枚方市の関係部課と関係機関との連携強化のために設置しています。

＜構成員＞ 枚方市・枚方市教育委員会の関係部課担当者、大阪府中央子ども家庭センター、法務局、警察、スクールソーシャルワーカー等

「枚方市学校いじめ対策審議会」

いじめ防止等の対策が効果的に行われるよう調査・研究をしたり、子どもたちの生命にかかわる重大事態が発生した場合、中立かつ公正な第三者の立場から調査を行うために設置しています。

＜構成員＞ 弁護士や学識経験者、心理や福祉の専門家など、対象となるいじめと利害関係のない第三者

市長が設置する組織

「枚方市いじめ再調査委員会」

重大事態の報告結果について、市長が再調査の必要性を認めたときに設置されます。

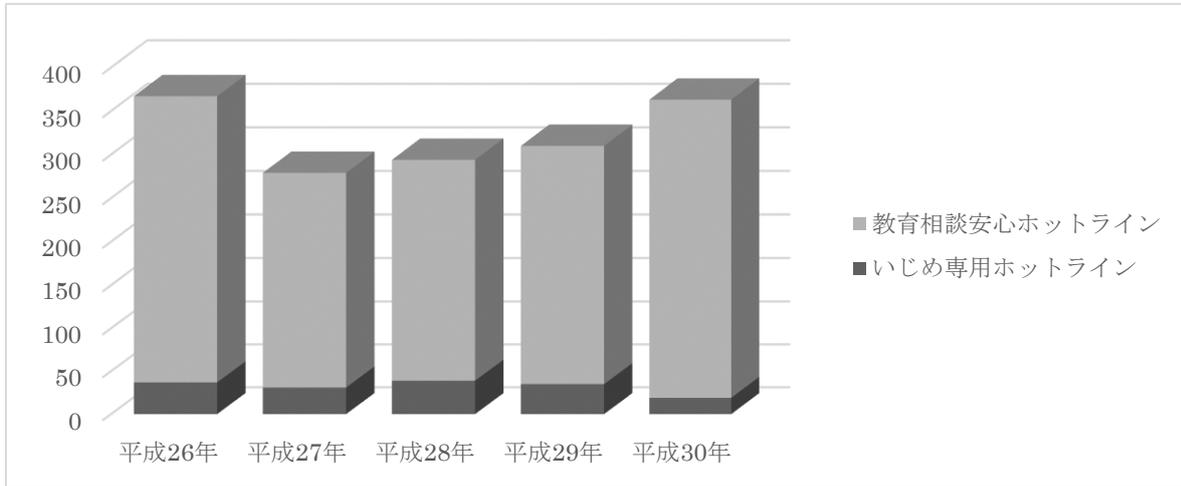
＜構成員＞ 弁護士や精神科医・学識経験者・心理や福祉の専門家など、対象となるいじめと利害関係のない第三者

(9) 子どもの笑顔を守るコール

月曜日から金曜日の9時00分から17時00分まで（祝日・年末年始を除く）、電話相談員がいじめや教育に関する悩みの相談を受け付けます。

■相談件数の推移

(単位：件)



「いじめかな」と思ったら、まずは気軽に相談してください。
市立小・中学校校長・教頭・担任・生徒指導担当等、誰にでも相談できます。

子どもの笑顔を守るコール
【いじめ専用ホットライン】
072-809-7867
【教育安心ホットライン】
072-809-2975
月～金の9時00分～17時00分
(祝日・年末年始を除く)

子ども総合相談センター
子育て、親子関係友人関係のことなど、
18歳未満の子どもに関する様々な相談
050-7102-3221
月～金の9時00分～17時30分
(祝日・年末年始を除く)

主な相談先

大阪府中央子ども家庭センター
子どもや家庭についての相談
072-828-0161
月～金の9時00分～17時45分
(祝日・年末年始を除く)

大阪府すこやか教育相談 24
いじめに限らず子どものSOS全般を受け止める相談ダイヤル
0120-0-78310
年中無休 24時間対応

4. 支援教育の充実

(令和元年(2019年)5月1日現在)

(1) 支援学級設置状況

(単位：学級)

障害種別 学校	弱視	難聴	知的障害	肢体 不自由	病弱・ 身体虚弱	自閉症・ 情緒障害	計
小学校	1	2	83	27	8	103	224
中学校	0	1	25	8	6	27	67
計	1	3	108	35	14	130	291

(2) 支援学級在籍者数

(単位：人)

障害種別 学校	弱視	難聴	知的障害	肢体 不自由	病弱・ 身体虚弱	自閉症・ 情緒障害	計
小学校	3	5	498	66	16	643	1,231
中学校	0	3	127	21	9	146	306
計	3	8	625	87	25	789	1,537

(3) 通級指導教室設置状況

(単位：教室)

障害種別 学校	難聴	言語障害	情緒障害	発達障害	計
小学校	1	2	0	7	10
中学校	0	0	1	1	2
計	1	2	1	8	12

5. 枚方市立中学校卒業生進路先一覧

(令和元年(2019年)5月1日現在)

平成30年度枚方市立中学校卒業生進路先一覧

(単位：人)

卒業生数	進学した者							進学と就職した者			就職した者	専修学校等入学者					その他	
	高等学校			高等 専門 学校	小計	支援 学校 (高等 部)	計	高等学校				専修 学校	各種 学校	高等職業 技術専門 学校等	計	再掲 二重 計上分		
	全日制 課程	定時制 課程	通信制 課程					定時制 課程	通信制 課程	計								
男	1,854	1,686	12	114	18	1,830	7	1,837	0	1	1	10	60	0	0	60	60	6
女	1,679	1,557	18	87	1	1,663	5	1,668	0	0	0	2	35	8	0	43	41	7
計	3,533	3,243	30	201	19	3,493	12	3,505	0	1	1	12	95	8	0	103	101	13
(%)	91.8%	0.8%	5.7%	0.5%	98.9%	0.3%	99.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	2.7%	0.2%	0.0%	2.9%	2.9%	0.4%	

6. 就学援助制度

■就学援助費実施状況（平成 30 年度実績）

（1）小・中学校

【就学援助費】

区分	児童生徒数（人） （平成 30 年 5 月 1 日現在） A	申請者数（人） B	認定者数（人） C	申請率（%） B/A	認定率（%） C/A
小学校	21,491	4,707	3,971	21.9	18.5
中学校	10,265	2,513	2,158	24.5	21.0
合計	31,756	7,220	6,129	22.7	19.3

【交通災害遺児奨学金】

給付人数（人）	給付額（円）
15	850,000

〔注〕 給付額（月額）5,000 円

（2）高等学校

【奨学金支給状況】

給付額（円）		18,768,000
給付人数（人）		286
内訳（1）	公立在学生	146
	私立在学生	140
内訳（2）	新規給付者	104
	継続給付者	182

〔注〕 給付額 公立（月額）4,500 円・私立（月額）6,500 円

【奨学金申請・認定状況】（単位：人）

申請者数		218
新規認定者数		104
内訳（1）	公立在学生	58
	私立在学生	46
内訳（2）	1 年生	73
	1 年生以外	31

7. 学力の向上

義務教育9年間を見通した教育を推進し、子どもたちにとって、わかる授業や「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業をめざして「授業改善」「家庭学習の充実」への取り組みを進めています。

また、研究指定校による研究・実践の成果を活用するとともに、各学校において校内研究を充実させることで、教員の授業力を高め、総合的な学校力の向上を図り、子どもたちの確かな学びと自立の力を育てています。

(1) 学力の向上に向けた取り組み

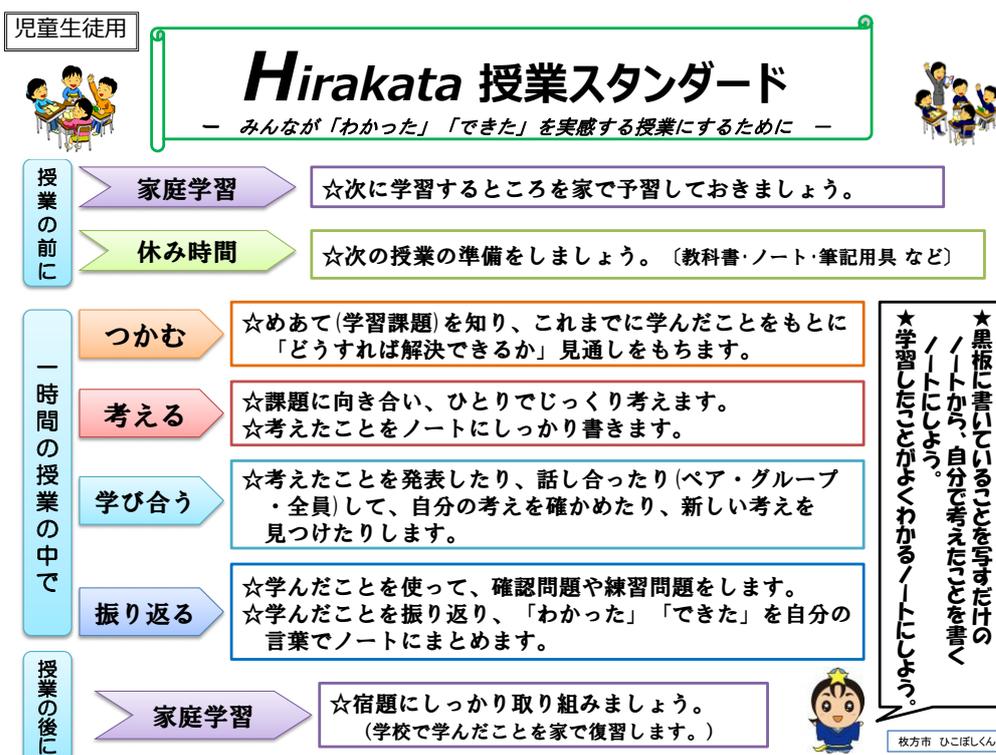
① 小中一貫・学力向上推進コーディネーターの配置

義務教育9年間を見通した学力向上の取り組みを推進するため、全中学校区に「小中一貫・学力向上推進コーディネーター」を配置しています。各中学校区では、「小中一貫・学力向上推進コーディネーター」を核とした組織体制を確立し、「授業改善」及び「家庭学習の定着」に向けた取り組みを進めています。

② 「Hirakata 授業スタンダード」の作成

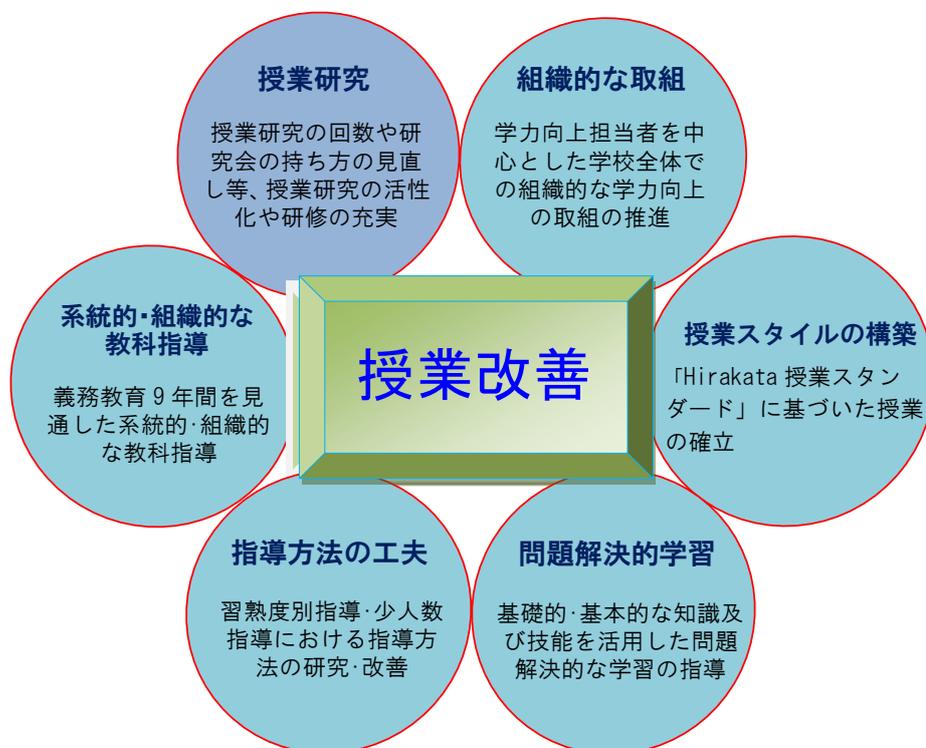
新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりの基本となる「Hirakata 授業スタンダード」を作成し、各小・中学校では「Hirakata 授業スタンダード」に基づいた授業改善や教員の授業力向上に向けた研修の充実を図っています。

■Hirakata 授業スタンダード



③ 授業改善

全小・中学校において、学力向上委員会や、学年会、教科会を定期的に開催することで授業研究や教材・教具等の充実を図り、教員の授業力向上と授業改善に取り組んでいます。



教職員による研究授業



中学校での教科会

(2) 学力状況の把握・分析

枚方市教育委員会では、平成30年4月17日に市内小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果を分析し、詳細を枚方市ホームページに掲載しています。

各小・中学校においても、全国学力・学習状況調査実施後、問題分析・自校採点及び調査結果の分析を行い、学校全体として課題等に正対した学力向上に向けた取り組みを進めています。

(3) 家庭学習の定着に向けた取り組み

「家庭学習の定着」については、学力と生活・学習習慣は相関関係が高いことから、学校と家庭が連携して取り組んでいくことが大切であると考え、「家庭への7つのお願い」という形でまとめ、全保護者にお知らせしています。また、「自主学習ノートのすすめ」を作成・配付し、各小・中学校の「家庭学習の手引き」と合わせて活用することで、児童・生徒の自学自習力の育成を図っています。

■自主学習ノートのすすめ



■家庭への7つのお願い

1. 朝食をきちんととる。
2. テレビの視聴、ゲーム・インターネットの時間や携帯電話・スマートフォンの利用はルールを決める。

【我が家のルール】		
①		
②		
3. 「起床」「就寝」「勉強」の時間を決める。

【起床】	【就寝】	【勉強】
------	------	------
4. 家で、自分で計画を立てて勉強をする。

1日	分間	
----	----	--
5. 家で、宿題・学校の授業の予習・復習をする。
6. 読書に親しむ。
7. がんばりをしっかりほめる。

子どもの成長過程に応じて
できることから始めること
が大切です。



(4) 外部の知見の活用

「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくりや教員の授業力向上を図るため、文部科学省 国立教育政策研究所 千々布敏弥 総括研究官をはじめ、専門的な高い見識を持つ講師を招聘し、全小・中学校の学力向上推進担当者に向けた研修や、学校への訪問などを行うことで、授業改善や教科会、学年会の充実等について指導・助言を受けています。



8. 指導体制の充実（小中一貫教育推進事業）

義務教育9年間を見通して、児童・生徒の発達段階に応じた指導体制の充実を図るため、小学1年生から4年生まで、支援学級在籍児童数を含む1学級35人以下とする本市独自の少人数学級編制を実施しています。平成30年度からは、5年生・6年生について、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を実施し、新たな学級編制のもとで、習熟度別指導や一部教科担任制等、さまざまな指導方法・指導形態の工夫により、児童の「生きる力」の育成を図ります。

また、中学生については、習熟度別指導等を含む少人数指導を実施しています。

きめ細かで個に応じた指導



■少人数指導

児童・生徒の実態や指導の場面に応じて、個に応じた指導を充実させるための効果的な指導方法や指導体制を柔軟かつ多様に導入した授業です。



■少人数指導の実施状況 [平成30年度実績]

[小学校]

学 校 名	教 科	学 年
枚方小学校	国 語	4～6年
	算 数	5・6年
枚方第二小学校	算 数	5・6年
蹉跎小学校	算 数	4～6年
香里小学校	算 数	5・6年
開成小学校	算 数	5・6年
五常小学校	算 数	5・6年
春日小学校	算 数	5・6年
桜丘小学校	算 数	5・6年
山田小学校	算 数	3～6年
	理 科	5・6年
明倫小学校	算 数	4～6年
殿山第一小学校	算 数	3～6年
殿山第二小学校	算 数	5・6年
樟葉小学校	算 数	5・6年
津田小学校	算 数	3～6年
菅原小学校	国 語	3～6年
	算 数	5・6年
氷室小学校	算 数	5・6年
高陵小学校	国 語	3年
	算 数	3～6年
山之上小学校	算 数	5・6年
牧野小学校	国 語	3～6年
	算 数	3～6年
交北小学校	算 数	5・6年
香陽小学校	国 語	4～6年
	算 数	5・6年
	理 科	5年
招提小学校	算 数	3～6年
中宮小学校	算 数	5・6年
小倉小学校	国 語	3～6年
	算 数	5・6年
樟葉南小学校	算 数	5・6年

学 校 名	教 科	学 年
磯島小学校	算 数	5・6年
蹉跎西小学校	算 数	3～6年
樟葉西小学校	算 数	5・6年
田口山小学校	算 数	5・6年
西牧野小学校	算 数	3～6年
川越小学校	国 語	5年
	算 数	5・6年
蹉跎東小学校	算 数	5・6年
桜丘北小学校	国 語	3・4年
	算 数	5・6年
	理 科	5・6年
津田南小学校	算 数	3～6年
樟葉北小学校	算 数	4～6年
船橋小学校	算 数	4～6年
菅原東小学校	算 数	5・6年
中宮北小学校	算 数	3～6年
山田東小学校	国 語	6年
	算 数	5・6年
	理 科	6年
藤阪小学校	算 数	5・6年
平野小学校	算 数	5・6年
長尾小学校	算 数	5・6年
東香里小学校	算 数	3～6年
伊加賀小学校	算 数	5・6年
西長尾小学校	算 数	5・6年

[中学校]

学 校 名	教 科	学 年
第一中学校	数 学	1 年
	英 語	2・3年
第二中学校	英 語	1～3年
第三中学校	数 学	1・2年
	英 語	3 年
第四中学校	数 学	1 年
	英 語	1・2年
津田中学校	数 学	2 年
	英 語	1・2年
枚方中学校	英 語	1～3年
中宮中学校	数 学	1・2年
	英 語	1～3年
招提中学校	英 語	1～3年
楠葉中学校	数 学	1 年
	英 語	2・3年
楠葉西中学校	数 学	1 年
	英 語	1 年
東香里中学校	数 学	2 年
	英 語	2・3年
長尾中学校	数 学	2 年
	英 語	2・3年

学 校 名	教 科	学 年
杉 中 学 校	数 学	1 年
	英 語	3 年
山田中学校	数 学	1～3年
	英 語	1～3年
渚西中学校	数 学	1・3年
	英 語	2・3年
桜丘中学校	数 学	1 年
	英 語	1 年
蹉跎中学校	英 語	1～3年
招提北中学校	数 学	2・3年
	英 語	1・2年
長尾西中学校	数 学	1 年
	英 語	1～2年

9. 自学自習力の向上（学力向上推進事業（放課後自習教室事業））

児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、新学習指導要領で求められている資質・能力の育成を図るため、全小・中学校にパソコンやタブレットで活用できる学習コンテンツを導入するとともに、放課後自習教室及び少人数学習教室（中学校）を開室（令和元年度（2019年度）2学期以降の予定）しています。

（1）放課後自習教室

各小・中学校では、学校の状況に合わせて、平日の放課後に放課後自習教室を実施し、学習コンテンツを活用しながら児童・生徒一人ひとりの理解度に応じた学習を行っています。小学校の放課後自習教室には、退職教員や地域人材、大学生等の協力による「やる気ングリーダー」を配置し、児童・生徒の学習の補助を行っています。



■ 平成 30 年度 放課後自習教室の実施状況

	実施回数	児童・生徒 延べ参加人数	やる気ングリーダー の配置人数
小学校	3,721 回	91,774 人	164 人
中学校	1,680 回	11,964 人	50 人

（2）少人数学習教室（中学校）（令和元年度（2019年度）2学期の予定）

中学校では、週1回、平日の授業時間外に民間業者委託による少人数学習教室を実施し、対象の生徒ごとの学習計画に沿った学習を進めていきます。家庭学習にもつなげることで、学習習慣の定着や今求められている資質・能力の育成を図ります。

（3）学習コンテンツ

児童・生徒一人ひとりの理解度に応じて、パソコンやタブレットを活用しながら学習できるコンテンツを導入しており、学習進度や難易度に合わせてプリントの取り出しや、タブレットを使って学習履歴を蓄積しながら学習することができます。このコンテンツは、授業・放課後自習教室・家庭等で活用できる他、教員の教材作成に活用しています。

10. 英語教育の推進

英会話や英語を使った体験的な学習を通し、英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする資質や能力を育成するため、平成 18 年度から「小中一貫英語教育」を推進しています。

枚方市の英語教育の特色としては、日本人及び外国人の英語教育指導助手の充実があげられ、全小学校に「JTE」と呼ぶ日本人の英語教育指導助手、全中学校に「NET」と呼ぶ外国人の英語教育指導助手を配置し、児童・生徒の英語教育の推進を図っています。

(1) JTEとNETの配置

① JTE（日本人英語教育指導助手）

英語が堪能な日本人の英語教育指導助手で、児童が英語に慣れ親しむ小学校の外国語活動（3・4年生で年間 15 時間、5・6年生で年間 50 時間）の時間で、学級担任とのチーム・ティーチングで児童の指導を行っています。



② NET（外国人英語教育指導助手）

英語を母国語とする、又は、母国語同様の言語能力を有する外国人を全中学校に各 1 名配置しています。

これにより、本市の中学生は、授業で外国人から直接英語を学ぶことができ、授業以外でも英語でコミュニケーションをとることができます。また、学期に 1 回程度、配置している中学校区内の小学校に派遣され、小学校の外国語活動の支援を行っています。



(2) 英語専科教員の配置

令和 2 年度（2020 年度）から全面実施される新学習指導要領を見据え、平成 30 年度から小学校に外国語活動の専科教員（学級担任を持たず、当該教科を専門に指導する教員）を 4 人配置しています。

専科教員は、小学校教員（小学校教員免許を要する教員）の授業力の向上と、外国語活動の教材研究を行います。

(3) 外部検定試験の実施

英語の 4 技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）をバランスよく育成するため、平成 30 年度から市立中学校 2 年生の全生徒を対象に 4 技能に対応した外部検定試験を実施し、その結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導及び生徒の学習意欲の向上に活かしています。

(4) モチベーションアップ・プロジェクト

小学校の外国語活動と中学校英語との円滑な接続と、外国人と身近に直接コミュニケーションする体験を通して、児童の外国語に対する意欲・関心を高めることを目的に実施しています。

平成30年度は、11小学校が実施しました。



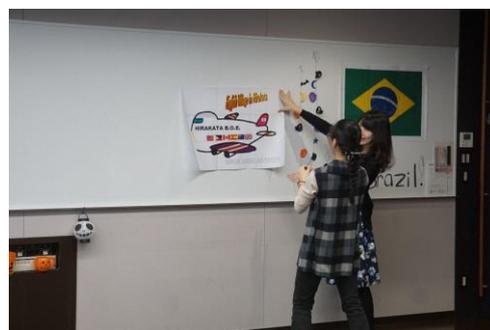
(5) 英語暗唱大会（ECフェスティバル）

児童・生徒が日頃の英語学習の成果を発表する場として、全中学校区で英語暗唱大会（ECフェスティバル）を実施しました。



(6) 枚方英語村（English Village in Hirakata & English Village in Hirakata for kids）

体験的に英語を使用することで、積極的に英語でコミュニケーションをとろうとする資質の育成と、英語学習への意欲を高めることを目的に実施しています。

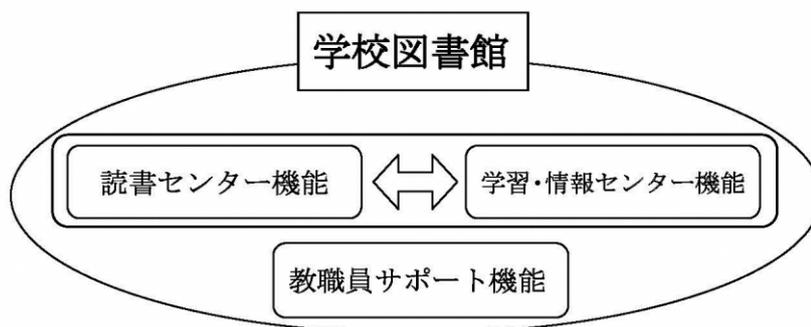


1 1. 読書活動の推進

児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に配置した学校司書と司書教諭が連携して、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図っています。

(1) 学校図書館の機能・役割

学校図書館には、児童・生徒の読書活動を支える「読書センター」、児童・生徒の情報収集や選択、活用能力を育成する「学習・情報センター」としての機能、教職員の教科指導等に活用できる資料や教材作成をサポートする「教職員サポート」の機能があります。



(2) 学校司書の配置の推移

年度	配置校区
平成 26～27 年度	第四中学校・長尾中学校・桜丘中学校
平成 28～29 年度	第四中学校・長尾中学校・桜丘中学校・第二中学校・津田中学校 楠葉中学校・杉中学校・山田中学校・渚西中学校・長尾西中学校
平成 30 年度～	全中学校



1 2. 体力の向上

全児童・生徒を対象に体力テストを実施し、その結果に基づいて各小・中学校で体力向上推進計画を作成し、児童・生徒の体力向上に向けた取り組みを推進しています。

また、小学生対象の陸上競技大会、駅伝競走大会や夏休みに実施する小学校水泳教室を通じて児童の体力向上を図っています。



体力テスト（ソフトボール投げ）



小学校水泳教室

1 3. 部活動の充実

（1）中学校部活動指導協力者の派遣

部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み、生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣しています。



市立全中学校では、専門的な知識・技能をもった部活動指導協力者の派遣（各校1人上限100回以内、年間370回以内）を受け、部活動の活性化と充実を図っています。

■平成 30 年度 中学校部活動指導協力者派遣状況

中学校名	部活動名
第 一	吹奏楽、卓球、男子・女子バスケットボール、ソフトボール、バドミントン
第 二	剣道、野球、陸上、バドミントン、ソフトテニス
第 三	卓球、女子ソフトテニス、剣道、吹奏楽
第 四	茶華道、卓球、バドミントン、剣道、吹奏楽
津 田	吹奏楽、女子バスケットボール、陸上
枚 方	男子テニス、卓球
中 宮	男子・女子バドミントン、バレーボール、卓球、男子・女子バスケットボール、陸上
招 提	華道、卓球、野球
楠 葉	バドミントン、卓球、剣道、ソフトボール
楠葉西	バドミントン、男子・女子卓球、男子・女子ソフトテニス、吹奏楽、陸上、サッカー
東香里	ソフトボール、バドミントン、男子・女子バスケットボール、女子ソフトテニス、卓球、軟式野球
長 尾	男子・女子バドミントン、卓球、テニス、サッカー、男子バスケットボール
杉	男子・女子バドミントン、男子・女子卓球
山 田	バドミントン、男子テニス
渚 西	バドミントン、女子バレーボール、男子バスケットボール、女子ソフトテニス、卓球、軟式野球 陸上
桜 丘	茶道、女子バドミントン、音楽、男子テニス、剣道、卓球
蹉 跎	男子・女子バドミントン、男子・女子卓球、剣道、サッカー
招提北	卓球、男子テニス、水泳
長尾西	吹奏楽、ソフトボール、バドミントン、野球、卓球、男子・女子テニス、剣道、男子・女子バスケットボール

(2) 部活動の休養日

文部科学省が運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン作成検討会議を開催し、平成 30 年 3 月に「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が示されました。

こうした状況を踏まえ、枚方市教育委員会では、「枚方市中学校部活動方針」を策定し、生徒の心身のバランスがとれた成長を促し、豊かな人間関係を構築する場とし、安全・安心を確保するとともに、教員の「働き方改革」を推進する観点から、適切な中学校部活動の休養日・練習時間等を設定しています。



14. 道徳教育

児童・生徒が、生命を大切にする心や他人を思いやる心、善悪の判断などの規範意識等の道徳性を身につけることは重要です。道徳教育は、児童・生徒の道徳的な心情・判断力・実践意欲と態度などの道徳性を養うため、全小・中学校で「特別の教科 道徳（道徳科）」を要として学校の教育活動全体を通して実施しています。



15. 福祉・ボランティア活動

本市では、地域にある社会教育施設や福祉施設等を活用した体験的な学習やボランティア活動など、実践的な社会体験を通じた教育活動を推進しています。

各学校園では、高齢者施設や社会福祉施設を訪問し、高齢者等と交流を図ったり、アイマスクや車椅子体験、点字・手話学習など様々な取り組みを行っています。



16. 環境教育の推進

枚方市立学校園（小中学校・幼稚園）では、教職員が率先して、学校園事務から生じる環境負荷の低減を図るとともに、幼児・児童・生徒の環境保全意識の向上を図るため、環境教育を推進しています。

また、小中学校・幼稚園の環境保全の取り組みを推進するため、PDC Aサイクルを活用した枚方市独自の学校版環境マネジメントシステム（S-EMS）を運用しています。

○環境方針

- ① 地球環境の問題の解決に向け、ごみ減量化やリサイクル、水遣り時の雨水利用等を推進するとともに、空気調和設備データ収集システム等を活用することで、日常の取り組みを点検し、紙、電気、ガス、水道水等の使用量削減と二酸化炭素等の温室効果ガス排出の削減を目指す。
- ② 環境教育を推進し、環境に配慮した行動のとれる幼児・児童・生徒を育てる。
- ③ 環境に関連する法令を順守するとともに、環境汚染の未然防止に努める。
- ④ 環境方針を全教職員に周知するとともに、教職員の環境に対する意識の向上のため、継続的に研修を行い、一人一人が、積極的に環境にやさしい行動に取り組む。
- ⑤ 「緑のじゅうたん」「緑のカーテン」等の活用により、環境保全活動を推進する。
- ⑥ この環境方針は、枚方市内外に公表する。

（1）環境保全の取り組み

① 緑のじゅうたん事業

環境保全に対する幼児・児童・生徒の興味・関心を高め、環境教育を推進するとともに、保護者・地域・学校の連携による「開かれた学校づくり」を進めるため、全市立小・中学校の校庭の一部及び市立幼稚園の園庭の一部の芝生化を行っています。整備した芝生は、教育活動や地域の行事等において有効活用を図っています。

② 緑のカーテン事業

ヒートアイランド現象に伴う夏季期間の教室、保育室内の気温上昇の緩和を図るとともに、緑のある保育・教育環境をつくっています。

夏季期間の教室等の気温上昇の緩和と、幼児・児童・生徒の環境保全意識の向上を図るため、教室等の窓の外側に張り巡らせたネットにヘチマやゴーヤなどのつる性植物を絡ませて窓を覆う緑のカーテンの育成に取り組んでいます。

③ 学校ビオトープ池整備事業

児童・生徒が身近に生き物と触れ合い、自然の美しさ・生命の尊さに気づき、地域の自然と共存していく大切さを学ぶことを通して環境教育を推進するため、市立小・中学校（平成31年度14校）において、学校内に設置したビオトープ池の維持管理を行っています。

17. 学校園の活性化（教育委員会主催事業）

（1）小学校陸上競技大会及び小学生駅伝競走大会

市内小学校の児童がスポーツをする喜びを感じ、競技を通して交流を図るとともに、児童の体力の向上を図るため、小学校陸上競技大会及び小学生駅伝競走大会を実施しています。

○小学校陸上競技大会



■平成 30 年度実績

実施日	平成 30 年 10 月 14 日
実施場所	枚方市立陸上競技場
対象	小学校 5 年生・6 年生
種目	100m 走、800m 走、400m リレー、走り高跳び、走り幅跳び
参加校	46 校（市立小学校 45 校、私立小学校 1 校）
参加児童数	1,205 人

○小学生駅伝競走大会



■平成 30 年度実績

実施日	平成 30 年 11 月 17 日
実施場所	淀川河川公園枚方地区
対象	小学校 5 年生・6 年生
コース	水辺公園周回コース（9,500m）
参加校	市立小学校 45 校
参加児童数	405 人

（2）小学校合同音楽会

音楽を通して児童の豊かな情操を養い、小学校間の交流を推進するとともに、家庭、地域の人々が音楽に親しむ機会とするため、市立小学校による合同音楽会を実施しています。



平成 30 年度は、大阪北部地震の影響により、実施を見送りました。

令和元年度（2019 年度）は、中学校区単位で実施します。

(3) 漢字をテーマに思いを伝えるコンクール

「漢字のまち枚方」を全国に発信するため、児童・生徒が漢字一文字または漢字の熟語を選び、選んだ理由や思いを作文で表現することによって、漢字に対する興味・関心を深めると同時に、豊かな表現で伝える力を身につけることを目的に作文コンクールを実施しています。



■平成 30 年度実績

実施日	平成 31 年 1 月 26 日 (土)
実施場所	輝きプラザきらら
対 象	市内市立・私立小・中学校在校生
応募者数	16,646 人

(4) 菊のひらかた・菊咲かそう体験事業

枚方市立学校園（小・中学校・幼稚園）において、枚方市の市花である「菊」を栽培することを通して、子どもたちの植物を大切にする心や郷土愛を育むための取り組みを行っています。また、「菊」の栽培にあたっては、菊づくりに造詣の深い地域住民の協力を得ることで、地域との交流を深め、開かれた学校づくりの推進を図っています。

- 幼児・児童・生徒、教職員が栽培した「菊」は、ひらかた菊花展（平成 30 年 10 月 24 日～11 月 12 日）等に飾花しています。



■平成 30 年度実績（参加状況）

学校の部	小学校 45 校 中学校 19 校
児童生徒の部	小学校 3 校 中学校 2 校
幼稚園・保育所の部	幼稚園 7 園



18. 学校園の活性化（学校園の取り組み）

（1）研究授業の実施

枚方市立学校園（小・中学校・幼稚園）では、指導方法を研究し、教育課題の解決や教職員の資質向上を図るため、校（園）内研修の充実を進めています。また、指導方法等を研究し、教職員の実践力を高めるため、研究授業を実施しています。



■研究授業

校（園）内や中学校区の教職員が授業を参観し、「チェックシート」等により授業内容を確認します。確認した内容について、授業を行った教員や参観した教職員で共有することで、授業研究や授業改善に活用しています。



■研究協議会

研究授業終了後に開催し、授業の良かった点や改善点等について話し合う会議です。

外部講師を招聘し、専門的な見地から指導・助言を受け、研究協議会の充実を図っています。

（2）教育活動の公開

各学校園の教育活動を保護者や地域の方々に広く知っていただくため、5月から6月を教育活動公開期間に位置づけ、各学校園が公開日を決定し、周知を図っています。



(3) 学校園活性化推進校園事業

学校園活性化推進校園事業は、本市の教育課題の解決や、教職員の資質向上をめざし、特色ある学校園づくりの推進及び本市の学校園教育の活性化を図ることを目的として実施しています。

■ 平成 30 年度研究テーマ

[幼稚園]

幼稚園名	研究テーマ
枚方	「道徳性の芽生えから協同の学びへ」 ～幼児期の終わりまでに育てたい 10 の姿から～
香里	「つながり合い・ひびき合う関係”協同性”を育む」 ～幼児期の終わりまでに育てほしい 10 の姿から～
樟葉	いきいきわくわく心の花をさかせよう ～10 の姿から見た子どもの成長～
高陵	「思考力の芽生えを培う援助のあり方について」 ～幼児期の終わりまでに育てほしい 10 の姿から～
蹉跎	つながるころひろがる笑顔 ～幼児期の終わりまでに育てほしい 10 の姿から～
蹉跎西	かかわるつながる育ち合う ～意欲的に取り組むための環境や援助について考える～
田口山	認め合い、いきいきと育ち合う子どもをめざして ～幼児期のおわりまでに育てほしい 10 の姿から～

[小学校]

小学校名	研究テーマ
枚方	子どもの「書く力」を高める授業の指導方法の研究
枚方第二	「自分の思いを伝え、互いに理解し合う道徳を目指して」 ～ねらいに沿ったふり返り活動を目指した授業づくり～ ①授業研究を中心に研究内容の実践・検証をし、発達段階に応じた道徳的判断力、心情、実践意欲、態度を育てる。 ②講師を招聘し、ねらいに沿ったふり返りについての指導方法を研修する。
蹉跎	「学力向上に向けた授業改善の推進」及び「地域と共にある学校づくり」
香里	「つたえたいうけとめたいつながりたい」 ～自分の思いを伝える力をつける対話的授業を目指して～ 身近な自然環境（うりこ山）をいかした豊かな体験活動を通して、環境保全や生命尊重の態度を育む。
開成	根拠をもって自分の考えを伝える力の伸長を図る ～共同的な学びを通して～
五常	『算数的活動を通して、表現する能力を育てる』 ～見通しを持ち、言葉・数・式・図を用いて考え、説明する力の育成～
春日	「思いやりの心を育てる授業づくり」という研修テーマに沿い、研修を行う中で、授業力を高める。
桜丘	「主体的・対話的・深い学びの実現に向けて」 児童が文章問題等をアクティブ・ラーニングの手法などのさまざまな方法でとらえ、説明する力を身につけるための授業の進め方を考える。

	<p>(1) 児童の活用力・表現力、コミュニケーション能力を高めるため、アクティブ・ラーニングの手法を取入れ、基礎・基本となる算数科「問題解決型学習」の指導法を中心に全教科、領域での効果的な指導方法を研究する。</p> <p>(2) 学びの連続性を確立し実践するため、小・中の連携を推進する。</p> <p>(3) 外部講師や地域の人材を活用し、教員の授業力、指導力を高める。</p> <p>(4) 教育研修課授業改善サポートプログラムと連携していく。</p>
山田	学びに向かう力を育む授業づくり・心の教育の推進
明倫	「子どもにつけたい力を明確にした授業研究」 ～生きて働く知識・技能の習得を図る学習をめざして～
殿山第一	『主体的・対話的で深い学びをめざす国語の授業』 ・国語科において主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを目指す。 ・各教師の個性を生かした研修を実施し、スキルを高め授業力の向上を目指す。
殿山第二	豊かな心を育む授業 ～よりそうこと、わかりあえることのできる子を目指して～
樟葉	「言語能力を高める授業づくり」 ペア、グループ活動を中心とした教え合い自己肯定感を高め、意欲的に学び合える授業を目指して
津田	わかる・できる・楽しい授業をめざして ～表現力を高めあおう～
菅原	<ul style="list-style-type: none"> ・生きる力となる基礎基本の徹底と豊かな学力の定着を図るため授業の改善を通じ主体的に学び、高め合う能力を育成する。 ・書く力や話す聞く力など、伝える力を高めることによって、よりよい解決方法を見つける力を養う。 ・9年間を見通した授業等について小中連携の進め方について研究する。 ・授業の中でICT機器の効果的な活用について研究する。 ・全国学力学習状況調査等の結果を踏まえ、研究を進める。
氷室	感謝と思いやりの心をもって、礼儀・マナーを尊重しようとする児童を育成する。
高陵	豊かな心をもち共によりよく生きようとする児童の育成を目指す。 ～伝え合う力を高める～
山之上	「伝え合う力の育成～言語能力の育成～」
牧野	『算数的活動を通して楽しく学びあう』 ～「面白さが分かった！楽しい！」算数を目指して～
交北	<p>①学びたくなる学校 楽しくわかる授業・学力向上・学びの時間の保障・家庭学習の定着・読書活動の充実</p> <p>②笑顔あふれる学校 生活規律の確立・ともに支え、認め合う学級づくり・自尊感情の育成・支援教育の充実・すこやかな体づくり</p> <p>③信頼される学校家庭、地域との連携・小中一貫教育・教育環境の整備</p>
香陽	「自分の思いや考えを豊かに表現し合う子どもの育成」 ーふりかえり活動を通じた授業のデザインを検証するー
招提	子どもたちの自尊意識（自己肯定感、自己有用感）を育む集団（仲間）づくりを意識した授業づくり、指導力の向上をめざして
中宮	「自尊感情を高め、いきいきと活動する子ども」 ～関わり合い、認め合う学級集団～
小倉	表現力を高める国語科の授業づくり ～学びあえる集団をめざして～

樟葉南	子ども同士が考えを深め合える授業作り ー話し合いを深める単元構成と発問の研究を通してー
磯島	「自ら考え、読み解く力を育む」 ～目的に応じ、内容や要旨を捉えることができる力の育成～
蹉跎西	「自他を見つめ、つながり合う」道徳教育の推進 ～指導と評価の一体化をめざして～
樟葉西	主体的・対話的で深い学びができる子どもの育成を目指す
田口山	言語活動を通してコミュニケーション力を育てよう
西牧野	一人一人が考えをもち、分かりやすく表現し、交流を通して考えを深める。
川越	書く力を高める話し合い活動の充実
蹉跎東	「話し合い活動を深化させよう。」 ～聞き上手から伝え上手へ～
桜丘北	研究目標主体的に学び、伝え合う力を育てる。 研修主題基礎学力の定着を図る。 自らの考えを持ち、表現する力を伸ばす。 友だちとの関わりの中で、考えを深めていく。
津田南	子どもの思考力・判断力を高める授業づくり ～読む力・聞く力の育成～
樟葉北	言語活動を通した豊かな心の育成 ～指導と評価の一体化～
船橋	「豊かな言語力を育み、自らの思いを伝える」
菅原東	『国語科～言葉を大切に伝え合う力の育成～』
中宮北	グローバル化する社会に対し、自らを豊かに表現できる児童の育成 『表現力を高める授業づくり～学びあえる集団づくり～』
山田東	基礎・基本と子どもの興味・関心を大切にした学習活動を推進することを通して、学習に生き生きと意欲的に取り組み、自ら課題を持ち、主体的に考え、学び、行動する子どもを育てる。 人権の視点にたった「授業づくり」を山田中学校区で取り組む。主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICTの活用一人ひとりが大切にされ、つながり、学び合い、確かな力を育む学びの創造。
藤阪	「みんなが生き生きとする授業づくり」 ー伝え、受けとる力を育てる国語ー
平野	すべての子どもが体を動かす楽しさや心地よさを味わいながら、基本的な体の動きを身につける。 学習活動をふり返り、仲間との対話を通して、自らの課題によりよい解決策を見出し、していく力をつける。
長尾	「うけとめあい・つたえあい・つくりあう子ども」 ～子どもが主体的に学ぶ対話型授業へ～
東香里	「自他の考えを繋げ、比べたり、まとめたりする力の育成」 ～話し合ったことをもとに、学習内容のまとめができる子ども～
伊加賀	・国語的活動を通して、自分の考えを表現できる子どもの育成 ・教職員の資質の向上
西長尾	集団の中でともに学び合う力を育てる ～学びやすい学習環境を探る～

[中学校]

中学校名	研究テーマ
第一	平和で文化的な社会の形成者として、民主的で心身ともに健康な実践の人を育てる。 考える子・思いやりのある子・たくましい子・子どもの「聴く力」を伸ばし、自尊意識を高める授業づくり・わからないことをわからないと言える授業づくり
第二	①すべての生徒の学びを保障する授業 ②生徒をつなぐための課題設定 ③生徒がどのような場面で学び、どのような場面で学びからおいてしまうのか ④生徒の声の拾い方と戻し方⑤コの字型の机配置の活用法
第三	生徒の主体的な学びを引き出す ～アクティブラーニングの研究～
第四	1. 『四中メソッドの深化』 1) 授業の課題設定と振り返りの徹底 2) 肯定的評価活動 3) 協働的な学びの推進 4) ICT機器の活用 5) 言語活動の充実 6) ユニバーサルデザインの授業づくり 2. 『キャリア教育』の充実 3. 小中一貫教育『授業スタイル（四中学園メソッド）の進化』
津田	①自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力の育成 ②基礎・基本の確実な定着と「確かな学力」の育成 ③言語力の育成 ④小中9年間を見通し、小小間、小中間の段差解消、学習の連続性の確保。自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力の育成 ⑤上記①②③④を実現可能にする授業の在り方を研究・実践する。 ⑥感性や道徳心が豊かな生徒を育成するための取り組み
枚方	枚方中学校ブロックのめざす子ども像としての ①夢や目標に向かい学びあう子ども ②考え、判断し、表現する子ども ③人権を尊重し行動する子どもの定着を図るための教職員の指導力向上を図る。
中宮	「主体的・対話的で深い学び」の実現 ～どの子もわかる授業をめざして～ ・コミュニケーション能力（充実した班活動）の向上 ・自分の考えや思いを正確に書く力の向上
招提	・豊かな心と感性を育み、課題解決能力を育成するための指導法の研究
楠葉	言語能力を高める授業づくり ～言語活動を取り入れた問題解決型学習をめざして～
楠葉西	小グループを用いた、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、4人グループを用いた授業改善の研究
東香里	・開かれた学校づくりのために、学校教育自己診断だけでなく、外部の評価や意見を直接求めるため、学校評議員を設置する。 ・学校運営や教育活動について、地域の方から意見を聞き、意向を把握し、PDCAサイクルを使い、役立てる。
長尾	言語活動の充実した授業づくり授業のユニバーサルデザインを推進

杉	主体的・対話的で深い学びにつながる指導方法の研究 (各教科及び特別の教科「道徳」)
山田	「一人ひとりが大切にされ、つながり・学び合い、確かな力を育む学びの創造」 ～主体的・対話的な深い学びをめざして～
渚西	ユニバーサルデザインの授業づくりを踏まえ、主体的・対話的で深い学びをめざして
桜丘	教職員の授業力の向上と生徒の人間関係づくり
蹉跎	①確かな学びと自立の心をはぐくむ教育の充実 (学ぶ喜びのある学校) ②子どもの人権を尊重した教育の推進 (笑顔あふれる学校) ③倫理観・規範意識の向上 (信頼される学校)
招提北	子どもたちの意識・理解の質を高め、「主体的・対話的で深い学び」のある学習活動の実現 【具体的方策】 「授業力向上」を目指した取り組みの推進基礎的・基本的な知識・技能の定着と「主体的・対話的で深い学び」のある学習活動について子ども主体の学習活動、自己効用感の高まる方策について「気づき」「つながり」「学び合い」のある学校教育活動の推進
長尾西	「主体的・対話的で深い学び」の実践に向けて

19. 学校評価

枚方市立学校園（小・中学校・幼稚園）では、学校園の教育活動が幼児・児童・生徒の実態や保護者の学校園の教育に対するニーズに対応しているかなど、学校園の教育計画の達成度を診断票（診断基準）に基づいて点検・評価し、学校教育の改善のための方策を保護者や地域に明らかにする「学校教育自己診断」を実施しています。

各学校園では、「学校教育自己診断」の結果等を活用し、①学校園が、自らの教育活動その他の学校運営について、組織的・継続的な改善を図ること。②学校評価の実施・結果の公表により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者・地域住民等から理解と参画を得て、その連携協力による学校園づくりを進めること。③枚方市教育委員会が、学校評価の結果に応じて、学校園に対する支援等ができる仕組みを構築すること。を目的に学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施しています。

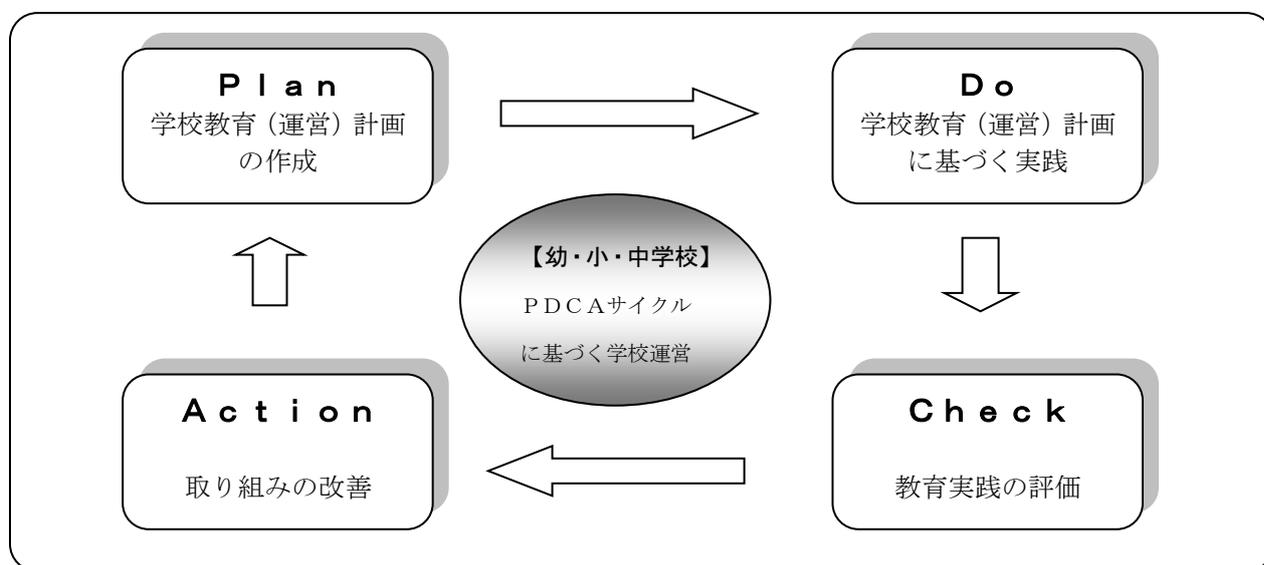
（1）自己評価

各学校園の教職員が行う評価で、実施・公表・教育委員会への報告が法令で義務付けられています。

（2）学校関係者評価

保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価です。

■学校評価に基づく学校運営サイクル



20. 学校評議員制度

これからの学校がより自主性・自律性を持って、校長のリーダーシップのもと組織的に運営され、幼児・児童・生徒の実態や地域の実情に応じた特色ある学校づくりを展開することができるよう、全小・中学校、幼稚園で学校評議員制度を実施しています。

21. コミュニティ・スクール

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりが求められています。

各学校で特色ある教育活動を展開していくため、順次、小学校に枚方市におけるコミュニティ・スクールを設置し、保護者や地域住民とともに学校運営を進める「地域とともにある学校づくり」を推進します。

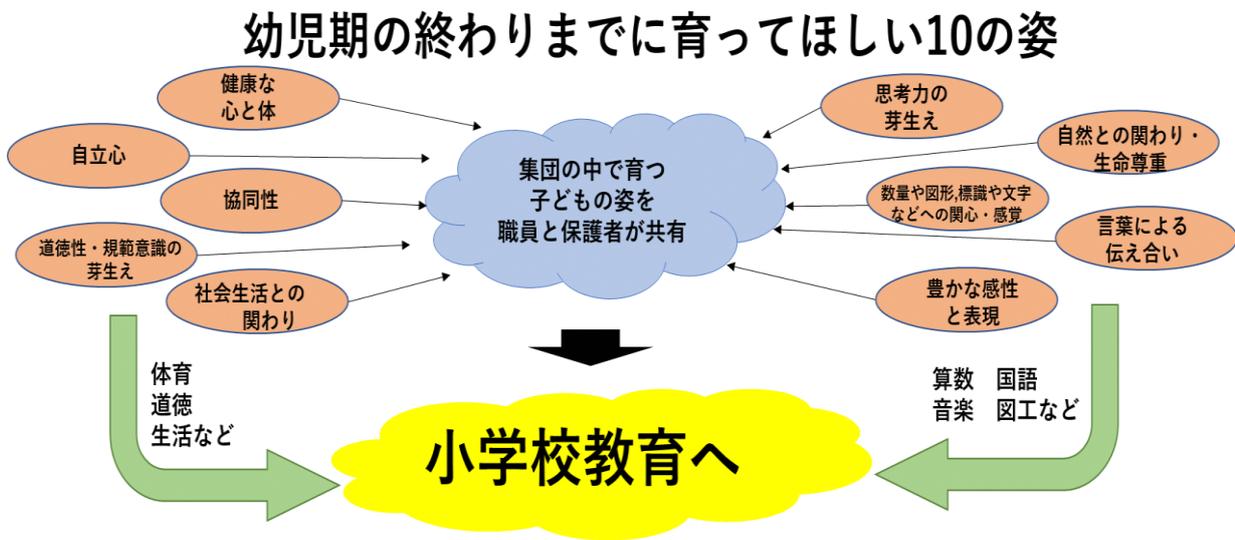


2.2. 幼児教育の充実

生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼稚園教育においては、幼児期にふさわしい生活の中で、様々な体験を通して幼児が心身ともに健やかに成長をとげられるよう、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた取り組みを推進しています。

(1) 枚方市立幼稚園の取り組み

幼稚園教育要領で示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を幼児一人ひとりの発達や特性に寄り添いながら、保護者、小学校教員とも共有して様々な取り組みを進めています。



(2) 幼稚園幼児教育充実事業

■ 事業区分別事業実施数

	事業区分	実施数
1	幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続に資する事業	7
2	地域の自然、人材、行事、公共施設等を活用し、幼児に多様な体験をする機会を提供する事業	0
3	幼児の保護者その他の関係者に幼児教育についての理解を深める機会を提供する事業	6
4	前3項以外の幼児教育の充実に資する事業	1
	合計	14

〔注〕・枚方市立幼稚園7園は、1～4のいずれかの事業を実施。(複数実施可)

・4の主な取り組み内容は、保幼小連携、未就園児とその保護者に対する取り組みなど。

(3) 幼稚園保護者支援充実事業

① 預かり保育事業

保護者が子育ての喜びを感じ、笑顔でわが子に接することができるように幼稚園の施設と機能を活用した支援をし、保護者の様々な事情に対応するとともに、幼児に安全で安心な遊び場を確保するため、全市立幼稚園で「預かり保育事業」を実施しています。



令和元年度(2019年度)からは、6園で3歳児保育を実施し、預かり保育を7時から19時まで拡充しています。

② 幼児教育教室事業

2・3歳の未就園児親子が安心して遊べる場と保護者同士が交流できる場を提供し、家庭の教育力を高めるとともに、孤立しがちな未就園児親子の現状から起こりやすい児童虐待の予防や子育て不安の軽減を図るため、全市立幼稚園で「幼児教育教室事業」を実施しています。



③ 小規模保育施設

小規模保育施設を併設している4園(枚方、高陵、蹉跎、田口山)では、1歳児から5歳児まで切れ目のない教育・保育を実施しています。

23. 研究指定校

枚方市の教育目標「学びあい、つながりあい、一人ひとりの未来をひらく」の実現に向け、学校教育について先進的な取り組みを推進する研究校を指定しています。

研究指定校では、研究組織を確立して、計画的に研究テーマに取り組み、市内学校園にその取り組みを発信します。研究指定校以外の学校は、研究指定校の取り組みの成果を各学校園において積極的に取り入れ、今後の学校教育の充実につなげていきます。

(1) 平成31年度 研究指定校

[国指定]

事業名	指定校	研究内容
学校現場における業務改善加速事業	楠葉中学校区	学校のマネジメント機能の強化を図ることで、学校現場の業務改善を進め、教員が子どもと向き合う時間の確保につながるための実践研究を行う。

[大阪府指定]

事業名	指定校	研究内容
スクールエンパワーメント推進事業（確かな学びを育む学校づくり）	開成小学校 香陽小学校 中宮中学校	学力向上に向けた取り組み等を保護者・地域等と共有しながら、新しい時代に必要となる資質・能力を育成する取り組みを積極的に推進し、開かれた学校づくりを進め、学力向上をめざすための実践研究を行う。
スクールエンパワーメント推進事業（学校図書館モデル）	樟葉西小学校	学校図書館全体計画を作成し、読書活動や学校図書館を活用した授業に取り組むことで、言語能力を育成し、子どもたちの学力を向上させる実践研究を行い、その成果を府下に発信する。
小中学校における学校図書館の充実	磯島小学校 西牧野小学校 渚西中学校	中学校区における学校図書館の運営の改善・向上を図り、児童・生徒及び教職員による学校図書館の利活用を促進する。また、中学校区の成果の普及を通して、市全体の学校図書館の機能強化を図る。
授業改善の推進	五常小学校 小倉小学校	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することで、児童・生徒の「確かな学力」を育む実践研究を行う。
小学校外国語専科	菅原東小学校	小学校教員が外国語活動の授業を行うための実践研究を行う。 小学校教員とJTE（日本人英語教育指導助手）のTT（ティームティーチング）による授業の効果検証について実践研修を行う。
中学校英語コーディネーター	東香里中学校	<ul style="list-style-type: none"> 「授業改善推進リーダー研修」で学んだ内容を基にした示範授業、他校教員への指導助言を通し、中学校教員の授業中における英語使用量の増加等、授業改善を図る。 「話すこと（やりとり）」を重視した指導と評価の研究・教材開発。 CAN-DOリストを活用した授業づくり、評価方法の研究。
カリキュラム・マネジメント調査研究事業	第一中学校 招提小学校	学校教育目標と関連させ、児童・生徒につけたい資質・能力を明確にし、その実現に向けたカリキュラム・マネジメントの実践研究を行う。
道徳教育推進事業	蹉跎小学校	『「特別の教科 道徳」実践事例集』を活用した多様で効果的な実践の研究。新学習指導要領の趣旨や内容を踏まえ、指導と評価の一体化をめざした授業づくりの推進を行う。

小・中連携教科指導(外国語)	楠葉中学校区	中学校教員が小学校で教科指導を行うことで、小学校における専科指導の充実を図るとともに、小中一貫教育を一層推進し、子どもたちの確かな学力をはぐくむ研究を行う。
小学校外国語専科	氷室小学校 田口山小学校 西長尾小学校 津田南小学校	小学校教員が外国語活動を行うための実践研究を行う。

[枚方市指定]

業名	定校	研究内容
外部の知見を活用した学力向上研究モデル校	香陽小学校 開成小学校 五常小学校 山田小学校 菅原東小学校 東香里中学校	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりの推進に向けて、外部の知見を活用し、組織の充実を図りながら実践研究を行うとともに、研究授業を公開することにより、その成果を市内に発信する。
未来学習研究事業	第四中学校	ICT機器の効果的な活用のために、教員用・生徒用タブレットを授業や家庭学習で効果的に活用するために実践研究を行う。
プログラミング教育研究モデル校	東香里小学校	タブレット型PC等のICT機器やプログラミングコンテンツの効果的な活用について検証を図り、各教科等の学習活動を通じて児童の情報活用能力を体系的に育成するための実践研究を行う。
体力向上研究モデル校	平野小学校 殿山第二小学校	運動やスポーツをすることが「楽しい・好き」という子どもを増やし、運動習慣を確立させることで、体力向上をめざすための実践研究を行う。併せて教員の指導力向上を図るとともに、学校の体力づくりの取組みの充実を図るための実践研究を行う。
幼児教育推進モデル園事業	枚方幼稚園	小学校の「生活科」を踏まえて幼児期の遊びを検証する中で、遊びで育つ学びに向かう力を育むための教師の援助について実践研究を行う。
小学校外国語専科	香里小学校 津田小学校 樟葉南小学校 西牧野小学校	小学校教員が単独で授業を行うモデル 新教材を用いた指導案と教材の作成 評価方法の研究 外国語教育におけるリーダーの育成
小中一貫教育推進事業	第一中学校 第四中学校 楠葉中学校 楠葉西中学校 蹊跼中学校	学力向上に向けた取組み等を保護者・地域等と共有しながら、新しい時代に必要となる資質・能力を育成する取組みを積極的に推進し、開かれた学校づくりを進め、学力向上をめざすための実践研究を行う。
情報教育研究モデル校	枚方小学校 樟葉小学校 招提小学校	情報教育を推進し、タブレット型PC等、ICT機器の効果的な活用についての実践研究を行う。

24. 地域人材等の活用

本市では、退職教員や、地域住民、学生など様々な人材の協力を得て、まなびングサポート事業や、学校支援社会人等指導者活用事業など様々な取り組みを推進しています。

■ 平成 30 年度 地域人材等の活用状況

地域人材等の名称	活動の概要			
まなびングサポーター 【まなびングサポート事業】	市立小・中学校の教育活動の支援及び教員をめざす大学生等の学校体験学習として、大学生等が小・中学校で教育の補助を行う。			
	延べ活動人数	139 人	延べ活動回数	2,167 回
やる気ングリーダー 【放課後自習教室事業】	市立小・中学校に退職教員や地域人材、大学生等を小・中学校の放課後自習教室開室時に配置し、児童・生徒の学習補助を行う。			
	延べ活動人数	214 人	延べ活動回数	5,401 回
社会人等指導者 【学校支援社会人等指導者活用事業】	各教科の指導補助、総合的な学習の時間、特別活動など、優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することで学校の教育活動を活性化させる。			
	延べ活動人数	260 人	延べ活動回数	1,489 回
中学校部活動指導協力者 【中学校部活動指導協力者派遣事業】	中学校の部活動において、顧問等が専門的・技術的な指導を行う際、当該顧問等の指導の下に指導を補助する者を派遣することにより、生徒の技術の向上を促進し、部活動の振興を図る。			
	延べ活動人数	103 人	延べ活動回数	5,553 回

25. 教職員研修

(令和元年(2019年)5月1日現在)

[平成30年度教職員研修実績]

(単位:回)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1. 基本研修													
(1)初任期教職員育成研修	14	11	3	3	14	6	13	10	3	5	3	-	85
(2)ミドルリーダー研修	1	2	-	-	5	1	1	3	-	3	-	-	16
(3)リーダー研修	1	4	1	-	2	4	-	2	-	-	2	-	16
(4)管理職研修	-	2	4	7	-	2	3	2	-	2	1	-	23
(5)職務研修	3	0	2	3	2	1	3	2	2	3	3	-	24
2. 専門研修													
(1)課題別研修													
①人権教育研修	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	2
②支援教育研修	1	1	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	5
③キャリア教育研修	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
④情報教育研修	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	3
⑤防災教育研修	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
⑥学級経営研修	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	3
⑦メンタルヘルス研修	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
⑧水泳指導研修	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
⑨プログラミング教育研修	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
⑩英語活用力向上研修	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2
⑪伝統文化研修	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
(2)授業力向上研修													
①授業基礎講座	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	2
②Hirakata 授業スタンダード講座	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	3
③中学校全体講座	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	3
④国語講座	-	-	2	-	-	2	1	-	-	1	-	-	6
⑤社会講座	-	1	-	-	-	2	1	1	-	1	-	-	6
⑥算数・数学講座	-	-	1	-	1	1	1	-	-	2	-	-	6
⑦理科・生活講座	-	1	-	-	2	1	-	1	-	1	-	-	6
⑧外国語活動・英語講座	-	1	-	-	2	-	-	2	-	1	-	-	6
⑨音楽講座	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	2
⑩図画工作・美術講座	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	3
⑪技術・家庭講座	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2
⑫保健・体育講座	-	1	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	4
⑬道徳教育講座	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	3
⑭総合的な学習の時間講座	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
(3)授業の達人養成講座													
①授業の達人養成講座	-	-	1	-	2	2	1	1	1	2	1	1	12
(4)教育フォーラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(5)先進地域・先進校視察研修	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
計	23	28	17	15	35	27	32	34	8	24	12	1	256

「学び続ける教職員」を育成し、枚方の子どもたちの「生きる力」をはぐくむ

基本研修

基本目標：

教職員研修の充実等による教職員の資質と指導力の向上
～授業研究・校内研修への支援を充実し、教員の授業力の向上を図る～

専門研修

教職員の経験年数や職務に応じて必要な知識・技能の習得を図る研修

初任期教職員 育成研修

- 教職員としての基礎的な知識や基本的な識見を養う。
- 経験の浅い教職員に実践的指導力や職務に必要な知識・技能の習得を図る。

- 小学校初任者・中学校初任者
- 2年目小中学校教諭
- 3年目小中学校教諭
- 4年目小中学校教諭
- 5年目小中学校教諭

- 1年目小中学校講師（定数内）
- 市費負担教員
- 初任期幼稚園教員《対象変更》
- 学校事務職員基礎研修《再編》

☆ 社会人としての基礎的素養、教職員としての基本的資質・能力に係る内容で1～5年目の教職員を対象に研修を実施し、教職員としての基礎形成を図る。

ミドルリーダー 育成研修（中堅教諭等資質向上研修）

- 中堅教員としての学校全体を見据えた実践的指導力及び経験の浅い教員への指導力の向上を図る。

- 6年目小中学校教諭
- 7年目小中学校教諭
- 9年目小中学校教諭
- 小中学校 10年経験者
- 学校事務職員ミドルリーダー《再編》

リーダー研修

- 専門的知識・技能の習得とともに、学校運営を推進する能力の向上を図る。

- 首席 指導教諭 教務主任 学年主任
- 生徒指導主事 進路指導主事
- 小中一貫・学力向上推進担当者
- 幼稚園教員リーダー《対象変更》
- 学校事務職員リーダー
- 学校事務職員主幹・主査《再編》

☆ 学校園の中核となる教職員を対象に研修を実施し、学校園運営に参画するリーダーの育成を図る。

職務研修

- 専門的な職務を担う担当者の専門的知識・技能の習得を図る。

- 養護教諭 栄養教諭 幼稚園教員 司書教諭・学校司書
- 支援教育コーディネーター 初任者指導教員 理科担当者
- 情報教育担当者 学校事務職員

教職員に求められる資質・能力

授業力

教科等の専門性の向上や多様な教育課題に対応できる資質・能力

マネジメント力

教職員のライフステージに応じた学年経営や学校運営等に必要なる資質・能力

子ども理解・集団づくり

- ・ 子どもの様々な状況や心理及び行動を理解する資質・能力
- ・ 子どもの思いに共感し、立場に立って考える姿勢
- ・ 他者を尊重する態度や集団と自己との調和を図る態度を育成できる資質・能力

倫理観・規範意識

- ・ 教育公務員として守り行うべき規範の遵守
- ・ 児童生徒、保護者、地域の方々との信頼関係を構築する資質

専門的な知識・技能の習得を図り、指導力を向上させるための研修

課題別研修

- 教育課題解決のための実践的指導力の向上を図る。

- 人権教育 支援教育 水泳指導（実技）《新設》
- キャリア教育 防災教育 プログラミング（実技）《新設》
- 情報教育 学級経営 英語活用力向上（実技）《新設》
- メンタルヘルス 伝統文化〔書道 / 箏 / 武道〕（実技）《再編》

☆ 新学習指導要領をふまえ、教員の実践的指導力の向上を図るため、実技研修を充実。

授業力向上研修

- 教科等における専門的知識・技能の習得及び「主体的・対話的で深い学び」のある授業や教材研究・教材分析のあり方、指導のポイントについて具体的・実践的な指導力の向上を図る。

- 小学校国語講座 中学校国語講座 小学校社会講座 中学校社会講座
- 小学校算数講座 中学校数学講座 小学校理科・生活講座 中学校理科講座
- 小学校外国語活動講座 中学校英語講座 小中学校音楽講座
- 小中学校図画工作・美術講座 小中学校保健・体育講座 小中学校技術・家庭講座
- 道徳教育講座 総合的な学習の時間講座 中学校全体講座《新設》
- 授業基礎講座〔板書 / ノート指導〕
- Hirakata 授業スタンダード講座

☆ 小中学校別の教科指導における授業改善の研修を実施。教科会、学年会の一層の充実を支援する。

☆ 中学校全体講座を新設し、各教科等講座と連動しながら「指導と評価の一体化」の推進を図る。

授業の達人養成講座

- 教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教員の育成を図るとともに、各教科等の指導における研究を深め、その成果を市内学校園に広める。

- 〔対象者〕 教職経験5年以上の教諭等（校長推薦）、2年間（平成30・31年度）継続受講
- 〔内容〕 年間12回実施（予定）
- ☆ 授業の達人につながる「授業実践におけるミドルリーダー」の育成をめざし、「授業マイスター」の認証制度を新設。
- * 大学教授等、学習指導案検討、模擬授業等を行う
- * 教材研究、学習指導案検討、模擬授業等を行う
- * 年間に1～2回の研究授業を実施（公開授業）
- * 先進地域・先進校への視察を実施

※ 2年実施の2年次に、受講者から『授業の達人』及び『授業マイスター』認証候補者の人選を行い、認証委員会を開催する。

枚方市教育フォーラム

- 枚方市が取り組んでいる「教育」を広く市民に情報発信するとともに、今後の枚方の「教育」の方向性について市民と共有する場として実施。

先進地域・先進校視察

- 新学習指導要領がめざす授業づくりに先進的に取り組む地域、学校を訪問し、授業参観や研究協議への参加を通して各校の研究推進を支援する。

26. 社会教育

(1) 社会教育委員

社会教育委員は、学識経験を有する者、学校教育及び社会教育の関係者並びに家庭教育の向上に資する活動を行う者の中から、教育委員会が委嘱します。現在、13人の委員で構成し、任期は平成29年8月1日～令和元年（2019年）7月31日の2年間です。社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行います。

- ① 社会教育に関する諸計画を立案すること。
- ② 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。
- ③ 前2号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。（社会教育法第17条）

【社会教育委員会議の開催状況】

（単位：人）

	開催日	案件名	出席委員数
第35期 第3回	4月27日	[報告] ・平成30年度の「枚方市日本語・多文化共生教室『よみかき』」について ・香里ヶ丘図書館の建替えについて ・第2次枚方市立図書館蔵書計画について ・文化財行政の充実に向けた取り組みについて ・その他	12
第35期 第4回	9月10日	[議事] ・「枚方市立図書館第3次グランドビジョン」平成29年度進捗状況について ・その他	9

(2) 児童の放課後対策審議会

児童の放課後対策審議会委員は、学識経験を有する者、社会教育に関する専門的知識を有する者、児童福祉に関する専門的知識を有する者、もしくは市民団体又は関係団体を代表する者の中から、教育委員会が委嘱します。現在、11人の委員で構成し、任期は平成29年9月13日～令和元年（2019年）9月12日の2年間です。児童の放課後対策審議会は、児童の放課後対策の総合的な推進に関し、次に掲げる事項に関する調査・審議を行います。

- ① 児童の放課後対策に関する基本計画の策定に関すること。
- ② 児童の放課後環境の整備に関すること。
- ③ 前2号に掲げるもののほか、児童の放課後対策に関し教育委員会が必要と認めること。

【児童の放課後対策審議会の開催状況】

(単位:人)

	開催日	案 件 名	出席 委員数
第6回	6月1日	[議事] ・放課後子ども教室モデル事業について ・児童の放課後対策に関する基本計画について	8
第7回	10月30日	[議事] ・放課後子ども教室モデル事業について ・児童の放課後対策に関する基本計画について	9
第8回	12月4日	[報告] ・放課後子ども教室モデル事業について [議事] ・児童の放課後を豊かにする基本計画について	8
第9回	3月4日	[報告] ・放課後子ども教室モデル事業について [議事] ・児童の放課後を豊かにする基本計画について(骨子案)	8

(3) 社会教育(人権)講座等開催状況

① 社会教育人権啓発事業

(単位:人)

開催日	事 業 名	講 師	会 場	参加人数
				保育人数
10月13日	発達障がいのある大人の当事者からのメッセージ ～発達障がい当事者の現状や必要なサポートについて考えてみませんか?～	DDAC(発達障害を持つ大人の会)代表 広野 ゆい	枚方市 市民会館	84
				2

② 朝鮮語教室実施状況

(単位:人)

ク ラ ス 名	期 間	内 容	講 師	会 場	参加人数
初級クラス (週1回、計40回)	通年	・文字・発音と簡単な会話を学習 ・ハングルの学習を通じて朝鮮半島の文化、歴史等を学ぶ	丁聖美 (チョンソンミ)	サンプラザ 生涯学習市民 センター	52

【注】・補助執行事業として、生涯学習課が実施。

③ 講座「生きること」実施状況

(単位:人)

開催日	テーマ	講師	参加人数
9月6日	人口呼吸器があってもみんなと一緒に！ ～支援者と地域で暮らす～	バクバクの会～人工呼吸器 と共に生きる～関西支部 幹事 新居 真理	34
9月13日	「ひきこもりだった。でも、だからこそ感じられたことやできたことがあった。」	NPOみんなの未来かいたく団 代表理事 児島 一平	46
9月19日	閉じ込められた命 ～私の母はハンセン病でした～	ハンセン病家族訴訟原告団 副団長 黄光男	37
9月26日	食べることは、生きること ～拒食症だった私が、旅するおむすびやを始めた理由～	(株)CAMPFIRE FOOD・LOCAL 担当 菅本 香奈	28

[注] ・生涯学習課・人権政策室・特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会と共催。

・会場：サンプラザ生涯学習市民センター

・啓発記録冊子の発行：平成30年度講座「生きること」1,000部。

(4) 枚方市日本語・多文化共生教室開催事業

枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」開催状況

会場	開催曜日時間	実施回数(回)	延べ参加者数(人)
楠葉生涯学習市民センター	木・土 10時～12時	87	388
サンプラザ生涯学習市民センター [※]	木・土 19時～21時	85	490
蹉跎生涯学習市民センター	火・金 10時～12時	85	134
牧野生涯学習市民センター	火・木・金 10時～12時	130	606
津田生涯学習市民センター	水・金 10時～12時	87	463
菅原生涯学習市民センター	火 10時～12時 金 19時～21時	88	401
合計		562	2,482

[※] サンプラザ生涯学習市民センターのみ、補助執行事業として、生涯学習課が実施。

(5) 社会教育主催事業

① 社会教育基礎講座

(単位:人)

開催日	事業名	講師	会場	参加人数
				保育人数
10月21日	地域で支える認知症 ～誰もがいつまでも安心して 暮らせる社会をつくる～	関西大学 人間健康学部 教授 黒田 研二	枚方市 市民会館	66
				-
2月16日	災害から身を守る！ ～今すぐできる対策、教えます ～（子育て世代編）	枚方市消防団 女性分団	サンプラザ 生涯学習 市民センター	12
				2
2月27日	災害から身を守る！ ～今すぐできる対策、教えます ～（シニア編）	枚方市消防団 女性分団	楠葉生涯学習 市民センター	22
				-

② 家庭教育支援事業

(単位:人)

開催日	事業名	講師等	会場	参加人数
				保育人数
8月25日	親子でさがそう！ チリメンモンスター！	公益社団法人 大阪自然環境保全協会 (ネイチャーおおさか)	生涯学習情報 プラザ	14組37
				-
9月1日	複雑化・深刻化する思春期の “いじめ” ～子どもたちのSNSの現実、 知っていますか？～	華頂短期大学幼児教育 学科講師 堀出 雅人	枚方市 市民会館	29
				-
12月5日	親学び講座	ひらかた親学びリーダー	枚方市立 田口山幼稚園	10
				-
2月7日	大切な人の「想い」とともに…	一般社団法人清水健基金 代表理事 清水 健	枚方市立メセナ ひらかた会館	366
				-
3月9日	これって、過保護？過干渉？ ～子どものやる気を引き出すた めに～	一般社団法人 家庭教育支援センター ペアレンツキャンプ 代表理事 水野 達朗	サンプラザ 生涯学習 市民センター	21
				3
3月30日	親子でつくろう！ オリジナルスピーカー！	枚方テクノカレッジ代表 竹本 信之	生涯学習情報 プラザ	14組35
				-

(6) 成人祭「はたちのつどい」実施事業

(単位：人)

開催日	実施内容	会場	対象者数	参加人数
1月14日	式典	市立全中学校体育館	4,573	3,126

(7) 児童の放課後対策事業**放課後子ども教室モデル事業**

	蹉跎小学校	山田小学校	津田小学校	樟葉北小学校	合計
実施日数 (日)	72	72	73	73	290
延参加児童数 (人)	1,611	1,649	1,961	640	5,861

上記は第1クールと第2クールの合計数値。

第1クール：平成30年10月1日～平成30年11月17日

第2クール：平成30年11月19日～平成31年2月16日

27. 留守家庭児童会室運営実施状況

(1) 留守家庭児童会室運営実施状況

(単位：人)

児童会室名	定員	入室児童数	児童会室名	定員	入室児童数	児童会室名	定員	入室児童数
開成	108	107	招提	98	84	平野	150	150
山田	50	50	枚方第二	148	138	桜丘	149	116
香里	162	161	田口山	104	103	殿山第一	100	88
明倫	84	84	中宮	98	98	春日	139	126
津田	141	114	枚方	197	178	西牧野	97	74
牧野	147	145	山之上	131	131	山田東	100	68
香陽	98	78	津田南	238	235	蹉跎西	149	116
高陵	54	54	樟葉西	98	94	長尾	86	86
小倉	117	117	樟葉南	86	86	川越	50	36
樟葉	159	158	菅原東	197	190	桜丘北	103	101
殿山第二	112	112	中宮北	75	61	樟葉北	100	63
蹉跎	150	131	蹉跎東	87	75	船橋	106	106
五常	113	112	磯島	150	117	東香里	52	52
交北	107	106	氷室	62	60	伊加賀	150	126
菅原	139	128	藤阪	149	120	西長尾	135	112
合 計							5,325	4,847

(令和元年(2019年)5月1日時点)

28. 文化財の保護

(令和元年(2019年)5月1日現在)

(1) 市内の指定・登録文化財

① 指定文化財

[国指定文化財]

種別		名称	指定年月日	数量	所在地	所有者 [管理者]	
有形文化財	重要文化財	建造物	かたの 片埜神社本殿 附 棟札	大正6年4月5日 昭和39年5月26日	1棟 1枚	牧野阪2丁目21番15号	片埜神社
			交野天神社本殿 附 棟札	大正6年4月5日 昭和39年5月26日	1棟 2枚	楠葉丘2丁目19番1号	交野天神社
			交野天神社末社八幡神社本殿	大正6年4月5日	1棟	楠葉丘2丁目19番1号	交野天神社
			巖島神社末社春日神社本殿	昭和53年5月31日	1棟	尊延寺5丁目9番11号	巖島神社
	彫刻	木造菩薩坐像	平成28年8月17日	2軀	京都市東山区茶屋町527 京都国立博物館寄託	清泰寺	
ござんげぐんだり 木造降三世軍荼利明王立像		平成28年8月17日	2軀	尊延寺6丁目11番1号	尊延寺		
記念物	特別史跡	くだらでら 百濟寺跡	昭和16年1月27日 昭和27年3月29日		中宮西之町4340番	百濟王神社 [枚方市]	
	史跡	牧野車塚古墳	大正11年3月8日 昭和55年2月19日		車塚1丁目369番ほか	枚方市ほか	
		禁野車塚古墳	昭和47年3月22日 平成19年7月26日		宮之阪5丁目381番3ほか	枚方市	
		楠葉台場跡	平成23年2月7日		楠葉中之芝2丁目4601番 ほか	枚方市ほか	

[府指定文化財]

種別		名称	指定年月日	数量	所在地	所有者
有形文化財	建造物	安養寺石造露盤	昭和45年2月20日	1基	南楠葉2丁目38番17号	安養寺
		正俊寺石造十三重塔	昭和45年2月20日	1基	長尾宮前2丁目2番1号	正俊寺
		片埜神社東門 片埜神社南門	昭和47年3月31日 昭和52年3月31日	2棟	牧野阪2丁目21番15号	片埜神社
		田中家住宅鋳物工場 田中家住宅主屋	昭和48年3月30日 昭和50年8月27日	2棟	藤阪天神町5番1号	枚方市
	彫刻	釈尊寺木造釈迦如来立像	昭和45年12月7日	1軀	釈尊寺町1番10号	釈尊寺
	工芸品	片埜神社石造灯籠	昭和45年2月20日	1基	牧野阪2丁目21番15号	片埜神社
	考古資料	百濟寺遺跡出土埴仏	平成18年1月20日	一括	藤阪天神町5番1号	枚方市
記念物	史跡	継体天皇樟葉宮跡伝承地	昭和46年3月31日		楠葉丘2丁目19番1号	交野天神社
		伝王仁墓	昭和13年5月11日 平成5年3月31日		藤阪東町2丁目2220番2 ほか	国・大阪府
		田口山遺跡	昭和18年8月23日 平成25年6月14日		田口山2丁目2010番3	山田神社
	天然記念物	枚方田中邸のむく	昭和45年2月20日		枚方上之町123番4	枚方市
		光善寺のさいかち	昭和50年3月31日		出口2丁目8番13号	光善寺

[市指定文化財]

種別	名称	指定年月日	数量	所在地	所有者 [管理者]	
有形文化財	建造物	はいなぎさのいんかんのんじしょうろう 魔渚院観音寺鐘楼	平成8年4月1日	1棟	渚元町9番23号	渚元町自治会ほか
		村野村高札場	平成8年4月1日	1棟	村野本町10番62号先	枚方市
		鍵屋主屋	平成9年4月1日	1棟	堤町10番27号	枚方市
		大聖寺薬師堂内厨子	平成9年4月1日	1基	春日元町2丁目16番30号	大聖寺
		交野天神社末社貴船神社本殿	平成16年4月1日	1棟	楠葉丘2丁目19番1号	交野天神社
		春日神社本殿・春日神社末社若宮八幡宮本殿（津田）	平成23年4月1日	2棟	津田元町1丁目10番1号	春日神社
	彫刻	浄念寺木造不動明王立像	平成9年4月1日	1軀	三矢町7番21号	浄念寺
		和田寺木造薬師如来立像	平成9年4月1日	1軀	禁野本町2丁目7番43号	和田寺
		尊延寺木造不動明王立像	平成16年4月1日	1軀	尊延寺6丁目11番1号	尊延寺
		尊延寺木造四大明王像のうち 大威徳明王坐像・金剛夜叉明王立像	平成16年4月1日	2軀	尊延寺6丁目11番1号	尊延寺
		尊延寺木造地藏菩薩立像	平成16年4月1日	1軀	尊延寺6丁目11番1号	尊延寺
		安養寺木造宝冠釈迦如来坐像	平成21年4月1日	1軀	南楠葉2丁目38番17号	安養寺
	工芸品	魔渚院観音寺梵鐘	平成8年4月1日	1口	渚元町9番23号	渚元町自治会ほか
		くしゅうおんいん 久修園院地球儀	平成14年4月1日	1基	楠葉中之芝2丁目46番	久修園院
		久修園院天球儀	平成14年4月1日	1基	楠葉中之芝2丁目46番	久修園院
	書跡 工芸品	尊延寺大般若経 附唐櫃	平成14年4月1日 平成21年4月1日	598帖 2合	車塚2丁目1番1号	尊延寺
	考古資料	くずがみはいじ 九頭神魔寺出土 銅造誕生釈迦仏立像	平成9年4月1日	1軀	—	個人
	歴史資料	みうららんぼん 三浦蘭阪関係資料	平成22年4月1日 平成29年4月1日	一括 2,720点	車塚2丁目1番1号	枚方市
		片岡家文書	平成23年9月1日	一括 7,549点	車塚2丁目1番1号	個人 [枚方市]
		古文書	今中家旧蔵文書	平成22年4月1日	一括 3,238点	車塚2丁目1番1号
	民俗文化財	有形 民俗文化財	おかみ 意賀美神社の算額	平成8年4月1日	1面	枚方上之町1番12号
三之宮神社の湯釜			平成10年4月1日	1口	穂谷2丁目7番1号	三之宮神社
せんぐうえま 御殿山神社遷宮絵馬			平成14年4月1日	1面	渚本町12番55号	御殿山神社
旧田中家鋳物用具と製品一式			平成19年4月1日	一式	藤阪天神町5番1号	枚方市
記念物	史跡	鍵屋	平成10年4月1日		堤町10番27号	枚方市
		九頭神魔寺	平成19年4月1日		牧野本町1丁目210番13外	枚方市
		禁野本町遺跡	平成19年4月1日 平成19年10月1日		中宮北町50番107 中宮北町2番6号南東	枚方市 (独)都市再生機構
		光善寺（出口御坊跡）	平成22年4月1日		出口2丁目8番13号	光善寺

②登録文化財

[国登録文化財]

種別	名称	登録年月日	数量	所在地	所有者	
有形 文化財	建造物	大阪歯科大学牧野学舎本館	平成17年11月10日	1棟	牧野本町1丁目4番4号	学校法人 大阪歯科大学
		奥野家住宅主屋他	平成29年5月2日	5棟	—	個人
		田中家住宅主屋他	平成30年11月2日	6棟	—	個人

[市登録文化財]

種別	名称	登録年月日	数量	所在地	所有者
有形文化財	宗左の辻の道標	平成 26 年 4 月 1 日	1 基	岡本町 3 番 4 号東側市道上	
	明治十八年洪水碑	平成 26 年 4 月 1 日	1 基	桜町 16 番地先	
記念物	仁明天皇外祖母贈正一位田口氏之墓	平成 26 年 4 月 1 日		田口 3 丁目 291 番	(土地所有者： 近畿財務局)
民俗文化財	三之宮神社の雨乞返礼の石燈籠	平成 30 年 9 月 1 日	4 基	穂谷 2 丁目 7 番 1 号	三之宮神社

(2) 主な文化財

百済寺跡

東大寺大仏造立の際、百済の王族の末裔、百済王敬福は天平 21 年（749）に陸奥国で産出した金を献上した功により、翌天平勝宝 2 年（750）、宮内卿に任ぜられ、その後河内守を加えられました。

以後、百済王氏は中宮の地に住み、奈良時代後半に氏寺として百済寺を建立したと考えられています。

- ◆ 伽藍は南から南門・中門・東西両塔・金堂・講堂・食堂の順に配置され、回廊は中門から東西に延び両塔を囲んで金堂につながっています。
- ◆ 韓国慶州市にある感恩寺等の統一新羅時代の寺院跡と伽藍配置が類似することから、その関連が注目されています。
- ◆ 現在では礎石しか残っていませんが、昭和 27 年に特別史跡に指定され、同 42 年には全国に先がけて史跡公園として整備されました。



牧野車塚古墳

牧野車塚古墳は、穂谷川左岸の台地上に立地する前方後円墳で、全長 107.5m、後円部径 58m、前方部幅 45m を測ります。主軸線をほぼ東西にとり、周溝をめぐるせ、西側から南側にかけて外堤があります。埋葬施設の構造や副葬品は不明ですが、出土遺物の特徴や墳丘の形状などから、築造時期は古墳時代前期後半（4 世紀後半）と考えられます。大正 11 年に国の史跡に指定されました。



禁野車塚古墳

天野川に臨む低位段丘に築かれた前方後円墳です。墳丘は二段築成で主軸線をほぼ東西にとり、全長 120m、後円部径 63m、前方部幅 55mを測ります。前方部高は 3.4mで、後円部高は 9 mです。

測量調査の結果、奈良県桜井市の箸墓古墳の墳形とよく似た特徴を有していることが判明しました。築造時期は古墳時代前期前半（4世紀前半）と考えられます。昭和 47 年に国の史跡に指定されました。



楠葉台場跡

楠葉台場は、京都防衛のために江戸幕府により築造された河川台場（砲台場）です。設計の総責任者は勝海舟で、「稜堡式」という西洋式築城技術を採用し、慶応元年（1865）に完成しました。土塁と堀で囲まれた約 38,000 m²の台場は、3か所の砲座や、番所・火薬庫を備える大規模な施設で、京街道を引き込み、関門としての機能を併せ持つなど軍事施設と交通施設が同居する珍しい特徴をもっていました。平成 23 年に国の史跡に指定されました。



交野天神社

広い境内のほぼ中央に位置する本殿は一間社流造檜皮葺で、残されている棟札によると応永 9 年（1402）の建築です。

末社八幡神社本殿も一間社流造檜皮葺で、交野天神社本殿に比べやや小ぶりですが、本殿と共通する構造様式がみられ、妻飾の又首組・正面の透彫欄間などから、応永頃の建築と考えられます。両者とも室町時代中期に遡る枚方市内の建築としては最古のもので、大正 6 年に特別保護建造物に指定され、昭和 25 年に文化財保護法により重要文化財に指定されました。

境内北東の小丘に建つ末社貴船神社本殿は、桃山時代に遡るとみられる一間社流造檜皮葺の遺構です。平成 16 年に市有形文化財に指定しました。

平成 15～17 年度にかけて交野天神社本殿及び末社八幡神社本殿保存修理工事を実施しました。また、平成 18 年度には市指定文化財である末社貴船神社本殿の修理工事を実施しました。



片埜神社

現在の本殿は、慶長7年（1602）、豊臣秀頼が大坂城鬼門除鎮護の社として、片桐且元に命じ社殿を再建しました。三間社流造の本殿は、極彩色の彫刻を施すなど華やかで豪壮な桃山時代の建築様式がよく残り、大正6年には特別保護建造物に指定され、昭和25年に文化財保護法により重要文化財に指定されました。

平成21年度から檜皮葺屋根の葺替と彩色塗装などの保存修理工事を実施し、平成23年12月に完了しました。

慶長7年建立の南門、室町時代後期頃の東門、鎌倉時代末期頃の石造灯籠とともに大阪府指定有形文化財です。



巖島神社

巖島神社本殿は、文久3年（1863）に奈良春日大社の旧殿を巖島神社本殿として譲り受けたものです。その際、元の本殿を末社春日神社本殿として移築したと伝えられています。

末社春日神社本殿は一間社流造檜皮葺の遺構です。建立年代は詳らかではありませんが、建築様式から室町時代中期と考えられます。縁廻り、庇廻りや造作などは後世に補修されていますが、全体的に創建当初の姿がよく残っており、比較的建立年代の古い重要な建物遺構として、昭和53年に重要文化財に指定されました。平成6年に解体修理が実施され、彩色など創建当初の姿を甦らせました。



尊延寺

木造降三世軍荼利明王立像は、平安時代後期（11世紀前半）の中央の仏師の手になる等身大の明王像です。平成28年に重要文化財に指定されました。特に軍荼利明王立像は、この時代の作例としては極めて優れたもので、左足を蹴上げる姿が特徴的です。

不動明王立像、木造四大明王像のうち大威徳明王坐像・金剛夜叉明王立像、及び地藏菩薩立像は市有形文化財に指定しています。

また、大般若経598帖とそれを収納していた唐櫃2合が残されています。

文永10年（1273）の奥書から津田郷の領主的存在だった中原宗包が父の十三回忌および亡母の供養のために書写したこと、また「屋形宮御経」と書かれていたことから三之宮神社に奉納されたことがわかります。ともに市有形文化財に指定しています。



軍荼利明王立像

枚方田中邸のむく

ムクはニレ科の落葉喬木で、田中邸のむくは樹高 21m、幹周 5.4 m で樹齢約 600 年の巨樹です。葉の表面はざらざらしており、鋳物製品を磨くために用いられたといわれています。田中家は代々、河内国惣官鋳物師として伝統を受け継ぎ、邸内のむくは枚方金屋のシンボルでした。この種の巨樹として全形をとどめる樹木は府内でも珍しく、昭和 45 年に府の天然記念物に指定されました。



渚院跡

立太子争いに敗れた惟喬親王（844～897）は、渚に別荘を営み、在原業平らと憂いをはらすためしばしば遊興に來たようです。この様子は『伊勢物語』や『土左日記』などにも登場し、全国的にも有名なところ です。

その後、別荘は荒廃し同地には観音寺が建立されたと伝えられています。観音寺は明治の初め、神仏分離により廃寺となり、その本尊十一面観音は渚村の西雲寺に移されました。観音寺を今に伝える唯一の遺構である鐘樓と、河内鋳物師として活躍した田中家鋳造の梵鐘が、現在この地に残されています。この梵鐘は、市域に唯一現存する田中家鋳造の梵鐘で、鐘樓とともに平成 8 年、市の有形文化財に指定しました。平成 18 年には屋根瓦の破損が激しかった鐘樓の葺替工事を実施しました。



村野村高札場

中世末期から法令・禁令などを板札に墨書し、人目に付きやすいところに掲示しました。江戸時代には公的施設として村の中心地などに常設の高札場が設けられ、奉行や代官による法令布達手段として用いられました。高札場は明治政府により廃止され、残っているものは極めて少なく、市域では当高札場が唯一現存するものです。平成 8 年に市の有形文化財に指定しました。



九頭神麁寺

九頭神麁寺は、飛鳥時代後期（7世紀末）に建立された古代寺院の跡です。中心伽藍の一つである塔の基壇が確認されているほか、穀物や資材を収めた倉庫群「倉垣院」や寺務を統括した「政所院」などの寺院経営にかかわる施設（付属院地）の遺構が発見され、地方寺院における堂塔伽藍以外の土地利用の実態を示す極めて稀有な事例となっています。平成 19 年に市の史跡に指定しました。



宗左の辻の道標

枚方宿内の京街道上に建つ道標で、岩船街道との分岐を示しています。同地に製油業を営んでいた角野宗左の屋敷があったため「宗左の辻」と呼ばれています。

道標には、右大坂みち、倉治の滝へ43丁、京へ6里、八幡へ2里の距離であること、願主として4人の商人の名、そして文政9年（1826）11月に建立したことが刻まれています。平成26年に市登録文化財（有形文化財）に登録しました。



明治十八年洪水碑

明治18年（1885）6月18日・7月2日の豪雨により、三矢村・伊加賀村の淀川堤防が2度決壊し、茨田郡一円が水没しました。濁流は大阪市中にも及ぶものでした。この洪水の悲惨さを風化させないよう、翌19年に大阪府と有志により建立された碑で、大洪水の惨事を今に伝える貴重な文化財です。平成26年に市登録文化財（有形文化財）に登録しました。



仁明天皇外祖母贈正一位田口氏之墓

仁明天皇の外祖母である田口姫の墓とされ、地元で大切に受け継がれてきました。

『続日本後紀』には仁明天皇が即位した天長10年（833）、外祖母に最高の位である「正一位」を追贈し、新たに墓守を置いたと記されています。平成26年に市登録文化財に登録しました。



三之宮神社の雨乞返礼の石燈籠

三之宮神社は古くから雨乞いの神社として信仰されており、「雨乞御返禮五箇村」、「請雨御返禮」の銘のある4基の石燈籠は、江戸時代の雨乞いの返礼に奉納されたもの。江戸時代の雨乞い行事を物語る貴重な民俗文化財です。平成30年に市登録文化財に登録しました。



29. スポーツ振興

平成 29 年 3 月に、新たに設置した枚方市スポーツ推進審議会からの答申をもとに、本市のスポーツ推進に向けた取り組みの基本的な方向性を示す、枚方市スポーツ推進計画を策定しました。本計画を踏まえ、性別や年齢、障害の有無、個人や家族・団体など人数に関係なく、市民がそれぞれの興味、目的などに応じて、生涯にわたって多種多様なスポーツを楽しめる環境づくりをめざし、各種スポーツ事業を実施しています。

(1) スポーツ推進委員

スポーツ基本法に基づき、本市におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、スポーツ推進委員を委嘱しています。スポーツ推進委員は、地域においてスポーツ振興のための事業実施のコーディネートの役割を担い、実技指導等の技能向上に努めるほか、市民の健康増進や体力向上に寄与するなど幅広い活動を行っています。

また、ウォーキングイベント等の企画・運営を行うほか、「市民スポーツカーニバル」等のスポーツイベントに参加・協力し、多様化する市民のスポーツニーズに応えています。

■ スポーツ推進委員の内訳 (単位：人)

選 出 区 分	人 数
校区コミュニティ協議会からの推薦	39
学校教職員	1
スポーツ団体等からの推薦	3
スポーツ振興課からの依頼	4
合 計	47

(令和元年(2019年)5月1日現在)



ライフ親子グラウンド・ゴルフ大会

(2) スポーツ少年団

スポーツ少年団は昭和 37 年に日本体育協会が創設したスポーツ団体であり、子どもの体力向上や青少年の健全育成のため、指導者や保護者・地域の協力を得ながら活動しています。団の結成には、満 3 歳以上の団員 10 人以上と満 20 歳以上の成人指導者 2 人以上が必要となっています。本市では、昭和 38 年に登録し、50 年以上にわたって各スポーツ少年団の指導者が種目別に活動を行っています。

【 団体・団員数 】

種 目	登録団体数	団員数(人)	種 目	登録団体数	団員数(人)
軟式少年野球	23	477	空手道	6	150
バレーボール	8	145	日本拳法	1	10
サッカー	13	431	少林寺拳法	6	79
			合 計	57	1,292

(令和元年(2019年)5月1日現在)

【活動】

開催月	開催内容
4月～6月	春季軟式野球大会 春季バレーボール大会 春季サッカー大会
9月～12月	秋季軟式野球大会 秋季バレーボール大会 秋季サッカー大会 本部長杯 少林寺拳法大会
1月	認定指導員養成講習会 本部長杯空手大会
2月	スポーツ少年団フェスティバル



本部長杯春季サッカー大会

(3) 公益財団法人 枚方体育協会

枚方体育協会は、春秋の総合体育大会、各競技団体の指導育成等を行い、「新春走ろうかい」や、各種スポーツ教室等主催事業を開催し、地域に密着したスポーツプログラムの提供を通じて市民の健康増進・健康維持を目指し活動しています。

また、子どもから高齢者まで自由に様々なスポーツ種目を楽しむことができる総合型地域スポーツクラブ「ひらかたキングフィッシャーズスポーツクラブ」を設立・運営、そして、スポーツサポーターズバンクを設立し、スポーツ指導者やボランティアの育成等を行い、スポーツ情報の提供、スポーツ団体への支援、介護予防事業等を企画実施しています。

【加盟団体】

陸上競技協会	軟式野球連盟	ソフトテニス連盟	卓球連盟
柔道連盟	バレーボール連盟	スキー協会	野外活動協会
市民拳法の会	剣道連盟	サッカー連盟	水泳協会
ラグビー連盟	テニス協会	少林寺拳法協会	ソフトボール協会
空手道連盟	バドミントン連盟	相撲連盟	バスケットボール協会
カヌー協会	ゲートボール協会	弓道連盟	スポーツチャンバラ協会
グラウンド・ゴルフ連合会	ドッジボール協会	ソフトバレーボール協会	インディアカ協会

(令和元年(2019年)5月1日現在)

(4) スポーツ教室

① 総合スポーツセンター

■ 総合体育館

(単位：人)

教室名	開催日	参加人数
幼児わんぱく体操教室	平成30年5月24日～(5回)、10月4日～(5回) 平成31年2月14日～(5回)	41
かんたん体操教室	平成30年4月10日～(10回)、7月3日～(10回) 10月2日～(10回)、平成31年1月8日～(10回)	114
ヘルスアップ講座(自力整体) (保育付)	平成30年4月4日～(10回)、7月4日～(10回) 10月3日～(10回)、平成31年1月9日～(10回)	142
ヘルスアップ講座(パワーヨガ) (保育付)	平成30年4月4日～(10回)、7月4日～(10回) 10月3日～(10回)、平成31年1月9日～(10回)	159
小学生トランポリンA教室	平成30年6月28日～(5回)、11月22日～(5回) 平成31年1月31日～(5回)	51
小学生トランポリンB教室	平成30年5月16日～(5回)、10月3日～(5回) 平成31年2月20日～(5回)	58
卓球教室	平成30年6月14日～(5回)、11月22日～(5回) 平成31年1月31日～(5回)	94
バドミントン教室(保育付)	平成30年5月16日～(5回)、10月24日～(5回)	29
ソフトバレーボール教室(保育付)	平成30年5月16日～(5回)、10月3日～(5回)	11
ちゃれんじ新体操教室	平成31年2月1日～(8回)	10
カルチャー教室	平成30年8月24日、12月6日、平成31年2月5日	9
ショートテニスフリースクエア	毎週 金曜日 午後	910
バスケットボールフリースクエア	毎週 木曜日 夜間	734
ソフトバレーボールフリースクエア	毎週 金曜日 午前	2,131
卓球マシンフリースクエア	毎週 火曜日～土曜日	964
障害者スポーツフリースクエア	毎月 第2土曜日・第3金曜日 午後	164
体力測定フリースクエア	毎月 第2土曜日・第4日曜日	134
トレーニング講習会	毎月 第2土曜日・第4日曜日 午前	426

■ 陸上競技場

(単位：人)

教室名	開催日	参加人数
かけっこ教室	平成30年7月20日～(5日連続)、 8月31日～(5回)	44
ナイターフリースクエア	平成30年4月3日～12月21日の平日夜間	5,870
グラウンド・ゴルフフリースクエア	毎週 金曜日	286
サッカー体験教室	平成30年7月1日、8月5日、12月8日 平成31年1月19日、2月10日、3月3日	100

社会教育部

■ 藤阪東町中央公園テニスコート

(単位：人)

教室名	開催日	参加人数
テニスを楽しもう！	平成30年5月10日～(8回)	9

■ 藤阪テニスコート

(単位：人)

教室名	開催日	参加人数
テニスを楽しもう！	平成30年7月19日～(8回)	7

■ 春日テニスコート

(単位：人)

教室名	開催日	参加人数
一般テニス教室	平成30年4月10日～(10回)、9月18日～(10回) 12月18日～(10回)	107

② 渚市民体育館

(単位：人)

教室名	開催日	参加人数
フラダンス教室	平成30年4月10日～(10回)、7月10日～(10回) 10月9日～(10回)、平成31年1月8日～(10回)	82
ボクシングエクササイズ教室(保育付)	平成30年4月4日～(6回)、7月4日～(6回)、 10月3日～(6回)、平成31年1月16日～(6回)	81
シニアヨガ	平成30年4月11日～(6回)、7月11日～(6回)、 10月10日～(6回)、平成31年1月9日～(6回)	67
幼児トランポリン教室	平成30年6月4日～(4回)、10月15日～(5回) 平成31年2月4日～(5回)	60
夏休みだ！げんキッズ(年長児)	平成30年7月24日～(3日連続)	14
夏休みだ！げんキッズ(小学1～3年生)	平成30年7月24日～(3日連続)	24
初心者アーチェリー教室	平成30年5月12日～(10回)	19
初心者弓道教室	平成30年9月1日～(12回)	16
太極拳教室	平成30年5月2日～(8回)、7月4日～(8回)、 9月5日～(8回)、11月7日～(8回)	25
スポーツ吹き矢体験	平成30年6月5日、平成31年2月5日	7
カルチャー教室	平成30年4月25日、8月5日、10月9日、 12月11日	57
チャリティヨガ	平成30年6月17日	55
トレーニング講習会	毎月 第1月曜日 午前、第2又は第3木曜日 夜	319
車椅子バスケットボール体験	平成30年12月24日	12
ソフトバレーボールスクエア	毎月 第1火曜日 午前、第2水曜日 午前	1,089
障害者ふれあいスポーツ	毎月 第4日曜日 午前	66

教室名	開催日	参加人数
卓球マシンDAY	毎週 月曜日 午後	129
体力測定DAY	毎月 第2月曜日	10

③ 伊加賀スポーツセンター

■ 体育館

(単位：人)

教室名	開催日	参加人数
やさしいストレッチ	平成30年4月5日～(9回)、7月5日～(9回)、 10月4日～(9回)、平成31年1月10日～(9回)	89
元気になるヨガ	平成30年4月6日～(12回)、7月6日～(12回)、 9月28日～(12回)、平成31年1月11日～(12回)	117
くつろぐヨガ	平成30年4月6日～(12回)、7月6日～(12回)、 9月28日～(12回)、平成31年1月11日～(12回)	118
おやこ体操(ベビークラス)	平成30年4月6日～(15回)、9月7日～(15回)、 平成31年1月11日～(11回)	40(組)
おやこ体操(幼児クラス)	平成30年4月6日～(15回)、9月7日～(15回)、 平成31年1月11日～(11回)	45(組)
こどもスポーツ教室	平成30年5月9日～(10回)、9月5日～(10回)、 平成31年1月9日～(10回)	63
柔道をやってみよう	平成30年11月29日、12月1日、12月8日	12
カルチャー教室	平成30年6月3日、8月4日、11月6日、 平成31年1月22日	20
トレーニング使用者登録講習会	毎月 第3日曜日・第4火曜日 午前 (5月、12月、1月、3月は1回のみ開催)	320
障害者スポーツスクエア	毎月 第3土曜日 午後	180

■ テニスコート

(単位：人)

教室名	開催日	参加人数
初心者テニス教室①(硬式)	平成30年5月18日～(7回)	10
初心者テニス教室②(硬式)	平成30年10月12日～(7回)	12

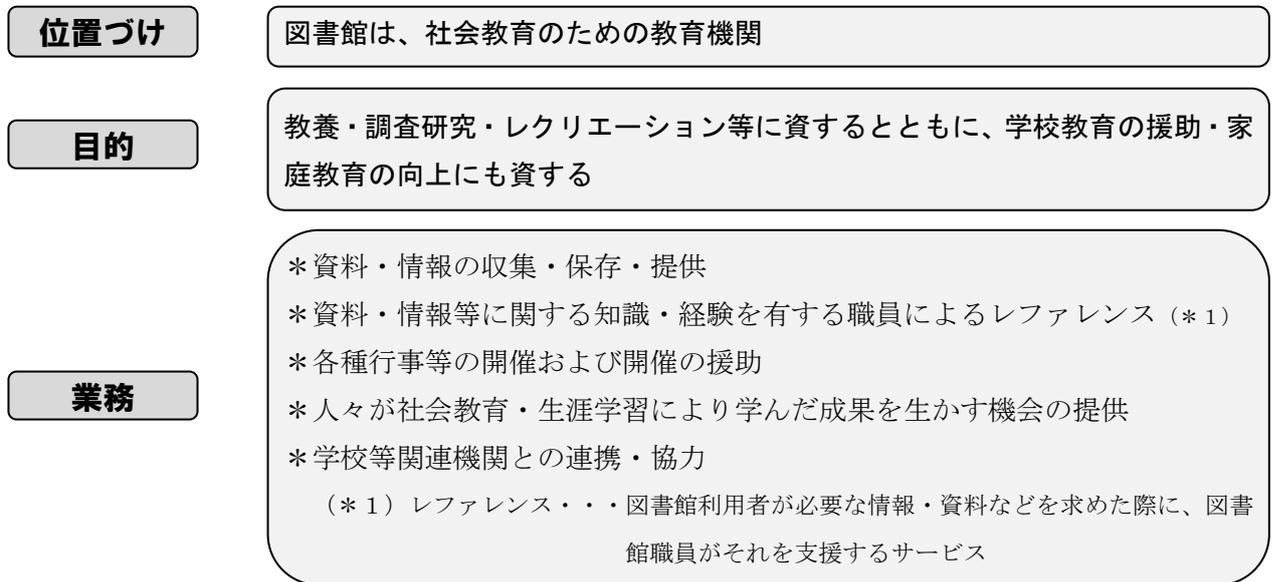
④ 野外活動センター

(単位：人)

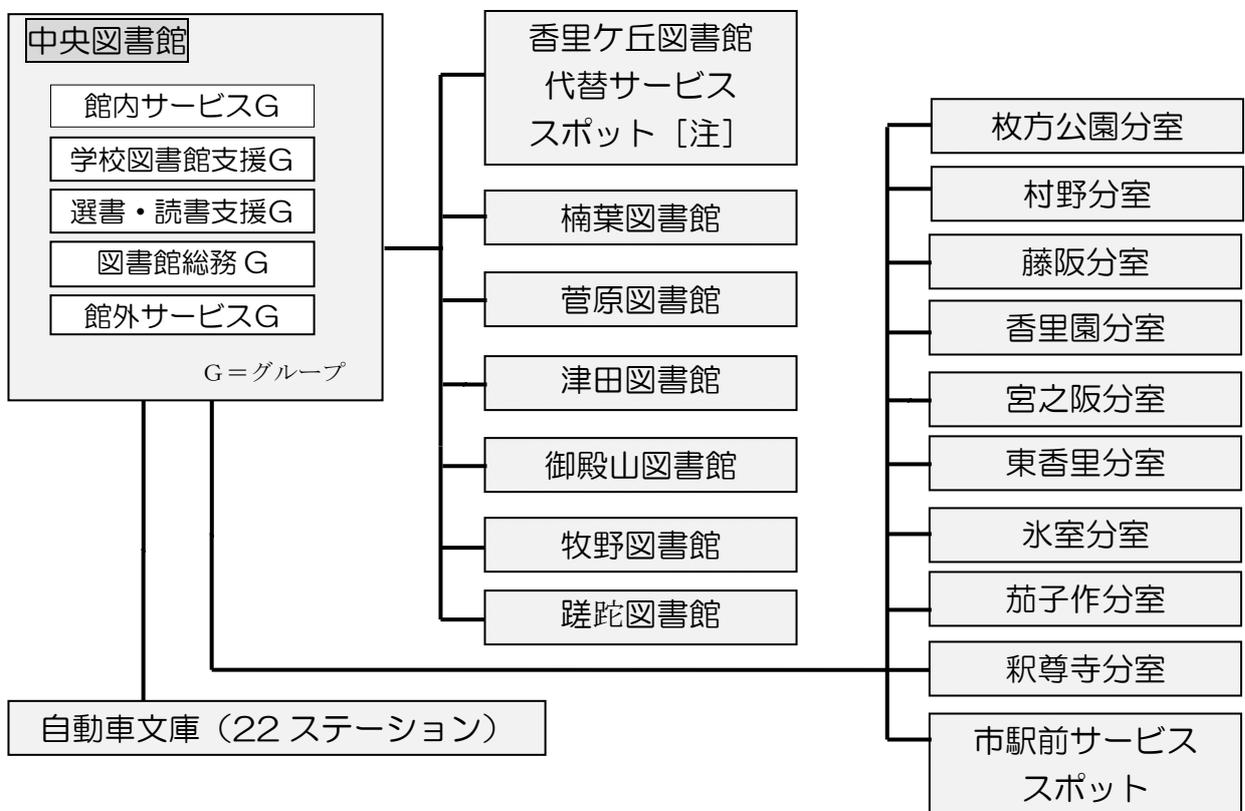
教室名	開催日	参加人数
ファミリーキャンプ	平成 31 年 1 月 26 日・27 日	33
天文教室・大型望遠鏡で見よう！	平成 30 年 4 月 22 日～ (10 回)	309
竹とあそぼ (竹林伐採・クラフト体験・竹すき紙など)	平成 30 年 7 月 22 日～ (3 回)	41
里山保全講座	平成 30 年 10 月 21 日～ 5 回連続講座 内 1 回中止	41
ワークキャンプ	平成 30 年 9 月 2 日	7
市民キャンプフェスティバル	平成 30 年 10 月 7 日	574

30. 市立図書館

(1) 市立図書館の概要



(2) 施設等の状況 (中央図書館・7分館・10分室・自動車文庫1台)



[注] 香里ヶ丘図書館建替えのための休館期間中、南部生涯学習市民センターで代替サービスを実施するとともに、香里ヶ丘中央公園へ自動車文庫の巡回を行う。

枚方市立図書館は、約 1,230,000 冊（平成 31 年 3 月 31 日現在）の蔵書を持ち、多くの図書館サービスポイントを有したサービス網を特徴としています。また、子ども読書活動推進に係る児童向けサービス（充実した児童書コレクションや職員が持つ専門的な知識・技術を生かした、学校図書館支援やさまざまな子ども向け行事）、障害者サービス（対面読書や録音・点字図書等の製作・貸出等）などの充実した図書館サービスを実施しています。

市民の教養・娯楽のための読書から知識や情報を提供し、高度なレファレンスにまで対応できる、市民の自立を援助する知的インフラです。



平和ライブラリーコンサートの様子



手話ブックトークの様子



「言葉をつかわないコミュニケーション・ワークショップ」の様子



多言語で楽しむおはなし会の様子



第4回中学生のビブリオバトルの様子

3 1. 図書館の貸出・利用状況等

(1) 貸出・利用状況

[全体]

図書館	開館・巡回 日数(日)	来館者数 (人)	年齢区分	貸出数 (冊)	貸出計 (冊)
中央	289	483,332	成人	692,933	901,046
			児童	208,113	
香里ヶ丘	346	49,296	成人	101,486	129,168
			児童	27,682	
楠葉	339	321,223	成人	341,840	486,439
			児童	144,599	
菅原	342	286,530	成人	269,438	376,504
			児童	107,066	
蹉跎	342	230,801	成人	211,731	308,697
			児童	96,966	
御殿山	342	118,568	成人	132,994	181,756
			児童	48,762	
牧野	342	204,603	成人	181,549	242,473
			児童	60,924	
津田	340	130,700	成人	138,836	211,370
			児童	72,534	
10分室		181,848	成人	375,762	518,630
			児童	142,868	
自動車文庫	314		成人	24,434	36,531
			児童	12,097	
宅配			成人		(472)
			児童		
合計		2,006,901	成人	2,471,003	3,392,614
			児童	921,611	

[注] ・貸出数、貸出計のうち宅配の数値は合計の内数。

・実利用者数(総数)：成人 50,166人、児童 10,200人、計 60,366人。

実利用者数とは、年度中に1回以上貸出のあった利用者数を表す。現在使っているシステムでは、各館・室の内訳が出せないため、総数のみ記す。

[分室内訳]

分 室	開室日数 (日)	来館者数 (人)	年齢区分	貸出数 (冊)	貸出計 (冊)
村 野	237	26,485	成人	63,989	93,166
			児童	29,177	
枚方公園	241	47,154	成人	68,077	98,746
			児童	30,669	
藤 阪	187	8,668	成人	16,871	24,804
			児童	7,933	
東香里	186	8,740	成人	25,500	36,646
			児童	11,146	
釈尊寺	194	5,353	成人	15,010	20,689
			児童	5,679	
茄子作	187	8,041	成人	22,049	30,932
			児童	8,883	
宮之阪	186	22,240	成人	51,723	66,812
			児童	15,089	
香里園	188	11,163	成人	22,024	36,131
			児童	14,107	
氷 室	186	8,191	成人	12,816	18,979
			児童	6,163	
市 駅 前 サービス スポット	342	35,813	成人	77,703	91,725
			児童	14,022	
10 分室計		181,848	成人	375,762	518,630
			児童	142,868	

(2) 予約・リクエスト、蔵書状況

[全体]

図書館	年齢区分	予約・リクエスト件数 (件)	予約・リクエスト計 (件)	蔵書数 (冊)	蔵書計 (冊)
中央	成人	49,561	59,087	334,981	436,867
	児童	9,526		101,886	
香里ヶ丘	成人	64,101	76,193	56,276	89,921
	児童	12,092		33,645	
楠葉	成人	99,789	118,371	61,073	87,554
	児童	18,582		26,481	
菅原	成人	72,434	86,209	75,952	104,106
	児童	13,775		28,154	
蹉跎	成人	55,103	65,300	66,593	94,531
	児童	10,197		27,938	
御殿山	成人	32,313	36,302	50,801	73,174
	児童	3,989		22,373	
牧野	成人	40,053	45,874	79,286	104,917
	児童	5,821		25,631	
津田	成人	30,217	36,579	75,110	100,235
	児童	6,362		25,125	
10分室	成人	144,320	169,990	80,997	139,028
	児童	25,670		58,031	
自動車文庫	成人	2,650	3,492		
	児童	842			
宅配	成人				
	児童				
合計	成人	590,541	697,397	881,069	1,230,333
	児童	106,856		349,264	

[注] 自動車文庫の蔵書数は中央図書館に含みます。

予約・リクエスト点数は、個人及び団体利用の総計。

宅配の予約・リクエスト件数は合計の内数。

[分室内訳]

分 室	年齢区分	予約・リクエ スト件数 (件)	予約・リクエ スト計 (件)	蔵書数 (冊)	蔵書計 (冊)
村 野	成人	16,998	20,740	13,033	20,860
	児童	3,742		7,827	
枚方公園	成人	27,554	33,760	11,341	18,888
	児童	6,206		7,547	
藤 阪	成人	5,098	6,501	7,722	13,896
	児童	1,403		6,174	
東香里	成人	7,885	9,359	5,247	10,705
	児童	1,474		5,458	
釈尊寺	成人	4,347	5,211	5,437	11,229
	児童	864		5,792	
茄子作	成人	6,869	7,930	7,889	13,120
	児童	1,061		5,231	
宮之阪	成人	14,902	17,003	10,701	16,445
	児童	2,101		5,744	
香里園	成人	7,149	8,910	9,321	16,418
	児童	1,761		7,097	
氷 室	成人	2,333	2,902	10,306	17,467
	児童	569		7,161	
市 駅 前 サービ ス スポッ ト	成人	51,185	57,674		
	児童	6,489			
分室計	成人	144,320	169,990	80,997	139,028
	児童	25,670		58,031	

[注]市駅前サービススポットの蔵書数は中央図書館に含みます。

予約・リクエスト点数は、個人及び団体利用の総計

(3) 受入及び除籍図書状況

(単位：冊)

図書館	資料区分	購入数	購入計	寄贈数	寄贈計	除籍数	除籍計
中央	一般	9,278	12,209	2,546	3,010	30,030	36,650
	児童	2,931		464		6,620	
香里ヶ丘	一般	10	1,473	105	117	-	-
	児童	1,463		12		-	
楠葉	一般	2,931	4,015	1,202	1,540	2,064	2,949
	児童	1,084		338		885	
菅原	一般	2,841	3,738	898	1,258	1,132	1,886
	児童	897		360		754	
蹉跎	一般	2,553	3,485	1,159	1,556	2,982	4,400
	児童	932		397		1,418	
御殿山	一般	2,243	3,194	572	705	569	1,194
	児童	951		133		625	
牧野	一般	2,423	3,259	941	1,078	5,893	6,376
	児童	836		137		483	
津田	一般	2,279	3,328	851	928	1,166	1,723
	児童	1,049		77		557	
10分室	一般	2,075	3,392	1,690	2,060	21,873	35,816
	児童	1,317		370		13,943	
合計	一般	26,633	38,093	9,964	12,252	65,709	90,994
	児童	11,460		2,288		25,285	

[注]自動車文庫及び市駅前サービススポットは中央に含みます。

32. 図書館行事

(1) 子ども読書活動推進事業（図書館主催）

（単位：人）

図書館	行 事 内 容	実施日・期間	講師・出演者等	参加延人数
全館共通	ひらかた絵本まつり（おはなし会）	4月23日～5月13日	職員・ボランティア	230
	読書ボランティアのなつやすみおはなし会	7月14日～8月26日	ボランティア	600
	夏やすみの「こわいはなし」	7月24日～8月11日	職員・ボランティア	260
中 央	ひらかた絵本まつり（リアルミッケ「京阪バスをさがせ」）	4月23日～5月13日	職員	334
	手話出前講座「手話を一緒に学んでみませんか？」（こども夢基金活用事業プレイベント）	西長尾小：5月12日 小倉小：5月23日 津田小：5月24日	職員	93 90 106
	言葉をつかわないコミュニケーション・ワークショップ（こども夢基金活用事業）	7月7日	(株)サイレントボイス 代表取締役 尾中 友哉他	42
	こども夢基金活用事業 講演会「リュウグウからの玉手箱」	7月21日	JAXA准教授 山田 哲哉	97
	こども夢基金活用事業 ワークショップ「傘袋ロケットをつくろう」	7月22日	職員	112
	こども夢基金活用事業 展示会「めざせ宇宙」・宇宙服試着会	7月28日～8月12日	—	1433
	子ども司書連続講座（全3回）	8月7日～9日	職員	27
	「紙芝居を演じてみよう！紙芝居ボランティア養成講座」（全2回）	9月20日・27日	紙芝居サークルよっちゃん・南 純子	37
	紙芝居 de おはなし会（紙芝居ボランティア養成講座実演）	10月28日・11月3日・ 11月4日・2月24日・ 3月24日	ボランティア	142

図書館	行 事 内 容	実施日・期間	講師・出演者等	参加延人数
	バリアフリー体験会（ワークショップ）「さわって！みて！きいて！五感をつかってあそんでみよう！」	11月4日	職員	496
	第7回中学生の調べ学習コンクール展示	11月17日～12月16日	—	158
	第7回中学生の調べ学習コンクール表彰式	12月16日	職員	30
	事前学習会「朗読を楽しく学ぼう」	12月26日	関西朗読家クラブ代表 端田 宏三	43
	第6回こころをつたえよう！ひらかた朗読大会	1月20日	審査委員長 端田 宏三	89
	子ども読書活動推進ボランティア交流会	2月21日	職員	52
	子ども読書活動推進ボランティア研修会「えほんのひろばの実際」	2月21日	子ども読書活動推進ボランティア連絡会 ゆるよこ	52
	子ども読書活動推進ボランティア研修会実習「本がぎょうさんならんだら」	2月23日・24日	職員・ボランティア	327
	多言語おはなし会	3月10日	Tatiana Sezonenko、 David William Johnson	44
	世界のバリアフリー児童図書展	3月11日～17日	—	129
	第4回中学生のビブリオバトル	3月17日	職員・学校司書	126
	おはなし会	第1・2・3・5土曜日	職員	932
	おはなしひろば（乳幼児向け）	第2・4水曜日	職員	537
	手話でたのしむおはなし会	第4土曜日（全12回）	職員	286
楠 葉	おはなし会	毎週土曜日	職員	372
	おはなし会（乳幼児対象）	第2水曜日	職員	115
	ヨネヤんのおはなしと工作の会	8月7日	（株）一声社・ 米山 傑	12

図書館	行 事 内 容	実施日・期間	講師・出演者等	参加延人数
	夏休み工作会 (2部構成)	8月11日	職員	25
	子ども向け福袋	1月5日～15日	職員	49
菅 原	定例おはなし会	毎週水曜日・土曜日	職員	629
	おはなしと工作の会	8月7日	(株) 一声社 米山 傑	12
	ガラス窓に絵を描こう	8月5日、11月4日、 1月6日	職員	40
	読書感想画を描こう	8月19日	職員	10
	本の福袋	1月5日～12日	職員	70
津 田	おはなし会	毎週土曜日	職員	271
	おはなし会スペシャル	毎月の最終土曜日	職員	92
	七夕飾りつけ	7月1日～7日	職員	97
	「ペットボトルでスノードームを作ろう！」	8月16日	職員	32
	センター主催の「夏休み！宿題大作戦 お出かけガス科学館」での関連図書の貸出	8月18日	職員	8
	クリスマスツリーに星形短冊飾りつけ	12月5日～26日	職員	216
	スタンプラリー	1月4日～31日	職員	347
	子ども向け福袋	1月5日～15日	職員	65
	ヨネヤんのおはなし&こうさくの会	2月9日	(株) 一声社 米山 傑	20
つだフェスタ 2019 折り紙遊び、図書館の本で調べるクイズ	3月24日	職員	154	
御殿山	おはなし会	毎週土曜日・日曜日 (計93回)	職員・ ボランティア	596
	おはなし会スペシャル	10月27日・28日、 11月3日	職員	47
	ひらかた絵本まつり (おはなし会 スペシャル工作「こどものひ こ うさくのかい」)	5月4日・5日	職員	12

図書館	行事内容	実施日・期間	講師・出演者等	参加延人数
	ひらかた絵本まつり（リアルミッケ・京阪電車をさがせ！）	5月4日～6日	職員	42
	御殿山フェスタ おはなし会	6月9日	職員	25
	リアルミッケ・京阪電車をさがせ file 2	7月19日～29日	職員	114
	図書館員のおすすめブックリスト の配布	7月20日～8月26日	職員	…
	夏休みこどもこうさくのかい	7月21日	職員	20
	みんなで大きな海と生き物をつく ろう（美術センター主催事業）	8月5日	美術センター 職員 （図書館は絵 本の読み聞か せを担当）	18
	夏休み宿題大作戦	8月20日・21日	職員・ 美術センター 職員	24
	子ども向け本の福袋（90冊）	1月5日・6日	職員	…
	ヨネヤんのおはなし&こうさくの 会	2月9日	（株）一声社 米山 傑	12
牧 野	おやこで楽しむおはなし会（乳幼児 対象）	第3水曜日	職員	145
	おはなし会	毎週土曜日	職員	246
	青空おはなし会	5月5日	職員	13
	絵本の広場	6月16日・17日	職員	189
	折り紙を楽しもう	6月30日、9月29日、 3月30日	職員	34
	夏休み工作会	7月22日	職員	8
	じどうわくわく袋	10月27日～11月9日	職員	50
	クリスマスファミリーコンサート	12月24日	田中 あつ子・ 矢吹 直美	80
	人形劇フェスティバル・パフォー マンスコーナーミニおはなし会	3月23日	職員	30
蹉 跎	おはなし会	毎週土曜日	職員	263
	おはなし会（乳幼児対象）	第1・3水曜日	職員	230
	ひらかた絵本まつり（本のおたの しみ袋）	4月24日～5月5日	職員	40

図書館	行 事 内 容	実施日・期間	講師・出演者等	参加延人数	
	Let's play ボードゲーム	5月26日、8月26日、 1月6日	職員	115	
	ぬいぐるみの図書館おとまり会	7月22日	職員	34	
	おにいさんのおはなし会	6月17日	職員	7	
	夏のおたのしみ会「かんたんモーターをつくろう」	7月30日	関西電気保安協会職員	12	
	夏のおたのしみ会「むくむくおぼけ」	8月4日	職員	19	
	今日は一日おはなし三昧	10月27日	職員	52	
	レッツメイク&プレイボードゲーム	10月28日	渡辺 彰	4	
	ハロウィーンおはなし会	10月31日	職員	12	
	めりちゃんのバルーン教室	11月3日	めりちゃん	41	
	みんな集まれ!! Let's enjoy Christmas☆	12月15日	千田 やすし	29	
	本の福袋	1月4日～12日	職員	85	
	節分おはなし会	2月2日	職員	14	
	春のおたのしみ会	3月21日	職員	29	
	分 室	枚方公園	ひらかた絵本まつり（しおりのプレゼントほか）	4月23日～5月13日	職員
おはなし会 ほか			毎週水曜日	職員	230
えほんの会（乳幼児対象）			第2木曜日	職員	118
村野		おはなし会・工作ほか	毎週水・土曜日ほか	職員	472
		秋の図書館まつり（おはなし会）	10月27日～11月9日	職員	17
		秋の図書館まつり（リサイクル市）	10月27日～11月9日	職員	35
		秋の図書館まつり（おすすめ本・しおりのプレゼント）	10月27日～11月9日	職員	27
藤阪		おはなし会・工作ほか	毎週土曜日ほか	職員	262
		おはなし会（乳幼児対象）	第1金曜日	職員	12
		秋の図書館まつり行事	10月27日～11月9日	職員	97
香里園		おはなし会・工作ほか	毎週水曜日ほか	職員	489
		ひらかた絵本まつり（ぼくのわたしのおすすめのほん）	4月25日～5月12日	職員	28
		秋の図書館まつり（おはなし会）	10月31日	職員	3
		秋の図書館まつり（読書クイズ）	10月27日～11月9日	職員	45
		おはなし会（乳幼児対象）	第1金曜日	職員	46

図書館	行事内容	実施日・期間	講師・出演者等	参加延人数
宮之阪	秋の図書館まつり	10月27日・31日、 11月7日	職員	2
	おはなし会・工作ほか	毎週水・土曜日ほか	職員	271
東香里	おはなし会・工作ほか	毎週土曜日ほか	職員	387
	ひらかた絵本まつり 工作「こいのぼりをつくろう」	4月28日	職員	15
	秋の図書館まつり 読み聞かせプラスおりがみ	10月31日	職員	5
	おはなし会・工作ほか	毎週土曜日ほか	職員	409
氷室	おはなし会（乳幼児対象）	毎週木曜日	職員	106
	秋の図書館まつり	10月27日	職員	3
	七夕行事	6月27日～7月7日	職員	30
	おりがみ教室	8月6日・20日・27日	職員	28
	おはなし会（乳幼児対象）	第2・4木曜日	職員	12
茄子作	おはなし会・工作ほか	毎週水曜日ほか	職員	163
	ひらかた絵本まつり（スペシャル スタンプ）	4月23日～5月13日	職員	47
	秋の図書館まつり（スペシャル スタンプ）	10月27日～11月10日	職員	65
	おはなし会・工作ほか	毎週水・土曜日ほか	職員	980
釈尊寺	おはなし会（乳幼児対象）	第2金曜日	職員	10
	その他行事	6月27日～7月7日ほか	職員	43
	合 計			16,822

[注] 合計の数値は記載できなかったその他の行事の数値を含む。



(2) ボランティアによるおはなし会

(単位：人)

図書館	行 事 内 容	実施日・期間	講師・出演者等	参加延人数	
中 央	ひらりんかたりんおはなし会	第1木曜日・第2火曜日・第3水曜日・第4月・土曜日	ひらりんかたりん	527	
	ほっぺちゃんおはなし会	第4木曜日	ほっぺちゃん	99	
	おはなしソラシド	偶数月第3日曜日	ホリデーおはなし会	129	
楠 葉	おはなし会	第4土曜日	くずはおはなしを語る会	131	
	春のおはなし会	3月21日	おはなし会あいうえお	31	
御殿山	おはなし会	毎月第1水曜日 (計8回)	紙芝居サークル よっちゃん	30	
	なつやすみおはなし会	8月8日	紙芝居サークル よっちゃん	13	
	なつやすみおはなし会	7月21日	月曜会	20	
	ふゆのおはなし会	12月15日	月曜会 図書館職員1名	17	
	はるのおはなし会	3月16日	月曜会 図書館職員2名	17	
津 田	なつのおはなし会	7月14日	月曜会	14	
	ふゆのおはなし会	12月8日	月曜会	18	
	はるのおはなし会	3月9日	月曜会	10	
牧 野	えほんのおはなし会	第4水・土曜日	牧野おはなし「かくれんぼ」	101	
蹉 跎	おはなしなーじょおはなし会	第4日曜日	おはなしなーじょ	87	
分 室	枚方公園	おはなしふうせんのおはなし会	第2土曜日	おはなしふうせん	82
	藤 阪	ぼけっこの会のおはなし会	第3土曜日	ストーリーテリングぼけっこの会	41
	香里園	おはなしメリーさんのおはなし会	第1土曜日	おはなしメリーさん	60
	宮之阪	ビスケットの会のおはなし会	第3土曜日	ビスケットの会	12
合 計				1,439	

(3) 成人対象の行事 (図書館主催)

(単位：人)

図書館	行 事 内 容	実施日・期間	講師・出演者等	参加延人数
中 央	大人の学校「枚方の遺跡」	4月18日	文化財課職員 竹原 伸仁	55
	大人の学校「脳を活性化して充実ライフ」	6月13日	保健センター 職員	38
	手話ブックトーク	6月17日、11月17日、3月17日	職員	86
	平和ライブラリーコンサート	8月4日	ピアニスト 池田 純子・ ソプラノ歌手 安部 り麻	108
	大人の学校「鶴島昭雄さんに聞く戦争体験」	8月21日	鶴島 昭雄	28
	大人の学校「ろう者の歴史&手話講座」	9月18日	図書館職員 山元 亮	47
	中央図書館バックヤードツアー	10月28日 ①午前②午後	職員	①20②23
	大人の学校「①民具としての箱を考える ②現地見学会」	①10月30日 ②11月2日	文化財課職員 武知 邦博	①18②3
	「天使のいる図書館」上映会	11月3日①午前②午後	—	①20②35
	大人の学校「国内友好都市の紹介」	11月7日	産業文化政策 課職員 川嶋 徹也	13
	大人の学校「百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録」	12月18日	百舌鳥・古市古 墳群世界文化 遺産登録推進 本部会議事務 局職員 福田 英人	38
	クリスマスライブラリーコンサート	12月23日	ヘルマンハー プの森 代表 森 ひろみ	185
	バリアフリー映画上映会 上映作品「もういちど」	1月19日	職員	57
	大人の学校「ネットの情報セキュリティ」	1月29日	総合技術士連 合 梶巻 正男	29

図書館	行 事 内 容	実施日・期間	講師・出演者等	参加延人数
	大人の学校「楽 10 体操でリフレッシュ」	2月20日	枚方体育協会 倉田 智栄子	40
	公開講座「学習障害って何だろう？読み書き障害の特徴と支援方法の実際」	2月17日	金沢星稜大学 人間科学部教授 河野 俊寛	54
	大人の学校「ネコの正しい飼い方」	3月5日	(株) イン・ク ローバー主任 ケアスタッフ 関 拓真	31
	平和ライブラリーコンサート春	3月10日	サクソフォン 奏者 山添 悟 ピアニスト 大迫 朋子	111
楠 葉	よるとしよ：講演会 (「豊かな人生を送るために」)	10月27日	大阪府金融 広報委員会 森島 憲治	16
	講演・実演・交流会 (「錯覚 3D アートの世界」)	3月3日	3D アート画 家・絵本作家 永井 秀幸	30
菅 原	ボッチャ体験会	10月20日	職員	40
	本の福袋	10月27日～11月10日	職員	170
	大人のぬり絵	3月3日	(株) サクラク レパス 柴 正幸	22
	ものがたり Cooking	3月17日	山田 和子	20
津 田	大人の福袋	10月27日～11月11日	職員	105
	私のおすすめ本	11月27日～12月15日	職員	89
	「元昭和天皇の料理番 谷部金次郎氏による講演会」関連図書紹介・展示・関連図書リスト配布	2月10日	職員	100
	大人の塗り絵	2月24日	(株) サクラク レパス 柴 正幸	20

図書館	行 事 内 容	実施日・期間	講師・出演者等	参加延人数
	「マーブリングであなただけの book カバーを作ろう！」	3月17日	墨運堂講師	16
	つだフェスタ 2019 リサイクルブック市	3月24日	職員	68
御殿山	御殿山フェスタ ブックコート 体験	6月9日・10日	職員	14
	御殿山フェスタ リサイクル雑 誌市	6月9日・10日	職員	74
	本の福袋 (96冊)	10月27日～11月9日	職員	…
	第1回 御殿山ビブリオバトル	11月4日	バトラー5人	36
	大人の塗り絵	2月24日	(株) サクラク レパス 柴 正幸	21
	マナビスト講座「御殿山の歴史と 日本の歌」(美術センター主催事 業)	3月10日	御殿山神社宮 司 片岡 伸介 (図書館は司 会とブックリ スト作成を担 当)	64
牧 野	第5回地域歴史講座	6月10日	堀家 啓男	45
	第6回地域歴史講座	9月15日	鍵屋資料館学 芸員 片山 正彦	47
	第2回牧野地域歴史セミナー	8月29日	片埜神社宮司 岡田 広幸	120
	招堤を歩く	10月7日	堀家 啓男 上谷 勝巳	12
	くずし字講座	10月9日・16日・23 日・30日	鍵屋資料館学 芸員 片山 正彦	65
	大人のための朗読会	4月11日、7月18日	牧内 多美子	43
	朗読を楽しむ	11月7日、12月5日、 1月9日、2月6日、 3月6日	牧内 多美子	70

図書館	行事内容	実施日・期間	講師・出演者等	参加延人数	
	大人のためのえほんのおはなし会	1月30日	牧野おはなし 「かくれんぼ」 職員	26	
	大人の塗り絵教室	11月3日	登内 敬子	19	
	鉄道おもしろ講座	2月23日	谷口 保孝	31	
	バリアフリー映画会『愛を積むひと』	3月21日	—	111	
蹉 跎	第4回地域歴史講座	4月27日	上野 幸夫	16	
	本・雑誌のリサイクル市	5月27日、11月4日	職員	84	
	くずし字講座	9月7日・14日・21日・28日	鍵屋資料館学芸員 片山 正彦	68	
	さだまちあるき倶楽部第1回防災まちあるき	10月15日	枚方寝屋川消防組合職員	11	
	大人の読書手帳	10月27日～11月12日	職員	50	
	本と親しむワークショップ	11月2日	福田 容子	7	
	第5回地域歴史講座	12月19日	上野 幸夫	25	
	本の福袋	1月4日～12日	職員	25	
	鉄道おもしろ講座	2月2日	谷口 保孝	38	
分 室	枚方公園	成人読書会	第3金曜日	職員	64
	村 野	成人読書会	第3水曜日	職員	35
	藤 阪	成人読書会アリスの会	第2水曜日	職員	24
		成人読書会ティッチの会	第3水曜日	職員	41
		手話の会	第2・4月曜日	職員	84
	香里園	成人読書会	第3月曜日	職員	53
		手話の会	第2・4金曜日	職員	102
	氷 室	成人読書会	月1回	職員	41
	茄子作	成人読書会	月1回	職員	43
合 計				3,344	

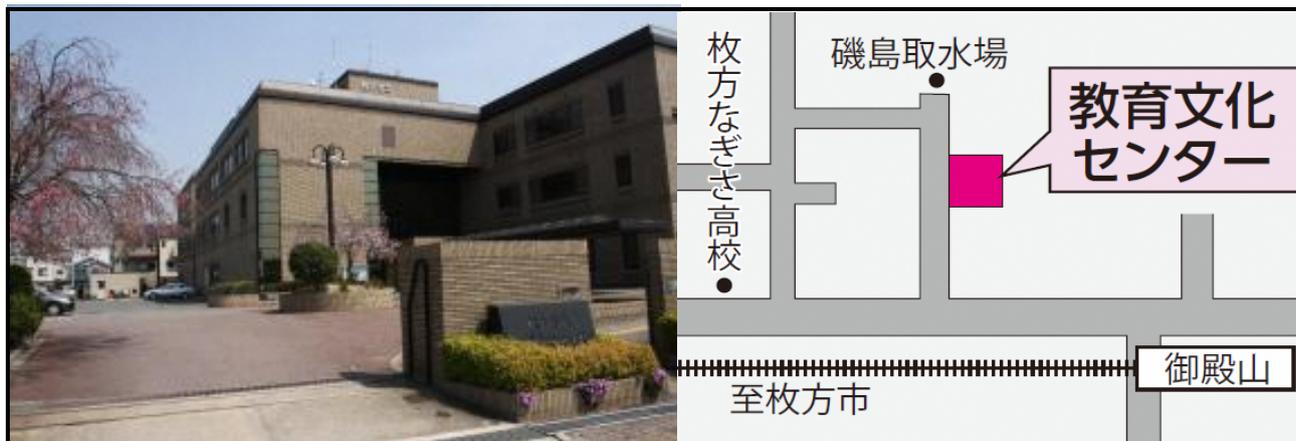
[注] 合計の数値は記載できなかったその他の行事の数値を含む。



33. 教育施設（使用料等）

（令和元年（2019年）5月1日現在）

（1）教育文化センター（磯島北町37-1）



開館時間	月曜日～金曜日 9時00分～21時00分 土曜日 9時00分～17時00分
休館日	日曜、祝日及び年末年始（12月29日から1月3日）
使用料	別途記載
問い合わせ	電話 050-7102-3150 ・ FAX 848-2960
施設の概要	<p>教育文化センターは教職員研修の拠点施設として、また就学前から義務教育終了までの子どもたちへの教育及び支援の充実に資するとともに市民の教育活動及び文化活動の支援の場として活用する施設です。</p> <p>1階には子育て支援広場(すこやか広場・きょうぶん※)、3階には、「教科書センター※」を設置しています。</p> <p>※すこやか広場・きょうぶん 電話 050-7102-3171 ・ FAX 848-3001 開設曜日・時間 毎週月曜日～金曜日 午前9時30分～午後5時</p> <p>※教科書センター 開設曜日・時間 毎週月曜日～金曜日 午前9時30分～午後5時</p>



教職員研修の拠点（小中一貫・学力向上担当者研修）

※平成30年度の研修風景です。

【使用料】

(単位：円)

		定員 (人)	午前 (9時30分～12時30分)	午後 (13時00分～17時00分)	夜間 (17時30分～21時00分)
2階	研修室3	42	700	900	800
	研修室4	42	700	900	800
3階	研修室1	66	1,300	1,700	1,500
	研修室2	60	1,200	1,600	1,400
	大会議室	120	2,100	2,800	2,500
	音楽室	30	400	600	500

		定員 (人)	午前 (9時30分～ 12時30分)	午後A (12時50分～ 14時50分)	午後B (15時00分～ 17時00分)	夜間 (17時30分～ 21時00分)
3階	多目的室	160	2,200	1,500	1,500	2,600

備考

1. 準備・後片付けは、利用時間内に含まれます。
2. 休館日は、日曜、祝日及び年末年始（12月29日から1月3日）です。
3. 「市外の団体」「市外の個人」は、上記使用料の2倍となります。
4. 他に使用料の減免の制度があります。



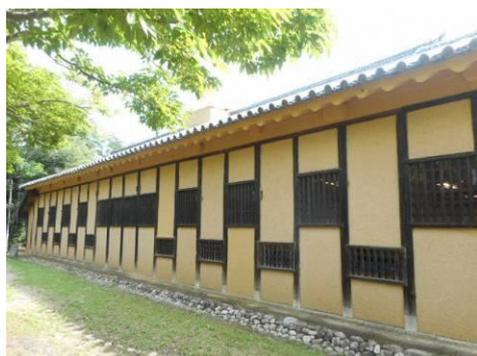
■教育フォーラム
「枚方における子ども達の『確かな学び』の育成に向けて」をテーマに掲げて実施しました。

市制施行70周年記念事業
※平成29年度 パネルディスカッション

(2) 旧田中家鋳物民俗資料館（藤阪天神町5-1）



開館時間	9時30分～17時00分（入館は16時30分まで）
休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始
入館料	無料 ※体験工房の使用は有料
問い合わせ	電話 050-7105-8097、FAX 072-858-4665
施設の概要	<p>枚方上之町の田中家は古くから鋳物業を営み、江戸時代には真継家から独占的営業を許され、河内国惣官鋳物師として河内の鋳物師を統率し、梵鐘、鍋、釜などを鋳造していました。</p> <p>本市は、田中氏から鋳物工場と主屋の寄贈を受け、藤阪天神町に移築復原し、昭和59年10月資料館として開館しました。鋳物工場では鋳物の歴史、主屋では民俗文化財を展示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●田中家住宅鋳物工場（大阪府指定文化財（有形文化財）） 江戸時代の鋳物工場として、全国に例を見ない珍しい建築遺構です。 ●田中家住宅主屋（大阪府指定文化財（有形文化財）） 建築年代は、元文4年（1739）頃と考えられています。鋳物師は火を扱うことから、防火のために瓦葺である点が周辺の民家と異なる特徴です。



田中家住宅鋳物工場



田中家住宅主屋



伝統的な生活用具などを展示



たたらを踏む様子を再現展示

■体験工房

平成 20 年に、「鋳物づくり」等ができる工房をオープンしました。体験工房では「鋳物づくり」、「彫金」や「七宝焼」などが体験できる主催講座を開催するほか、美術・工芸などの創作活動を行うサークル等に有償（一部減免あり）で工房及び附属設備の貸し出しを行っています。



体験工房

貸出	貸出区分	料金
工 房	9 時 30 分～12 時 30 分	700 円
	13 時 00 分～17 時 00 分	1,000 円
附属設備	鋳造窯	1,000 円
	焼成窯	3,500 円
	電気窯	素焼き 700 円、本焼き 1,200 円

※附属設備の貸し出しは、窯入れから窯出しまでを 1 回とし、料金は 1 回あたりの金額

■体験工房 10 周年作品展「ものづくりへの想い」

平成 30 年度に体験工房開設 10 周年を迎えたことを記念し、主催講座やサークル活動で制作した鋳造、彫金、七宝、ステンドグラス、バーナーワーク等の作品を発表する作品展を開催しました。

日時：平成 31 年 3 月 15 日～3 月 20 日

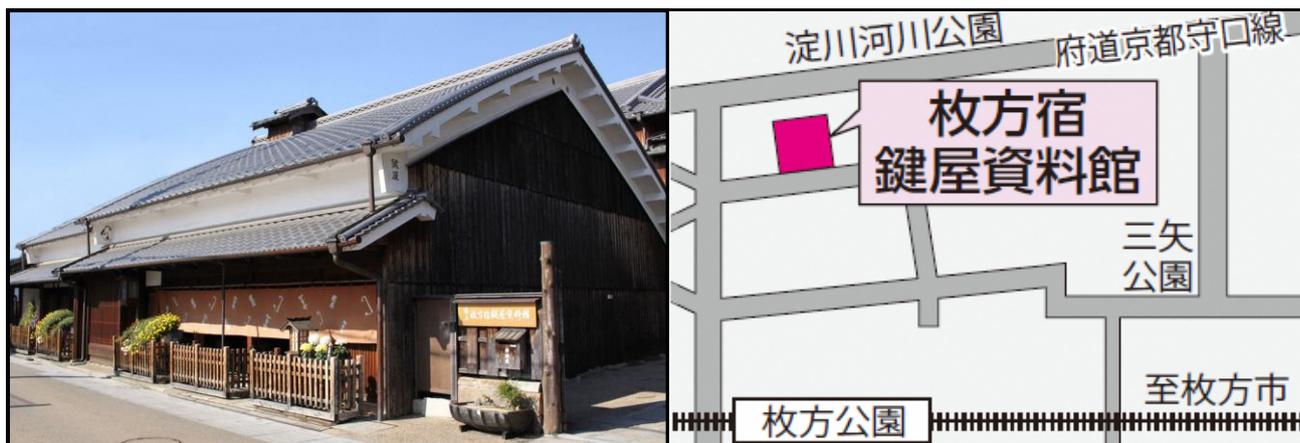
場所：くずはアートギャラリー（楠葉花園町 15-1-Z302）

出品作品数：119 点

入場者数：581 人



(3) 枚方宿鍵屋資料館（堤町 10-27）



開館時間	9時30分～17時00分（受付は16時30分まで）
休館日	火曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始
入館料	大人 200 円、小中学生 100 円
問い合わせ	電話 ・ FAX 843-5128
施設の概要	<p>枚方は、江戸時代、京都・大坂を結ぶ京街道の宿場町として、また、三十石船などが往来する淀川舟運の中継地として賑わいました。船宿「鍵屋」は、「淀川三十石船唄」にも唄われ、当時の面影をしのばせる町家の代表です。</p> <p>本市は、貴重な建造物である鍵屋主屋を江戸時代の姿に復原し遺構展示するとともに、別棟においては枚方宿や淀川の舟運をわかりやすく解説する展示を行い、市民の歴史教育の場やまちづくりの拠点として活用することを目的として整備し、平成 13 年 7 月に開館しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●鍵屋主屋（枚方市指定文化財（有形文化財）） 19 世紀初頭の町家建築です。船宿当時の形式を今日によく残し、旧枚方宿の面影を留める貴重な建築遺構です。 ●鍵屋（枚方市指定文化財（史跡）） 枚方宿と淀川との密接な関わりを示す地として、平成 10 年に鍵屋全体を市史跡に指定しています。

■主屋 東棟

無料スペースとして開放しています。

写真左から、トオリニワ（表口と裏口をつなぐ通路代わりの土間）、ヒロシキ（休憩もしくは船の待合場所として利用）、客間（夜は宿泊場所として利用）。



■別棟1階 展示室「枚方宿と街道」

この展示室では、宿場の機構・運営や枚方宿のまちなみ等を紹介しています。企画展も開催しています。



■別棟1階 くらわんか舟の模型

「餅くらわんか、酒くらわんか」。船客相手に乱暴な言葉で飲食物を商う煮売茶舟は俗に「くらわんか舟」とよばれました。

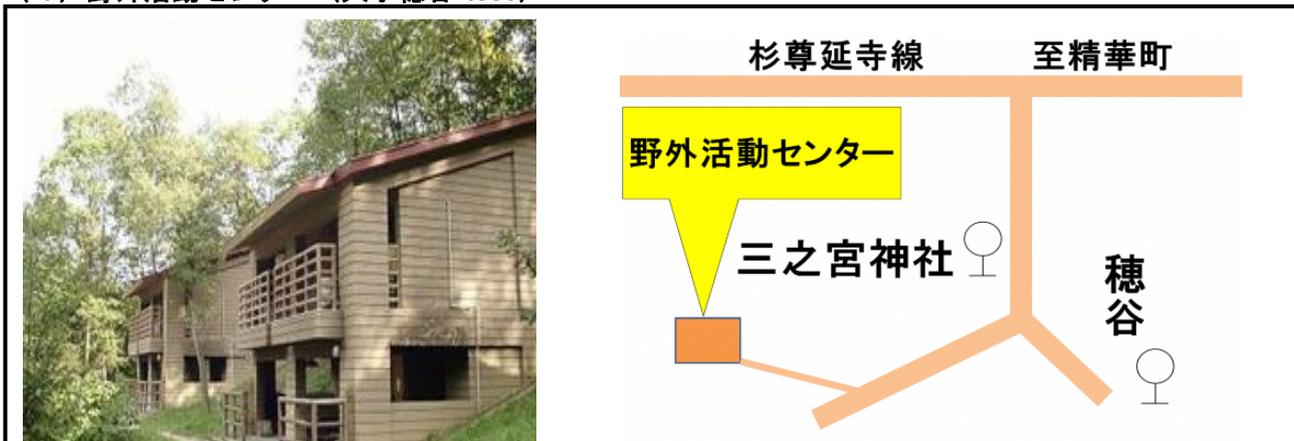


■別棟2階 大広間

「折上げ格天井」を備えた 63 畳の大広間。淀川に臨み、六甲山から比叡山まで望むことができます。歴史講座や伝統文化イベント等を開催しています。



(4) 野外活動センター (大字穂谷 4550)



<p>休所日</p>	<p>火曜日 6月の第1水曜日、12月から翌年2月の月曜日から金曜日(休日を除く。)及び年末年始 (休日、夏休み期間の火曜日は開所します。火曜日が休日の場合はその日後において最も近い休日でない日)</p>
<p>使用料</p>	<p>別途記載</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>電話 858-0300 ・ FAX 858-0048</p>
<p>施設の概要</p>	<p>昭和45年、小・中学校の校外生活指導及び勤労青少年の余暇の教育的利用を目的とした教育キャンプ場として開設し、平成4年にリニューアル。市民の健康体力づくりを図るとともに豊かな市民生活をおくる場として多くの市民に利用されてきました。</p> <p>主な施設として、15人収容のフレッシュエアータント20張、10人収容のロッジ5棟、メインホール(350人収容オリエンテーションホール、200インチスクリーンとビデオプロジェクター)、ステラホール(60cm反射望遠鏡を設置した天体観測棟)、第1・2キャンプファイヤー場、スタッフ棟2棟、野外炊飯場2か所、グリーンスポーツ場等があります。</p> <p>メインホールをはじめとする各施設はバリアフリーに配慮しており、例えばステラホールでは車椅子で観測ドームに入り、天体観望ができます。また、野外活動センターでは生ごみ処理機を導入し、ごみの軽減と堆肥としてのリサイクルを促進するなど、センターの循環環境システムを実践し環境教育の場となっています。</p> <p>平成18年度から平成20年度までは指定管理者制度を導入し、枚方体育協会が指定管理者として管理運営を行っていましたが、施設の老朽化への対応や冬季利用の見直しを行い効率的な管理運営を図るため、平成21年度から市の直営による管理運営を行っています。</p>

【 使用料 】

(単位：円)

		単 位	金 額
小・中学生 60歳以上 障害者	日 帰 り	1 人 1 日	100
	宿 泊	1 人 1 泊	250
大人	日 帰 り	1 人 1 日	200
	宿 泊	1 人 1 泊	500

備 考

1. 市外の方が使用する場合、上記金額の2倍となります。
2. 小学生未満は無料です。

【 附属施設使用料 】

(単位：円)

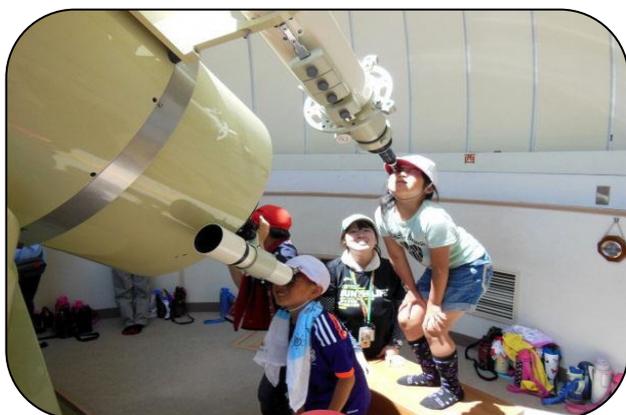
	単 位	金 額
ロッジ	1 泊 1 室	2,500

(単位：円)

	午 前	午 後	夜 間	午 前 午 後	午 後 夜 間	全 日	超 過 1 時間
第 1 研修室	1,000	1,500	1,500	2,500	3,000	3,500	500
第 2 研修室	1,000	1,500	1,500	2,500	3,000	3,500	500

備 考

1. 「午前」とは10時00分～12時00分、「午後」とは13時00分～16時00分、「夜間」とは17時00分～21時00分までとします。
2. ロッジ及び研修室を使用する場合は、センター使用料とともに附属施設使用料を納付することとします。
3. 超過時間を計算する場合において、1時間未満の端数があるときは、20分未満は切り捨て、20分以上は1時間とします。



天体観測



野外炊飯

(5) 総合スポーツセンター（中宮大池4丁目10-1）



<p>休館日</p>	<p>月曜日（休日の場合は開館します。）、年末年始及び6月・12月第1火曜日 ただし、テニスコートは年末年始のみ ※臨時休館する場合があります。</p>
<p>使用料</p>	<p>別途記載</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>電話 848-4800 ・ FAX 840-4495</p>
<p>施設の概要</p>	<p>市民のスポーツ意欲と余暇時間の増大に応じ、生涯教育の観点からスポーツ活動の充実をめざし、昭和58年に総合体育館を、平成2年には日本陸連公認の陸上競技場を建設し、総合スポーツセンターとして整備しました。</p> <p>現在は、藤阪テニスコート2面（藤阪南町1丁目334-4）、藤阪東町中央公園テニスコート2面（藤阪東町1丁目5011-8）、春日テニスコート7面（春日西町2丁目6-2）を加え、市内のスポーツ施設の中心的な役割を担っています。陸上競技場については、平成27年3月に日本陸連第3種公認検定を受け、5年間の公認継続となっています。</p> <p>各種スポーツ教室の実施により、市民の健康増進・体力の維持向上を図るとともに、正しいスポーツ技術の普及啓発を図っています。</p> <p>平成31年4月1日より枚方体育協会・アシックスジャパン共同事業体が指定管理者として施設管理運営を行うとともに、駐車場（第1、第2、春日テニスコート）の有料化を実施。</p>



陸上記録会



ラグビーカーニバル

【 団体専用利用料 】

(単位：円)

総合体育館		9時00分～ 12時00分	13時00分～ 17時00分	18時00分～ 21時00分	9時00分～ 21時00分
メインアリーナ	全面	9,000	12,500	12,500	34,000
	2/3面	6,600	9,200	9,200	25,000
	1/3面	3,300	4,600	4,600	12,500
第1	武道場	2,600	4,000	4,000	10,600
第2	武道場	2,600	4,000	4,000	10,600
第1	会議室	1,200	1,800	1,800	4,800
第2	会議室	1,300	2,000	2,000	5,300

備考

1. 市外の団体が使用する場合、上記金額の2倍となります。
2. 使用者が入場料等を徴収して使用する場合、市内の団体は上記金額の2倍、市外の団体は4倍となります。
3. 中学生以下・60歳以上・障害者の団体は、上記金額の半額となります。
4. 冷暖房を使用する場合、上記金額に0.2を乗じた額を加算します。
5. 超過使用の場合、1時間につき(20分未満は切り捨て)上記金額に0.4を乗じた額を加算します。

【 個人共用利用料 】

(単位：円)

総合体育館	単位	金額
サブアリーナ	1回2時間 ※9時00分から起算して 2時間ごとを1回とします。	大人：200 中学生以下：100 60歳以上：100 障害者：100
卓球室		
トレーニング室(要登録証)		
第1武道場	1回2時間	
第2武道場		
ランニングロード		

備考

市外の方が使用する場合、上記金額の2倍となります。



サブアリーナ



メインアリーナ

【 団体専用利用料 】

(単位：円)

陸上競技場				9時00分～ 12時00分	13時00分～ 17時00分	9時00分～ 17時00分	
全 面	アマチュアスポーツに 使用の場合	入場料等 なし	市内 市外	12,000 24,000	17,000 34,000	29,000 58,000	
		入場料等 あり	市内 市外	24,000 48,000	34,000 68,000	58,000 116,000	
	その他の場合	入場料等 なし	市内 市外	60,000 84,000	85,000 119,000	145,000 203,000	
		入場料等 あり	市内 市外	120,000 144,000	170,000 204,000	290,000 348,000	
	トラック	アマチュアスポーツに 使用の場合	入場料等 なし	市内 市外	4,000 8,000	6,000 12,000	10,000 20,000
			入場料等 あり	市内 市外	8,000 16,000	12,000 24,000	20,000 40,000
その他の場合		入場料等 なし	市内 市外	20,000 28,000	30,000 42,000	50,000 70,000	
		入場料等 あり	市内 市外	40,000 48,000	60,000 72,000	100,000 120,000	
フィールド	アマチュアスポーツに 使用の場合	入場料等 なし	市内 市外	8,000 16,000	11,000 22,000	19,000 38,000	
		入場料等 あり	市内 市外	16,000 32,000	22,000 44,000	38,000 76,000	
	その他の場合	入場料等 なし	市内 市外	40,000 56,000	55,000 77,000	95,000 133,000	
		入場料等 あり	市内 市外	80,000 96,000	110,000 132,000	190,000 228,000	
会議室	アマチュアスポーツに 使用の場合	入場料等 なし	市内 市外	1,000 2,000	1,500 3,000	2,500 5,000	
		入場料等 あり	市内 市外	2,000 4,000	3,000 6,000	5,000 10,000	
	その他の場合	入場料等 なし	市内 市外	5,000 7,000	7,500 10,500	12,500 17,500	
		入場料等 あり	市内 市外	10,000 12,000	15,000 18,000	25,000 30,000	

備 考

中学生以下・60歳以上・障害者の団体は、上記金額の半額となります。

【 個人共用利用料 】

(単位：円)

陸上競技場	単 位	金 額
トラック&フィールド	1回2時間	大 人：100 中学生以下：50 60歳以上：50 障 害 者：50

備 考

市外の方が使用する場合、上記金額の2倍となります。

【藤阪テニスコート利用料】

(単位：円)

	6時00分 ～ 7時00分	7時00分 ～ 8時00分	8時00分 ～ 10時00分	10時00分 ～ 12時00分	12時00分 ～ 14時00分	14時00分 ～ 16時00分	16時00分 ～ 17時00分	17時00分 ～ 18時00分	18時00分 ～ 19時00分
3月 ～ 6、10月	-	600	1,200	1,200	1,200	1,200	600	600	-
7月 ～ 8月	600	600	1,200	1,200	1,200	1,200	600	600	600
9月	600	600	1,200	1,200	1,200	1,200	600	600	-
11月 ～ 2月	-	600	1,200	1,200	1,200	1,200	600	-	-

備考

市外の方が使用する場合、上記金額の2倍となります。

【藤阪東町中央公園テニスコート利用料】

(単位：円)

	9時00分 ～ 11時00分	11時00分 ～ 13時00分	13時00分 ～ 15時00分	15時00分 ～ 17時00分	17時00分 ～ 18時00分
下記を除く期間	1,200	1,200	1,200	1,200	-
5月～8月の土日祝日	1,200	1,200	1,200	1,200	600

備考

市外の方が使用する場合、上記金額の2倍となります。

【春日テニスコート利用料】

(単位：円)

	8時00分 ～ 10時00分	10時00分 ～ 12時00分	12時00分 ～ 14時00分	14時00分 ～ 16時00分	16時00分 ～ 17時00分	17時00分 ～ 18時00分
3～10月	1,200	1,200	1,200	1,200	600	600
11～2月	1,200	1,200	1,200	1,200	600	-

備考

市外の方が使用する場合、上記金額の2倍となります。



春日テニスコート

【駐車場利用料】

区分			単位	金額
総合スポーツセンター	施設利用者	駐車場	1台	利用開始から60分までは無料 30分100円 最大料金300円 ※営業時間 8時～22時
	施設利用者以外			8時～21時まで 30分100円 21時～8時まで 60分100円 最大料金1,500円 ※営業時間 8時～22時
春日テニスコート	施設利用者	駐車場	1台	利用開始から60分までは無料 30分100円 最大料金300円 ※営業時間 7時～19時（11月～2月は7時～18時）
	施設利用者以外			8時～22時まで 30分100円 22時～8時まで 60分100円 最大料金1,500円 ※営業時間 7時～19時（11月～2月は7時～18時）

備考

下記(1)～(4)に掲げる者が運転し、又は同乗する自動車を駐車する場合は全額免除とする

- (1) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者
- (2) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者
- (3) 大阪府療育手帳に関する規則（平成12年大阪府規則第42号）第7条第2項の規定により療育手帳の交付を受けた者
- (4) 知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）の規定に基づく知的障害者更生相談所、児童福祉法（昭和22年法律164号）の規定に基づく児童相談所又は精神保健及び精神障害に関する法律の規定に基づく精神保健指定医により知的障害があると判定された者

平成31年4月1日から令和6年（2024年）3月31日まで

(6) 渚市民体育館（渚西3丁目26-10）



<p>休館日</p>	<p>金曜日（休日の場合は開館します。） 年末年始及び6月・12月第1木曜日 ※臨時休館する場合があります。</p>
<p>使用料</p>	<p>別途記載</p>
<p>問い合わせ</p>	<p>電話 898-8181 ・ FAX 898-8585</p>
<p>施設の概要</p>	<p>いつでもどこでも気軽にスポーツを楽しむことのできる健全で潤いのあるまちづくりという発想のもとに、渚市民体育館が平成10年3月1日に開館しました。</p> <p>1階は板張りのドームアリーナをはじめ、各種トレーニング機器を備えたアスレチックルーム、子ども用のキッズホール、シャワー室、更衣室などを設置しています。</p> <p>2階には各種武道やダンス等に利用できるフィットネスルームや会議室、3階には枚方市の施設では初めての弓道やアーチェリーに使える射場を備えたスカイアリーナがあり、市民の毎日の健康づくりや有意義な余暇利用等、多目的に利用できる施設になっています。</p> <p>平成31年4月1日より渚スポーツコミュニティ共同事業体が指定管理者として施設管理運営を行うとともに、駐車場の有料化を実施。</p>



スカイアリーナ



渚市民体育館

【 団体専用利用料 】

(単位：円)

		9時00分～ 12時00分	12時00分～ 15時00分	15時00分～ 18時00分	18時00分～ 21時00分
ドームアリーナ	全面	6,200	6,200	6,200	8,400
	半面	3,100	3,100	3,100	4,200
フィットネスルーム	全面	3,200	3,200	3,200	4,400
	半面	1,600	1,600	1,600	2,200
スカイアリーナ	弓道等	2,500	2,500	2,500	3,400
	その他	1,000	1,000	1,000	1,300
会議室	全室	2,400	2,400	2,400	3,200
	半室	1,200	1,200	1,200	1,600

備 考

1. 市外の団体が使用する場合、上記金額の2倍となります。
2. 使用者が入場料等を徴収して使用する場合、市内の団体は上記金額の2倍、市外の団体は4倍となります。
3. 中学生以下・60歳以上・障害者の団体は、上記金額の半額となります。
4. 冷暖房を使用する場合、上記金額に0.2を乗じた額を加算します。

【 個人共用利用料 】

(単位：円)

	単 位	金 額
ドームアリーナ	1回2時間	大 人：200 中学生以下：100 60歳以上：100 障 害 者：100
フィットネスルーム	※9時00分から起算して2時間ごとを1回とすることがあります。	
アスレチックルーム (要登録証)	1回2時間	
スカイアリーナ (要登録証)		

備 考

市外の方が使用する場合、上記金額の2倍となります。



ドームアリーナ



アスレチックルーム

【駐車場料金】

区分		単位	金額
施設利用者	駐車場	1台	利用開始から60分までは無料 30分100円 最大料金400円 ※営業時間 8時～22時
施設利用者以外			9時～21時まで 30分100円 21時～9時まで 60分100円 最大料金1,500円 ※営業時間 8時～22時

備考

下記（１）～（４）に掲げる者が運転し、又は同乗する自動車を駐車する場合は、全額免除とする。

- （１） 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第 4 項の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者
- （２） 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条第 2 項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者
- （３） 大阪府療育手帳に関する規則（平成 12 年大阪府規則第 42 号）第 7 条第 2 項の規定により療育手帳の交付を受けた者
- （４） 知的障害者福祉法（昭和 35 年法律第 37 号）の規定に基づく知的障害者更生相談所、児童福祉法（昭和 22 年法律 164 号）の規定に基づく児童相談所又は精神保健及び精神障害に関する法律の規定に基づく精神保健指定医により知的障害があると判定された者

平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年（2024 年） 3 月 31 日まで

(7) 伊加賀スポーツセンター（伊加賀西町 53-2）



休館日	第4木曜日（休日の場合は開館します。）及び年末年始 ※臨時休館する場合があります。
使用料	別途記載
問い合わせ	電話 841-8118 ・ FAX 841-8120
施設の概要	<p>生涯スポーツ活動の機会と場を提供することにより、市民の健康と体力の向上に資することを目的として平成23年4月に「伊加賀スポーツセンター」の供用を開始しました。</p> <p>同センターは当初、砂入り人工芝仕様のテニスコート5面と軟式野球、サッカーなどができる多目的な運動広場(グラウンド)1面で構成されていましたが、平成24年度に既存の体育館の改修(耐震化、バリアフリー化)とテニスコートに夜間照明設備を整備し、平成25年4月から供用を開始しています。</p> <p>平成31年4月1日よりミズノグループが指定管理者として施設管理運営を行うとともに、駐車場の有料化を実施。</p>



テニスコート



トレーニング室

【 専用利用料 】

(単位：円)

	8時00分 ～ 9時00分	9時00分 ～ 11時00分	11時00分 ～ 13時00分	13時00分 ～ 15時00分	15時00分 ～ 17時00分	17時00分 ～ 19時00分	19時00分 ～ 21時00分	夜間照明 設備 (1面30分)
テニスコート	600	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	300

備 考

1. A～Eコート共通、1コートあたりの使用料
2. 市外の方が使用する場合、上記金額の2倍（夜間照明使用料は除く。）となります。

【 団体専用利用料 】

(単位：円)

	8時00分～ 9時00分	9時00分～ 11時00分	11時00分～ 13時00分	13時00分～ 15時00分	15時00分～ 17時00分
運動広場	750	1,500	1,500	1,500	1,500

備 考

市外の団体が使用する場合、上記金額の2倍となります。

【 団体専用利用料 】

(単位：円)

	9時00分～ 12時00分	12時00分～ 15時00分	15時00分～ 18時00分	18時00分～ 21時00分	日曜夜間 18時00～ 21時00
大体育室 全面	6,000	6,000	6,000	8,200	3,000
大体育室 半面	3,000	3,000	3,000	4,100	1,500
体育室1	1,600	1,600	1,600	2,200	800
体育室2	1,500	1,500	1,500	2,000	750
多目的室	700	700	700	900	350

備 考

1. 市外の団体が使用する場合、上記金額の2倍となります。
2. 使用者が入場料等を徴収して使用する場合、市内の団体は上記金額の2倍、市外の団体は4倍となります。
3. 中学生以下・60歳以上・障害者の団体は、上記金額の半額となります。
4. 冷暖房を使用する場合、上記金額に0.2を乗じた額を加算します。
5. 日曜日夜間料金はその翌日が祝日など休日の場合は適用しない。

【個人共用利用料】

(単位：円)

	単 位	金 額
大体育室	1回2時間 ※9時00分から起算して2時間ごとを 1回とすることがあります。	大 人：200 中学生以下：100 60歳以上：100 障 害 者：100
体育室1		
多目的室		
体育室2	1回2時間	
トレーニング室(要登録証)		

備 考

市外の方が使用する場合、上記金額の2倍となります。

【駐車場利用料】

区分		単位	金額
施設利用者	平日	1台	利用開始から60分までは無料 8時00分～22時00分 30分100円 22時00分～8時00分 60分100円 当日最大料金300円
	土日祝		利用開始から60分までは無料 8時00分～22時00分 30分100円 22時00分～8時00分 60分100円 土日祝当日最大料金500円
施設利用者以外	全日		8時00分～22時00分 30分100円 22時00分～8時00分 60分100円 当日最大料金1,000円

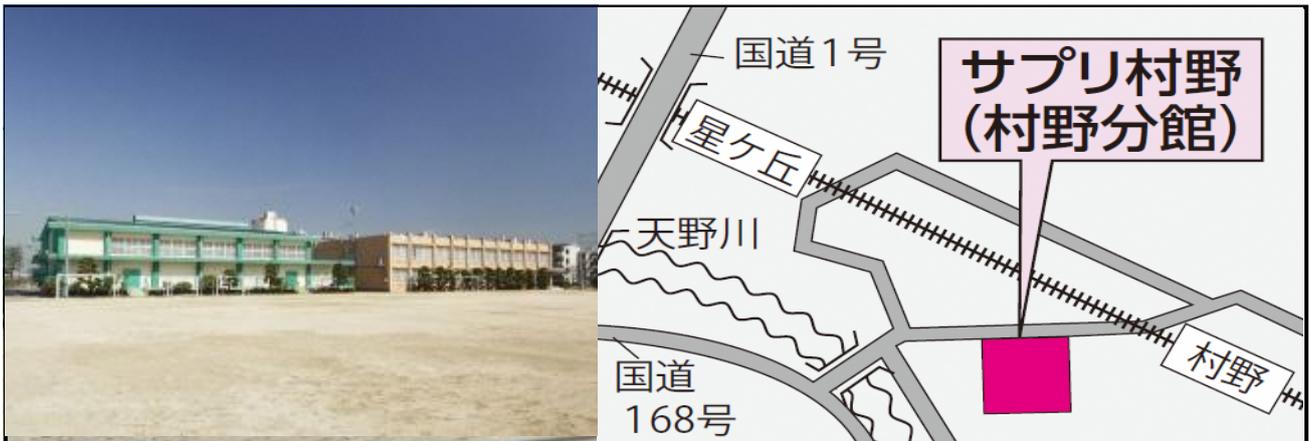
備 考

下記(1)～(4)に掲げる者が運転し、又は同乗する自動車を駐車する場合は全額免除とする。

- (1) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者
- (2) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者
- (3) 大阪府療育手帳に関する規則(平成12年大阪府規則第42号)第7条第2項の規定により療育手帳の交付を受けた者
- (4) 知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)の規定に基づく知的障害者更生相談所、児童福祉法(昭和22年法律164号)の規定に基づく児童相談所又は精神保健及び精神障害に関する法律の規定に基づく精神保健指定医により知的障害があると判定された者

平成31年4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで

(8) サプリ村野スポーツセンター（村野西町5-1）



休館日	第4火曜日（休日の場合は開館します。）及び年末年始 ※臨時休館する場合があります。
使用料	別途記載
問い合わせ	電話 805-0105 ・ FAX 805-0110
施設の概要	生涯スポーツ活動の機会と場を提供することにより、市民の健康と体力の向上に資することを目的として平成25年4月に体育館・多目的体育室・運動広場を有する「サプリ村野スポーツセンター」の供用を開始しました。



多目的体育室



体育館

【 団体専用使用料 】

(単位：円)

	9時00分～ 12時00分	12時00分～ 15時00分	15時00分～ 18時00分	18時00分～ 21時00分
体育館	2,300	2,300	2,300	3,100

	9時00分～ 11時45分	12時00分～ 14時45分	15時00分～ 17時45分	18時00分～ 21時00分
多目的体育室1～4	700	700	700	800

備 考

1. 市外の団体が使用する場合、上記金額の2倍となります。
2. 使用者が入場料等を徴収して使用する場合、市内の団体は上記金額の2倍、市外の団体は4倍となります。
3. 中学生以下・60歳以上・障害者の団体は、上記金額の半額となります。

【 個人共用使用料 】

(単位：円)

	単 位	金 額
体育館	1回2時間 ※9時00分から起算して2時間ごとを1回とすることがあります。	大 人：200
多目的体育室1～4		中学生以下：100 60歳以上：100 障 害 者：100

備 考

市外の方が使用する場合、上記金額の2倍となります。

【 団体専用使用料 】

(単位：円)

	9時00分～ 11時00分	11時00分～ 13時00分	13時00分～ 15時00分	15時00分～ 17時00分	17時00分～ 19時00分 (5月～8月のみ)
運動広場	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500

備 考

市外の団体が使用する場合、上記金額の2倍となります。

(9) 東部公園野球場 (大字尊延寺 2987-1) 呼称：ひらかた東部スタジアム



休所日	年末年始 ※臨時休所する場合があります。
使用料	別途記載
問い合わせ	電話 050-7105-8061 ・ FAX 072-851-9335
施設の概要	<p>初の硬式野球もできる本格的野球場として、平成 27 年 4 月に「ひらかた東部スタジアム」の供用を開始しました。</p> <p>野球場の両翼（ホームベースからライト・レフトのポールまでの距離）は 92m、中堅（ホームベースからセンター方向に向かってフェンスまでの距離）は 115mあり、マウンドは常設（一般成人用）、両チーム用ベンチ、バックネット、電光スコアボード（有料）も備えたスタジアムです。内野部分にはプロが使用する球場でも使われている黒土を使用することにより、グラウンドに適度なやわらかさを確保し、硬式野球の打球処理にも対応が出来るとともに、大変水ハケの良いグラウンドとなっています。</p> <p>平成 30 年 4 月 1 日からナイターでの使用が可能になりました。</p>



東部公園野球場

【 団体専用使用料 】

(単位：円)

使用時間帯	8時00分～ 10時00分	10時00分～ 12時00分	12時00分～ 14時00分	14時00分～ 16時00分	16時00分～ 18時00分
料 金	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000

使用時間帯	18時00分～ 20時00分	20時00分～ 21時00分
料 金	3,000	1,500

備 考

市外の団体が使用する場合、上記金額の2倍となります。

【 使用可能種目 】

硬式野球	軟式野球
ソフトボール	グラウンド・ゴルフ (外野のみ)

【 附属設備 (有料) 】

備 品 名	料 金
電光スコアボード	1回 1,000円
夜間照明設備	1回 6,000円

【 貸出備品 (無料) 】

ライン引き	グラウンド整備用品
運搬台車	散水ホース
硬式野球用塁ベース	軟式野球用塁ベース
少年軟式野球用塁ベース	ソフトボール用塁ベース
ヘルメットスタンド	バットスタンド
バッティングゲージ	可動式防球フェンス
可動式簡易外野用フェンス	ピッチャーネット
手書きスコアボード	グラウンド・ゴルフホールポスト

(10) その他の体育施設

施設名称	施設の概要	
王仁公園運動広場	所在地	王仁公園 1-1 (JR藤阪駅下車北東へ600m)
	使用料	1,500円/2時間
	面積	7,224 m ²
	競技可能種目	軟式野球、ソフトボール、サッカー、ラグビー等
中の池公園運動広場	所在地	東山 2-47 (京阪バス中の池公園バス停下車すぐ)
	使用料	1,500円/2時間
	面積	8,000 m ²
	競技可能種目	軟式野球、ソフトボール、サッカー、ラグビー等
香里ヶ丘中央公園運動広場	所在地	香里ヶ丘 4-1 (京阪バス新香里バス停下車徒歩3分)
	使用料	1,500円/2時間
	面積	6,338 m ²
	競技可能種目	軟式野球、ソフトボール、サッカー、ラグビー等
王仁公園テニスコート	所在地	王仁公園 1-1 (JR藤阪駅下車北東へ600m)
	使用料	600円/時間
	設備	砂入り人工芝 4面
	競技可能種目	硬式テニス、ソフトテニス
王仁公園バレーボールコート	所在地	王仁公園 1-1 (JR藤阪駅下車北東へ600m)
	使用料	300円/時間
	設備	クレーコート 2面
	競技可能種目	バレーボール、硬式テニス、ソフトテニス
王仁公園プール	所在地	王仁公園 1-1 (JR藤阪駅下車北東へ600m)
	使用料	大人(高校生以上) 900円/日 小人(小・中学生) 450円/日
	設備	50mプール(9コース)、造波プール(560 m ²) 流水プール(760 m ²)、幼児プール(165 m ²)

*問い合わせ先は、枚方市土木部みち・みどり室(電話 072-841-1482)

第3章 教育委員会のおゆみ

1. 枚方の教育のあゆみ

「ひらかたゆ 笛吹き上る近江のや 毛野の稚子い笛吹き上る」

『日本書紀』の古代歌謡に初めて「ひらかた」という名が見えます。また、同じく『日本書紀』には、楠葉の地名の由来や、継体天皇の樟葉宮として、「くずは」の名が見えます。

(1) 古代

枚方市は、大阪府の北東部に位置し、生駒山地北端につながる交野台地と淀川左岸の沖積地からなり、 温かな気候と相まって、古くから人が多く住んできた地域です。淀川に面して京阪奈三都の中間に位置することから交通の要衝として発展してきました。

本市では、旧石器時代や縄文時代の遺物も採集されますが、大規模な集落が営まれるようになったのは弥生時代中期以降です。弥生時代後期から古墳時代前期にかけては、市内の台地部に大規模な集落が散在し、多くの人々が暮らしていました。

奈良時代後半には、古代朝鮮三国の一つ、百済の王族の末裔である百済王氏が一族の氏寺として中宮に百済寺を建立するなど、枚方は古くから仏教文化の花が開いた土地です。

都を長岡・平安京に遷した桓武天皇は、交野ヶ原へたびたび行幸して鷹狩を楽しみ、以後、交野は貴族の遊獵地として名をはせました。文徳天皇の第一皇子惟喬親王は、交野ヶ原に「渚院」という別荘を営みました。

「世の中に たえて桜のなかりせば 春の心はのどけからまし」

『古今和歌集』に見えるこの有名な歌は、在原業平が惟喬親王と交野ヶ原に遊び、渚院の桜を詠んだものです。清少納言は『枕草子』に、「野は交野」と交野ヶ原をあげています。



廃渚院観音寺鐘楼



渚院歌碑（平野南城氏筆）

(2) 中世

鎌倉時代には、摂関家の楠葉牧が発展し、楠葉関と相まって、楠葉は小都市を形成していました。また、伊加賀郷には、承久の乱の勲功により、鎌倉幕府御家人の土屋氏が地頭として補任されました。

室町時代、蓮如が草創した出口御坊（光善寺）や実従が入寺した枚方御坊（順興寺、現在の願生坊）は、摂津・河内・和泉での浄土真宗の布教活動の拠点となり、当地でも多くの人々の信仰を集めました。枚方御坊を中心に形成された寺内町は、枚方がまちに成長する基となりました。

(3) 近世

江戸時代に入ると、京街道にも宿駅が設けられ、三矢・岡・岡新町・泥町の4か村が枚方宿に指定されました。枚方は、淀川を上下する過書船等の中継港としても賑わい、街道沿いに宿場町が形成されました。

枚方宿には本陣のほか、天明期の記録では旅籠 32 軒、商人・職人 47 軒、茶店 7 軒などが確認され、鍵屋浦は船着場として賑わいました。三十石船の乗客に「餅くらわんか、酒くらわんか」と乱暴な言葉を浴びせて酒肴を売りつける煮売舟は「くらわんか舟」と呼ばれ、枚方の名物となりました。

近世における教育は、寺子屋での「読み、書き、そろばん」の実用学が中心で、現市域の 37 村の中で、幕末期には 41 か所の寺子屋の存在が確認されています。寺子屋の師匠の多くは僧侶ですが、僧侶・医師を除いて農民の師匠が 17 人もいたことは当地での教育の普及を示すものといえます。



「京都名所之内 淀川」広重画

(4) 近代（明治時代～昭和戦前）

明治5年、政府は近代国家建設の礎として、全国各地に学校をつくりました。当地においても、寺院等を借りて数か村共同の郷学校をつくり、漢学者や僧侶が先生になって教えていました。その後、町村制の施行に伴って、各町村に1校の小学校と数か村組合立の高等小学校が整えられました。

明治時代以降、枚方は徐々に兵器のまちとしての色合いを強めてきました。明治29年、陸軍禁野火薬庫が設置され、昭和13年に陸軍枚方兵器製造所、翌14年に同香里火薬製造所が開設され、一大兵器生産地となりました。このような中、昭和14年3月1日、禁野火薬庫が大爆発し、周辺に大きな被害を及ぼしました。

日中戦争から太平洋戦争への拡大は国民生活を圧迫し、学習より食糧増産のため小学生さえも動員させられて、空地はもちろん淀川河川敷や校庭の開墾にあたりました。昭和16年、小学校は国民学校と改称し軍国主義教育が一層強化され、昭和19年には大阪市内の児童が津田・菅原など東部地区の寺院へ学童疎開してきました。

(5) 現代（昭和戦後～現在）

枚方市は昭和22年8月1日に市制を施行し、廃止された軍事施設の跡地や建物の一部は6・3制教育の実施に伴う新制中学校の教育施設等として再出発をしました。その後、香里製造所跡は住民運動によって当時東洋一の規模を誇る住宅団地に姿をかえるなど、戦前の兵器のまちの面影は無くなり、平和のまちとして、住宅を中心とする多機能生活都市へと発展しました。

枚方の小中学校は、明治初期の小学校7校、昭和22年の中学校1校の設立から始まりましたが、昭和40年代から昭和50年代前半には、児童・生徒数が急増したため学校の新設・分離が追いつかず、プレハブ教室が校庭の大半を占める状況も見られました。



昭和22年に開校した枚方町立中学校

その後、児童・生徒数は、昭和 58 年の約 6 万 5 千人をピークに減少に転じ、平成 26 年度末には、殿山第二幼稚園、桜丘幼稚園、津田幼稚園、樟葉南幼稚園の 4 園を閉園し、現在では、市立幼稚園（7 園）に通園する園児数は約 360 人、小学校（45 校）及び中学校（19 校）に通学する児童・生徒数は約 3 万 2 千人となっています。

平成に入り、現在においても学級数が減少する学校がある一方で、住宅開発の集中等により大規模化する学校が現れるなど、学校間において規模の不均衡が生じています。この対応として、枚方市学校規模等適正化審議会の第 1 次答申（平成 11 年）を受け、小学校 2 校及び中学校 1 校の統廃合と通学区域の変更による学校規模等適正化を進めてきました。また、第 2 次答申（平成 19 年）を受けて、地域の教育力を高め、小中連携など特色ある学校教育を推進することを目的に、小学校単位で中学校の通学区域を構成する、いわゆる「一小一中」の接続関係への改善を進め、引き続き、第 3 次答申（平成 23 年）を受け、小中連携事業をより充実させる観点から、「一小一中」への接続関係の改善に取り組んできました。また、学校規模については、少子化の進行により児童生徒数ピーク時に比べ半数以下となり学校の更なる小規模化により教育環境や学校運営への支障が懸念されることから、小規模校の課題の解消に向け平成 28 年 3 月に第 4 次答申を受け、平成 29 年 6 月に枚方市学校規模等適正化基本方針を改定しました。令和元年度（2019 年度）は同方針に基づき、教育環境のさらなる整備・向上に向け、学校規模等の適正化に取り組むものです。

2. 歴代教育委員・教育長

(令和元年(2019年)5月1日現在)

【歴代教育委員】

氏名	在任期間	備考
北牧 一雄	昭和27年10月5日 ~ 昭和31年9月30日	
	昭和31年10月1日 ~ 昭和35年3月26日	
辻 半太郎	昭和27年10月5日 ~ 昭和31年9月30日	
畠山 晴文	昭和27年10月5日 ~ 昭和30年4月7日	
田中吉之助	昭和27年10月5日 ~ 昭和31年9月30日	
交久瀬善雄	昭和27年10月22日 ~ 昭和28年5月24日	
	昭和30年5月19日 ~ 昭和31年9月30日	
山田 政次	昭和27年11月1日 ~ 昭和31年9月26日	昭和28年4月1日再任
初田 豊	昭和28年5月25日 ~ 昭和30年5月18日	
岡市喜太郎	昭和30年4月30日 ~ 昭和31年9月30日	
西村 平作	昭和30年10月15日 ~ 昭和31年9月30日	
千田 民衛	昭和31年10月1日 ~ 昭和35年9月30日	
浅利 千代	昭和31年10月1日 ~ 昭和34年9月30日	
木村 清	昭和31年10月1日 ~ 昭和33年9月30日	
多田 常吉	昭和31年10月1日 ~ 昭和32年9月30日	
沢田 政則	昭和32年10月24日 ~ 昭和33年9月30日	
山中佐一郎	昭和33年12月15日 ~ 昭和36年10月23日	
	昭和37年8月13日 ~ 昭和45年8月12日	昭和41年8月13日再任
	昭和46年9月20日 ~ 昭和50年9月19日	
酒井 俊一	昭和34年8月31日 ~ 昭和38年4月18日	
藤平 フミ	昭和35年5月16日 ~ 昭和39年9月30日	昭和35年10月1日再任
山田 政次	昭和35年5月16日 ~ 昭和43年5月15日	昭和39年5月16日再任
小山 西雄	昭和36年1月1日 ~ 昭和43年2月22日	昭和40年4月1日再任
中井 正勝	昭和39年3月28日 ~ 昭和47年3月27日	昭和43年3月28日再任
	昭和47年5月20日 ~ 昭和51年5月19日	
	昭和51年6月28日 ~ 昭和55年6月27日	
	昭和55年7月4日 ~ 昭和63年7月3日	昭和59年7月4日再任
長村 節三	昭和39年12月22日 ~ 昭和43年12月21日	
竹内 信	昭和43年6月24日 ~ 昭和44年3月31日	
	昭和54年6月22日 ~ 昭和60年3月31日	昭和55年3月29日再任 昭和59年3月29日再任
野田 昌秀	昭和43年6月26日 ~ 昭和51年3月2日	昭和47年6月26日再任

氏名	在任期間	備考
村岡 恵水	昭和44年4月1日 ～ 昭和52年3月31日	昭和48年4月1日再任
阪本 省三	昭和44年4月1日 ～ 昭和52年3月31日	昭和48年4月1日再任
門川 鶴夫	昭和51年3月29日 ～ 昭和51年6月25日	
	昭和51年6月28日 ～ 昭和55年6月27日	
池上 克彌	昭和51年3月29日 ～ 昭和54年4月30日	
湊 知泰	昭和52年9月12日 ～ 昭和56年9月11日	
多田 高利	昭和52年9月12日 ～ 昭和56年9月11日	
竹内 清	昭和54年6月22日 ～ 昭和60年3月31日	昭和55年3月29日再任 昭和59年3月29日再任
村井 正直	昭和55年9月27日 ～ 昭和58年3月31日	
塚本伊久男	昭和57年1月21日 ～ 昭和61年1月20日	
	昭和61年6月13日 ～ 平成2年6月12日	
堀 浩良	昭和57年12月10日 ～ 昭和61年12月9日	
谷本 貞人	昭和58年10月17日 ～ 昭和63年9月26日	昭和59年9月27日再任
藤田 篤	昭和61年2月22日 ～ 昭和63年3月28日	
福谷 一男	昭和62年3月12日 ～ 平成3年3月11日	
家高 憲三	昭和63年3月29日 ～ 平成8年3月28日	平成4年3月29日再任
古高 時彦	昭和63年9月27日 ～ 平成8年9月26日	平成4年9月27日再任
船戸 一郎	昭和63年9月27日 ～ 平成8年9月26日	平成4年9月27日再任
水川美恵子	平成2年9月19日 ～ 平成6年3月31日	
寺嶋 みち	平成3年1月11日 ～ 平成7年10月10日	
小椋 久佳	平成7年12月20日 ～ 平成8年4月30日	
中野 一雄	平成8年4月1日 ～ 平成20年3月31日	平成12年4月1日再任 平成16年4月1日再任
大槻 實	平成8年9月27日 ～ 平成15年12月19日	平成11年12月20日再任
中島 建明	平成8年9月27日 ～ 平成12年9月26日	
堀野久兵衛	平成8年9月27日 ～ 平成12年9月26日	
國部 茂	平成8年9月27日 ～ 平成16年9月26日	平成12年9月27日再任
中村 敦子	平成12年9月27日 ～ 平成20年3月31日	平成16年9月27日再任
林 榮男	平成12年9月27日 ～ 平成16年9月26日	
高野 勝	平成16年4月1日 ～ 平成20年3月31日	
宮川 勝也	平成16年9月27日 ～ 平成24年9月26日	平成20年9月27日再任
記虎 敏和	平成17年4月1日 ～ 平成28年3月31日	平成21年4月1日再任 平成25年4月1日再任
南部 一成	平成20年4月1日 ～ 平成26年3月31日	
山下 薫子	平成20年4月1日 ～ 平成28年3月31日	平成24年4月1日再任
徳永 博正	平成20年5月19日 ～ 平成28年9月26日	平成20年9月27日再任 平成24年9月27日再任
吉村 雅昭	平成24年9月27日 ～ 平成30年3月31日	平成28年9月27日再任

氏名	在任期間	備考
村橋 彰	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日	
橋野 陽子	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 在任中	
神田 裕史	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 在任中	平成 29 年 4 月 1 日再任
谷元 紀之	平成 28 年 9 月 27 日 ～ 在任中	平成 31 年 4 月 1 日再任
近藤 孝	平成 30 年 4 月 1 日 ～ 在任中	

【歴代教育委員会委員長】

氏名	在任期間	備考
北牧 一雄	昭和 27 年 11 月 1 日 ～ 昭和 28 年 3 月 31 日	
交久瀬善雄	昭和 28 年 4 月 1 日 ～ 昭和 28 年 5 月 24 日	
	昭和 30 年 10 月 1 日 ～ 昭和 31 年 3 月 31 日	
初田 豊	昭和 28 年 5 月 25 日 ～ 昭和 29 年 3 月 31 日	
辻 半太郎	昭和 29 年 4 月 1 日 ～ 昭和 29 年 9 月 30 日	
畠山 晴文	昭和 29 年 10 月 1 日 ～ 昭和 30 年 4 月 7 日	
田中吉之助	昭和 30 年 4 月 8 日 ～ 昭和 30 年 9 月 30 日	
岡市喜太郎	昭和 31 年 4 月 1 日 ～ 昭和 31 年 9 月 30 日	
千田 民衛	昭和 31 年 10 月 2 日 ～ 昭和 32 年 10 月 1 日	
	昭和 34 年 2 月 14 日 ～ 昭和 35 年 4 月 5 日	昭和 34 年 5 月 5 日再任
木村 清	昭和 32 年 10 月 2 日 ～ 昭和 33 年 9 月 30 日	
山中佐一郎	昭和 35 年 4 月 6 日 ～ 昭和 36 年 10 月 23 日	
	昭和 38 年 10 月 30 日 ～ 昭和 42 年 8 月 12 日	昭和 39 年 10 月 30 日再任 昭和 40 年 10 月 30 日再任 昭和 41 年 8 月 13 日再任
	昭和 43 年 12 月 23 日 ～ 昭和 45 年 8 月 12 日	昭和 44 年 12 月 23 日再任
	昭和 47 年 3 月 31 日 ～ 昭和 48 年 3 月 30 日	
酒井 俊一	昭和 36 年 11 月 1 日 ～ 昭和 37 年 10 月 24 日	
小山 西雄	昭和 37 年 10 月 25 日 ～ 昭和 38 年 10 月 24 日	
中井 正勝	昭和 42 年 8 月 18 日 ～ 昭和 43 年 3 月 27 日	
	昭和 45 年 8 月 21 日 ～ 昭和 47 年 3 月 27 日	昭和 46 年 8 月 21 日再任
	昭和 50 年 4 月 1 日 ～ 昭和 51 年 5 月 19 日	昭和 51 年 4 月 1 日再任
	昭和 52 年 4 月 4 日 ～ 昭和 54 年 4 月 3 日	昭和 53 年 4 月 4 日再任
	昭和 56 年 9 月 30 日 ～ 昭和 62 年 7 月 3 日	昭和 57 年 9 月 30 日再任 昭和 58 年 9 月 30 日再任 昭和 59 年 7 月 4 日再任 昭和 60 年 7 月 4 日再任 昭和 61 年 7 月 4 日再任
長村 節三	昭和 43 年 3 月 28 日 ～ 昭和 43 年 12 月 21 日	

氏名	在任期間	備考
村岡 恵水	昭和48年3月31日 ～ 昭和49年3月31日	
	昭和51年5月20日 ～ 昭和52年3月31日	
阪本 省三	昭和49年4月1日 ～ 昭和50年3月31日	
門川 鶴夫	昭和54年4月4日 ～ 昭和55年4月3日	
湊 知泰	昭和55年4月4日 ～ 昭和56年9月11日	昭和56年4月4日再任
塚本伊久男	昭和62年7月4日 ～ 昭和63年7月3日	
	昭和63年7月21日 ～ 平成2年6月12日	平成1年7月21日再任
	平成2年6月29日 ～ 平成3年3月11日	
古高 時彦	平成3年3月25日 ～ 平成4年3月24日	
	平成4年3月26日 ～ 平成8年9月26日	平成4年9月27日再任 平成5年9月27日再任 平成6年9月27日再任 平成7年9月27日再任
大槻 實	平成8年9月27日 ～ 平成13年12月19日	平成9年9月27日再任 平成10年9月27日再任 平成11年9月27日再任 平成11年12月20日再任 平成12年12月20日再任
	平成13年12月21日 ～ 平成15年12月19日	平成14年12月20日再任
國部 茂	平成15年12月20日 ～ 平成16年9月26日	
中野 一雄	平成16年9月27日 ～ 平成17年9月26日	
	平成17年9月28日 ～ 平成20年3月31日	平成18年9月28日再任 平成19年9月28日再任
宮川 勝也	平成20年4月1日 ～ 平成20年9月26日	
	平成20年9月30日 ～ 平成24年9月27日	平成21年9月30日再任 平成22年9月30日再任 平成23年9月30日再任
記虎 敏和	平成24年9月28日 ～ 平成28年3月31日	平成25年4月1日再任 平成26年4月1日再任 平成27年4月1日再任

※制度の改正により、平成28年4月1日から教育委員長と教育長を一本化した新たな「教育長」が設置されています。

【歴代教育長（制度改正以前）】

氏名	在任期間	備考
山田 政次	昭和27年11月1日 ～ 昭和31年9月26日	
	昭和35年5月16日 ～ 昭和43年5月15日	
北牧 一雄	昭和31年10月4日 ～ 昭和35年3月26日	
野田 昌秀	昭和43年6月26日 ～ 昭和51年3月2日	昭和47年6月26日再任
池上 克彌	昭和51年3月30日 ～ 昭和54年4月30日	

氏名	在任期間	備考
竹内 清	昭和 54 年 6 月 22 日 ～ 昭和 60 年 3 月 31 日	昭和 55 年 3 月 29 日再任 昭和 59 年 3 月 29 日再任
藤田 篤	昭和 61 年 2 月 24 日 ～ 昭和 63 年 3 月 28 日	
家高 憲三	昭和 63 年 3 月 29 日 ～ 平成 8 年 3 月 28 日	平成 4 年 3 月 29 日再任
中野 一雄	平成 8 年 4 月 1 日 ～ 平成 16 年 3 月 31 日	平成 12 年 4 月 1 日再任
高野 勝	平成 16 年 4 月 1 日 ～ 平成 20 年 3 月 31 日	
南部 一成	平成 20 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日	平成 24 年 4 月 1 日再任
村橋 彰	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日	

【歴代教育長（制度改正後）】

氏名	在任期間	備考
奈良 渉	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 在任中	平成 31 年 4 月 1 日再任

※制度の改正により、平成 28 年 4 月 1 日から教育委員長と教育長を一本化した新たな「教育長」が設置されています。

教育に関する事務の点検及び評価報告書
(平成 30 年度事業分)

令和元年度 (2019 年度)

枚方市教育委員会

目 次

1. 点検及び評価の趣旨	1
2. 点検及び評価の方法	
(1) 点検及び評価の対象	1
(2) 点検及び評価の報告書の見直しについて	1
(3) 点検及び評価手順	2
3. 評価結果（教育委員会の自己点検評価）	
(1) 評価結果	2
(2) 評価結果の内訳	2
(3) 評価基準	4
4. 学識経験者の知見の活用	5
5. 点検評価員会議としての総評	6
6. 平成30年度の枚方市教育振興基本計画における事業の点検評価	
基本方策1 確かな学びと自立を育む教育の充実	7
基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	14
基本方策3 教職員の資質と指導力の向上	20
基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実	22
基本方策5 幼児教育の充実	24
基本方策6 地域とともにある学校づくりの推進	26
基本方策7 学びのセーフティネットの構築	27
基本方策8 学びを支える教育環境の充実	35
基本方策9 基礎的な知識・技術の学習機会の提供と図書館の充実	40
基本方策10 文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりの推進	45
その他の主要事業	50
7. 枚方市教育委員会の平成30年度の活動の概要	
(1) 平成30年度教育委員会定例会・臨時会の開催実績	52
(2) 平成30年度教育委員会協議会案件	52
(3) 平成30年度教育委員会の活動状況	53

令和元年度（2019年度） 教育に関する事務の点検及び評価

1. 点検及び評価の趣旨

「教育に関する事務の点検及び評価」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすため、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用し点検及び評価を行ったのでその結果を報告するものです。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検及び評価の方法

（1）点検及び評価の対象

教育委員会の会議等の開催や活動状況等の確認を行うとともに、本市教育振興基本計画に掲げる教育目標「学びあい、つながりあい、一人ひとりの未来をひらく」を達成するための10の基本方策、基本方策を具体化する主要事業について、点検及び評価を行います。

（2）点検及び評価の報告書の見直しについて

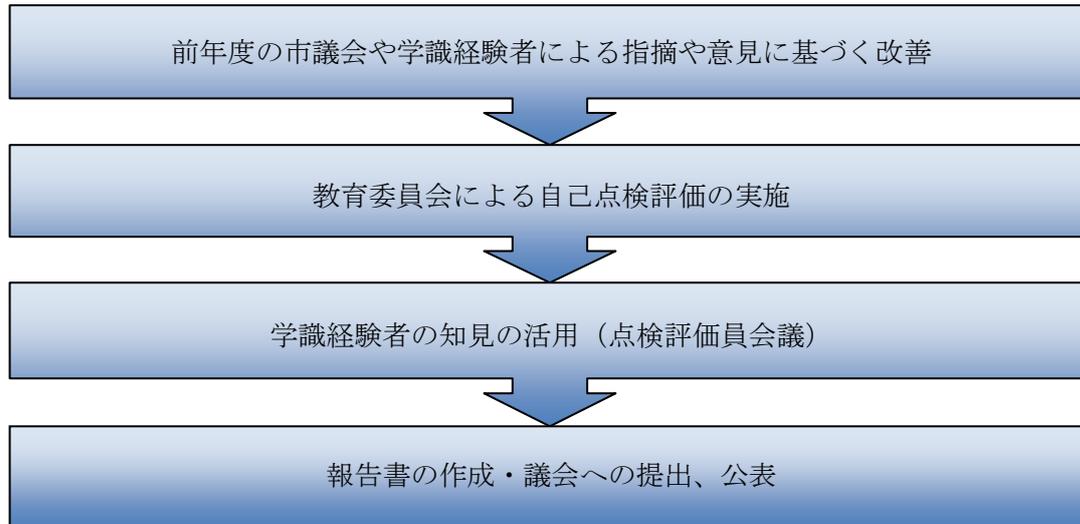
前年度の点検評価員会議及び市議会でのご意見を受け、市民にわかりやすい報告書となるよう様式の変更や評価基準の明確化などの見直しを行いました。

<見直し点>

○実績値・目標値・達成割合の3項目において、昨年度の実績だけでなく過去3年度分の指標を掲載

(3) 点検及び評価手順

平成 30 年度の点検及び評価は、次の手順で実施します。



3. 評価結果（教育委員会の自己点検評価）

(1) 評価結果

平成 30 年度の主要事業を下表（3）の評価基準により点検評価を行った結果は次のとおりです。

評 価	平成 30 年度主要事業
達成	28 件
概ね達成	22 件
未達成だがその方向に進んでいる	7 件
未達成	1 件
合 計	58 件

(2) 評価結果の内訳

基本方策	主要事業	評価
基本方策 1	① 小中一貫教育推進事業	概ね達成
	② 学校園活性化事業	達成
	③ 枚方市少人数学級充実事業	達成
	④ 学校 I C T 機器等整備業務	達成
	⑤ 多文化共生教育研究事業	達成
	⑥ 英語教育推進事業	概ね達成
	⑦ 読書活動推進事業	概ね達成
	⑧ 進路指導等事務	未達成だがその方向に進んでいる
	⑨ 放課後自習教室事業	達成
基本方策 2	① 学校園健康管理事業	達成
	② 健康診断事業	概ね達成
	③ 人権教育推進研究事業	達成
	④ 小中一貫教育推進事業【再掲】	—
	⑤ 学校園活性化事業【再掲】	—
	⑥ 学校給食における地元農産物利用促進事業	概ね達成

	⑦ 食物アレルギー対応推進事業	達成
	⑧ 文化財啓発普及事業	達成
	⑨ 野外活動センター利用促進事業	概ね達成
	⑩ 部活動指導協力者派遣事業	未達成だがその方向に進んでいる
	⑪ 学校支援社会人等指導者活用事業	概ね達成
基本方策 3	① 枚方市教職員育成事業	概ね達成
	② 授業の達人養成・教科研究事業	概ね達成
	③ 学校園活性化事業【再掲】	—
基本方策 4	① 支援教育推進事業	達成
	② 通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業	達成
	③ 枚方市教職員育成事業【再掲】	—
基本方策 5	① 幼稚園保護者支援充実事業	達成
	② 市立幼稚園における3歳児保育実施事業	概ね達成
基本方策 6	① コミュニティ・スクール推進事業	達成
基本方策 7	① 小学校安全監視事業	達成
	② 通学路等安全対策事業	達成
	③ 「心の教室相談員」配置事業	概ね達成
	④ スクールアドバイザー派遣事業	達成
	⑤ 教育相談事業	概ね達成
	⑥ 生徒指導充実事業	達成
	⑦ いじめ問題対策事業	概ね達成
	⑧ 不登校児童・生徒支援事業	未達成だがその方向に進んでいる
	⑨ 適応指導教室事業	未達成だがその方向に進んでいる
	⑩ スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業	概ね達成
基本方策 8	① 学校園施設維持補修事業	概ね達成
	② 学校施設整備事業	達成
	③ 学校規模等適正化事業	未達成
	④ 学校ICT機器等整備業務【再掲】	—
	⑤ 校務の情報化推進事業	概ね達成
	⑥ 学校給食事業	概ね達成
	⑦ 中学校給食充実事業	未達成だがその方向に進んでいる
	⑧ 第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業	達成
基本方策 9	① 社会教育活動推進事業	達成
	② 図書館資料購入事務	達成
	③ 香里ヶ丘図書館建替事業	達成
	④ 分館・分室巡回業務	概ね達成
	⑤ コンピュータシステム運営事業	概ね達成
	⑥ 読書活動推進事業【再掲】	—
	⑦ 中央図書館運営事業	概ね達成
	⑧ 生涯学習施設及び図書館管理運営効率化事業	達成
基本方策 10	① 野外活動センター利用促進事業【再掲】	—
	② 文化財啓発普及事業【再掲】	—
	③ 文化財保護管理事業	達成
	④ 市指定文化財補助事業	達成
	⑤ 特別史跡百済時跡再整備事業	達成

	⑥ 市史編さん年報発行事務	未達成だがその方向に進んでいる
	⑦ 市民スポーツカーニバル開催事業	概ね達成
	⑧ 各種スポーツ大会等開催事業	概ね達成
	⑨ スポーツ推進事業	達成
その他の 主要事業	1 児童の放課後対策事業	達成
	2 留守家庭児童会室整備事業	未達成だがその方向に進んでいる

(3) 評価基準

評 価	達成割合 (実績/目標)	内 容
達成	100%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が完了した場合 ・ 指標の目標値を実績値が上回った場合
概ね達成	80 以上 100%未満	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指標の目標値と実績値が概ね同様の場合
未達成だがその方向に進んでいる	50 以上 80%未満	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題があり、指標の目標値より実績値がやや低い場合
未達成	50%未満	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題が多く、指標の目標値より実績値が低い場合

4. 学識経験者の知見の活用

教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会自らが行った点検及び評価の結果について、次の学識経験者3人を点検評価員として委嘱し、指摘や意見をいただきました。

- 委員長 和田 良彦（大阪教育大学 副学長）
- 委員 浦嶋 敏之（関西外国語大学 教授）
- 委員 木村 典嗣（税理士）

<点検評価員会議>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、枚方市教育委員会が行った事務の管理及び執行の状況についての自己点検及び評価に対する意見をいただくため、3回の会議を開催します。

点検評価員会議	開催日	案件名
第1回	令和元年（2019年） 7月22日	1. 会議の運営について 2. 教育に関する事務の点検及び評価報告書（案）（平成30年度事業分）について 3. まとめ
第2回	令和元年（2019年） 7月31日	1. 教育に関する事務の点検及び評価報告書（案）（平成30年度事業分）について 2. まとめ 3. 点検評価員会議としての総評について
第3回	令和元年（2019年） 8月16日	1. 教育に関する事務の点検及び評価報告書の見直し内容について 2. 点検評価員会議における改善意見への対応について 3. 点検評価員会議としての基本方策ごとの意見について 4. 点検評価員会議としての総評について 5. 教育に関する事務の点検及び評価報告書のまとめ

5. 点検評価委員会議としての総評

本点検評価委員会議は、枚方市教育委員会の「教育に関する事務の点検及び評価」の結果について「適正」とする。以下に、その理由を述べる。

本会議では、点検及び評価を行うにあたり、平成 28 年に策定した教育振興基本計画の基本方策に基づく各項目について、ヒアリング等を行った。

その結果、平成 30 年度主要事業については、幅広い事業が継続的に展開されていること。また、昨年度の評価を踏まえた改善や内容の充実が図られていること。さらに、その結果について適切に自己点検評価がなされていること。以上のことが確認できたことから「適正」と判断した。

また、点検及び評価については、実績値・目標値・達成割合の 3 項目において、昨年度の実績だけでなく過去 3 年度分の指標を掲載し、より市民に分かりやすいものになったと考える。

なお、小学校では令和 2 年度から、中学校では令和 3 年度から新学習指導要領が全面実施されるため、指導内容や指導方法、学校組織のあり方、そして地域と学校の協働関係などについて大きな変化が見込まれる。こうした変化に適切に対応するには、教育行政および点検評価の重要性がより大きくなる。

点検及び評価については、毎年、充実を図られているが、各基本方策における意見をふまえ、各事業のより効果的な取り組みや指標の見直し等について要望する。

枚方市教育行政の今後の更なる質的向上を期待する。

6. 平成 30 年度の枚方市教育振興基本計画における事業の点検評価

基本方策1 確かな学びと自立を育む教育の充実

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育み、将来の社会を担う人材を育成するためには、子どもの学習意欲を向上させるとともに、基礎的な学力や自ら学び考える力を伸ばしていくことが求められています。

中学校区で共通の9年間を見通した教育課程の編成、小・中学校の円滑な接続など、「小中一貫教育」を推進する^①ことで、教職員の指導力や学校力の向上を図り、子どもたちの確かな学力と自立を育みます^②。

また、小学校において本市独自の少人数学級編制を実施し^③、よりきめ細かな指導を実践するとともに、グループ学習やICTの活用等による協働型・双方向型の授業を推進します^④。

さらに、諸外国の文化や習慣等について理解を深める国際理解教育を推進し^⑤、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力を育成する^⑥とともに、学校図書館の活用による言語能力の育成^⑦や、労働・職業について学び、自らの生き方を考えるキャリア教育を推進します^⑧。

以上を効果的に進めることを土台として、今後、新しい時代を生きる上で必要な資質・能力を確実に育むため、学習指導要領の改訂を見据え、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学び学習をさらに充実させるなど、子どもたちの「自立」「協働」「創造」する力を育む新しい教育に向けた取り組みを進めます^⑨。

主要事業の状況

※各項目の事業費計は、人件費を含む

①	小中一貫教育推進事業	担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	42,033
概 要		実 績			
<p>○学力向上の取り組み</p> <p>◆全中学校区にコーディネーターを配置し、学力向上委員会や教科会、学年会等の充実を図り、組織的な取り組みを推進するとともに、学力向上・授業づくりに高い見識を有する学識経験者を招聘し、教員の授業力向上を図る。また、全国学力・学習状況調査実施後すぐに、教員が問題分析・自校採点及び分析を行い、学校全体として課題及び個々の課題にも正対した取り組みを行うとともに、教科会・学年会における授業研究の推進を図る。また、児童・生徒一人ひとりの課題を踏まえ、宿題や自学自習ノート等、家庭における学習習慣の充実に努める。</p> <p>○体力向上の取り組み</p> <p>◆各小中学校で、全児童・生徒を対象に体力テストを実施し、その結果に基づいて体力向上推進計画を作成・実践するとともに、大阪体育大学と連携して、授業改善をはじめ児童・生徒の体力向上に向けた取り組みを推進する。</p>	<p>○学力向上の取り組み</p> <p>◆全中学校区に学力向上に特化したコーディネーターを配置するとともに、学力向上委員会や教科会、学年会など校内組織体制の充実を図りながら、授業改善や少人数指導など学力向上に向けた取り組みを推進した。研究指定校や学力向上担当者研修において、学識経験者による講義、指導助言によって、教員の授業力向上を図った。また、全国学力・学習状況調査について、問題分析・自校採点及び調査結果の比較・分析を行い、分析結果をもとに教科会・学年会において授業研究の推進を図った。また、教職員の意識を高めるとともに、保護者に学力状況をわかりやすく公表することで家庭と連携した学習習慣の確立に努めた。</p> <p>○体力向上の取り組み</p> <p>◆各小中学校で、全児童・生徒を対象に体力テストを実施した。その結果に基づいて体力向上推進計画を作成・実践した。また、体力テストについて大阪体育大学と連携して結果分析を行い、市としての課題や成果を踏まえ、今後の体力向上に向けた取組について、体力向上担当者会において研修を実施するとともに、体力向上推進モデル校から発信を行った。</p>				

実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度
全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率 (目標値の根拠) 全国平均以上 ※上記の指標に、H29年度より変更	実績値 (%)			[小学校] 国語A : 73.00 国語B : 56.00 算数A : 79.00 算数B : 46.00 [中学校] 国語A : 78.00 国語B : 73.00 数学A : 67.00 数学B : 50.00	[小学校] 国語A : 69.00 国語B : 53.00 算数A : 64.00 算数B : 52.00 [中学校] 国語A : 77.00 国語B : 62.00 数学A : 67.00 数学B : 49.00
	目標値 (%)			[小学校] 国語A : 74.80 国語B : 57.50 算数A : 78.60 算数B : 45.90 [中学校] 国語A : 77.40 国語B : 72.20 数学A : 64.60 数学B : 48.10	[小学校] 国語A : 70.70 国語B : 54.70 算数A : 63.50 算数B : 51.50 [中学校] 国語A : 76.10 国語B : 61.20 数学A : 66.10 数学B : 46.90
	達成割合 (%)			[小学校] 国語A : 97.60 国語B : 97.40 算数A : 100.50 算数B : 100.20 [中学校] 国語A : 100.80 国語B : 101.10 数学A : 103.70 数学B : 104.00	[小学校] 国語A : 97.60 国語B : 96.89 算数A : 100.79 算数B : 100.97 [中学校] 国語A : 101.18 国語B : 101.31 数学A : 101.36 数学B : 104.48
関連計画	第5次総合計画 市長公約 実行計画 関連計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち 平成28年度市政運営方針 平成30年度当初実行計画 ー	評価	概ね達成	

②	学校園活性化事業	担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	40,456
	概要	実績			
	◆全学校園を学校園活性化推進校園として指定し、教育課題の解決や教職員の資質向上を図るため、校(園)内研修の充実を進めるとともに、年1回以上教職員対象の公開授業を実施し、授業改善等に活用する。また、菊咲かそう体験事業や、小学生陸上競技大会、小学生駅伝競走大会、小学生合同音楽会等の教育委員会が主体となる事業を実施する。	◆全学校園において、教育課題の解決や教職員の資質向上に向けて、教育活動の活性化、公開授業の実施、校内・園内研修の充実等の取り組みを行った。 また、全学校園で菊咲かそう体験事業を取り組むとともに、教育委員会主催事業として、10月に小学生陸上競技大会、11月に小学生駅伝競走大会を実施。 小学校合同音楽会については、地震の影響で会場が使用できなくなったため、各小学校において参観日などに合わせ開催した。 (平成31年3月末日現在) ・外部講師を招聘して実施した校園内研修の回数 566回			

実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童・生徒の肯定的な回答の割合 (目標値の根拠) 全国平均以上 ※上記の指標に、H30年度より変更	実績値 (%)				小：79.00 中：83.30	
	目標値 (%)				全国平均 小：77.70 中：76.30	
	達成割合 (%)				小：101.67 中：105.24	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

③	枚方市少人数学級充実事業	担当課	教職員課	事業費計(千円)	245,695	
概要		実績				
◆府内の公立小学校では、小学校第1学年及び第2学年で、1学級35人以下の少人数学級編制が実施されているが、本市では、支援学級在籍児童を含んで1学級35人以下とする市独自の少人数学級編制を第4学年まで実施するため、学級数が増える学校に対して市費負担任期付教員を採用し配置する。また、第5・第6学年については、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を平成30年度から実施する。		◆府内の公立小学校では、小学校第1学年及び第2学年で、1学級35人以下の少人数学級編制が実施されているが、本市では、支援学級在籍児童を含んで1学級35人以下とする市独自の少人数学級編制を第4学年まで実施するため、学級数が増える学校に対して市費負担任期付教員を採用し配置した。また、第5・第6学年については、支援学級在籍児童を含む40人学級編制を平成30年度から実施した。				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
①基礎学力のたしかめテストにおいて到達基準に達した人数の割合：対前年度比向上 ②学年末テストにおける全国調査の過去問題を活用した「課題に正対した問題」の平均正答率 (目標の根拠) ①対前年度比向上 ②対前回比向上 ※上記の指標に、H30年度より変更 H29年度実績値については、H30年度の目標値とするため、記載している	実績値 (%)		①86.00 ②44.50	①86.6 ②48.5		
	目標値 (%)			①86.0 ②44.5		
	達成割合 (%)			①100.69 ②108.99		
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	平成30年度市政運営方針				
	実行計画	平成30年度当初実行計画				
	関連計画	—				

④	学校 I C T 機器等整備業務		担当課	教育政策課	事業費計 (千円)	181,300
概 要			実 績			
<p>◆全小・中学校の授業用コンピュータ機器等の維持・管理を行う。</p> <p>◆ウイルス対策ソフトやフィルタリングソフトを適正に更新し、情報セキュリティの確保を図る。</p> <p>◆平成 31 年度に更新を予定している授業用コンピュータについて、仕様の検討及び作成を行う。</p>			<p>◆平成 30 年 4 月から、新たに中学校 1 校にタブレット型コンピュータ 40 台を導入した。</p> <p>◆タブレット型パソコンを導入した学校へ、無線 LAN 機器の整備を行った。</p> <p>◆昨年度に引き続き、教員の授業における ICT 活用を推進する ICT 支援員の配置やアプリケーションの整備を行った。</p>			
実績値及び目標の説明			年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
授業用コンピュータ 1 台あたりの児童・生徒数 (目標値の根拠) 実行計画に基づく平成 30 年度目標値			実績値 (人/台)	11.6	9.1	8.5
			目標値 (人/台)	11.6	9.1	9.1
			達成割合 (%)	100.00	100.00	106.59
関連計画	第 5 次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針				
	実行計画	平成 29 年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑤	多文化共生教育研究事業		担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	980
概 要			実 績			
<p>◆学校園における在日外国人教育・国際理解教育の推進を図るため、枚方市多文化共生教育研究会において研究事業に取り組む。</p>			<p>◆本市立学校園における在日外国人教育・国際理解教育において、講演会・学習会等、様々な研究を通しての推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究委員会（講演会・学習会）（年 6 回） ・サマースクール（7 月枚方市立樟葉北小学校にて実施） ・北河内多言語進路ガイダンス（10 月北河内各市在日外国人教育研究協議会との共催） ・多文化冬の集い（2 月枚方市立樟葉北小学校にて実施） ・研究推進活動（機関紙、集録発行） 			
実績値及び目標の説明			年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
年 6 回開催する講演会・学習会に参加する教職員の延べ人数 (目標値の根拠) 前年度実績			実績値 (人)	345	316	338
			目標値 (人)	305	345	316
			達成割合 (%)	113.11	91.59	106.96
関連計画	第 5 次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

⑥	英語教育推進事業	担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	112,272	
概要		実績				
<p>◆全中学校に外国人英語教育指導助手（NET）、全小学校に英語が堪能な日本人英語教育指導助手（JTE）を配置し、英語を使った体験的な学習の充実を図る。また、小学校に英語専科教員を新たに配置するとともに、日本人英語教育指導助手（JTE）を拡充し、小学校外国語活動の指導体制の強化を図る。</p> <p>英語の4技能（「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」）をバランスよく育成するため、全市立中学校第2学年の全生徒を対象に4技能に対応した外部検定試験を実施し、その結果分析をもとに授業改善、個に応じた指導及び生徒の学習意欲の向上に活用する。</p> <p>関西外国語大学と連携し、留学生との交流等英語を使った体験的な活動の充実を図り、より実践的な英語力を育むため「枚方英語村」を実施する。</p>		<p>◆全小中学校に外国人英語教育指導助手（NET）、日本人英語教育指導助手（JTE）を配置し、英語を使った体験的な学習の充実を図った。また、小学校4校に英語専科教員を配置し、専科教員による外国語活動の公開授業を実施した。またJTEを拡充し、小学校外国語活動の指導体制の強化を図った。</p> <p>関西外国語大学と連携し、10月20日と1月26日に「枚方英語村」を開催し、のべ107人の小中学生が参加した。</p> <p>10月29日～10月31日に、枚方市立中学校に在籍する第2学年全生徒を対象に英語外部検定試験を実施し、結果をもとに、授業改善、生徒の自主学習習慣や意欲を高める取り組みを実施した。</p>				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
アンケート調査において、「英語の授業が楽しい」と答えた児童（小学校第3学年～第6学年）及び生徒（中学校第1学年～第3学年）の割合（目標値の根拠） 児童の満足度90%以上 生徒の満足度85%以上		実績値 (%)	小：91.8 中：80.7	小：90.8 中：81.3	小：86.2 中：83.6	
		目標値 (%)	小：90.0 中：85.0	小：90.0 中：85.0	小：90.0 中：85.0	
		達成割合 (%)	小：102.0 中：94.9	小：100.9 中：95.6	小：95.8 中：98.3	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	平成30年度市政運営方針				
	実行計画	平成30年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑦	読書活動推進事業	担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	137,538	
概要		実績				
<p>◆児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に配置した学校司書と司書教諭が連携して、義務教育9年間を見通した読書活動の充実を図る。</p> <p>市立図書館と連携した学校図書館の環境整備、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等授業における学校図書館の活用を推進する。また、中央図書館と連携して全中学校が参加する「ビブリオバトル」を実施する。</p>		<p>◆児童・生徒の言語能力を育むため、全中学校区に学校司書を配置し、学校司書と司書教諭が連携して、児童・生徒の読書習慣の確立、調べ学習等、授業における学校図書館の活用を推進した。</p> <p>また、市立図書館と連携して学校図書館の環境整備を行った。</p> <p>市立中央図書館主催の「中学生のビブリオバトル」を平成31年3月17日に実施した。参加生徒の校数・人数は、17校・47名。</p>				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
全国学力・学習状況調査の質問紙調査において学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童・生徒の割合（目標値の根拠） 対前年度5ポイント向上		実績値 (%)	小：58.40 中：43.90	小：60.50 中：46.80	小：59.90 中：47.30	
		目標値 (%)	小：63.50 中：49.70	小：63.30 中：51.40	小：66.30 中：51.70	
		達成割合 (%)	小：91.97 中：88.33	小：95.58 中：91.05	小：90.35 中：91.49	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	平成28・29・30年度市政運営方針				
	実行計画	平成26年度当初実行計画				
	関連計画	第2次枚方市子ども読書活動推進計画				

⑧	進路指導等事務		担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	5,087
概要			実績			
◆進学意欲を有しながら、経済的な理由により修学が困難な支援を要する生徒や保護者等に対して、家庭状況に見合った相談や個々の課題等に対応したサポートを行い、積極的に自己の進路を考え、将来に展望が持てるよう支援するため、進路選択支援事業を実施する。なお、事業は、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託し、奨学金等に関する相談や情報提供を行う。			◆生徒・保護者に対して、進路に関する適切な情報提供を行った。また、奨学金に関する説明会を平成30年6月8日に開催した。 ◆進路選択相談の件数が前年度から減少した要因として、以前から私立高校の授業料無償化の周知を図ってきたが、情報の周知に対する効果がみられ、従来多かった「奨学金に関する相談」の件数が大幅に減少したことから認識している。			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
進路選択支援相談員が、奨励金等に関する相談を受けた回数 (目標値の根拠) 前年度実績の1割増			実績値 (件)	52	52	31
			目標値 (件)	56	57	57
			達成割合 (%)	92.86	91.23	54.38
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	未達成だが その方向に 進んでいる		
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

⑨	放課後自習教室事業		担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	59,421
概要			実績			
◆児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、基礎学力の向上を図るため、全小・中学校の放課後自習教室を開室し、より多くの児童・生徒の学習機会の充実を図る。また、全小・中学校に配備しているパソコンの自学自習力支援システムを、朝学習、授業、放課後学習、家庭学習において活用して、日々の学びの連続性の確立と家庭学習の充実に取り組み、児童・生徒の自ら学ぼうとする力の育成と基礎・基本の定着を図る。			◆児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、基礎学力の向上を図るため、各小・中学校において放課後自習教室を開室し、児童・生徒の学習機会の充実を図った。また、全小・中学校に配備している児童・生徒一人ひとりの理解度に応じてプリント学習ができる自学自習力支援システムを、放課後自習教室をはじめ、授業や朝学習・家庭学習で活用することで、児童・生徒の自ら学ぼうとする力の育成と基礎・基本の定着を図った。 (平成30年度) ・放課後自習教室の開室： 小学校3,721回、中学校1,680回 ・放課後自習教室の参加人数： 小学校91,774人、中学校11,964人			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
放課後自習教室の実施回数 (目標値の根拠) 年間80日開室(64校)			実績値 (回)	4,869	5,699	5,401
			目標値 (回)	4,480	5,120	5,120
			達成割合 (%)	108.68	111.31	105.49
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	達成		
	市長公約	平成28年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

未達成事業への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性
⑧ 進路指導等事務	以前から私立高校の授業料無償化の周知を図ってきたが、情報の周知に対する効果がみられ、従来多かった「奨学金に関する相談」の件数が大幅に減少したことによる。	今後も生徒・保護者に対して、進路に関する適切な情報を提供する。

基本方策1に対する評価

確かな学びと自立を育む教育の充実としては、小・中学校において授業の取組に関する事業だけでなく、放課後や進路指導などのさまざまな事業に取り組んでおり、おおむね順調に推進できていると考える。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

①小中一貫教育推進事業については、校内の学力向上推進体制を整えたことによる効果が出始めており、引き続き各校の課題に正対した取り組みの継続に期待する。

③枚方市少人数学級充実事業については、成果指標が客観的数値に変更され事業の成果がわかりやすくなった。

⑥英語教育推進事業については、令和2年度の小学校英語科の本格実施に向け、成果が引き継がれるよう期待する。

⑧進路指導等事務については、高校授業料の実質無償化など進路指導に関わる制度が変化していることを踏まえ、これまでの奨学金等に関する相談だけでなく、就職が困難な若年層に対する進路相談・指導など新たな活動を検討していただきたい。

基本方策2 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

近年、子どものコミュニケーション能力や社会適応能力、体力・運動能力の低下が課題となっており、子どもの豊かな人間性や社会性、健やかな体が育まれる環境づくりが求められています。

道徳教育・人権教育などを通じて、規範意識を培い公共の精神と自らを律する力を育むとともに、他の生命や平和を大切にする心を養い、子どもたちが豊かな人間性を身につけるための教育を充実させます^{①②③④⑤}。

また、生活習慣の未確立やアレルギー疾患の増加など、子どもの健康に関する課題が多様化していることを踏まえ、健全な食生活の形成のための食育の推進^⑥や、食物アレルギーへの対応など安全で安心な学校給食を提供し^⑦、健やかな体が育まれる環境づくりを推進します^{①②③④⑤}。

さらに、心身を鍛錬し、豊かな心と社会性を養うため、文化・芸術に親しむ機会^⑧や、自然を生かした野外活動など、体験活動を拡充させる^⑨とともに、部活動の充実を進めます^⑩。このため、外部指導者など多様な社会人の活用を図ります^⑪。

主要事業の状況

①	学校園健康管理事業	担当課	学務課	事業費計 (千円)	135,507	
概要		実績				
◆学校内科医、学校歯科医、学校眼科医、学校耳鼻科医、学校薬剤師、腎臓検診医、歯科衛生士による幼稚園7園、小学校45校、中学校19校で内科、歯科検診などの健康診断、健康相談、臨時健康相談、感染流行時の指導、学校環境衛生の維持管理及びブラッシング指導を実施している。		◆全学校園を対象に内科・歯科・眼科検診を、小学校第1・3学年及び中学校第1学年を対象に耳鼻科検診を学校医で行った。学校薬剤師による空気、飲料水、プール水質、照度の検査等行なった。また、歯科衛生士によるブラッシング指導を全幼児、小学校では各小学校で学年を決めて行なっている。健康相談は、専門的な観点な立場から学校及び児童・生徒の支援を行なっている。				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
学校内科医1人あたりの幼児児童生徒数 (目標値の根拠) 「枚方市立学校園の学校園医の委嘱等に関する要綱」を基に算出		実績値 (人)	319	314	314	
		目標値 (人)	330	330	330	
		達成割合 (%)	103.33	104.85	104.85	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

②	健康診断事業	担当課	学務課	事業費計 (千円)	40,436
概要		実績			
◆全学校園において学校保健安全法に基づく健康診断を実施する。		◆結核検診(全児童・生徒)、尿検査(全幼児・児童・生徒)及び心臓検診(小学校第1学年・中学校第1学年)耳鼻科検診(小学校第1・3学年、中学校第1学年)、歯科検診(全幼児・児童・生徒)、脊柱側弯(モアレ)検診(小学校第5学年・中学校第1学年)を行なった。 総受信者数：31,780人 総対象者数：32,119人			

実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
健康診断受診率 (目標値の根拠) 対象者全員	実績値 (%)			99.20	99.15	98.94
	目標値 (%)			100.00	100.00	100.00
	達成割合 (%)			99.20	99.15	98.94
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

③	人権教育推進研究事業		担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	2,346
概要			実績			
◆学校園が教育活動において人権教育を適切に位置づけ、校園長を中心とした組織的な指導に努め、人権教育をすすめるため、枚方市人権教育研究協議会において研究事業に取り組む。			本市立学校園における人権教育について、講演会や実践報告会、研究大会等、様々な研究を通して推進を図った。 ・実践報告会(年2回) ・北河内地区人権教育研究学習会及び研究大会(年4回) ・大阪府人権教育研究協議会集団づくりフォーラム(7月) ・大阪府人権教育夏季研究大会(8月) ・大阪府人権教育研究南河内大会(10月) ・枚方市人権教育研究協議会講演会(10月) ・全国人権・同和教育研究大会(11月) ・大阪府人権教育人権・部落問題学習研究集会(1月)			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
大阪府人権教育研究協議会等による人権教育推進のための教職員研修会等への参加人数 (目標値の根拠) 前年度実績	実績値(人)			339	534	562
	目標値(人)			292	339	534
	達成割合(%)			116.10	157.52	105.24
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

④	小中一貫教育推進事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
---	-------------------------	-----	-------

⑤	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
---	-----------------------	-----	-------

⑥	学校給食における地元農産物利用促進事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円)	795
概要			実績			
◆安全・安心でおいしい学校給食の提供のため、小学校給食用食材として大阪府内産を含めた地元農作物の利用促進を図り、第3次枚方市食育推進計画の目標である「米・野菜類全体購入量に対する枚方産及び府内産購入量の割合を(重量ベース)38%」の達成に向け、取り組みを進める。			◆野菜類については、枚方産・府内産合わせて24品目で30.4トン、うち枚方産は19品目19.3トン(えんどう豆、玉葱、さつまいも、大根、キャベツ、白菜、じゃがいも、ほうれん草、チンゲンサイ、九条ねぎ、なす、小松菜、冬瓜、人参、白葱、金時人参、れんこん、かぼちゃ、里芋、黒米)を使用した。また、米については、北河内一帯で栽培・収穫されている大阪産「ヒノヒカリ」を196.3トン使用した。			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
地元農産物の割合 (目標値の根拠) 第3次枚方市食育推進計画の目標			実績値 (%)	33.10	32.50	32.30
			目標値 (%)	30.00	30.00	38.00
			達成割合 (%)	110.33	108.33	85.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	第3次枚方市食育推進計画				

⑦	食物アレルギー対応推進事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円)	2,385
概要			実績			
◆食物アレルギー対応の適切かつ確かな取り組みを進める。 ◆学校給食における食物アレルギー対応上の事故(救急搬送)件数(新規発症を除く)が0件となるよう、より一層の安全を確保する。 ◆中学校給食において、7大アレルゲンを使用しない代替食の提供を毎日行う。			◆中学校給食において、毎日7大アレルゲンを使用しない代替食の提供を行った。小学校給食において、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づいた統一の対応を実施した。 ◆ヒヤリハット・事故報告の蓄積を行った。また、マニュアル様式等の改訂を行い給食担当教職員等への研修を実施した。			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
アレルギー対応をしている児童における事故(救急搬送)件数 (目標値の根拠) アレルギー対応をしている児童における事故(救急搬送)がないこと。 ※上記の指標に、H29年度より変更			実績値 (%)		0	0
			目標値 (%)		0	0
			達成割合 (%)		100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑧	文化財啓発普及事業	担当課	文化財課	事業費計 (千円)	16,944	
概要		実績				
<ul style="list-style-type: none"> ◆文化財説明板の新たな設置や古くなった説明板の建替 ◆文化財防火デー（市と枚方寝屋川消防組合が、文化財を所蔵する社寺等で消防訓練を実施） ◆歴史講座、歴史ウォーク（市内文化財めぐり等） ◆枚方・百済フェスティバル（毎年5月に開催する古代の枚方と朝鮮半島の交流の歴史を伝えるイベント） ◆文化財の展示（輝きプラザきらら2階展示ルーム等で、発掘調査の出土遺物等を展示） ◆発掘調査現地説明会 ◆刊行物（文化財関係図書等）の発行など ◆出前講座 		<ul style="list-style-type: none"> ◆説明板については、磯島の糸桜、春日神社（津田）の建替え、白雉塚古墳の天井石、招提寺内町敬応寺の修繕のほか、文化財連続講座（年4回）を開催し、延べ436人の参加があった。11月に親子を対象とした市民歴史講座「ひらかた歴史探検隊-枚方宿を歩こう-」を開催したほか、生涯学習広域講座「聞く・見る・歩く 北河内パート19」や文化財防火デーに伴う消防訓練を御殿山神社で行うなど、枚方市内の文化財について市内外に啓発・普及を行った。 ◆文化財連続講座、生涯学習広域講座等において、参加者の利便性、参加者の新たな年齢層の開拓、受付事務の軽減を目的に、インターネットからの申し込みを開始した。 ◆（公財）枚方市文化財研究調査会の解散に伴う事業統合により、考古学講座、ジュニア文化財学級を引き継ぎ、また「ひらかた文化財だより」を2ページから4ページに増やし、内容の充実を図った。 				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
歴史関連イベントの参加者数の累計 （目標値の根拠） 過去の実績をもとに年間1,800人と設定。イベントの開催状況により1年単位の実績数にばらつきがあるため累積数を目標値とする。		実績値 (人)	13,628	15,342	16,268	
		目標値 (人)	12,600	14,400	16,200	
		達成割合 (%)	108.16	106.54	100.42	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

⑨	野外活動センター利用促進事業	担当課	スポーツ振興課	事業費計 (千円)	15,617	
概要		実績				
<ul style="list-style-type: none"> ◆野外活動センターの利用増を目指し、学校キャンプ（日帰り・宿泊）を実施しやすくするため、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施する。（平成26年度は試行。平成27年度から本格実施。） 		<ul style="list-style-type: none"> ◆利用促進のために実施している「学校キャンプ支援事業」は、小学校22校の利用があった。また、中学校についても4校の利用があった。事業の1つとして、送迎用のバス借上げを行った。 				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
市内小学校のキャンプ利用件数 （目標値の根拠） 昨年度実績又は直近3年の平均のどちらが多い数		実績値 (件)	27	25	22	
		目標値 (件)	45	27	25	
		達成割合 (%)	60.00	92.59	88.00	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち			評価	概ね達成
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑩	部活動指導協力者派遣事業		担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	17,796
概要			実績			
◆部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。			◆各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣し、部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の負担軽減を図り、生徒と関わる時間や授業研究の時間を確保するよう努めた。			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
中学校部活動指導協力者の派遣回数 (目標値の根拠) 派遣回数の上限(1校あたり370回)			実績値 (回)	5,677	5,873	5,553
			目標値 (回)	7,600	7,030	7,030
			達成割合 (%)	74.70	83.54	78.99
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	未達成だが その方向に 進んでいる
	市長公約	平成28・30年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑪	学校支援社会人等指導者活用事業		担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	8,362
概要			実績			
◆各教科の指導補助、総合的な学習の時間、特別活動など優れた知識や技能を有する多様な人材を学校教育に活用することで学校の教育活動を活性化を図る。			◆学校園51校(園)において、和楽器指導やキャリア教育における職業講話など学校支援社会人等指導者の活用を図り、学校の教育活動の活性化を図った。			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
学校支援社会人等指導者を活用した回数 (目標値の根拠) 活用回数の上限(1校園あたり約22回)			実績値 (回)	1,533	1,603	1,489
			目標値 (回)	1,680	1,640	1,640
			達成割合 (%)	91.25	97.74	90.79
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

未達成事業への対応

	事業名	未達成理由	今後の方向性
⑩	部活動指導協力者派遣事業	地震及び台風等の影響による部活動数の減少	顧問教員の負担軽減し、生徒と関わる時間や授業研究の時間確保に向けて、引き続き、部活動指導協力者の確保に努めていく。

基本方策2に対する評価

豊かな心と健やかな体を育む教育の充実としては、子どもの健康に関する事業や人権に対する意識向上のための研修など、各事業の取り組みとして、指標の達成状況からも、着実に推進できていると考える。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

③人権教育推進事業については、研修会への参加者の増加が続くなどそのニーズが高まっていると考えられる。

⑦食物アレルギー対応推進事業については、日々の適切な対応に加え、事故防止の地道な取り組みが、子どもの安心安全に繋がっている。また、注意喚起などを通じて、今後ともアレルギーの届出のない生徒が突発的に発症する場合も想定して万全を期していただきたい。

⑧文化財啓発普及事業については、講座等による啓発普及だけでなく、他の手法を用いた取り組みにより、文化財の普及を進めていただきたい。

⑨野外活動センター利用促進事業については、特徴的なイベントをホームページ等でさらなる情報発信を行うことで、野外活動センターの利用を促していただきたい。

基本方策3 教職員の資質と指導力の向上

本市においては新規採用教職員が増加し、経験豊かな多くの教職員の退職が続く中、教職員の世代交代が進んでおり、倫理観・規範意識及び子ども理解と集団づくり、授業力やマネジメント力など、教職員一人ひとりの資質と指導力の向上が求められています。

平成26年度からの中核市移行に伴い、大阪府より教職員研修の権限が委譲されました。そのため、『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむをテーマに、本市の教育課題に即した独自のカリキュラム（指導計画）で教職員研修を実施^①し、「経験の浅い教職員の育成」「管理職及び専門性を備えたリーダーの養成」「小中一貫教育における学力向上に向けた授業づくり・授業改善への支援」を重点項目とした教職員研修の充実を図り^①、明日の枚方の教育を担う教職員を育成します^①。

また、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教職員を育成するため、授業の達人による研究授業等により、授業改善につなげること^{②③}で、子どもたちの「確かな学力」と「生きる力」を育みます。このため、教育委員会の学校支援機能を充実します^①。

さらに、学習指導要領の改訂を見据え、授業改善や組織運営の改善にかかる「アクティブ・ラーニング」や「カリキュラム・マネジメント」など新しい教育課題に向けた研修にも取り組みます^①。

主要事業の状況

①	枚方市教職員育成事業	担当課	教育研修課	事業費計 (千円)	104,668	
概要		実績				
<ul style="list-style-type: none"> ◆平成26年度からの中核市移行により、従来大阪府教育委員会が実施してきた府費負担教職員研修の初任者研修や10年経験者研修等の法定研修をはじめとする各種研修の多くを本市教育委員会が実施。 ◆『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむことを目標に、「経験の浅い教職員及びミドルリーダーの育成」「学力向上に向けた授業づくり・授業改善の推進」「校内研究支援」（授業研究・授業改善・学校支援）の3点を重点項目とし、「基本研修」及び「専門研修」を計画・実施。 ◆新学習指導要領を踏まえた授業づくり、授業改善及び教員の授業力の向上等に向け、指導主事や教育推進プランナー（学校教育に関して高い見識や経験を有する校長経験者等）が学校園を訪問し、経験の浅い教員への指導助言、校内研修等での指導助言、学校運営への支援を実施。 ◆枚方市が取り組んでいる「教育」を広く市民に情報発信するとともに、今後の枚方の「教育」の方向性について市民と共有する場として「枚方市教育フォーラム」を実施。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆平成30年度は、平成29年度に引き続き、「『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ」をテーマに、①経験の浅い教職員及びミドルリーダーの育成 ②学力向上に向けた授業づくり・授業改善の推進 ③「校内研究支援」（授業研究・授業改善・学校支援）を重点項目として、本市の教育課題に応じた独自のカリキュラムのもと、初任者研修や10年経験者研修をはじめ、教職員の経験・職務に応じた基本研修及び教育課題や教科等の専門性を高める専門研修を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図っている。 <p>平成30年度は、基本研修を164回、専門研修を92回、計256回実施した。</p> <p>また、教育推進プランナーを中心に、経験の浅い教員の育成及び学校園運営の支援、校内研究・校内研修の支援等に1,293回を超える学校訪問を実施した。</p>				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
研修を受講した教職員が、その研修内容について、各学校園において会議等で実効的な伝達をしたり、授業等で効果的な実践をしたりした割合 (目標値の根拠) 研修の実質的効果		実績値 (%)	98.29	90.04	95.10	
		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	
		達成割合 (%)	98.29	90.04	95.10	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	平成29年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

②	授業の達人養成・教科研究事業		担当課	教育研修課	事業費計 (千円)	6,685
概要			実績			
<p>◆児童・生徒の確かな学力を育むため、高い指導力のある優れた教員の育成を図ることを目的とした「授業の達人養成講座」と、小中一貫教育における各中学校ブロック教科等部会のリーダーを対象とした「教科研究講座」の2つの講座で実施。</p> <p>○授業の達人養成講座（※段階的に『達人』に認定するシステムを構築する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師として年間を通じて大学教授等、教育のスペシャリストを招聘。 ・教材研究、学習指導案の検討を行い、年間2回の研究授業（公開授業）を実施。 ・先進地域、先進校への視察を実施。 <p>○教科研究講座【10部会】</p> <p>国語（小中）、社会（小中）、数学（中）・算数（小）、理科（小中）・生活（小）、英語（中）・外国語活動（小）、音楽（小中）、美術（中）・図画工作（小）、技術/家庭（中）・家庭（小）、保健体育（中）・体育（小）、道徳（小中）</p> <p>◆平成29年度より、授業の達人に特化した事業とし、教科研究講座は、専門研修の枠内での実施とした。</p>			<p>◆豊かな人間性と高い専門性を有する優れた教員（「授業の達人」）を養成することを目標に、授業の達人養成講座を実施した。</p> <p>平成30年度は、2年間の継続研修の初年度分として実施し、合計12回の研修を行った。</p> <p>研修では、専門的な知識を有する外部講師を招いての講義・演習や研究授業・実践報告、教材研究及び指導法の研究、先進地域の視察等を行い、新学習指導要領についての理解を深め、受講者相互の交流を通して、今求められている授業像を明確にし、自身の実践に生かした。</p> <p>また、受講者の授業を指導主事が参観し指導することで、実践的な指導力を高めるとともに、研修での学びを活かす意識をさらに高めた。</p>			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
受講者の出席率 (目標値の根拠) 「授業の達人養成講座」の受講者の出席率			実績値 (%)		88.72	82.90
			目標値 (%)		100.00	100.00
			達成割合 (%)		88.72	82.90
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	概ね達成		
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

③	学校園活性化事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
---	-----------------------	-----	-------

基本方策3に対する評価

新しい学習指導要領が小学校では令和2年度、中学校では令和3年度から全面実施されることを踏まえ、それらの学習内容・指導方法に対応できる教職員の育成をめざして、充実した研修が実施されていると考える。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

①枚方市教職員育成事業については、新学習指導要領の完全実施や教職員の世代交代の加速化等大きな節目を迎えていることから、教育公務員特例法にある教員育成指標を参考にし、引き続き効果的な研修をめざして、教職員の育成に努めていただきたい。

基本方策4 「ともに学び、ともに育つ」教育の充実

障害のある子どもをはじめすべての子どもたちが学校・地域社会の中で積極的に交流・活動し、「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する必要があります。また、支援教育を進めるにあたっては、一人ひとりの自立に向けた効果的な指導・支援の充実が求められています。

障害のある子どもと障害のない子どもが交流や共同学習を通じ、ともに学び、互いを理解する教育を一層充実させる^{①②}とともに、通常の学級においてユニバーサルデザインによる授業づくりに取り組みます^{①②}。

また、平成 28 年4月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた教育環境の整備を進める^{①②}とともに、支援教育に関する教職員研修の充実に取り組んでいきます^③。

さらに、支援教育コーディネーターを中心として配慮を要する子どもの支援を行う^{①②}とともに、保護者、支援学校等の関係機関と連携し、支援が必要なすべての子どもについて全教職員の共通理解のもと、学校全体で支援教育の充実に取り組みます^{①②}。

主要事業の状況

①	支援教育推進事業	担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	200,049	
概 要		実 績				
<ul style="list-style-type: none"> ◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援に関し、学校に専門家を派遣し指導・助言する。 ◆児童生徒支援室職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施する。 ◆小・中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動時間を支援するために、非常勤講師を加配する。 ◆肢体不自由児介助員を配置し、小・中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行う。 ◆学校看護師を配置し、医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒の学校園における日常生活を支援する。 ◆肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施する。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行う。 ◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級の設備整備を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆通常の学級に在籍する発達障害等の児童・生徒への支援のため、桜丘小学校、蹠陀西小学校、杉中学校、蹠陀中学校の4校に専門家を派遣し指導・助言を行った。 ◆児童生徒支援室職員が、学校園、保育所(園)、幼稚園、医療機関等を巡回し、就学相談を実施した。 ◆小・中学校の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターの活動時間を支援するために、非常勤講師を全小中学校に加配した。 ◆肢体不自由児介助員 22 人を配置し、小・中学校の肢体不自由学級に在籍する児童・生徒の生活、訓練、学習等の介助を行った。 ◆学校看護師 23 人を配置し、医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒の学校園における日常生活を支援した。 ◆肢体不自由児童・生徒に対し理学療法士による専門的な機能回復訓練を実施した。併せて支援学級担任に対して日常訓練の指導・助言を行った。 ◆支援学級入級児童・生徒に対する備品購入及び新設支援学級の設備整備を行った。 				
実績値及び目標の説明		年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	
支援教育に関する専門的な知識・技能をもつ専門家の派遣回数 (目標値の根拠) 小・中学校専門家、幼稚園巡回相談、理学療法士等は予算範囲。リーディングチームは前年度実績の 1 割増。		実績値 (回)	406	439	453	
		目標値 (回)	412	412	443	
		達成割合 (%)	98.54	106.55	102.26	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針				
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画				
	関連計画	—				

②	通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業		担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	6,170
概要			実績			
◆小・中学校に在籍する肢体不自由児や腎炎・ネフローゼ児等通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。 ◆市内に在住する支援学校等に在籍する通学が困難な児童・生徒のタクシー利用による通学費用に対して、支援金の交付を行う。			◆毎日利用の児童・生徒 12 名、雨天時利用の児童・生徒 24 名の通学費用（通学タクシー）に対して、支援金を交付した。			
実績値及び目標の説明			年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
通学タクシーを利用した児童・生徒の人数 (目標値の根拠) 年度当初の通学タクシー利用申請人数			実績値 (人)	26	34	36
			目標値 (人)	26	28	33
			達成割合 (%)	100.00	121.43	109.09
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	達成		
	市長公約	—				
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画				
	関連計画	—				

③	枚方市教職員育成事業【再掲】※基本方策 3 に記載	担当課	教育指導課
---	---------------------------	-----	-------

基本方策 4 に対する評価

障がいのある子どもをはじめ、全ての子どもたちに充実した教育環境の提供をめざして、支援教育に関する研修や、学校看護師や肢体不自由児助員の配置など、学習環境の整備・充実が図られており、他の自治体のモデルとなる充実した事業を実施することができている。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

①支援教育推進事業については、支援学級に在籍する子どもの状況に応じた支援体制の充実が図られている。支援学級数は年々増加傾向にある中、指導者の人材確保が課題となるが、引き続き子どものニーズに対応して、充実した体制の維持に努めていただきたい。

基本方策5 幼児教育の充実

少子化の進行、核家族化や男女共同参画社会の進展、ひとり親家庭の増加など、子どもの育ちや子育て支援へのニーズが多様化する中で、子どもの生きる力と個性を育む環境が求められています。幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を養う重要なものであり、さまざまな体験を通して幼児が心身ともに健やかな成長をとげられるよう、幼児一人ひとりの発達や特性に応じた取り組みを進める必要があります。

幼児教育の目的は「義務教育及びその後の教育の基礎を培う」ことであり、幼児期（幼稚園・保育所・認定こども園）の教育と児童期（小学校）の教育を円滑に接続・連携し、幼児一人ひとりの望ましい発達を育むとともに学級集団に応じた適切な指導を行います^{①②}。

また、保護者の心身のリフレッシュや短時間就労などのニーズへ対応した預かり保育の実施^①や、地域の未就園児も含め、親子での遊びの場や保護者交流の場の提供、子育て相談の取り組みの推進^①など、保護者支援を充実させます。

主要事業の状況

①	幼稚園保護者支援充実事業		担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	14,810
概要			実績			
◆幼稚園で一時預かりを実施し、幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図る。また、幼稚園を、2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場として幼児教育教室を実施し、家庭の教育力を高めるとともに、子育て不安の軽減等を図る。			◆幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図るため、預かり保育を実施した。 (平成31年3月末日現在 参加人数：延べ11,662人) 幼稚園において、2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場として幼児教育教室を実施した。 (平成31年3月末日現在 実施回数 延べ506回)			
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
保護者のニーズ（申し込み）に対する幼児教育教室及び預かり保育実施率 (目標値の根拠) ニーズ（申し込み）に対する実施率100%	実績値 (%)	100.00	100.00	100.00	100.00	
	目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	100.00	
	達成割合 (%)	100.00	100.00	100.00	100.00	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

②	市立幼稚園における3歳児保育実施事業		担当課	教育政策課	事業費計 (千円)	21,773
概 要			実 績			
<p>◆平成30年度から全面実施の「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」において、就学前の子ども（3～5歳児）に対する共通の教育目標が示され、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として小学校教育でもこの姿を踏まえた教育課程の工夫が求められている。このように幼児教育が重要とされる中、教育内容の充実を図るため、市立幼稚園6園（枚方・高陵・蹉跎・田口山）において平成31年度から新たに3歳児保育を実施する。</p> <p>また、現在、1・2歳児の小規模保育事業に取り組んでいる4園（枚方・高陵・蹉跎・田口山）では3～5歳児の教育時間の前後に預かり保育を実施し、小規模保育事業と同様に開園（7時～19時）することで、在園児に対して切れ目のない教育・保育を提供する「枚方版子ども園」として開設する。</p>			<p>◆「就学前の教育と保育施設に係るひらかたプラン（案）」の基本的な考え方に基づき、平成31年度に3歳児保育の実施および預かり保育時間を拡充するにあたり、関係条例等の改正、幼稚園施設の改修や必要な備品等の購入をはじめ、任期付講師や臨時職員の雇用など職員体制の整備を行った。</p> <p>◆平成31年度の事業実施にあたり、園児定数、預かり保育内容などを定めた園児募集要項等を作成し、応募受付、入園決定を行った。</p>			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
3歳児定員に対する入園児数 (目標値の根拠) 平成31年度3歳児定員			実績値 (人)			139
			目標値 (人)			160
			達成割合 (%)			86.88
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち			評価	概ね達成
	市長公約	—				
	実行計画	平成30年度9月補正実行計画				
	関連計画	—				

基本方策5に対する評価

3歳児保育を実施するなど幼児教育の充実に向けて保護者のニーズに応じた事業の推進ができて

いる。

潜在的な待機児童について、教育委員会においてもできる限り状況を把握し、より市民のニーズにあった幼児教育の充実を図っていただきたい。

基本方策6 地域とともにある学校づくりの推進

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりが必要であり、保護者や地域住民とともに学校運営を進める「地域とともにある学校づくり」の推進が求められています。

保護者や地域住民の理解や協力を得て、各学校において特色ある教育活動を展開していくため、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みやコミュニティスクールなど学校運営に地域住民や保護者が参画する体制の構築に取り組みます^①。

主要事業の状況

①	コミュニティ・スクール推進事業		担当課	教育指導課	事業費計 (千円)	429
概要			実績			
◆保護者や地域住民等から構成され、学校運営や運営への必要な支援に関して協議する枚方におけるコミュニティ・スクールを小学校に順次に設置する。また、研究会等を開催し、枚方におけるコミュニティ・スクールの実践事例の紹介、設置校の取り組みの発信を行い、「地域とともにある学校づくり」を推進する。			◆枚方におけるコミュニティ・スクールを小学校5校（枚方第二・香里・氷室・山之上・川越小）において設置した。各コミュニティ・スクールにおいて、校長が作成する学校運営の基本方針が承認されるとともに、学校と家庭、地域が連携・協働し、子どもたちの健やかな成長を支えていく学校づくりを進めていくことが確認された。また、各委員が学校への理解を深めるため、学校行事への参加や授業の参観等を行った。			
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」に対して強い肯定的回答の割合（目標値の根拠） 強い肯定的回答の割合 100%		実績値（%）			100.00	
		目標値（%）			100.00	
		達成割合（%）			100.00	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針				
	実行計画	平成 30 年度当初実行計画				
	関連計画	—				

基本方策6 に対する評価

事業対象校においては、学校の様々な課題を保護者や地域住民とともに共有でき、協力して課題解決に取り組めたことは、コミュニティ・スクールとした効果だと思われる。市内の全小学校をコミュニティ・スクールにするにあたって順調に事業が実施されている。

今後も、学校運営協議会の機能を生かし、地域とともにある学校づくりをめざして、コミュニティ・スクール化を推進していただきたい。

基本方策7 学びのセーフティネットの構築

近年、登下校時の交通事故や不審者等により子どもが犠牲となる事件・事故が生じており、子どもが安全で安心して学べる環境づくりが求められています。

また、インターネット等によるいじめや、学校生活や家庭環境などさまざまな理由による不登校等、生徒指導上の課題が深刻化する中、子どもたちが安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりが必要です。

子どもが安全で安心して学べる環境づくりについては、オートロックや機械警備などによる学校施設内の安全確保^①や、地域で行われている子どもの安全を見守る活動との連携、防犯カメラなどによる通学路の安全対策^②の強化、不審者情報等の緊急情報を保護者にメールで配信するシステムを有効活用する^②とともに、近年の子どもが巻き込まれた事件・事故や、大規模災害の教訓を生かし、子ども自らが危険を回避する能力を養う安全・防災教育を推進します^②。

安全に安心していきいきと学校での時間を過ごせる環境づくりについては、学校・家庭・地域・関係機関が連携し、相談体制を充実させる^{③④⑤}とともに、学校においては、生徒指導体制の充実を図り^⑥、いじめの未然防止や早期発見^⑦、不登校児童・生徒への支援に取り組みます^{⑧⑨}。

また、貧困の連鎖を防止するため、生活困窮世帯の子どもに対する学習支援や、児童虐待について、中央子ども家庭センターや子ども総合相談センターなど関係機関との連携を強化します^{⑦⑩}。

主要事業の状況

①	小学校安全監視事業	担当課	学校規模調整課	事業費計 (千円)	32,169	
概要		実績				
<ul style="list-style-type: none"> ◆全小学校の正門に設置した監視カメラ、正門のオートロック装置に連動したワイヤレスモニター子機付きインターホン及び監視カメラの映像を録画するデジタルレコーダーを活用し安全監視を実施する。 ◆来校者の多い時間帯や児童の下校時間に人的配置を行い、人の目による安全監視を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆監視カメラ及び校門のオートロック装置に連動したワイヤレスモニター子機付きインターホンの活用に加え、来校者の多い午前中（8時30分から12時30分まで）及び児童の下校時間（原則として14時30分から16時30分まで）に、地域・保護者の協力を得ての安全監視ボランティアや、シルバー人材センターへ委託しての安全監視員の配置を行うとともに、地域ぐるみ、まちぐるみで子どもの安全を確保しようという意識を高めていくため、市のホームページやFMひらかたなどを利用して、事業についての広報・PRを行った。 ◆各小学校の安全監視日誌にて、安全監視ボランティア、安全監視員の活動中に安全・安心な学習環境が確保されていることを確認した。 				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
児童在校中の小学校への不審者の侵入件数 (目標値の根拠) 全小学校の侵入事案なし		実績値 (件)	0	0	0	
		目標値 (件)	0	0	0	
		達成割合 (%)	100.00	100.00	100.00	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

②	通学路等安全対策事業		担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	33,492
概要			実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆交通量が多く、信号機のない横断歩道や踏切等の通学路の危険箇所に対して、交通専従員、交通指導員を配置し、児童の登下校の安全を図っている。関係機関と連携し、児童の通学環境の改善に取り組み、交通専従員、交通指導員の効率的・効果的な配置を行う。 ◆関係機関と連携した通学路の合同点検を実施する。 ◆学校園において、危機管理マニュアルを見直し、実践的な避難訓練を実施する。 ◆学校園においては、一般の安全指導の他、交通安全教室等を実施する。 ◆小学校において、胸骨圧迫と AED の取り扱いに特化した救命講習を実施する。 ◆小学校において防災キャンプを実施する。 ◆学校園において、メール配信システムを活用し、不審者情報や暴風警報等発令時の具体的な対応を関係機関、保護者に提供する。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆小学校 18 校 (30 箇所) に 57 人の交通専従員・交通指導員を配置し、児童の登下校の安全確保を図った。 ◆小学校を通じて報告のあった危険箇所について児童生徒支援室で集約し、「枚方市通学路交通安全プログラム」に基づき、道路管理者、教育委員会、警察署等で構成する通学路安全対策連絡会議で協議を進めている。9月に菅原東小学校区、氷室小学校区、1月に山之上小学校区、2月に五常小学校区にて合同点検を実施した。 ◆市として統一した地震発生の対応及び大雨警報等発表時の対応を策定し、各学校園ではその内容も含めた危機管理マニュアルを見直した。また、内容がより充実したものになり、実践的な避難訓練を実施した。 ◆各学校において、交通安全教室及び救命講習が適切に実施された。 ◆防災キャンプについては、5月に蹉跎小学校、9月に津田南小学校、1月に樟葉北小学校で実施した。 ◆各学校園において、メール配信システムを活用し、緊急の情報等を保護者に提供した。 			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
交通専従員、交通指導員の配置人数 (信号機の設置等で安全確保できたところから、交通指導員等を順次廃止する。) (実績値) 配置人数 (目標値) 前年度実績 (達成割合) 配置人数に対する削減割合			実績値 (人)	55	58	57
			目標値 (人)	56	55	58
			達成割合 (%)	101.79	94.55	101.72
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	達成		
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針				
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画				
	関連計画	—				

③	「心の教室相談員」配置事業		担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	8,679
概要			実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆全小学校に、「心の教室相談員」を配置し、児童・保護者に対する教育相談及び教職員への助言を行う。 ◆相談員を、児童数に応じて、1校につき年間 20 回～35 回派遣する。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆全 45 小学校に 25 人の相談員を配置し、児童・保護者・教職員からの相談に応じた。事案によっては、中学校配置のスクールカウンセラーと連携して対応にあたった。 ◆心の教室相談員連絡会を年間 2 回実施した。 			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
心の教室相談員の年間総配置回数 (目標値の根拠) 小学校 1 校あたりの平均配置回数を 31 回とする。 ※ 45 (校) × 31 (回)			実績値 (回)	1,372	1,360	1,373
			目標値 (回)	1,395	1,395	1,395
			達成割合 (%)	98.35	97.49	98.42

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	概ね達成
	市長公約	—		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画		
	関連計画	—		

④	スクールアドバイザー派遣事業	担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	1,858	
概要		実績				
<p>○スクールアドバイザーの業務</p> <p>◆事件、事故等緊急を要する事例に対しての派遣を行っている。</p> <p>○スクールアドバイザーとして派遣する者</p> <p>◆臨床心理士等の専門的な知識・経験を有する者の中から、児童生徒支援室が依頼した者</p>		<p>◆平成 30 年度は、12 校（小学校 6 校、中学校 6 校）に、延べ 32 回アドバイザーを派遣した。</p> <p>◆事件・事故に直面した児童・生徒・教職員等の心のケアに当たるとともに、平成 30 年度は、大阪北部地震に対しての心のケアのため、災害対策費から報償金の再配当を受け、緊急支援も行った。</p>				
実績値及び目標の説明		年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	
スクールアドバイザーを派遣した回数 (目標値の根拠) 前年度実績		実績値 (回)	12	28	32	
		目標値 (回)	6	12	28	
		達成割合 (%)	200.00	233.33	114.29	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	—				
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑤	教育相談事業	担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	16,467
概要		実績			
<p>○子どもの笑顔守るコール(いじめ専用ホットライン・教育安心ホットライン)</p> <p>◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話による教育相談を行う。(平日 9:00~17:00)</p> <p>○継続教育相談</p> <p>◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する面談による教育相談を行う。(要予約 月~金)</p> <p>○メンタルヘルス相談</p> <p>◆教職員に対するメンタルヘルス相談を行う。(要予約 月・金の午後)</p>		<p>◆幼児・児童・生徒やその保護者等に対する電話及び面談による教育相談、また、教職員のメンタルヘルス相談を行うことにより、それぞれが抱える課題等について適切に支援した。</p>			
実績値及び目標の説明		年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
電話、来館による年間相談延べ件数(子どもの笑顔守るコール+教育文化センター内での継続教育相談+教育文化センター内でのメンタルヘルス相談) (目標値の根拠) 子どもの笑顔守るコール、継続教育相談、メンタルヘルス相談の延べ件数の前年度実績		実績値 (件)	1,723	1,902	1,888
		目標値 (件)	1,576	1,723	1,902
		達成割合 (%)	109.33	110.39	99.26

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	概ね達成
	市長公約	—		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画		
	関連計画	—		

⑥	生徒指導充実事業	担当課	教職員課	事業費計 (千円)	32,526						
概要		実績									
<p>◆生徒一人ひとりの状況に応じた支援や指導をするため、生徒指導主事は、スクールカウンセラー等とより緊密に連携し、専門的な立場からアドバイスを受け、担任や学年に対しての指導・助言に当たる。教員は、生徒たちへの接し方を工夫し、一人ひとりに対してよりきめ細かな指導を行う。</p> <p>◆生徒指導体制を強化する必要があると認められる学校に加配講師を配置することにより、授業が軽減された生徒指導主事が中心となり、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させたり、いじめや暴力行為などの問題行動に対して迅速かつ適切に指導を行う。</p> <p>◆各学校において策定のいじめ防止基本方針に基づき枚方市生徒指導マニュアル（いじめ防止編）を用いた教職員の研修及び児童・生徒に対するいじめアンケートの実施、枚方市生徒指導マニュアル（体罰防止編）を用いた教職員の研修等により、いじめの未然防止と体罰の根絶に努める。</p>		<p>◆加配希望があった学校からの調書等、複数の観点から精査した結果、平成 30 年度は中学校 7 校に市費負担任期付教員を 1 人ずつ配置し、1 校には非常勤講師 1 人を配置した。現在、生徒指導主事が中心となって、生徒の実態を踏まえた人権教育等を充実させたり、いじめや暴力行為などの問題行動に対して関係機関と連携し、迅速かつ適切に指導を行っている。加えて、年度当初及び夏季休業期間中等に、枚方市生徒指導マニュアル（いじめ防止編）（体罰防止編）等を用いた教職員研修を実施し、いじめの未然防止と体罰の根絶に努めている。</p> <p>◆加配講師（任期付講師）配置校</p> <table border="1"> <tr> <td>H30 年度</td> <td>第四中・中宮中・楠葉中・桜丘中・蹠陀中・招提北中・長尾西中</td> </tr> <tr> <td>H29 年度</td> <td>第四中・招提中・杉中・山田中・渚西中・蹠陀中・招提北中</td> </tr> <tr> <td>H28 年度</td> <td>第四中・招提中・杉中・山田中・渚西中・蹠陀中・招提北中</td> </tr> </table> <p>※上記以外の中学校には府及び市から非常勤講師を配置</p>				H30 年度	第四中・中宮中・楠葉中・桜丘中・蹠陀中・招提北中・長尾西中	H29 年度	第四中・招提中・杉中・山田中・渚西中・蹠陀中・招提北中	H28 年度	第四中・招提中・杉中・山田中・渚西中・蹠陀中・招提北中
H30 年度	第四中・中宮中・楠葉中・桜丘中・蹠陀中・招提北中・長尾西中										
H29 年度	第四中・招提中・杉中・山田中・渚西中・蹠陀中・招提北中										
H28 年度	第四中・招提中・杉中・山田中・渚西中・蹠陀中・招提北中										
実績値及び目標の説明		年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度						
任期付講師配置校における暴力行為の発生件数 （目標値の根拠） 暴力行為発生件数が前年度より 10%減少 ※H30 年度の発生件数は、暫定値		実績値 (件)	62	57	48						
		目標値 (件)	60	56	51						
		達成割合 (%)	96.80	98.20	105.88						
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子供たちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	達成							
	市長公約	—									
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画									
	関連計画	—									

⑦	いじめ問題対策事業	担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	12,804	
概要		実績				
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 枚方市の関係部課と外部関係機関に属する者で構成される「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の定例会を年3回開催する。 ◆ 枚方市学校いじめ対策審議会定例会を年2回開催する。また、必要に応じて臨時会を開催する。 ◆ 幼児対象人形劇の実施（「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の取組の一つ） ◆ ひらかた学校支援チーム；弁護士、心理・福祉の専門家、校長経験者等で構成する支援チームが学校園を巡回し、幼児・児童・生徒の様子や学校園の状況を確認、助言を行う。 ◆ 「ストップ！いじめ」全小・中学校の新入生の保護者を対象に、いじめ問題に対する啓発冊子として配付。 ◆ 枚方市いじめ防止基本方針の改定及び概要版の作成・配付。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」の定例会を5月、10月、1月に開催した。 ◆ 枚方市学校いじめ対策審議会は、定例審議会2回、臨時審議会1回の計3回実施した。 ◆ いじめの未然防止のための幼児対象人形劇は、希望24施設のうち10施設において10月から12月に実施した。 ◆ ひらかた学校支援チームで120回学校園を訪問し、学校における問題解決のための支援を行った。 ◆ 家庭と連携した「いじめ問題」防止の啓発のため、「ストップ！いじめ」を4月、小・中学校の新入生保護者に配付した。 ◆ 枚方市学校いじめ対策審議会からの提言を踏まえ、枚方市いじめ防止基本方針を9月に改定し、学校園に通知した。これに基づいて、引き続き、いじめの未然防止、早期発見・早期解消に向けて取り組んでいる。また、枚方市いじめ防止基本方針の改定に伴い、「枚方市いじめ対応マニュアル」を作成した。 ◆ 各学校においては、学期に1回以上、児童・生徒に対するいじめアンケートと教育相談を実施し、いじめの未然防止に努めた。また、生起したいじめ事案は組織的に対処し、解消に向けて取り組んだ。 				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
認知したいじめの解消率 (目標値の根拠) 年度内に小・中学校において認知したいじめを100%解消する。 小学校と中学校ではいじめの認知件数に差はあるが、ここでは小・中学校合わせた解消率とする。 ※H30年度は暫定値		実績値 (%)	97.90	80.20	80.60	
		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00	
		達成割合 (%)	97.90	80.20	80.60	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	平成28・29・30年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑧	不登校児童・生徒支援事業	担当課	児童生徒支援室	事業費計 (千円)	12,237
概要		実績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 枚方市不登校支援協力員連絡会を開催し情報交換を図る。 ◆ 月1回中学校区ごとに小中学校間の情報交流を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 不登校の兆候が見えた生徒に対して、その要因や背景に応じた適切な支援を行うことにより、不登校の未然防止に努めた。不登校生徒に対しては、不登校生徒に対しては、不登校支援協力員により、校内適応指導教室などを活用して、教育相談や学習支援を行った。 ◆ 市内全中学校に不登校支援協力員を配置し、不登校の未然防止に取り組むとともに、不登校生徒の要因や背景に応じた適切な支援を行った。 ◆ 新たな不登校を生まない取組として、生徒指導主事やこども支援コーディネーターと連携して情報共有を図った。 ◆ 枚方市不登校支援協力員連絡会を年間3回実施した。 ◆ 枚方市小・中学校生徒指導連絡会を年間11回開催し、各回において小・中学校間連絡会を実施した。 			

実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
市内全中学校における不登校出現率(5月1日現在の全中学校在籍人数に対して、不登校の欠席が30日以上合計) (目標値の根拠) 目標値の設定は、公表されている府の公立中学校過去5年の不登校出現率の平均	実績値 (%)		3.38	3.72	4.23	
	目標値 (%)		3.20	3.26	3.36	
	達成割合 (%)		94.38	87.63	74.11	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	未達成だがその方向に進んでいる
	市長公約	平成28年度・平成29年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑨	適応指導教室事業	担当課	児童生徒支援室	事業費計(千円)	17,103	
概要		実績				
<p>○入室児童・生徒</p> <p>◆学習活動・体験活動・創作活動等学校復帰を含めた自立のための指導・支援を行う。</p> <p>○訪問指導</p> <p>◆学生指導員が家庭訪問を行い、主体的な活動への支援を行う。</p> <p>○馬とのふれあい体験</p> <p>◆馬の世話を通して、不登校状態にある児童・生徒の指導・支援を行う。</p>		<p>○入室児童・生徒</p> <p>◆主に、心理的要因で不登校状態にある児童・生徒に対し、教育文化センターに設置している適応指導教室「ルポ」で学習支援、グループ活動、カウンセリング、キャンプ、保育体験、福祉体験、馬とのふれあい体験などを通し、支援・指導を行った。</p> <p>○訪問指導</p> <p>◆訪問指導において、保護者の悩みを聴くとともに、生徒の状況に良い変化を見て取ることができた。学生指導員と担当指導主事は、毎週水曜日、10時から2時間程度家庭訪問を実施した。</p> <p>○馬とのふれあい体験</p> <p>◆「セルフわらしべ」にて、5日間、延べ12名参加。 ①平成30年11月6日(火)・7日(水)・8日(木) ②平成31年2月5日(火)・7日(木) ※6日(水)参加なく、未実施。</p>				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
適応指導教室「ルポ」への入室基準を満たし、登室を承認された児童・生徒が、登室した割合 ※平成30年度の適応指導教室「ルポ」児童・生徒数は45人。 (目標値の根拠) 「ルポ」への登室100%	実績値 (%)		89.70	76.10	77.70	
	目標値 (%)		100.00	100.00	100.00	
	達成割合 (%)		89.70	76.10	77.70	
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	未達成だがその方向に進んでいる
	市長公約	平成28年度・平成29年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑩	スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業	担当課	児童生徒支援室	事業費計 （千円）	15,100	
概要		実績				
<ul style="list-style-type: none"> ◆配置または派遣する学校の教職員とのチーム体制によるケース対応 ◆教職員と連携した校内ケース会議のファシリテーションや福祉的手法のアドバイス ◆小中合同ケース会議等、小・中学校教職員が協働した小・中学校間連携の推進 ◆学校と関係機関等との連携のコーディネート ◆中学校派遣のスクールカウンセラーとの連携 ◆小中一貫教育を見据えた系統性・継続性のある生徒指導体制の構築 ◆枚方市教育委員会が開催する研修会、連絡会等への参加 ◆スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーは、スクールソーシャルワーカーへの指導助言 ◆その他、教育長が認める事項に関すること 		<ul style="list-style-type: none"> ◆社会福祉士の資格を有するより専門性の高いSSWを増員するなど、全体の構成や活動回数の見直しを行った。 ◆4中学校区に社会福祉士の資格を有するSSWを1人ずつ配置し、小学校5校に教員免許を有するSSW（4人）と社会福祉士の資格を有するSSW（1人）を1人ずつ配置した。 ◆社会福祉士の資格を有するSSWを配置または派遣した学校において、校内または拡大ケース会議のファシリテーションや福祉的手法を助言している。この中で、関係機関やSC等とも連携している。 ◆枚方市教育委員会が開催している連絡会等を7回実施した。 ◆スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーは、全15回、チーフ・スクールソーシャルワーカーへのスーパーバイズを実施した。 				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
スクールソーシャルワーカー等の活動回数 （目標値の根拠） SSW・SV 12回、チーフSSW 55回×4人、 SSW 140回×5人		実績値 （回）	1,017	1,007	868	
		目標値 （回）	1,022	1,022	932	
		達成割合 （%）	99.51	98.53	93.13	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	平成 28・29 年度市政運営方針				
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画				
	関連計画	—				

未達成事業への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性
⑧ 不登校児童・生徒支援事業	児童・生徒の不登校の要因は様々であり、それぞれの課題が解決できなかったため。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校に不登校支援協力員を配置し、各校において教室以外の居場所を確保し、支援する。 ・小学校から中学校への接続において、丁寧な引継ぎをするよう小中学校へ指導する。 ・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、心の教室相談員などが適切に見立てを行い、不登校傾向にある児童・生徒に応じた支援を行う。
⑨ 適応指導教室事業	申請希望したものの、適応指導教室「ルポ」に登室することができない児童・生徒がいたため。	<ul style="list-style-type: none"> ・登室を承認された児童・生徒が適応指導教室「ルポ」での活動を通して、自ら「登校しよう」という意思が持てるよう、指導員は支援・指導していく。

基本方策7に対する評価

いじめや不登校などの学校生活における課題に対応した事業や生徒指導の充実を図っており、安全で安心して学べる環境づくりの推進に向け、事業が進められている。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

③「心の教室相談員」配置事業については、益々ニーズが増すと考えられることから、長時間の相談対応を含め、事業の効果的運用の工夫を図っていただきたい。

④スクールアドバイザー派遣事業について、大阪府北部地震後の対応支援などその機能を果たしている。成果を分かりやすくするため、指標を利用必要数に応じた対応割合としてはどうかと考える。

⑧不登校児童・生徒支援事業については、今後の方針を確実に実行することで、子どもや学校の支援の充実を図っていただきたい。

基本方策8 学びを支える教育環境の充実

少子化の進行による児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化が進む中で、学校施設の更新や教育の情報化の推進など、より安全で充実した教育環境が求められています。また、教職員の多忙化が課題となる中で、教職員が授業や子どもたちと向き合う時間を確保するための取り組みが必要です。

多くの学校施設で建築後相当年数が経過し、老朽化が進んでいることから、学校施設を計画的に更新整備します^{①②}。また、適正な学校規模とする学校配置等の適正化に取り組みます^③。

また、ICT（情報通信技術）を効果的に活用したわかりやすく深まる授業を実現するため、子どもが授業で使うICT機器を計画的に更新するなど教育の情報化を推進します^④。

さらに、教職員が子どもと向き合い、指導に専念できる時間をより多く確保するため、ICTを活用し通知表や指導要録等の事務処理を軽減する^⑤とともに、より効果的・効率的な学校運営に向けての見直しや、教職員の健康保持など勤務環境の整備に取り組みます。

安全で安心な給食を安定的に提供する^{⑥⑦}ため、老朽化が進む小学校給食調理場の計画的な更新整備に取り組みます^⑧。

主要事業の状況

①	学校園施設維持補修事業		担当課	まなび舎整備室	事業費計 (千円)	1,547,586
概 要			実 績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆「枚方市市有建築物保全計画」(以下「保全計画」とする。)に基づき校舎、園舎、体育館等の建物や電気・機械・給排水設備等施設全般の維持保全及び予防保全工事を行う。 ◆プール施設など、保全計画外の改修工事を行う。 ◆学校園からの要望に基づき学習環境の改善等に伴う施設の整備を行う。 ◆各施設の建築物・設備などの点検業務等を行う。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆保全計画に基づく工事を18件、保全計画外の工事を25件、震災関連工事として43件の緊急工事をおこなった。また、学校園からの要望により漏水修理や教室の扉修理、電気の器具修理を409件実施した。また、各施設の建築物や設備の点検及び、次年度の保全工事等の実施設計を行った。 			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
保全計画等の工事施工件数 (目標値の根拠) 保全計画等の施工予定件数			実績値 (件)	57	79	43
			目標値 (件)	59	81	45
			達成割合 (%)	96.61	98.00	95.55
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	概ね達成
	市長公約	平成30年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	枚方市市有建築物保全計画				

②	学校施設整備事業	担当課	まなび舎整備室	事業費計 (千円)	951,670	
概 要		実 績				
<p>◆平成 25 年 3 月に、国から「学校施設の老朽化対策について（学校施設老朽化対策ビジョン）」が公表された。同ビジョンにおいては、「昭和 40 年台後半から 50 年代にかけて日本全国で多くの学校建設がなされ、施設の更新時期を迎えつつある中、安全面・機能面・環境面・財政面から老朽化対策が必要である。従来は建築後 40 年程度で改築されていたが、技術的に構造躯体の延命は可能であることから、改築より費用面・環境面の負担が少なく、改築と同様の質的向上が図れる長寿命化改修へと転換することが必要である。」旨が述べられている。</p> <p>◆本市においても、多くの学校施設で建築後相当年数が経過し、老朽化が進行してきており、将来的な施設耐用年数の到来に伴い、多額の費用を要する施設の更新が一定期間に集中することから、本市財政への影響が懸念される。今後、財政負担の平準化やコストの縮減を図りつつ、時代のニーズに適した教育環境の質的向上等に向けた学校施設へ更新していくためには、計画的な施設整備を図っていく必要があることから、国の「学校施設老朽化対策ビジョン」を踏まえた、学校施設整備に関する中長期的な計画の策定に取り組むものである。その後、策定した計画に基づき、学校施設の更新を順次図っていく。</p>		<p>◆平成 29 年度桜丘小学校・香里小学校、平成 30 年度第一中学校の長寿命化改修の実施設計が完了し、津田中学校・樟葉小学校は実施設計を進めている。</p> <p>また、工事は、桜丘小学校について完了し、香里小学校・第一中学校について本体工事を開始している。</p>				
実績値及び目標の説明		年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	
基本設計・実施設計を実施した学校数 (目標値の根拠) 枚方市学校施設整備計画の第 1 期実施計画（前期）の整備校数		実績値 (校)	3	4	5	
		目標値 (校)	2	5	5	
		達成割合 (%)	150.00	80.00	100.00	
関連計画	第 5 次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち			評価	達成
	市長公約	平成 29 年度市政運営方針				
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画				
	関連計画	枚方市学校施設整備計画				

③	学校規模等適正化事業	担当課	学校規模調整課	事業費計 (千円)	23,058
概 要		実 績			
<p>◆将来における適正な学校の配置等を進めるため、審議会での答申を踏まえ、基本方針を策定し学校統合に向けた取り組みを進める。</p>		<p>◆「枚方市学校規模等適正化基本方針」に基づき、高陵小学校と中宮北小学校の学校統合に向けて理解と協力を得るため保護者や地域コミュニティと協議等を行った。</p> <p>◆樟葉小学校の教室数不足に係る課題解消のため、保護者や地域コミュニティと協議を行った。</p>			
実績値及び目標の説明		年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
実施プランの策定 (目標値の根拠) 実施プラン策定に関する進捗状況		実績値 (%)	109.09	133.33	0
		目標値 (%)	100.00	100.00	100.00
		達成割合 (%)	109.09	133.33	0

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	未達成
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画		
	関連計画	—		

④	学校 I C T 機器等整備業務【再掲】※基本方策 1 に記載	担当課	教育政策課
---	---------------------------------	-----	-------

⑤	校務の情報化推進事業	担当課	教育政策課	事業費計 (千円)	23,206
概要		実績			
◆校務支援システムを導入し、学校における児童・生徒の情報を電子化して一元管理し、その情報を通知表、指導要録、出席簿等の作成や、成績・保健管理等に活用することで、教職員の事務を軽減し、児童・生徒と向き合う時間の確保と、よりきめ細かな指導による教育の質の向上を図る。また、個人情報等を含むデータをサーバにより一元管理することで個人情報の持ち出しを防ぎ、学校内の情報セキュリティの向上を図る。		◆平成 31 年 2 月に、校内システム担当者や教務主任等を対象に、年度移行を円滑に行うための研修を行った。 ◆平成 31 年 2 月に全教職員を対象に、システムを使用する上での困難さや事務負担の軽減等についての実感を問うアンケートを実施した。アンケートの結果を分析した結果、「成績処理・通知表作成」、「指導要録作成」、「出席簿作成」において、事務負担軽減に効果があったと思う教員の割合が、平成 29 年度の同調査と比較し合計 11 ポイント上昇した。			
実績値及び目標の説明		年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
教職員向けのアンケート調査において、通知表の作成事務にかかる時間が 5 時間未満の割合（目標値の根拠） 導入当初に設定した目標（教員の 4 人に 1 人がシステム導入以前の平均時間である 10 時間の半分以下の時間数を基準として設定）		実績値 (%)	23.10	25.60	22.30
		目標値 (%)	25.00	25.00	25.00
		達成割合 (%)	92.40	102.40	89.20
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち		評価	概ね達成
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

⑥	学校給食事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円)	1,363,203
概要		実績			
◆全小学校の児童を対象に、2 箇所共同調理場及び 28 箇所の単独調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を直営または委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便等の業務について業務委託により実施する。 ◆全中学校の生徒を対象に、第一学校給食共同調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便、施設の機械警備等の業務について業務委託により実施する。 ◆中学校給食は、平成 28 年度から選択制ランチボックス方式により希望する生徒への提供を行っている。		◆安全で栄養バランスの取れた美味しい学校給食を確実に児童生徒へ提供することができた。			

実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度
小・中学校給食提供食数 (目標値の根拠) 年間の給食提供食数。 小学校は、 (1学期始業式現在の児童、教職員数) ×平均給食実施日数 中学校は、 全生徒数×目標喫食率×平均給食実施日数	実績値 (食)		4,780,222	4,923,900	4,861,772
	目標値 (食)		4,863,954	5,000,549	5,060,892
	達成割合 (%)		98.28	98.47	96.07
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価		概ね達成
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

⑦	中学校給食充実事業	担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円)	4,771
概要		実績			
◆選択制の中学校給食について、喫食率向上に向けた取り組みを進める中で、生徒・保護者の意向も踏まえ、全員喫食への拡充を目指す。		◆中学校給食喫食率向上への取り組みとしては、毎月、全生徒へ向け、カラー刷りで写真付の献立表や給食だよりを発行すること、PR動画を使用しての試食会の開催、献立コンテストの開催やその入賞献立を使用した給食提供など、生徒の給食に対する興味関心を醸成するよう様々な手法で取組を進めた。喫食率については、中学校給食開始直後の平成28年4月が22.2%であったものが、30年度は、11月の33.4%をピークにほぼ横ばいの状況が続いた。 ◆全員喫食の実現に向けては、民間調理事業者の意向調査を行うとともに、5つの新しい手法と4つの比較検討項目の作成を行い、最も優れている手法について協議・検討を行った。			
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度
中学校給食の喫食率 (目標値の根拠) 中学校給食の平成30年度目標喫食率	実績値 (%)		25.70	32.20	32.80
	目標値 (%)		30.00	40.00	45.00
	達成割合 (%)		85.67	80.50	72.89
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価		未達成だが その方向に 進んでいる
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

⑧	第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業		担当課	おいしい給食課	事業費計 (千円)	160,765
概 要			実 績			
◆第三学校給食共同調理場の老朽化対策のため、既存の小学校単独調理場6箇所を共同調理場又は親子方式調理場に転換し、今後必要となる調理・配送能力を確保できるよう改築・改修を行い、小学校給食の安定的・継続的な提供を確保する。			◆2学期から招提、3学期から長尾の親子調理場の供用を開始し、招提では交北、長尾では殿二の給食調理を自校分に加えて行った。 また、次年度からの供用開始を見据え、春日、桜丘北の2カ所の親子調理場について改築・改修の工事契約を行った。			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
供用開始した調理場数 (目標値の根拠) 当該年度中に供用開始する予定の調理場数 ※上記の指標に、H30年度より変更			実績値 (場数)	0	0	2
			目標値 (場数)	0	0	2
			達成割合 (%)	0	0	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	評価	達成		
	市長公約	平成29年度市政運営方針				
	実行計画	平成29年度当初実行計画				
	関連計画	—				

未達成事業への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性
③ 学校規模等適正化事業	「枚方市学校規模等適正化基本方針」に基づき、高陵小学校と中宮北小学校の学校統合に向けて「実施プラン」を作成できるよう、地域や保護者と協議中のため。	地域と保護者に理解と協力を得ながら、令和元年度(2019年度)中に「実施プラン」を作成できるよう取り組む。
⑦ 中学校給食充実事業	学校別の喫食率では、50%超から20%未滿までバラつきがあり、多くの生徒が給食を選択しない理由として、友達関係で給食を選択するかどうか、影響していることもあり本来目標としていた数値に届かなかった。	更なる取り組みとして、中学校間で喫食率に50%超から20%未滿までバラつきがあるため(最大54.9%・最小15.2%)、学校の状況に応じたPR活動を行っている。

基本方策8に対する評価

学校園の施設整備やICT環境の整備、学校給食環境の整備などについては、円滑に事業実施できていると考える。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

⑦中学校給食充実事業について、更なる喫食率の向上に向けて、PR活動などに取り組んでいただきたい。

基本方策9 基礎的な知識・技術の学習機会の提供と図書館の充実

社会が激しく変化し、複雑になる中で、生涯にわたり自らに必要な知識や能力を身に付けることが必要となっています。そうしたことを支えるためには、子育て、健康・医療・介護、職業、情報社会、安全・防災、環境問題など、様々な課題に関する学習機会が生涯にわたって提供されることが必要です。

それぞれの分野における様々な行政部門・団体との連携を強めながら、特に基礎的な知識・技術の学習機会の提供に取り組みます^①。

図書館においては、資料の計画的・系統的な収集など^②の基礎的な図書館サービスを充実するとともに、居心地の良い図書館空間の提供^③と図書館内外への積極的な情報提供などにより、市民の生活及び職業上の課題や地域課題の解決のための支援を強化します^④。

また、読書が果たす重要な役割を踏まえ、学校図書館に対する中央図書館の支援を強化する^⑤とともに、子どもの読書活動の推進のための取り組みや、成人の読書習慣と情報活用能力の向上に取り組みます^{⑥⑦}。

主要事業の状況

①	社会教育活動推進事業	担当課	社会教育課	事業費計 (千円)	12,067
概 要		実 績			
<ul style="list-style-type: none"> ◆社会教育基礎講座…人が地域で生活していくために必要な基礎的な知識や技術の習得の機会を提供する。 ◆家庭教育支援事業…自分の子育てを振り返る機会を提供し、“気づき”を促す。また、親と子が協力し一つのことを成し遂げたり、何かを作ったりすることで、コミュニケーションを図り、父親の家庭教育への参加を促す講座を開催する。 ◆社会教育（人権）講座等…お互いの違いを理解し、尊重することの大切さについて考える機会の提供などを行う講座を開催する。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆平成 30 年度は、『地域と守る、大切な“あなた”』を共通のテーマに設定し、以下の事業を実施した。 ◆社会教育基礎講座は、「地域で支える認知症～誰もがいつまでも安心して暮らせる社会をつくる～」に 66 人（定員 50 人）、「災害から身を守る！子育て世代編」に 12 人（定員 20 人）、「災害から身を守る！シニア編」に 22 人（定員 20 人）の参加があった。 ◆家庭教育支援事業は、「親学び講座」に 10 人（定員 10 人）、「親子で探そう！チリメンモンスター！」に 37 人（定員 30 人）、「親子で作ろう！オリジナルスピーカー！」に 35 人（定員 30 人）、「複雑化・深刻化する思春期の“いじめ”～子どもたちの SNS の現実、知っていますか？～」に 29 人（定員 60 人）、「これって、過保護？過干渉？～子どものやる気を引き出すために～」に 21 人（定員 40 人）の参加があった。 ◆社会教育人権啓発事業は、「発達障がいのある大人の当事者からのメッセージ～発達障がい当事者の現状や必要なサポートについて考えてみませんか？～」に 84 人（定員 40 人）の参加があった。 ◆枚方市教育委員会と枚方市 P T A 協議会との共催事業「大切な人の『想い』とともに・・・」に 366 人（定員 400 人）の参加があった。 ◆「枚方市日本語・多文化共生教室『よみかき』」は、従来生涯学習課が補助執行により実施していたが、実施会場の生涯学習市民センターが指定管理者による運営となったことを踏まえ、平成 30 年度から、社会教育課の直接執行に移行した（直営のサンプラザ生涯学習市民センターを除く）。 			

実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度
社会教育活動推進事業の募集人員に対する参加人数の割合 (目標値の根拠) 参加割合の目標値を80%とする	実績値 (%)		93.80	81.60	97.43
	目標値 (%)		80.00	80.00	80.00
	達成割合 (%)		117.25	102.00	121.79
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価	達成	
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	—			

②	図書館資料購入事務	担当課	中央図書館	事業費計 (千円)	129,932
概要		実績			
◆入門書から専門書に至る難易度ごとの蔵書バランスを意識した資料及び教養を高める資料や市民のニーズ等を踏まえた、あらゆる分野にわたり正確で新しい情報を提供できる資料を計画的に購入する。		◆図書館の蔵書となる図書を、児童書 11,460 冊、一般書 26,633 冊、合計 38,093 冊購入した。 ◆蔵書計画に定める収集方針を踏まえ、蔵書バランスを重視した、資料の計画的な収集を実施した。			
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度
図書購入冊数 (目標値の根拠) 平成24年度～平成26年度の図書購入冊数の平均	実績値 (冊)		36,928	36,370	38,093
	目標値 (冊)		36,000	36,000	36,000
	達成割合 (%)		102.58	101.03	105.14
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価	達成	
	市長公約	—			
	実行計画	—			
	関連計画	枚方市立図書館第3次ランドビジョン			

③	香里ヶ丘図書館建替事業	担当課	中央図書館	事業費計 (千円)	323,455
概要		実績			
◆平成29年度に解体・基本設計を完成し、現香里ヶ丘図書館を閉館する。平成30年度から現図書館を解体し、香里ヶ丘中央公園の擁壁工事完了後、図書館建物を建設する。		◆新香里ヶ丘図書館の基本設計・実施設計を夏までに完成させた。 ◆4月開始の香里ヶ丘図書館棟及び集会室棟を7月に解体完了した。 ◆隣接の公園法面工事完成後、香里ヶ丘図書館建築工事の契約手続に入った。 ◆4月、南部生涯学習市民センター1階に香里ヶ丘図書館代替サービススポットを開設。香里ヶ丘中央公園で2週間に1回、自動車文庫による代替サービスを行った。			

実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度
香里ヶ丘図書館建替事業期間（平成28年4月1日～令和2年3月31日）における、事業の進捗割合 （目標値の根拠） 事業完了を100%とし、完了予定である平成31年度までの4年間で割った数値	実績値（%）		25.00	50.00	75.00
	目標値（%）		25.00	50.00	75.00
	達成割合（%）		100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価	達成	
	市長公約	平成29・30年度市政運営方針			
	実行計画	平成28年度12月補正実行計画			
	関連計画	枚方市立図書館第3次グランドビジョン			

④	分館・分室巡回業務	担当課	中央図書館	事業費計 (千円)	14,777
概要		実績			
◆各図書館・分室が所蔵している図書館資料を、市民が希望する図書館・分室で貸出・返却が出来るよう中央図書館を起点に各図書館・分室を巡回する図書館資料の運搬を委託により実施している。		◆中央図書館と各図書館分館・分室を巡回する図書館資料の運搬を委託により実施した。 ◆6月18日の大阪北部地震の影響で、1日巡回を運休した。			
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度
分館・分室の巡回日数 （目標値の根拠） 平成30年度当初に予定していた年間巡回回数	実績値（日）		653	302	499
	目標値（日）		647	302	500
	達成割合（%）		100.93	100.00	99.80
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	評価	概ね達成	
	市長公約	—			
	実行計画	平成28年度当初実行計画			
	関連計画	—			

⑤	コンピュータシステム運営事業	担当課	中央図書館	事業費計 (千円)	40,125
概要		実績			
◆図書館コンピュータシステムにより中央図書館、分館、分室をオンラインで結び、蔵書管理、貸出返却業務、インターネットによる蔵書検索サービスや予約サービス等を行う。		◆図書館システムを引き続き運用した。また、令和3年度に行う図書館システムリプレイスに向けて、検討を進めた。 ◆7分館・3分室の端末及びプリンタの更新、中央図書館選書担当の端末の増設を行った。 ◆令和元年度に行う学校図書館児童生徒用端末の導入に向けて、手続きを進めた。			

実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
インターネット予約件数 (目標値の根拠) 平成24年度～平成26年度のインターネット予約件数の平均	実績値 (件)		533,248	497,594	532,163	
	目標値 (件)		580,000	580,000	580,000	
	達成割合 (%)		91.94	85.79	91.75	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動 できるまち			評価	概ね達成
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑥	読書活動推進事業【再掲】※基本方策1に記載	担当課	教育指導課
---	-----------------------	-----	-------

⑦	中央図書館運営事業	担当課	中央図書館	事業費計 (千円)	182,667	
概要		実績				
◆幅広い分野の図書館資料を所蔵し、各図書館、分室、自動車文庫の貸出を支援するとともに、他の公共図書館との相互貸借、参考業務、児童サービスなどの中心となり各種図書館サービスを行う。		◆年間開館日数：289日 貸出冊数：901,046冊 予約受付件数(個人)：54,702件 延べ利用者数：300,450人 ◆子ども読書活動推進事業として、1年を通しておはなし会などを開催。夏休み期間に「子ども司書講座」を開催した。また、枚方市子ども夢基金を活用し、小惑星リュウグウに到着した小惑星探査機「はやぶさ2」の開発に携わったJAXA准教授の山田哲哉氏を迎えた講演会や、親子で楽しめるワークショップ、宇宙服の試着体験会等を開催した。 ◆3月に中学生を対象とした「第4回中学生ビブリオバトル」を開催した。 ◆成人対象のイベントとして、「大人の学校」やライブラリーコンサートなどのイベントを開催した。				
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
中央図書館来館者数 (目標値の根拠) 平成24年度～平成26年度の中央図書館来館者数の平均	実績値 (人)		502,639	487,304	483,332	
	目標値 (人)		591,867	591,867	591,867	
	達成割合 (%)		84.92	82.33	81.66	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動 できるまち			評価	概ね達成
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	枚方市立図書館第3次グランドビジョン				

⑧	生涯学習施設及び図書館管理運営効率化事業		担当課	中央図書館	事業費計 (千円)	280,327
概 要			実 績			
◆市民サービスの向上と、施設の効率的な運営の観点から、生涯学習施設と図書館の複合施設の図書館6館に指定管理者制度を導入する。			◆平成30年4月、生涯学習市民センター・図書館の複合6施設（楠葉・蹉跎・御殿山・牧野・津田・菅原）に指定管理者制度を導入した。同6施設の図書館においては、開館日数・開館時間帯の拡充を行い、開館時間数を従来の約1.5倍とした。 ◆書籍消毒機や電子掲示板の設置、複合施設の特性を生かした児童・成人向けの各種事業を積極的に実施することで、利用が増加した。			
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
指定管理者制度を導入する施設数 (目標値の根拠) 当該年度に指定管理者制度導入を予定している施設数		実績値 (施設)	2	2	6	
		目標値 (施設)	2	2	6	
		達成割合 (%)	100.00	100.00	100.00	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動 できるまち			評価	達成
	市長公約	平成28・29年度市政運営方針				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	枚方市立図書館第3次グランドビジョン				

基本方策9に対する評価

市民サービスの向上、施設の効率的な運営、社会教育分野等における取り組みにより、市民の学習機会の提供の工夫が行われており、円滑に事業実施できている。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

⑦中央図書館運営事業について、電子書籍の普及など読書環境の変化に伴い、来館者数の減少が見られるので、より市民ニーズに応じた図書館運営に努めていただきたい。

基本方策 10 文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりの推進

一人ひとりの市民が多様な個性・能力を開花させ、人生を豊かにすることができるようにするためには、豊かな文化・芸術にふれ、自然との関わりを持つことが大切です。

また、市民のふるさと意識やまちへの愛着を育むには、まちの歴史文化への理解を深めることが必要です。

さらに、社会の高齢化が進む中で、生涯にわたって健やかな生活を過ごすことを可能にするためには、健康な運動習慣を確立することが必要です。

社会教育と学校教育の連携を強化し、子どもたちが文化・芸術や自然の中での活動など、様々な体験ができる機会を確保します^①。

このような機会を提供することで、子どもたちをはじめとする市民が文化・芸術についての関心を深め、そこに喜びや楽しみを感じられるような環境整備^②に努めます。

また、文化財等の適切な保存を進める^{③④}とともに、特別史跡百済寺跡などの貴重な歴史文化遺産を生かし^⑤て、子どもたちや市民の郷土の歴史への理解を深める^⑥とともに、歴史の薫り豊かなまちづくりや文化観光への活用・発展を進めます。

また、各種スポーツ・レクリエーション活動の充実^{⑦⑧}やスポーツ環境の整備に取り組むとともに、健康の維持増進を図るため、身近なところで誰もが取り組める健康スポーツの推進に取り組みます^⑨。

主要事業の状況

①	野外活動センター利用促進事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	スポーツ振興課
---	-----------------------------	-----	---------

②	文化財啓発普及事業【再掲】※基本方策2に記載	担当課	文化財課
---	------------------------	-----	------

③	文化財保護管理事業	担当課	文化財課	事業費計 (千円)	23,540
	概要	実績			
	<ul style="list-style-type: none"> ◆茄子作遺跡・藤田山遺跡・蹉跎東プレハブ文化財収蔵庫・伝王仁墓等の文化財用地の草刈り等を行い、保護管理する。 ◆特別史跡百済寺跡の再整備に伴う発掘調査で出土した金属製品等の遺物について、保存科学処理の実施。 ◆特別史跡百済寺跡のバス専用駐車場の管理委託の実施 ◆近年樹勢に衰えがみえつつある、府指定天然記念物枚方田中邸のむくについて、樹木診断を行い、管理計画に基づき必要な管理を行う。 ◆平成29年度までは（公財）枚方市文化財研究調査会へ委託していた①埋蔵文化財発掘調査遺物復元整理作業、②民俗文化財収集整理作業を本事業としていたが、同会解散に伴い平成30年度に事業統合するに際し、平成30年度からは①は埋蔵文化財発掘調査事業へ、②は旧田中家鋳物民俗資料館管理運営事業へ再編成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆発掘調査により出土した遺物の保存科学処理を実施。 ◆茄子作遺跡、藤田山遺跡、蹉跎東プレハブ文化財収蔵庫、伝王仁墓等で、年2回の草刈りや樹木の剪定を行った。 ◆枚方田中邸のむくについては、樹木診断を実施し、今後の管理計画を立てた。また平成30年台風21号の被害を受けたため、枝の伐採等、応急処置を実施した。 			

実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度	
当該年度の遺物の保存科学処理事業進捗割合 (目標値の根拠) 当該年度の国庫補助金の費消率(%)	実績値 (%)			100.00	100.00	100.00	
	目標値 (%)			100.00	100.00	100.00	
	達成割合 (%)			100.00	100.00	100.00	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち				評価	達成
	市長公約						
	実行計画						
	関連計画	—					

④	市指定文化財補助事業		担当課	文化財課	事業費計 (千円)	4,789	
概要			実績				
<p>◆建造物の所有者に40,000円、建造物を除く有形文化財又は記念物の所有者に20,000円を交付する。これにより、市指定文化財の保存管理を支援する。</p> <p>◆平成30年度は、平成30年台風第21号により被害を受けた文化財の復旧の促進を図るため、当該補助対象事業に要する経費の2分の1以内で市長が定める額を交付する(平成31年3月31日申請まで)。</p>			<p>◆廃渚院観音寺鐘楼・梵鐘など3件の建造物と、意賀美神社の算額など建造物を除く有形文化財及び記念物10件に交付した(320千円)。</p> <p>◆平成30年台風21号により被害を受けた交野天神社末社貴船神社本殿(市指定有形文化財)及び交野天神社本殿(重要文化財)の修繕並びにこれら指定物件の上に倒れた木の撤去について、補助金を交付した(645千円)。</p>				
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度	
市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の件数 (目標値の根拠) 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の申請件数	実績値 (件)			13	13	17	
	目標値 (件)			13	13	13	
	達成割合 (%)			100.00	100.00	130.77	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち				評価	達成
	市長公約						
	実行計画						
	関連計画	—					

⑤	特別史跡百済寺跡再整備事業		担当課	文化財課	事業費計 (千円)	90,106
概要			実績			
<p>◆平成16年度に測量調査実施、平成17年度から平成25年度の9年間で発掘調査を行い、並行して整備準備を行う。また、再整備に向け、平成24年度から平成25年度に基本計画の策定と基本設計を行う。平成26年度に実施設計を行い、平成27年度より再整備工事に着手している。</p> <p>◆単年度計画事業としては目標を達成しているが、再整備計画に基づき平成30年度に事業完了としていた全体目標からは遅れが生じていることから、スケジュールを見直した上で事業完了に向け取り組む。</p>			<p>◆平成17年度から平成25年度にかけて再整備に向けて発掘調査を実施。平成30年度は回廊東半分を立体復元した。</p>			

実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
当該年度の事業進捗割合 (目標値の根拠) 当該年度の国庫補助金の費消率(%) (目標)事業進捗割合の完全実施	実績値 (%)			100.00	100.00	100.00
	目標値 (%)			100.00	100.00	100.00
	達成割合 (%)			100.00	100.00	100.00
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	評価	達成		
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針				
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑥	市史編さん年報発行事務		担当課	文化財課	事業費計 (千円)	8,630
概要			実績			
◆歴史資料の収集・整理・保存ならびに市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えるとともに、枚方市史年報を発行する。			◆近世文書の複写版作成を18冊(3,804コマ)、郷土資料・行政刊行物・歴史図書等の歴史資料を784冊収集・整理・保存した。また、枚方市史年報第21号を発行した。			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
市史関係の照会および市史資料の利用件数 (目標値の根拠) 直近10年間のうち、利用件数上位5年の平均値	実績値 (件)			233	284	230
	目標値 (件)			315	315	315
	達成割合 (%)			73.97	90.16	73.02
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち 施策目標 19 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	評価	未達成だが その方向に 進んでいる		
	市長公約	—				
	実行計画	—				
	関連計画	—				

⑦	市民スポーツカーニバル開催事業		担当課	スポーツ振興課	事業費計 (千円)	1,033
概要			実績			
◆体育協会、スポーツ推進委員協議会等様々な団体の協力を得て、総合スポーツセンター、渚市民体育館、伊加賀スポーツセンター、野外活動センターで市民の体力向上と健康増進をはかるため、多彩なメニューを工夫して、多くの市民参加のもと事業を実施している。			◆各施設指定管理者、公益財団法人枚方体育協会、スポーツ推進委員協議会等の協力を得て、総合スポーツセンター、渚市民体育館、伊加賀スポーツセンター、野外活動センターの4施設で体力測定や各種スポーツ体験会等を実施した。			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
参加人数 (目標値の根拠) 各施設の昨年度実績			実績値 (人)	2,723	2,720	2,685
			目標値 (人)	2,200	2,723	2,720
			達成割合 (%)	123.77	99.89	98.71
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 健やかに、生きがいをもちて暮らせるまち 施策目標 6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	評価	概ね達成		
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑧	各種スポーツ大会等開催事業		担当課	スポーツ振興課	事業費計 (千円)	36,601
概要			実績			
◆各種競技大会（総合体育大会等）の運営を公益財団法人枚方体育協会に委託し、実施。 ◆市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。 ◆ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方体育協会に委託して実施。			◆各種競技大会（総合体育大会等）の運営を公益財団法人枚方体育協会に委託し、実施した（参加者：21,135人）。 ◆市内高校バレーボール大会を実施した（参加者：425人）。 ◆ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方体育協会に委託し、実施した。（参加者：534人）			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
各種大会等参加者数 (目標値の根拠) 昨年度実績			実績値 (人)	24,316	24,918	22,094
			目標値 (人)	24,121	24,316	24,918
			達成割合 (%)	100.81	102.48	88.67
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 健やかに、生きがいをもちて暮らせるまち 施策目標 6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	評価	概ね達成		
	市長公約	—				
	実行計画	平成28年度当初実行計画				
	関連計画	—				

⑨	スポーツ推進事業		担当課	スポーツ振興課	事業費計 (千円)	1,749
概要			実績			
◆策定されたスポーツ推進計画に基づき、「だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支える」を基本理念として、関係部署と連携を図りながらスポーツ施策を推進していく。			◆策定された枚方市スポーツ推進計画に基づき、関係部署と連携を図りながらスポーツ施策を推進した。連携協定を締結したパナソニック パンサーズと学校園交流事業、市民応援デーを実施した。また、FCティアモ枚方とホームタウン承認に関して協議を行った。			
実績値及び目標の説明		年度	H28年度	H29年度	H30年度	
スポーツ活動者数 (目標値の根拠) 昨年度実績		実績値 (人)	1,168,701	1,128,501	1,150,649	
		目標値 (人)	1,132,000	1,168,701	1,128,501	
		達成割合 (%)	103.24	96.56	101.97	
関連計画	第5次 総合計画	基本目標 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち 施策目標 6 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち			評価	達成
	市長公約	平成 29・30 年度市政運営方針				
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画				
	関連計画	—				

未達成事業への対応

事業名	未達成理由	今後の方向性
⑥ 市史編さん年報発行事務	市史関係について庁内からの照会件数が平成 28 年度から減少している(27 年度 89 件、28 年度 59 件、29 年度 57 件、30 年度 35 件)。文化財課内での業務の割振りを変更し、課全体で照会に対応した結果、市史資料室における実績値が減少し未達成となった。	庁内からの照会に対応できるように市史資料室の業務体制を整える。

基本方策 10 に対する評価

文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりの推進という基本的な方策に対し、多くの文化的施設を活用して、児童・生徒が文化・芸術・歴史に親しめる取り組みが推進できている。

各事業についての意見は、下記のとおりである。

⑥市史編さん年報発行事務について、市史資料の利用件数で評価しているが、史料の収集・整理・保存も成果であるので、より適した評価の指標について検討していただきたい。

その他の主要事業

主要事業の状況

1	児童の放課後対策事業		担当課	社会教育課	事業費計 (千円)	23,979
概要			実績			
<p>◆全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、本市の児童の放課後のありかたに関する基本的な考え方や、本市の取り組みの実績等を踏まえ、さらにさまざまな立場からの意見を聴取し、試行的に放課後子ども教室モデル事業を実施する。子どもにとって望ましい「放課後」を実現していくために今後策定する「児童の放課後を豊かにする基本計画」を踏まえ、本市の実情に即した児童の総合的な放課後対策の計画的な整備を適切かつ円滑に行う。</p>			<p>◆放課後子ども教室モデル事業を以下のとおり実施し、参加児童及びその保護者のニーズ調査を実施した。</p> <p>1. 第1クール</p> <p>(1) 実施校：市立小学校4校（蹠蹠・山田・津田・樟葉北）</p> <p>(2) 実施内容：放課後の校庭・指定専用室・図書室等における児童の活動の安全確保・助言</p> <p>(3) 実施期間・実施日数：平成30年10月1日から平成30年11月17日まで（うち各校22日間実施）</p> <p>(4) 延べ参加者数：2,014人（4校合計）</p> <p>2. 第2クール</p> <p>(1) 実施校：市立小学校4校（蹠蹠・山田・津田・樟葉北）</p> <p>(2) 実施内容：放課後の校庭・指定専用室・図書室等における児童の活動の安全確保・助言及び教室における体験活動に係る指導・助言</p> <p>(3) 実施期間・実施日数：平成30年11月19日から平成31年2月16日まで（うち各校50日または51日間実施）</p> <p>(4) 延べ参加者数：3,847人（4校合計）</p>			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
児童及び保護者へのアンケート調査における放課後子ども教室モデル事業に対する満足度（目標値の根拠） 満足及びやや満足の割合の目標値を80%とする			実績値 (%)		89.00	87.50
			目標値 (%)		85.00	80.00
			達成割合 (%)		104.71	109.38
関連計画	第5次総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	評価	達成		
	市長公約	平成29年度市政運営方針				
	実行計画	平成30年度当初実行計画				
	関連計画	—				

2	留守家庭児童会室整備事業		担当課	放課後子ども課	事業費計 (千円)	69,315
概要			実績			
<p>◆平成29年度からの対象学年の段階的拡大に向け、入室児童数の増加に対応するために必要な施設整備を行う。</p>			<p>◆磯島及び桜丘留守家庭児童会室の増築工事を終了し、平成30年4月1日より供用を開始した。</p> <p>◆平成30年11月から香陽留守家庭児童会室の建替工事に着手したが、全国的な建設需要の高まりから建築資材（高力ボルト）の受注が追い付かず、入荷できない状況となり、予算を令和元年度に繰り越すとともに、工期を3カ月延長した。また、老朽化に伴う空調設備の更新等も実施した。</p>			
実績値及び目標の説明			年度	H28年度	H29年度	H30年度
留守家庭児童会室建替等件数 (目標値の根拠) 留守家庭児童会室施設整備計画のとおり			実績値 (件)	4	2	0.5
			目標値 (件)	4	2	1
			達成割合 (%)	100.00	100.00	50.00

関連計画	第5次 総合計画	基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち 施策目標 15 子どもたちが健やかに育つことができるまち	評価	未達成だが その方向に 進んでいる
	市長公約	平成 29 年度市政運営方針		
	実行計画	平成 28 年度当初実行計画		
	関連計画	—		

未達成事業への対応

事業名		未達成理由	今後の方向性
2	留守家庭児童会室整備事業	全国的な建設需要の高まりから建築用資材（高力ボルト）の受注が追い付かず、入荷できない状況となったため	平成 30 年度からの香陽留守家庭児童会室の建替工事を完了し、7月から供用を開始する。

その他の主要事業に対する評価

放課後に就学児童が健全かつ安全・安心に過ごせるよう実施された放課後対策事業について、利用者のアンケート結果からも満足していただいている状況が伺える。

今後とも、子どもたちが放課後においても安全かつ安心に過ごせるよう事業を計画的に推進していただきたい。

7. 枚方市教育委員会の平成30年度の活動の概要

枚方市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長と4人の委員により組織される合議制の執行機関であり、その権限に属する教育に関する事務を管理執行しています。教育長は教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。教育長の任期は3年、委員の任期は4年です。

【教育委員会の構成】

(平成31年3月31日現在)

職名	氏名	任期
教育長	奈良 渉	平成28年4月1日～ 平成31年(2019年)3月31日
教育委員	神田 裕史	平成29年4月1日～ 令和3年(2021年)3月31日
教育委員	橋野 陽子	平成28年4月1日～ 令和2年(2020年)3月31日
教育委員	谷元 紀之	平成28年9月27日～ 平成31年(2019年)3月31日
教育委員	近藤 孝	平成30年4月1日～ 令和4年(2022年)3月31日

(1) 平成30年度教育委員会定例会・臨時会の開催実績

教育委員会の会議は原則として毎月定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開催しています。定例会とは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条の規定に基づき、枚方市教育委員会会議規則第2条第2項の規定により毎月1回開催する会議です。臨時会は、同規則第2条第3項の規定により臨時に開催する会議です。

(2) 平成30年度教育委員会協議会案件

教育委員会協議会は、枚方市教育委員会会議規則第18条の規定により、委員会の所管事項について、教育長から報告を受ける必要があると認めるとき、又は特定の事項について調査、研究等の必要があると認めるときに開催する会議です。

【平成30年度教育委員会定例会・臨時会の開催実績及び協議会案件】

区分	年月日	日数 (日)	出席 委員数 (人)	審 議 内 容 (件)								協議会 案件数
				原案 可決	修正 可決	選挙	承認	不 採択	継続	聴取	計	
平成30年第4回 定例会・協議会	平成30年4月20日	1	5	2	-	-	1	-	-	-	3	1
平成30年第5回 定例会・協議会	平成30年5月24日	1	5	4	-	-	1	-	-	1	6	5

区分	年 月 日	日数 (日)	出席 委員数 (人)	審 議 内 容 (件)								協議会 案件数
				原案 可決	修正 可決	選挙	承認	不 採択	継続	聴取	計	
平成30年第6回 定例会・協議会	平成30年6月28日	1	5	2	-	-	1	-	-	-	3	1
平成30年第7回 定例会・協議会	平成30年7月23日	1	5	1	-	-	1	-	-	-	2	3
平成30年第8回 定例会・協議会	平成30年8月31日	1	5	3	-	-	2	-	-	-	5	8
平成30年第9回 定例会・協議会	平成30年9月18日	1	5	1	-	-	2	-	-	-	3	1
平成30年第10回 定例会・協議会	平成30年10月30日	1	5	2	-	-	1	-	-	-	3	2
平成30年第11回 定例会・協議会	平成30年11月26日	1	5	4	-	-	3	-	-	1	8	7
平成30年第12回 定例会・協議会	平成30年12月21日	1	5	5	-	-	2	-	-	-	7	-
平成31年第1回 定例会・協議会	平成31年1月25日	1	5	1	-	-	1	-	-	-	2	-
協議会のみ	平成31年2月1日	1	5									1
平成31年第2回 定例会・協議会	平成31年2月22日	1	5	3	-	-	3	-	-	-	6	8
平成31年第3回 定例会・協議会	平成31年3月19日	1	5	2	-	-	1	-	-	-	3	2

(3) 平成30年度教育委員会の活動状況

	会議・行事等	出席回数		
		H28年度	H29年度	H30年度
①	学校関係（式典、行事等）	13回	19回	17回
②	学校関係（授業視察等）	35回	24回	21回
③	教育委員会関係（式典、会議、行事等）	81回	93回	67回
④	枚方市、市議会、各種団体関係（式典、会議、行事等）	35回	34回	34回
⑤	教育長協議会、会議研修等	18回	16回	29回
⑥	教育委員研修会等	6回	7回	7回
合計		188回	193回	175回

枚方の教育

令和元年度（2019年度）
令和元年（2019年）9月発行

発行 枚方市教育委員会
〒573-1159
枚方市車塚1-1-1
TEL 050 (7105) 8018
FAX 072 (851) 1711
URL [http://www.city.hirakata.osaka.jp/
site/kyoiku/](http://www.city.hirakata.osaka.jp/site/kyoiku/)

編集 「枚方の教育」編集委員会
題字 辻尾 仁郎 氏
表紙写真 第四中学校

「枚方の教育」は枚方市教育委員会のホームページでもご覧頂けます